

利用上の注意

- 1 表の順位は、原則として数値の大きい順とっています。ただし、*印を付した項目は、数値の小さい順とっています。
- 2 同順位の場合は、標準地域コードによる都道府県順とっています。
ただし、岡山県と同順位の場合、岡山県を上位にしています。
- 3 統計表の右頁下に、調査時期（期間）、算出方法、資料出所等を記載しています。
- 4 資料中、年とあるものは1月から12月までの期間を、年度とあるものは4月から翌年3月までの会計年度の期間を示しています。なお、調査期間が平成31年と令和元年にまたがる場合は、元号を「H31・R1」等と併記しています。
- 5 統計表の符号は次のとおりです。
「△」……マイナス
「…」……該当数値なし
- 6 四捨五入しているため、数値は内訳や全国計と一致しないものがあります。
また、表及びグラフの割合の合計は100%にならない場合があります。
- 7 引用・転載する際の注意事項は、本冊子の末尾に記載しています。

統計からみた岡山県の一日

出生数



32人／令和5年
40人／平成30年

人口動態統計（厚生労働省）

死亡数



69人／令和5年
61人／平成30年

人口動態統計（厚生労働省）

結婚数

19件／令和5年
23件／平成30年

人口動態統計（厚生労働省）



離婚数

8件／令和5年
8件／平成30年

人口動態統計（厚生労働省）



転入者数



101人／令和6年
86人／令和3年

住民基本台帳人口移動報告（総務省）※外国人・外国からの転入を含む

転出者数



104人／令和6年
96人／令和3年

住民基本台帳人口移動報告（総務省）※外国人・外国への転出を含む

食費 （二人以上世帯の一世帯当たり）



2,965円／令和6年
2,545円／令和元年

家計調査
(総務省)

通信費 （二人以上世帯の一世帯当たり）

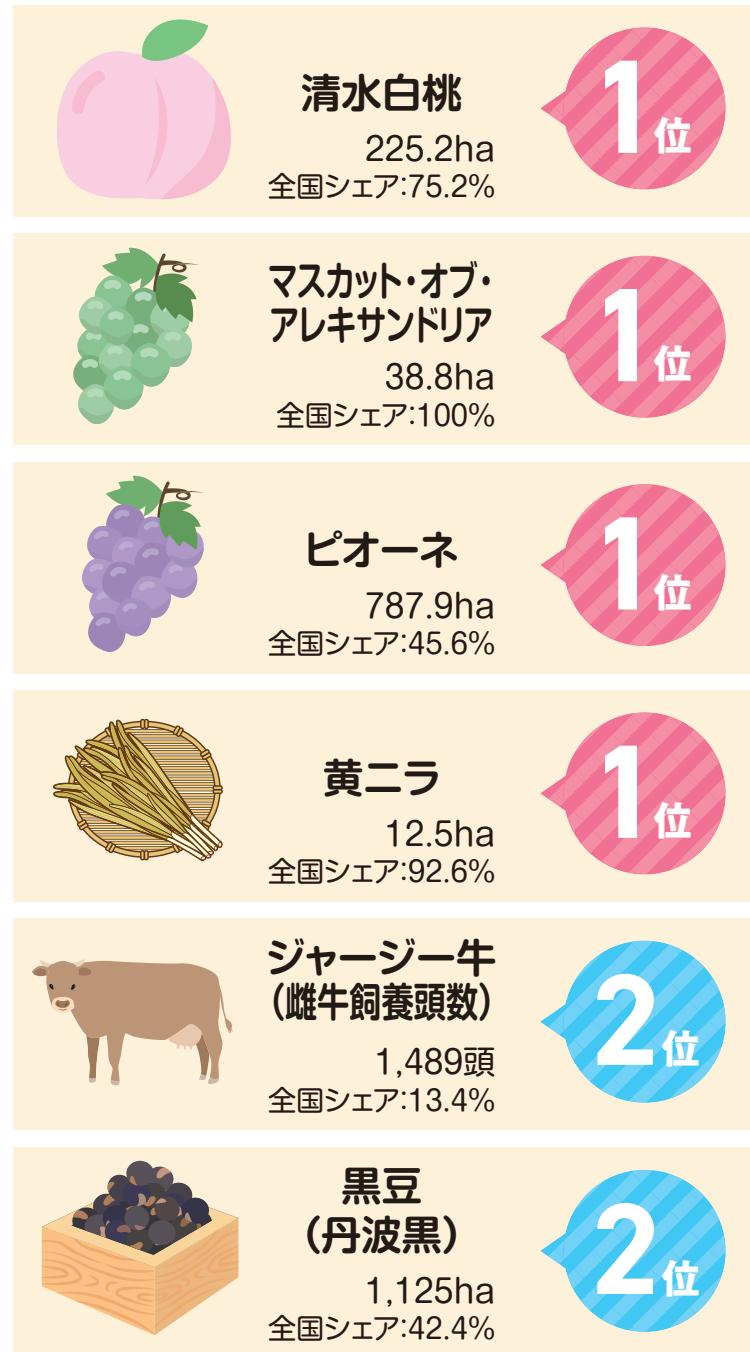


392円／令和6年
430円／令和元年

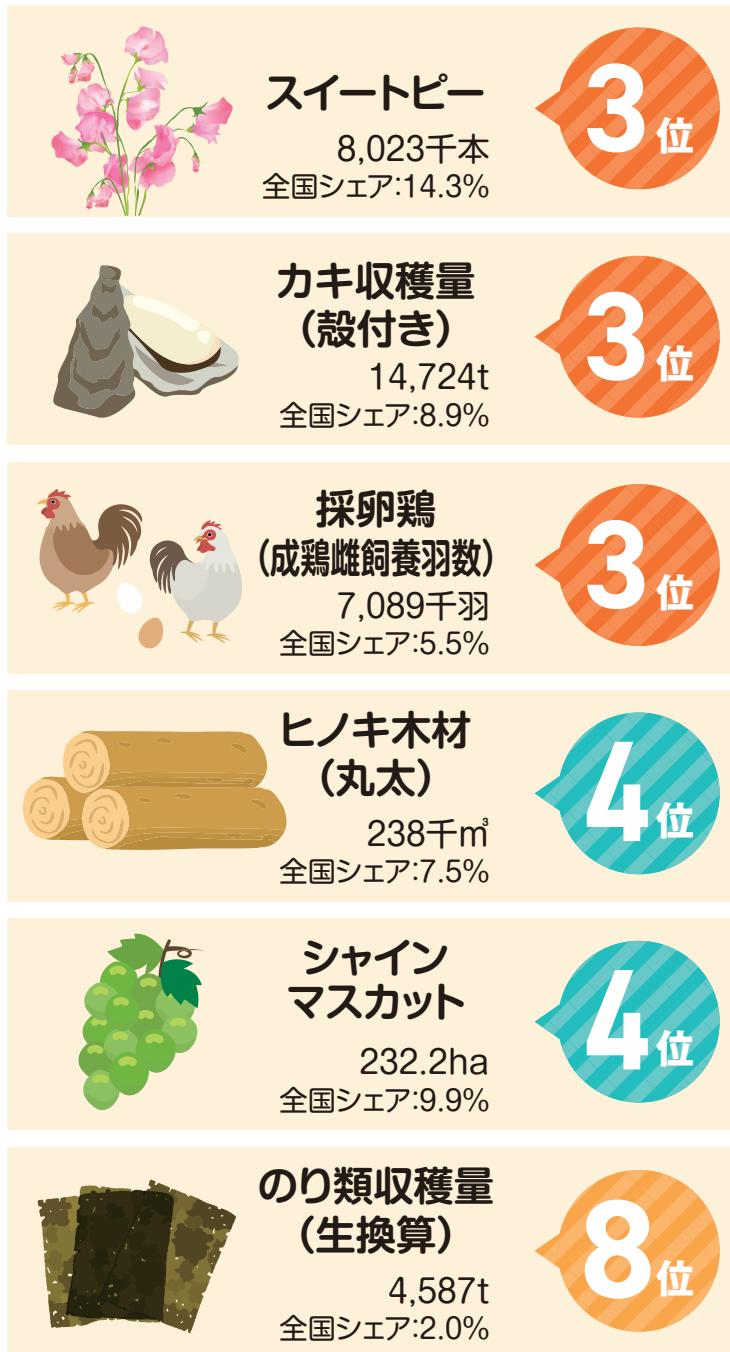
家計調査（総務省）

※数値は当該年中の数値を年間日数で除した単純平均

岡山県のお国自慢

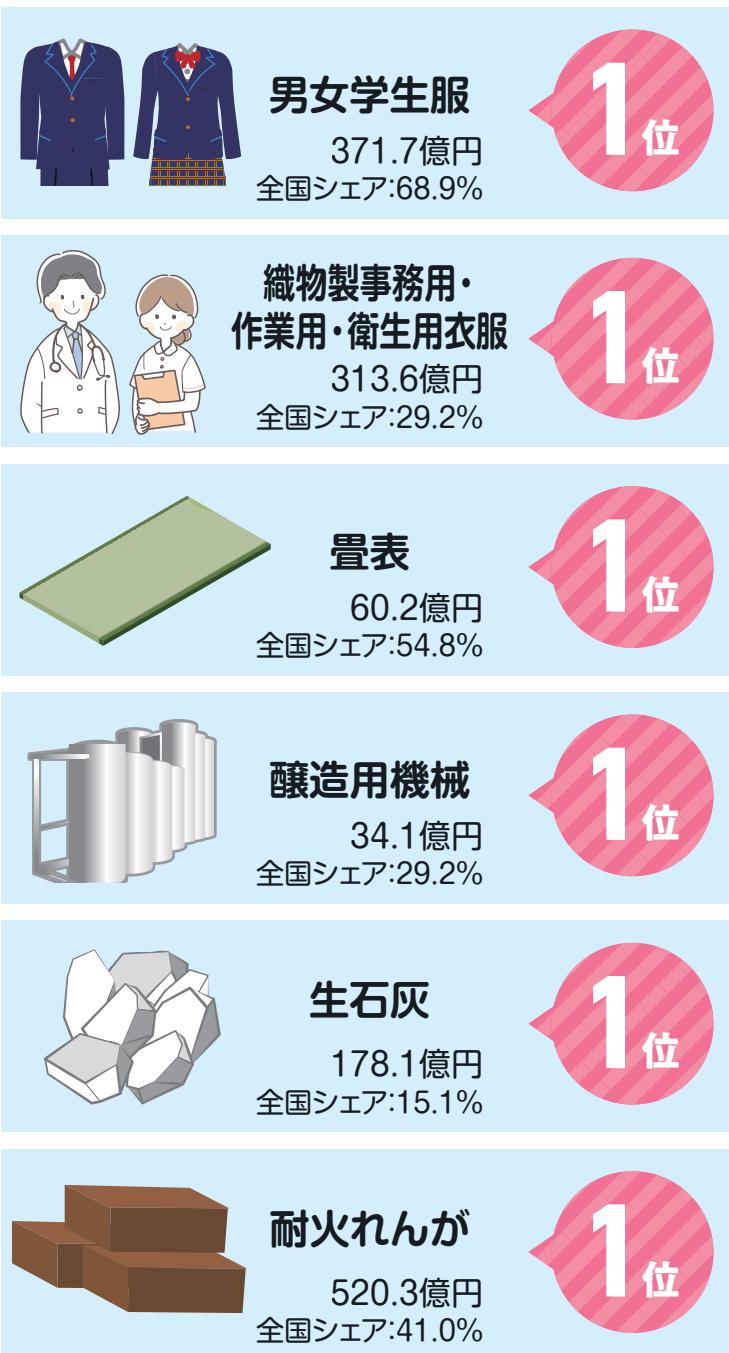


▶ 農林水産物



●令和6年度県農林水産部資料（令和7年3月5日時点）

岡山県のお国自慢



▶ 製造品出荷額等



●総務省・経済産業省 2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査

目 次

県の概要	1	29 製造業事業所数	63
A 自然環境		30 製造品出荷額等	65
1 総面積	7	31 製造業付加価値額	67
2 可住地面積割合	9	32 年間商品販売額（卸売・小売業）	69
3 降水量 1mm未満の日数（平年値）	11	33 消費者物価地域差指数（総合）	71
4 年間日照時間	13		
5 *年間降水量	15		
6 年平均気温	17		
B 人口・世帯		D 労働	
7 総人口	19	34 就業率	73
8 人口密度（1km ² 当たり）	21	35 女性就業率	75
9 年少人口割合（0-14歳）	23	36 女性役員比率	77
10 生産年齢人口割合（15-64歳）	25	37 有効求人倍率	79
11 老年人口割合 (65歳以上：高齢化率)	27	38 *労働時間数	81
12 後期高齢者人口割合（75歳以上）	29	39 常用労働者現金給与総額	83
13 百歳以上人口割合 (人口10万人当たり)	31	40 *非正規雇用者比率	85
14 在留外国人割合	33		
15 総世帯数	35	E 教育・文化	
16 人口増減率	37	41 *小学校児童数（教員1人当たり）	87
17 都道府県間の人口移動状況	39	42 *中学校生徒数（教員1人当たり）	89
18 人口転入率（外国人含む）	41	43 県内就職率 (高等学校卒業後の状況)	91
19 *人口転出率（外国人含む）	43	44 大学・短大等進学率	93
20 合計特殊出生率	45	45 県内高卒者で大学・短大入学者のうち、 自県の大学等への入学者割合	95
C 経済・産業		46 県内大学・短大入学者に占める 自県の出身者の割合	97
21 県民所得（人口1人当たり）	47	47 大学・短大数 (人口10万人当たり)	99
22 県内総生産（名目）	49	48 *小・中・高等学校不登校者数 (児童生徒千人当たり)	101
23 新設住宅着工戸数	51	49 *小・中・高等学校の暴力行為発生件数 (児童生徒千人当たり)	103
24 第2次産業就業者割合	53	50 *小・中・高等・特別支援学校のいじめ 認知件数（児童生徒千人当たり）	105
25 第3次産業就業者割合	55	51 外国人留学生数 (人口10万人当たり)	107
26 農業産出額	57	52 図書館数（人口10万人当たり）	109
27 食料自給率（カロリーベース）	59	53 都道府県立図書館個人貸出数	111
28 事業所数	61	54 美術館数	113

F 医療・福祉

55	平均寿命（男）	115
56	平均寿命（女）	117
57	病院・一般診療所数 (人口10万人当たり)	119
58	医師数（人口10万人当たり）	121
59	小児科従事医師数 (15歳未満人口10万人当たり)	123
60	産婦人科・産科従事医師数 (15-49歳女子人口10万人当たり)	125
61	看護職員数（人口1万人当たり）	127
62	*国民医療費（人口1人当たり）	129
63	*後期高齢者医療費（1人当たり）	131
64	献血者数（人口千人当たり）	133
65	*周産期死亡率（出産数千当たり）	135
66	*主要死因死亡率 (人口10万人当たり)	137
67	*自殺死亡率（人口10万人当たり）	139
68	*被生活保護者数 (月平均人口千人当たり)	141
69	保育所等利用児童数	143
70	放課後児童クラブ利用児童数 (児童千人当たり)	145
71	*高齢者人口に占める要介護者比率	147
72	老人ホーム定員数 (65歳以上人口千人当たり)	149
73	民生委員（児童委員）数 (人口10万人当たり)	151

G 家計・居住環境

74	ごみのリサイクル率	153
75	汚水処理人口普及率	155
76	道路総延長（総面積1km ² 当たり）	157
77	都市公園面積 (都市計画区域人口1人当たり)	159
78	勤労者世帯の実収入額	161
79	勤労者世帯の消費支出額	163

80 貯蓄現在高

(2人以上の世帯、1世帯当たり)	165
81 乗用車保有台数（人口千人当たり）	167
82 睡眠時間	169

H 防災・安全

83 自主防災組織率	171
84 *地震観測回数（震度4以上）	173
85 *火災発生件数（人口1万人当たり）	175
86 消防団員数（人口10万人当たり）	177
87 救急告示病院・診療所数 (人口10万人当たり)	179
88 *救急自動車出動件数 (人口千人当たり)	181
89 *人身交通事故件数 (人口千人当たり)	183
90 *交通事故死者数 (人口10万人当たり)	185
91 *高齢者(第1当事者)人身交通事故件数 (65歳以上1万人当たり)	187
92 *刑法犯認知件数 (人口千人当たり)	189
93 重要犯罪検挙率	191
94 警察官数（人口千人当たり）	193
95 防犯ボランティア団体構成員数 (人口1万人当たり)	195

I 財政

96 財政規模（人口1人当たり）	197
97 普通建設事業費比率	199
98 福祉費比率	201
99 県税収入比率	203
100 *地方債現在高（人口1人当たり）	205
101 *地方公務員数（人口千人当たり）	207

付表

1 市町村編	209
2 岡山県の人口の推移	211
3 岡山県の年齢別人口	213

県の概要

※1 項目名は、適宜、簡略化しています。(正式な項目名は、目次等で確認してください)
 2 全国及び全国1位との比較のバーの表示は300までとしています。(300を超えるものは数値を囲んでいます。)

A 自然環境

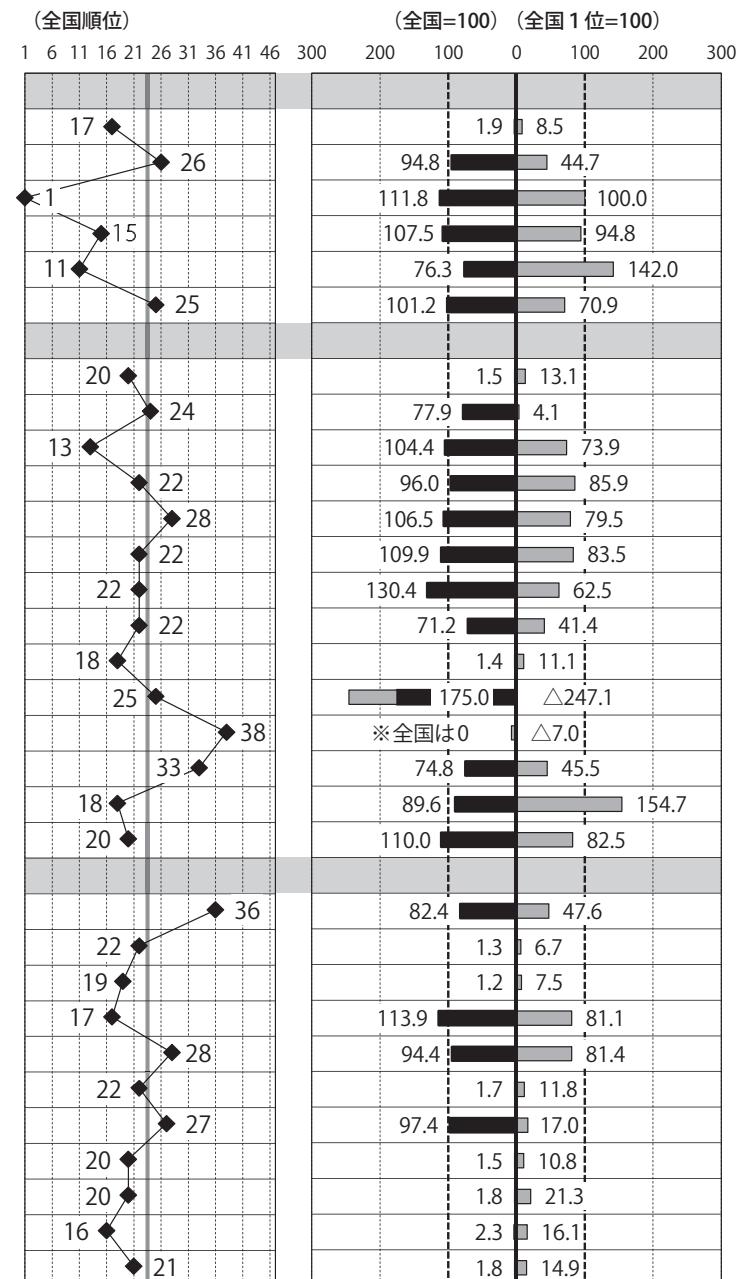
1 総面積	7,114.44 km ²
2 可住地面積割合	31.3 %
3 降水量 1mm未満日数	276.7 日
4 年間日照時間	2,188.7 時間
5 *年間降水量	1,459.5 mm
6 年平均気温	17.3 °C

B 人口・世帯

7 総人口	1,846,707 人
8 人口密度	259.6 人 /km ²
9 年少人口割合	11.9 %
10 生産年齢人口割合	57.1 %
11 老年人口割合	31.0 %
12 後期高齢者人口割合	17.7 %
13 百歳以上人口割合	99.73 人
14 在留外国人割合	1.95 %
15 総世帯数	801,409 世帯
16 人口増減率	△ 0.84 %
17 都道府県間人口移動状況	△ 5,583 人
18 人口転入率	1.51 %
19 *人口転出率	1.81 %
20 合計特殊出生率	1.32

C 経済・産業

21 県民所得	2,743 千円
22 県内総生産	7,652,694 百万円
23 新設住宅着工戸数	9,266 戸
24 第2次産業就業者割合	27.0 %
25 第3次産業就業者割合	68.7 %
26 農業産出額	1,526 億円
27 食料自給率	37 %
28 事業所数	86,500 事業所
29 製造業事業所数	3,892 事業所
30 製造品出荷額等	7,088,131 百万円
31 製造業付加価値額	1,768,808 百万円



32 年間商品販売額	5,392,006 百万円
33 消費者物価地域差指数	98.1

D 労働

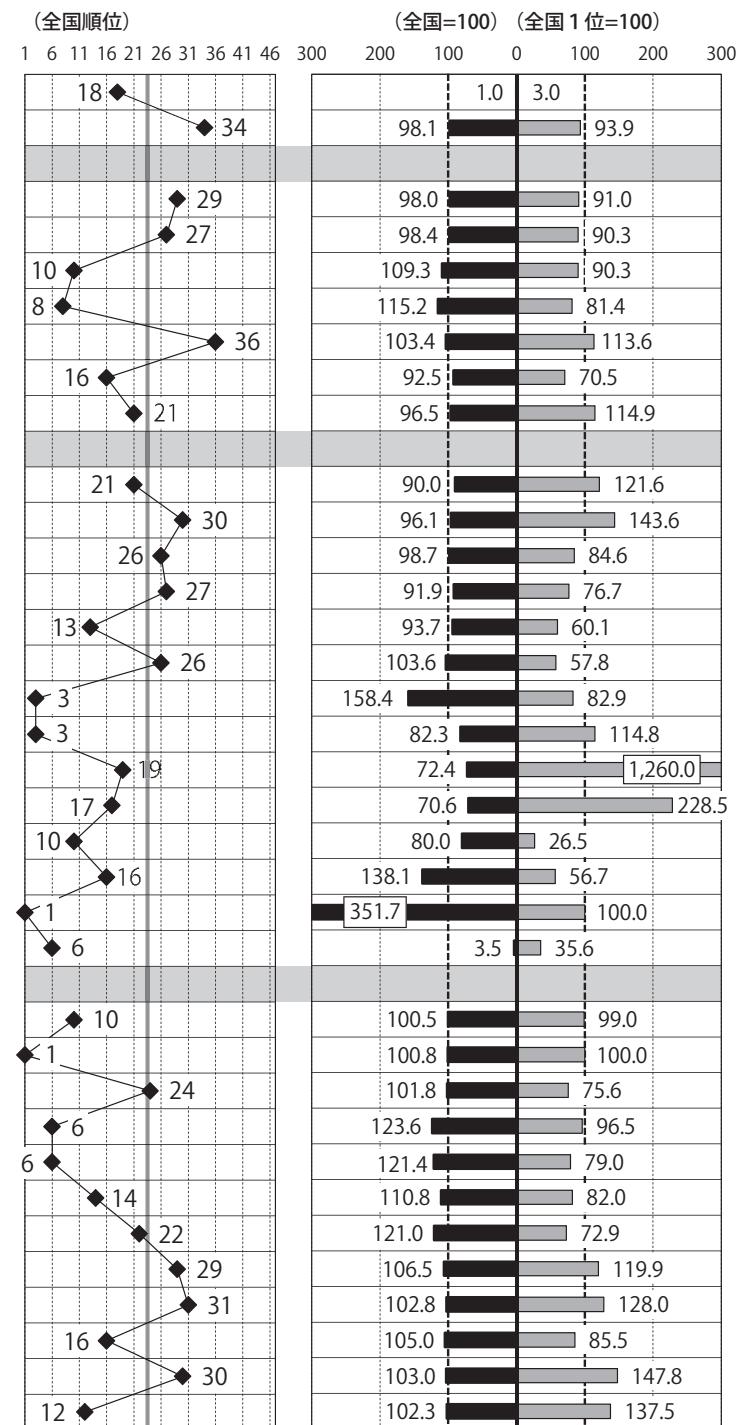
34 就業率	58.5 %
35 女性就業率	50.9 %
36 女性役員比率	26.9 %
37 有効求人倍率	1.44 倍
38 *労働時間数	141.0 時間／月
39 常用労働者現金給与総額	304,923 円／月
40 *非正規雇用者比率	33.2 %

E 教育・文化

41 *小学校児童数	12,571 人
42 *中学校生徒数	12,211 人
43 県内就職率	80.5 %
44 大学・短大等進学率	56.9 %
45 自県大学等への入学者割合	43.3 %
46 県内大学等の自県出身者割合	46.2 %
47 大学・短大数	1,411 校
48 *不登校者数	27.9 人
49 *学校暴力行為発生件数	6.3 件
50 *いじめ認知件数	40.9 件
51 外国人留学生数	179.6 人
52 図書館数	3.73 館
53 県立図書館個人貸出数	1,190,915 冊
54 美術館数	16 館

F 医療・福祉

55 平均寿命（男）	81.90 年
56 平均寿命（女）	88.29 年
57 病院・一般診療所数	92.5 施設
58 医師数	324.0 人
59 小児科従事医師数	224.4 人
60 産婦人科従事医師数	56.4 人
61 看護職員数	161.2 人
62 *国民医療費	398.1 千円
63 *後期高齢者医療費	978,051 円
64 献血者数	42.3 人
65 *周産期死亡率	3.4 人
66 *主要死因死亡率	606.1 人



67	*自殺死亡率	15.7 人
68	*被生活保護者数	12,761 人
69	保育所等利用児童数	45,810 人
70	放課後児童クラブ利用児童数	283.4 人
71	*要介護者比率	21.2 %
72	老人ホーム定員数	36.8 人
73	民生委員(児童委員)数	233.5 人

G 家計・居住環境

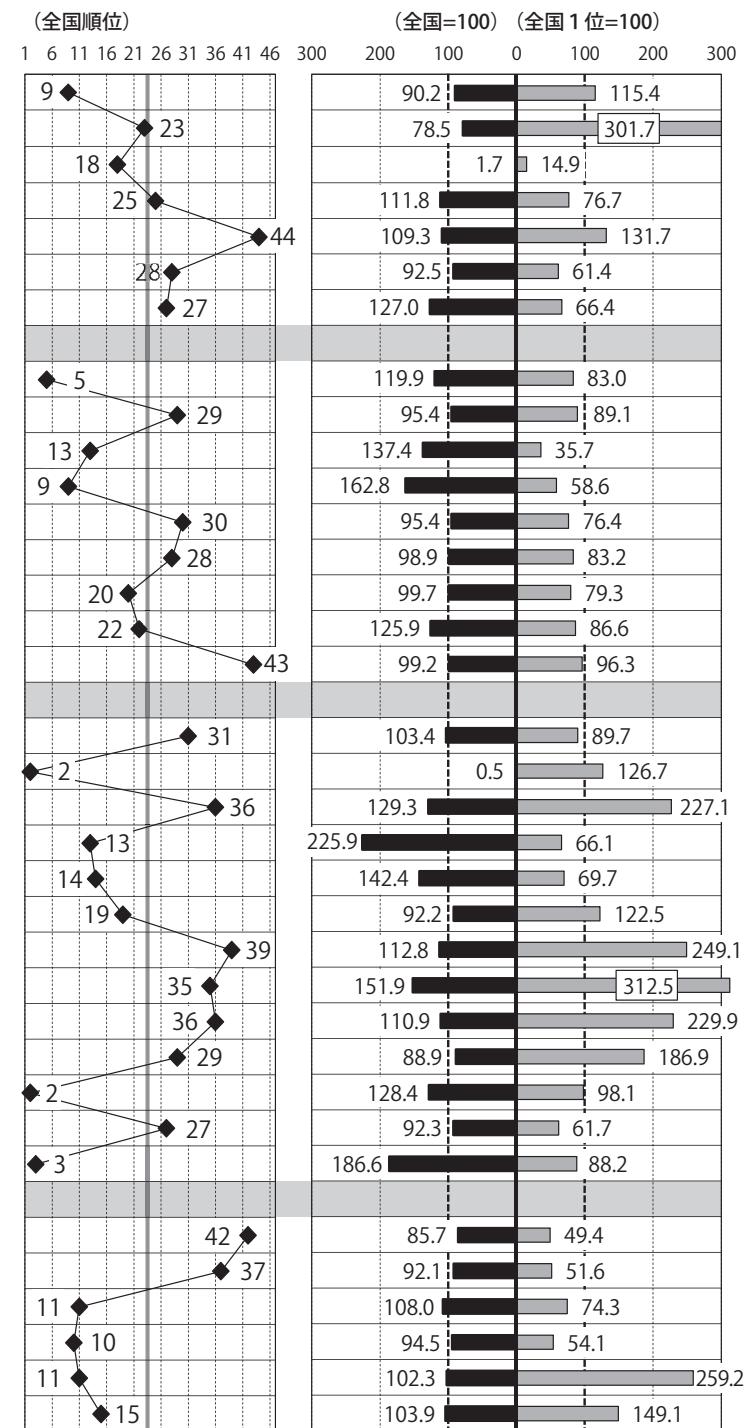
74	ごみのリサイクル率	23.5 %
75	汚水処理人口普及率	89.0 %
76	道路総延長	4,669 m
77	都市公園面積	17,681 m ²
78	勤労者世帯の実収入額	607,130 円
79	勤労者世帯の消費支出額	321,563 円
80	貯蓄現在高	14,453 千円
81	乗用車保有台数	630.6 台
82	睡眠時間	470.0 分

H 防災・安全

83	自主防災組織率	88.3 %
84	*地震観測回数	19 回
85	*火災発生件数	4,021 件
86	消防団員数	1,351 人
87	救急告示病院・診療所数	4.77 施設
88	*救急自動車出動件数	56.6 件
89	*人身交通事故件数	2.64 件
90	*交通事故死者数	3.25 人
91	*高齢者人身交通事故件数	22.3 件
92	*刑法犯認知件数	5.27 件
93	重要犯罪検挙率	111.1 %
94	警察官数	1.93 人
95	防犯ボランティア団体構成員数	350.2 人

I 財政

96	財政規模	423,665 円
97	普通建設事業費比率	11.6 %
98	福祉費比率	16.2 %
99	県税収入比率	34.3 %
100	*地方債現在高	704,963 円
101	*地方公務員数	7.9 人

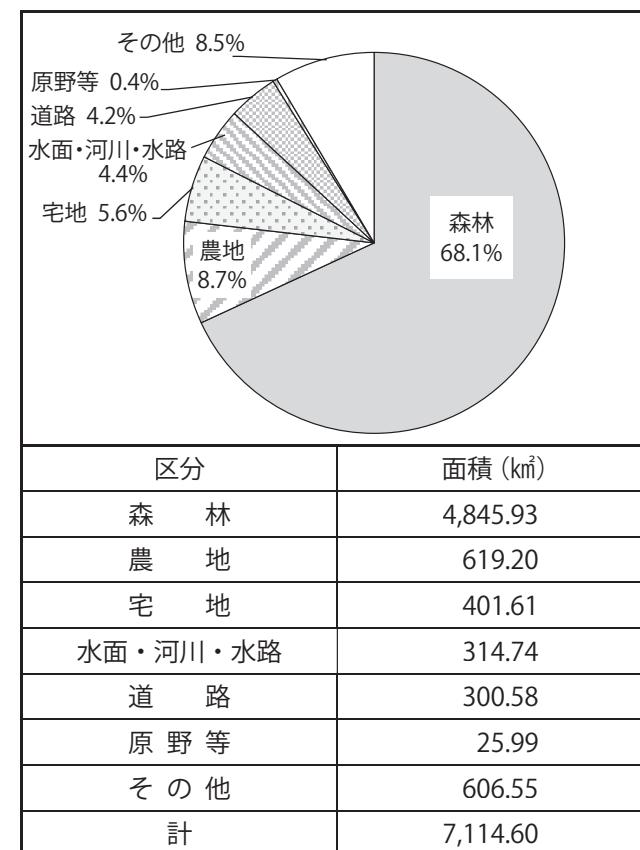


A 自然環境

A-1 総面積

順位	都道府県名	総面積 (km ²)
1	北海道	83,422.27
2	岩手県	15,275.05
3	福島県	13,784.39
4	* 長野県	13,561.56
5	* 新潟県	12,583.67
6	秋田県	11,637.52
7	岐阜県	* 10,621.29
8	青森県	9,645.11
9	山形県	* 9,323.15
10	鹿児島県	* 9,186.20
11	広島県	8,478.16
12	兵庫県	8,400.82
13	静岡県	* 7,777.01
14	宮崎県	* 7,734.16
15	熊本県	* 7,409.19
16	鹿児島市	* 7,282.30
17	岡山県	* 7,114.44
18	高知県	7,102.28
19	島根県	6,707.78
20	栃木県	6,408.09
21	群馬県	6,362.28
22	* 大阪府	6,340.70
23	山梨県	6,113.00
24	茨城県	6,098.32
25	* 愛媛県	5,774.48
26	愛知県	5,675.89
27	* 千葉県	5,173.21
28	福井県	* 5,156.48
29	和歌山县	* 4,987.66
30	京都府	4,724.66
31	大阪府	4,612.21
32	山梨県	* 4,465.27
33	富山县	* 4,247.54
34	福井県	4,190.57
35	石川県	4,186.20
36	徳島県	4,147.00
37	長崎県	4,131.20
38	滋賀県	* 4,017.38
39	奈良県	* 3,797.75
40	鳥取県	3,690.94
41	佐賀県	3,507.03
42	神奈川県	2,440.64
43	沖縄県	2,416.55
44	東京都	2,282.11
45	大阪府	* 2,199.94
46	香川県	1,905.34
47	全国計	377,975.64

<岡山県土の利用状況>

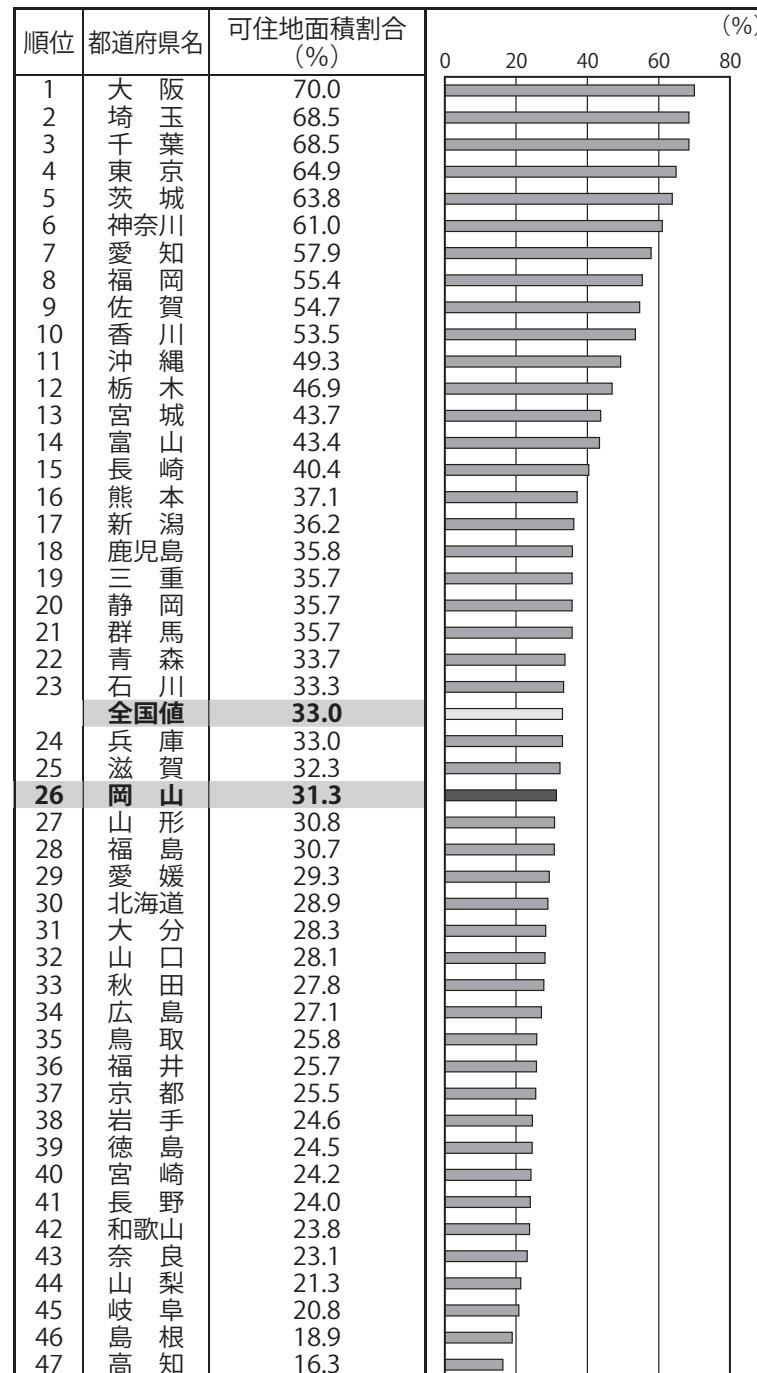


※中山間・地域振興課資料（令和7年2月3日提供）

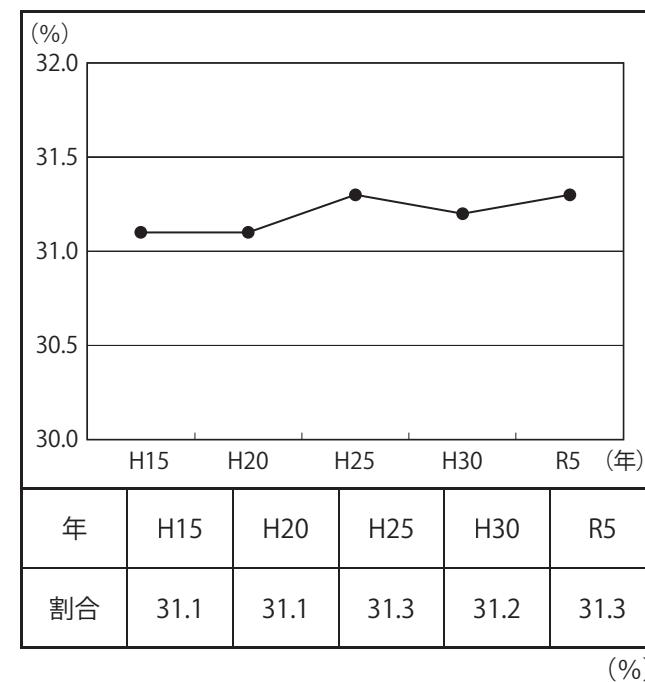
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和6年10月1日
- 資料出所 國土地理院「全國都道府県市区町村別面積調」
- 総面積には、北方地域及び竹島を含む。
- *印は、一部境界未定のため参考値

A-2 可住地面積割合



<岡山県の推移>



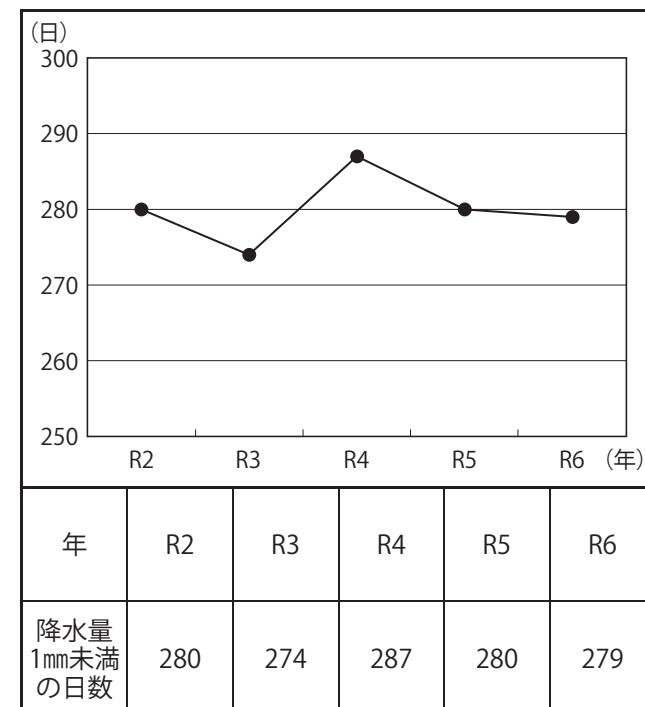
<資料出所ほか>

- ☆可住地面積とは、総面積（北方地域及び竹島を除く）から
林野面積と主要湖沼面積を差し引いたもの
・調査時点 令和5年10月1日
・資料出所 総務省「社会生活統計指標」

A-3 降水量1mm未満の日数(平年値)

順位	都道府県名	降水量1mm未満の日数(日)	(日)
1	岡山	276.7	
2	山梨	276.1	
3	兵庫	271.7	
4	広島	270.8	
5	埼玉	269.3	
6	香川	269.1	
7	和歌山	267.8	
8	徳島	267.2	
9	大阪	266.8	
10	大分	266.6	
11	宮城	265.6	
12	群馬	264.8	
13	愛知	264.7	
14	三重	263.0	
15	東京	262.5	
16	茨城	261.8	
17	千葉	261.5	
18	京都	260.9	
19	福井	260.4	
20	神奈川	260.0	
21	佐賀	259.3	
22	静岡	258.9	
23	奈良	258.7	
24	福岡	256.3	
25	長崎	255.4	
26	熊本	254.9	
27	大分	254.1	
28	高知	253.2	
29	岐阜	252.4	
30	福岡	252.4	
31	山口	250.5	
32	宮崎	247.5	
33	鹿児島	244.4	
34	沖縄	241.1	
35	岩手	238.7	
36	滋賀	233.5	
37	山形	228.3	
38	北海道	221.5	
39	島根	216.1	
40	鳥取	207.0	
41	青森	202.6	
42	福井	193.6	
43	新潟	193.5	
44	秋田	191.2	
45	石川	187.7	
46	富山	186.7	
47	全国平均	247.4	

<岡山県の推移>



資料：気象庁資料

(日)

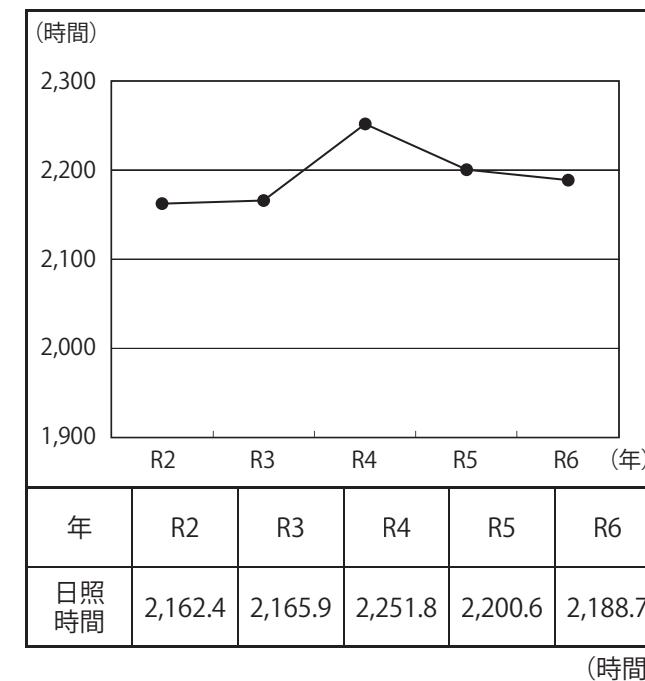
<資料出所ほか>

- ☆平年値とは、西暦年の1の位が1の年から数えて連続する30年間の平均値のこと、現在の平年値は1991年（平成3年）から2020年（令和2年）の平年値
- ・算出方法 365日 - 降水量1mm以上の日数
- ・資料出所 気象庁資料（10年毎）
- ・観測地点は、埼玉県（熊谷市）、滋賀県（彦根市）を除き、都道府県庁所在地
- ・全国平均は、全国47地点の単純平均

A-4 年間日照時間



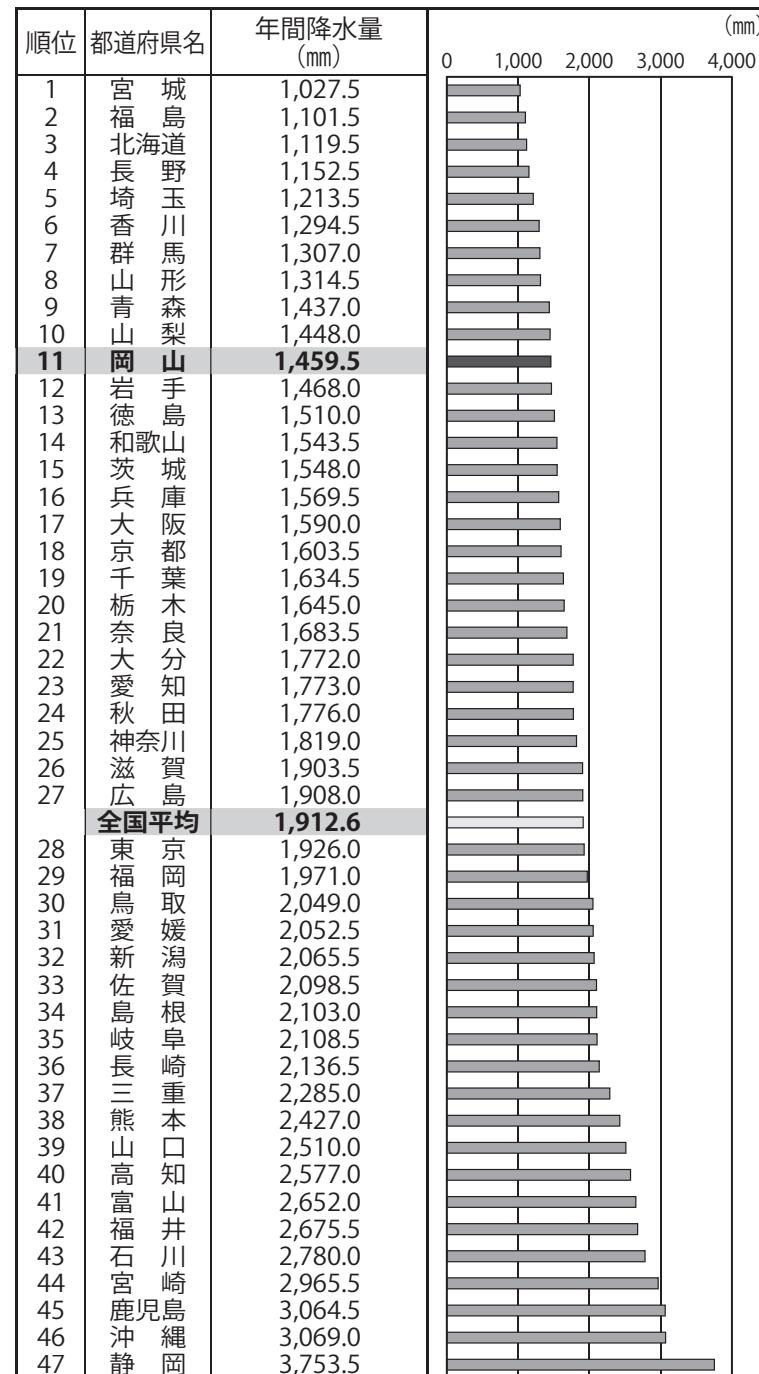
<岡山県の推移>



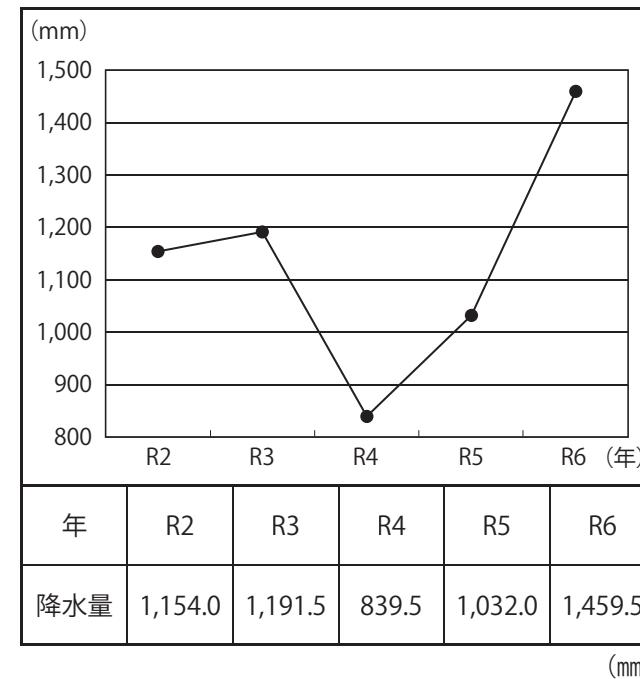
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和6年（1.1～12.31）
- 資料出所 気象庁 資料
- 観測地点は、埼玉県（熊谷市）、滋賀県（彦根市）を除き、都道府県庁所在地
- 全国平均は、全国47地点の単純平均

* A-5 年間降水量



<岡山県の推移>



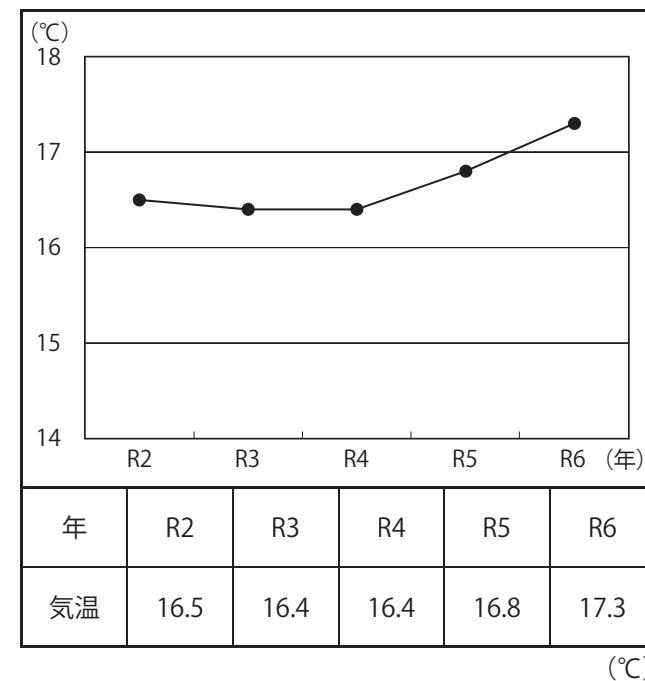
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・資料出所 気象庁 資料
- ・観測地点は、埼玉県(熊谷市)、滋賀県(彦根市)を除き、都道府県庁所在地
- ・全国平均は、全国47地点の単純平均

A-6 年平均気温



<岡山県の推移>

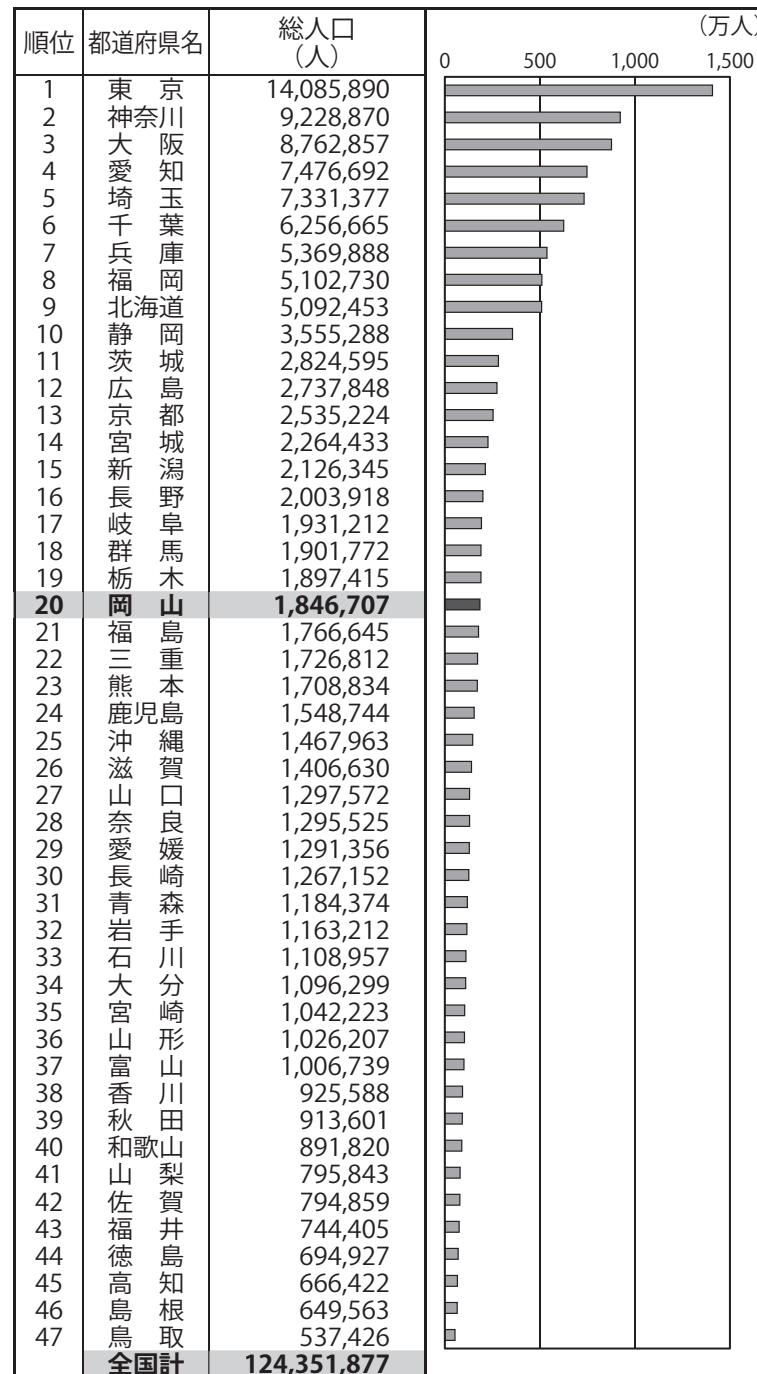


<資料出所ほか>

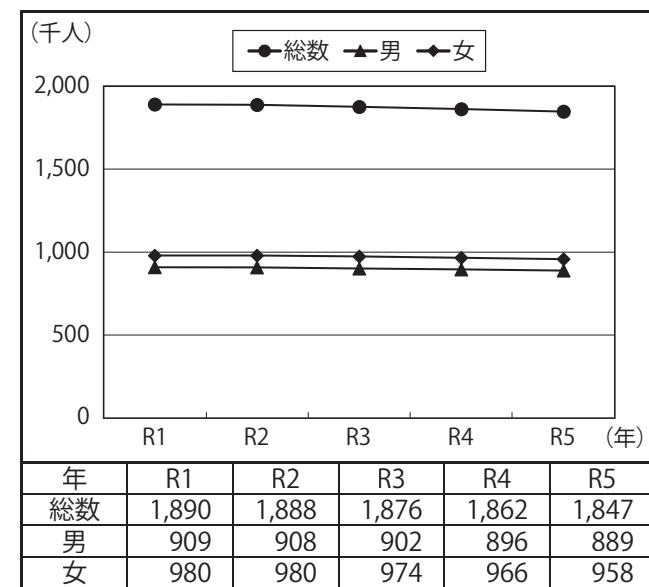
- 調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- 資料出所 気象庁 資料
- 観測地点は、埼玉県(熊谷市)、滋賀県(彦根市)を除き、都道府県庁所在地
- 全国平均は、全国47地点の単純平均

B 人口・世帯

B-7 総人口



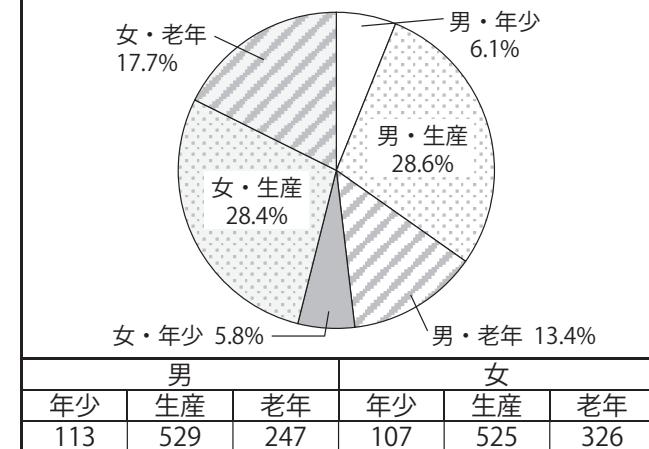
<岡山県の推移>



B7

※令和2年は、総務省「国勢調査」による。 (千人)

<岡山県の年齢・性別割合>

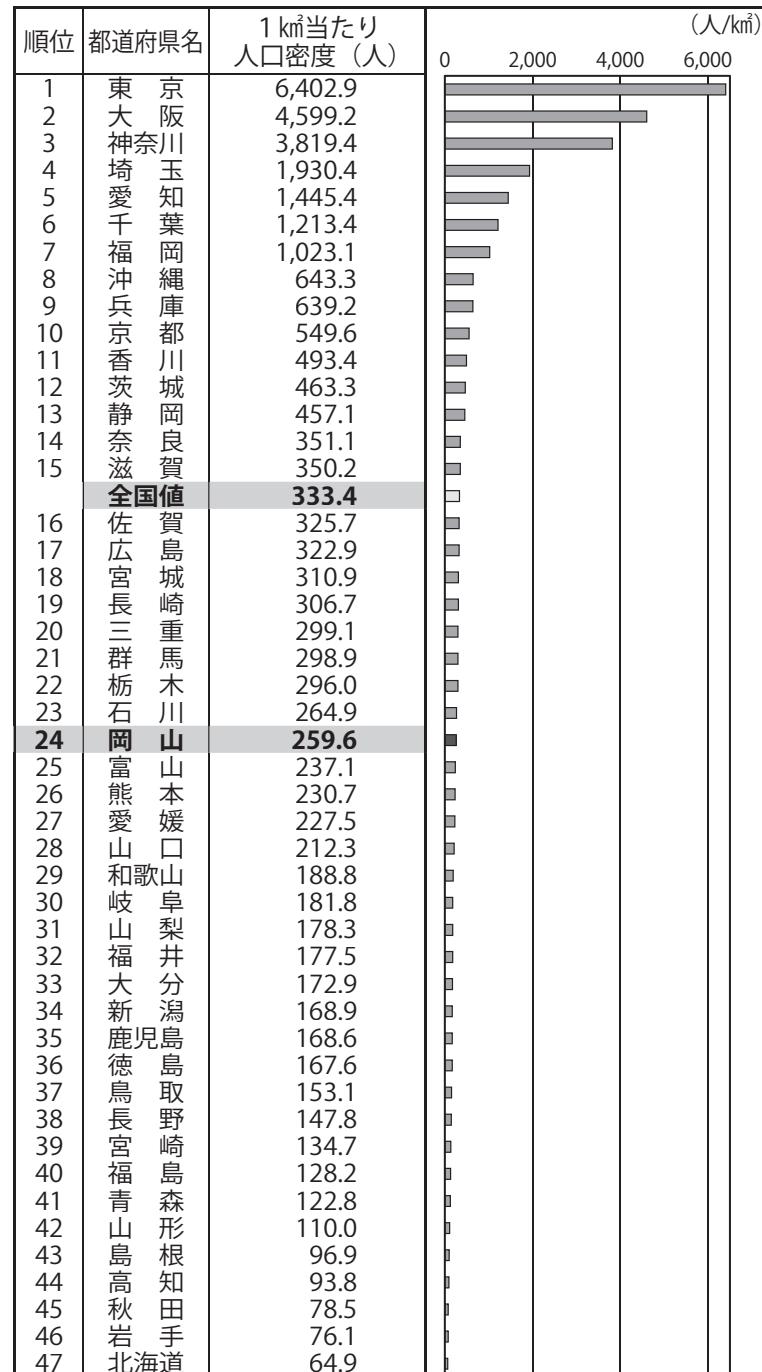


※年少：0～14歳、生産：15～64歳、老年：65歳以上 (千人)

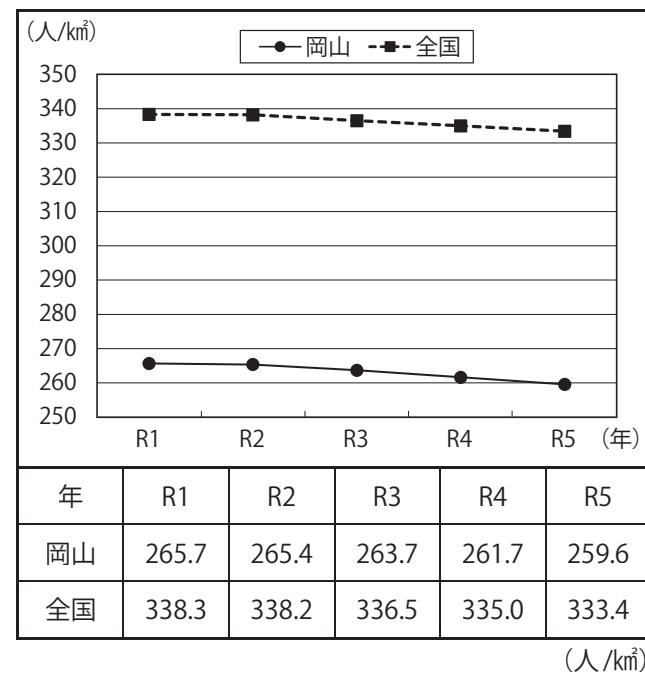
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和5年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計」

B-8 人口密度 (1km²当たり)



<岡山県の推移>



B8

※令和2年は、総務省「国勢調査」による。

<人口集中地区人口比率>

年	H12	H17	H22	H27	R2
岡山	42.3	43.7	45.6	46.7	48.6
全国	65.2	66.0	67.3	68.3	70.0

(%)

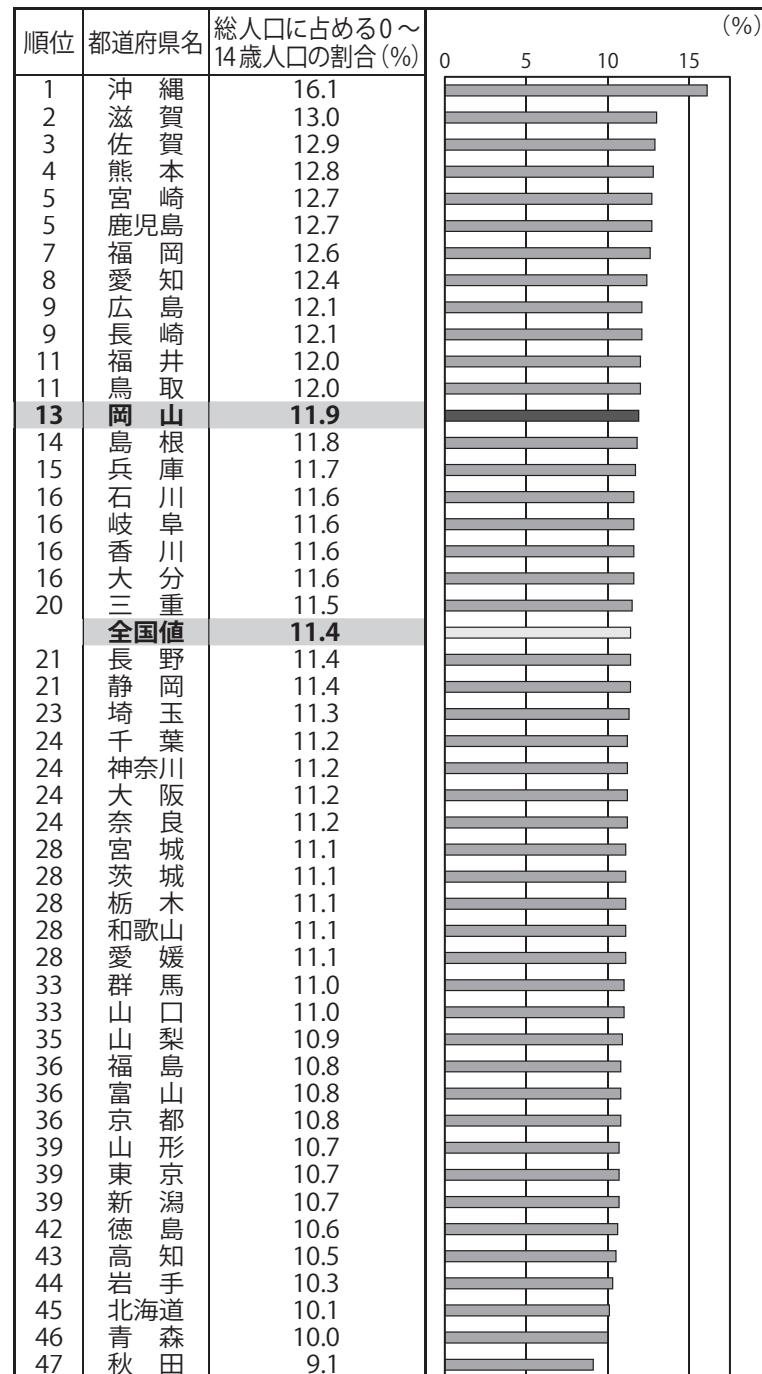
※総務省「国勢調査」による。

※人口集中地区とは1km²当たり4千人以上の基本単位区が隣接している地区のこと

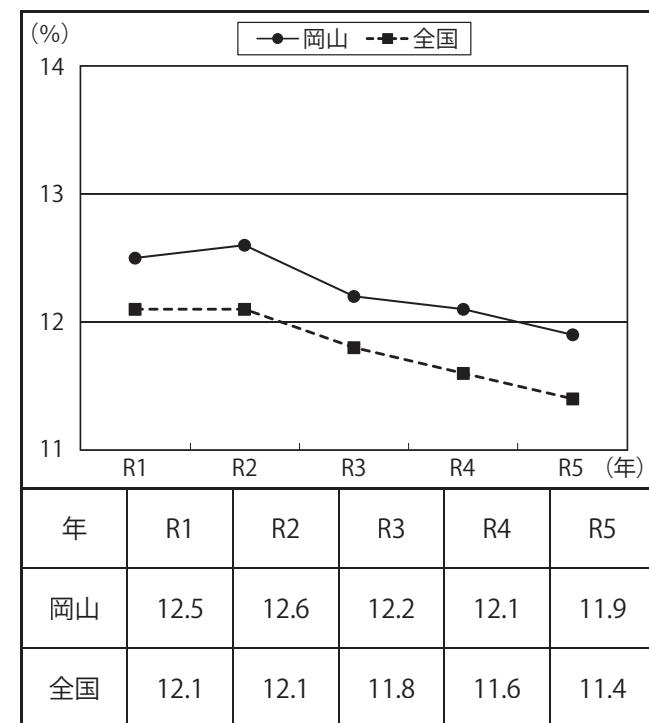
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和5年10月1日
 - ・資料出所 総務省「社会生活統計指標」
- ※北方地域及び竹島を除く。

B-9 年少人口割合（0～14歳）



<岡山県の推移>



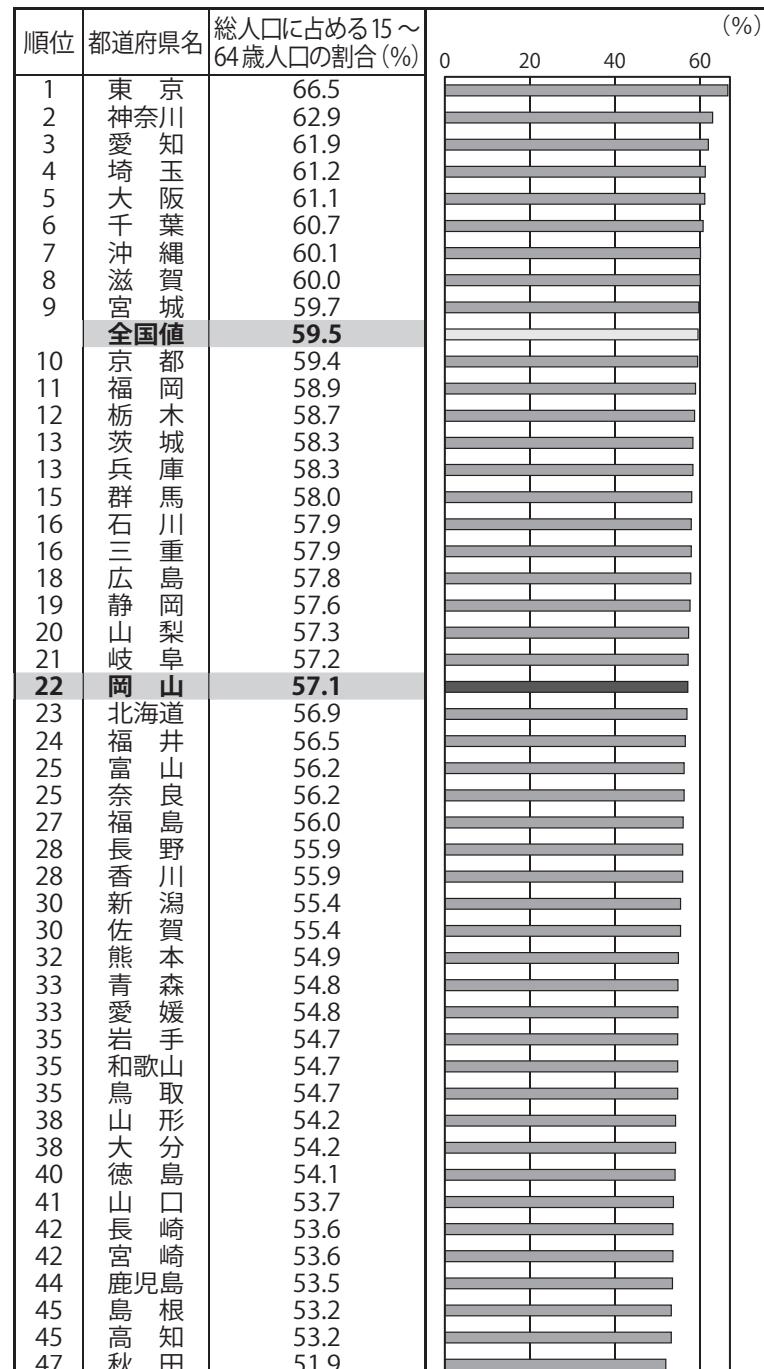
B9

※令和2年は、総務省「国勢調査」による。 (%)

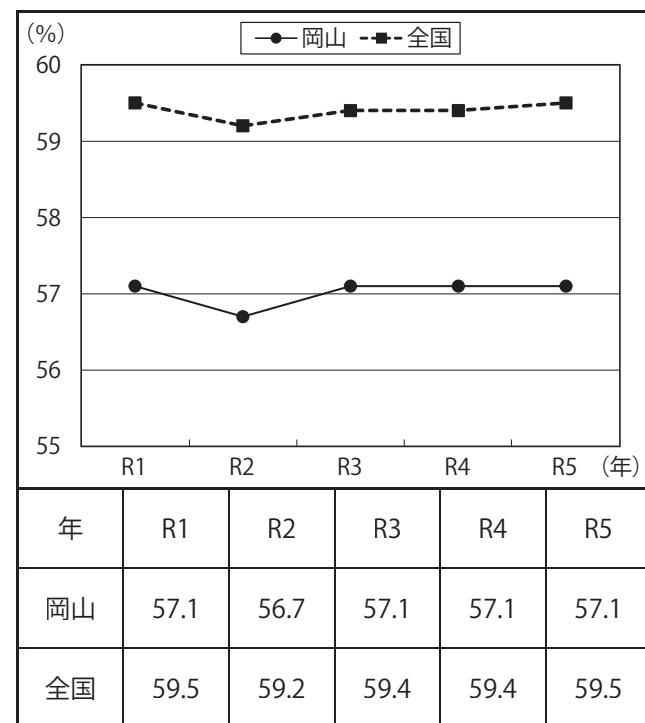
<資料出所ほか>

- ☆年少人口とは、14歳以下の人口
- ・調査時点 令和5年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計」

B-10 生産年齢人口割合(15～64歳)



<岡山県の推移>



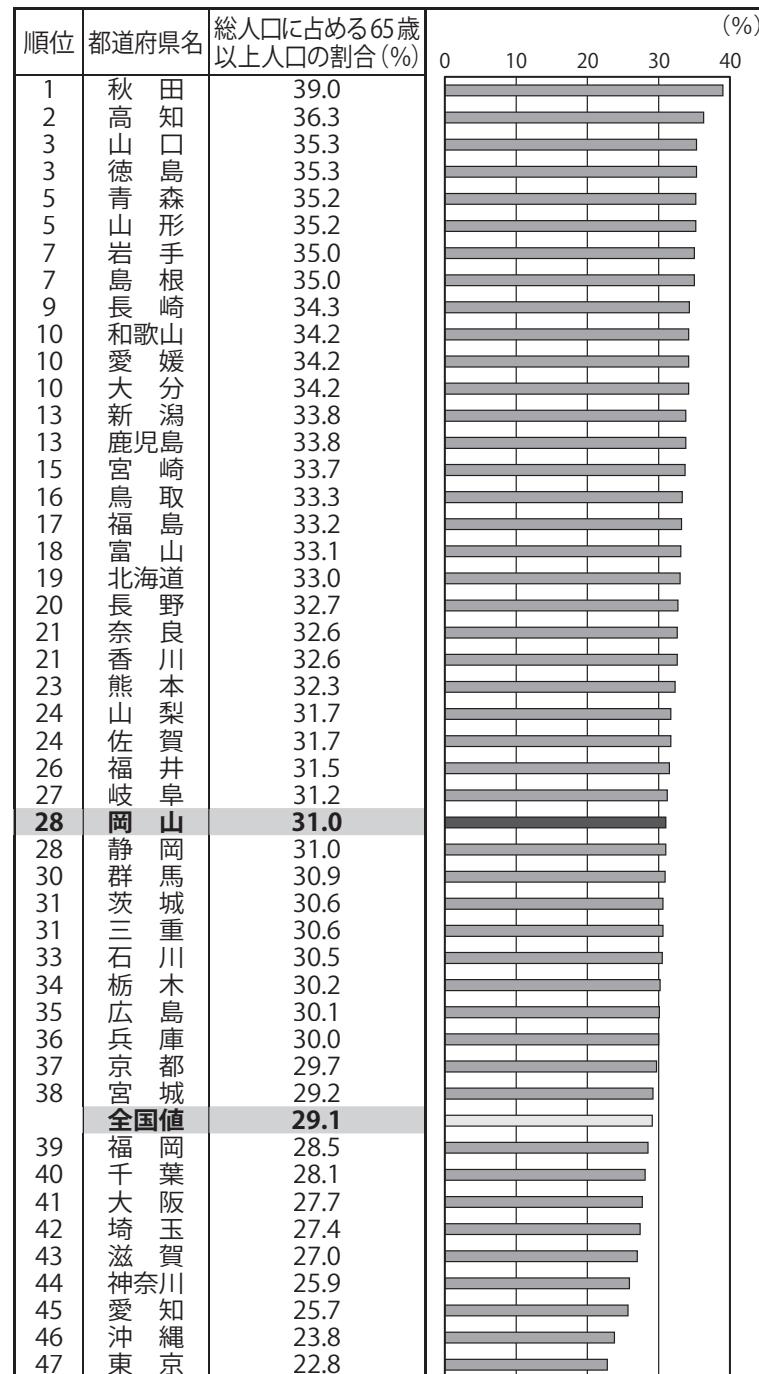
B10

※令和2年は、総務省「国勢調査」による。 (%)

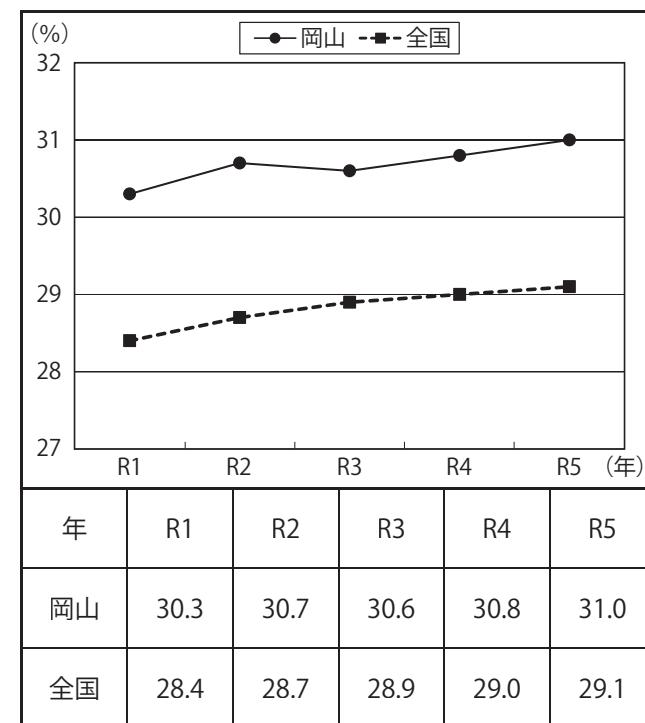
<資料出所ほか>

- ★生産年齢人口とは、15～64歳の人口
- ・調査時点 令和5年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計」

B-11 老年人口割合(65歳以上:高齢化率)



<岡山県の推移>



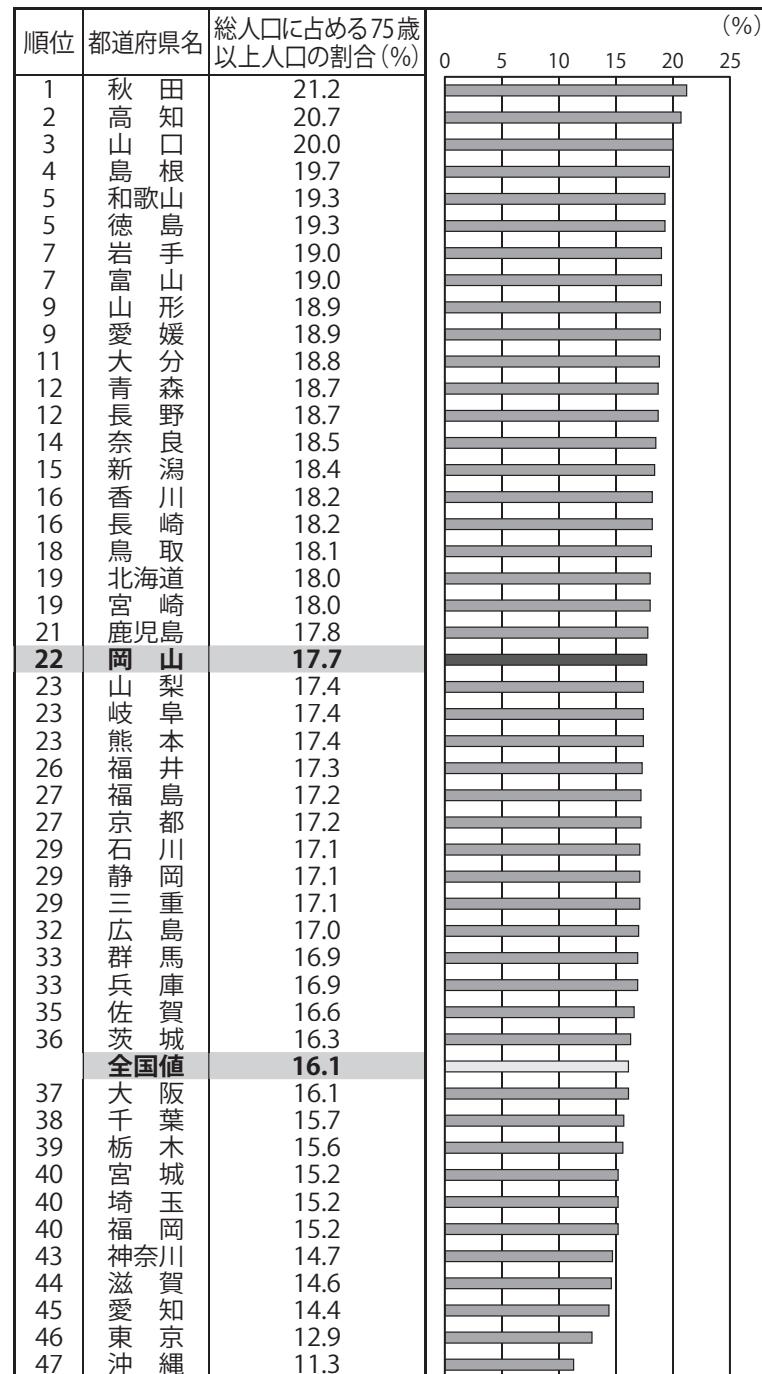
B11

※令和2年は、総務省「国勢調査」による。 (%)

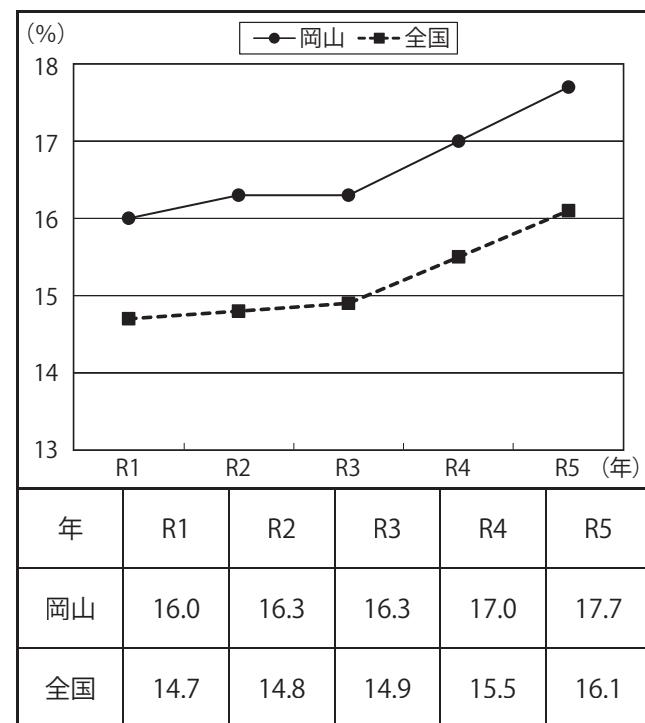
<資料出所ほか>

- ☆老年人口とは、65歳以上の人口
- ・調査時点 令和5年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計」

B-12 後期高齢者人口割合(75歳以上)



<岡山県の推移>



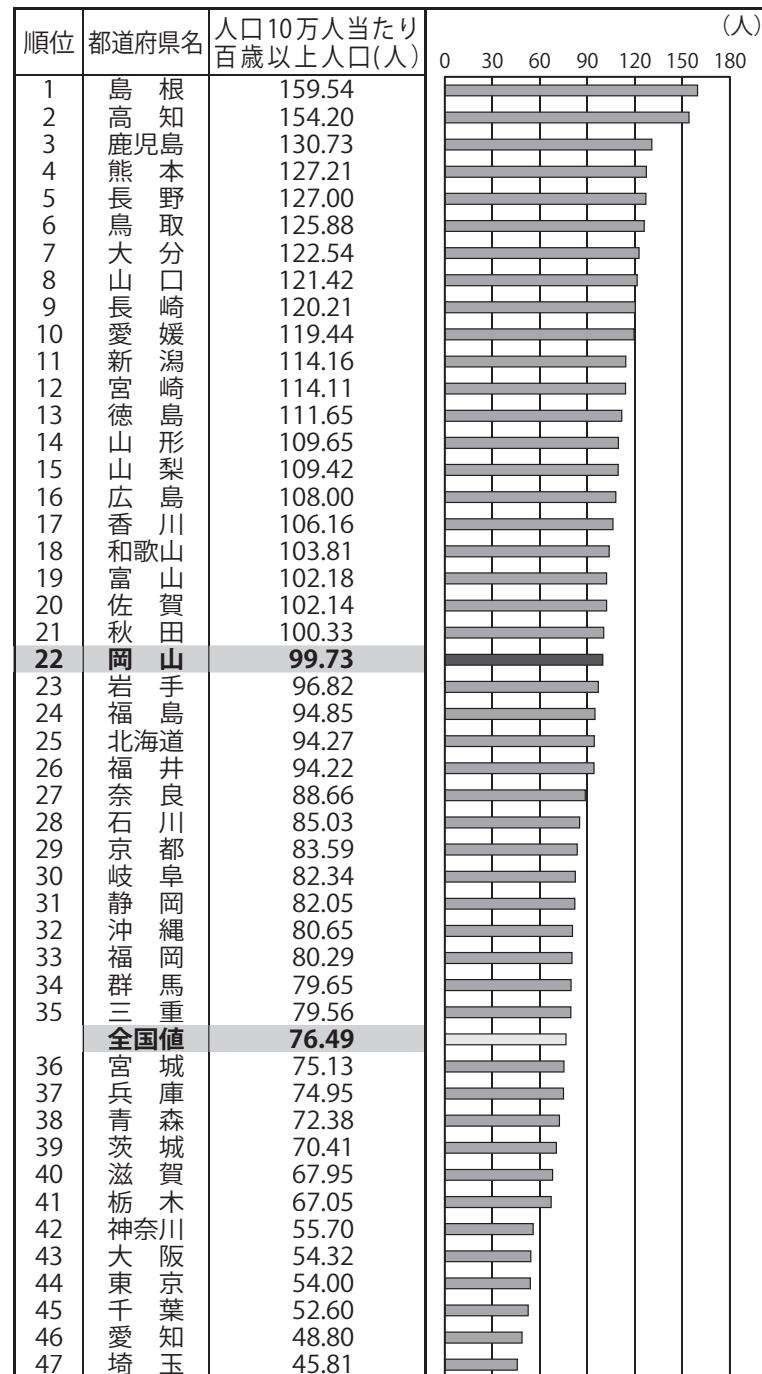
B12

※令和2年は、総務省「国勢調査」による。 (%)

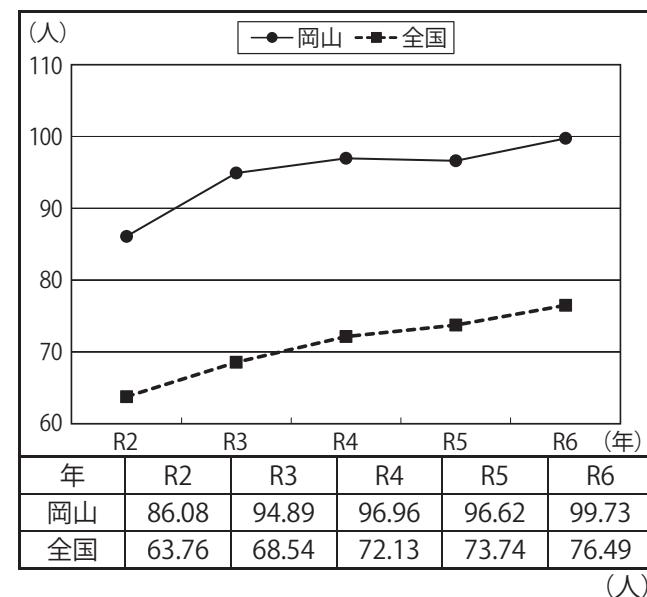
<資料出所ほか>

- ☆後期高齢者人口とは、75歳以上の人口
- ・調査時点 令和5年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計」

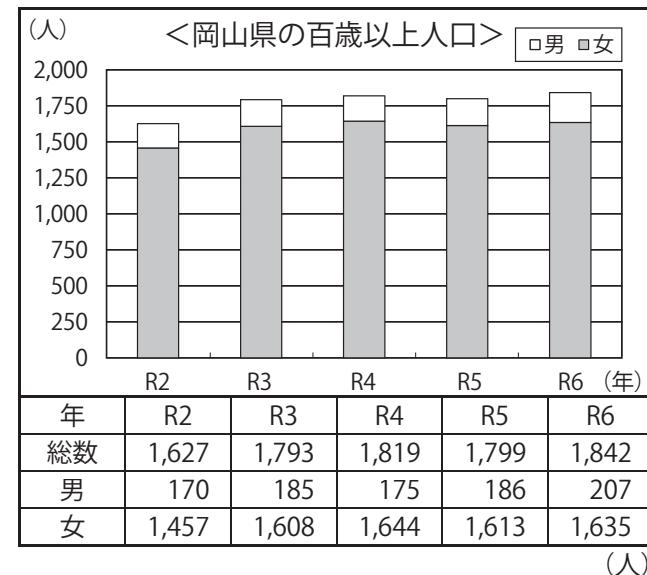
B-13 百歳以上人口割合(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



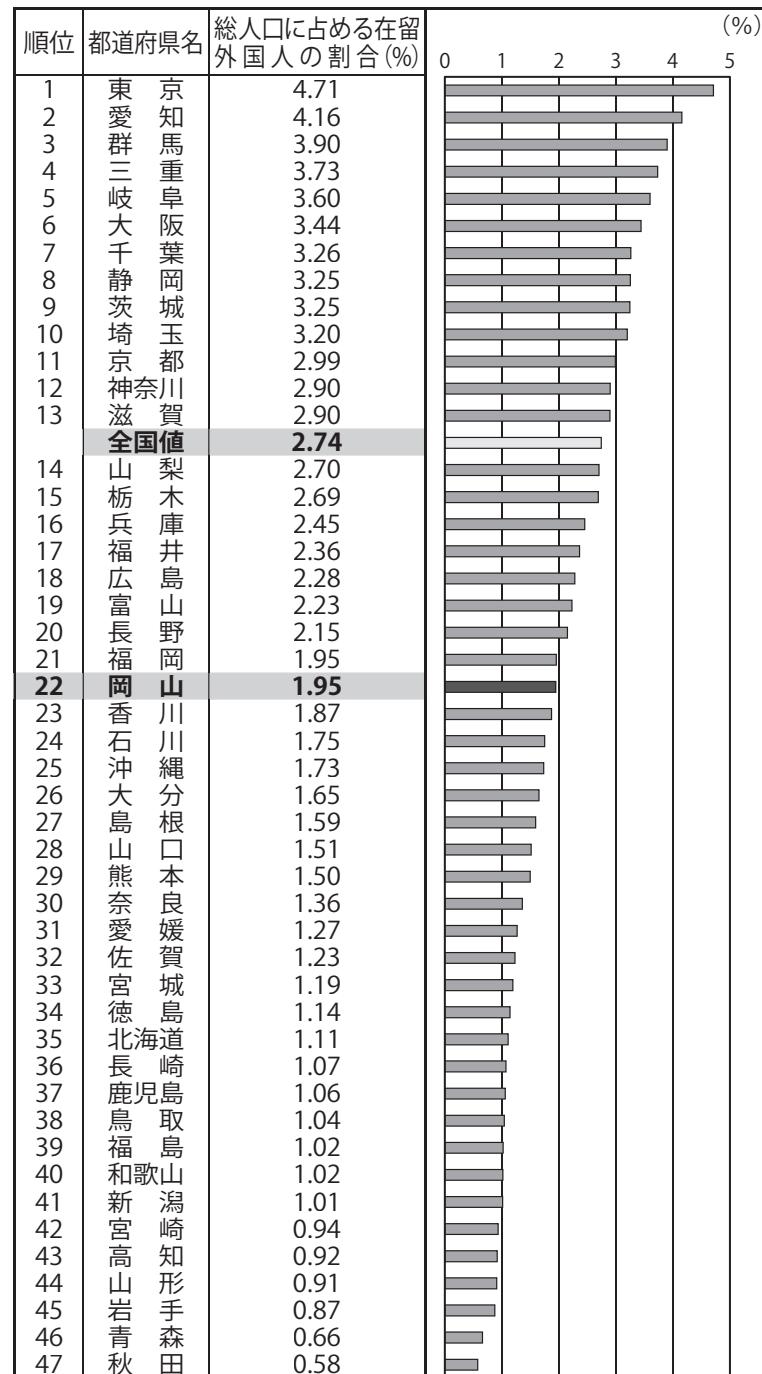
B13



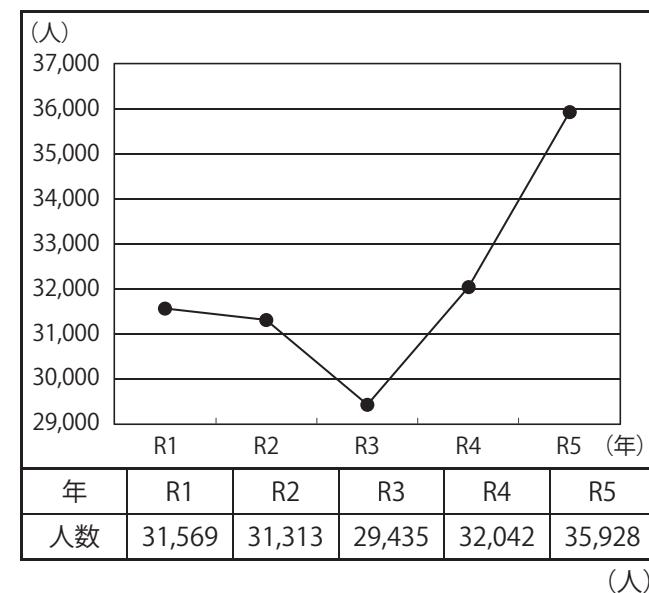
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年9月1日
- ・資料出所 厚生労働省資料「百歳以上高齢者の状況について」

B-14 在留外国人割合

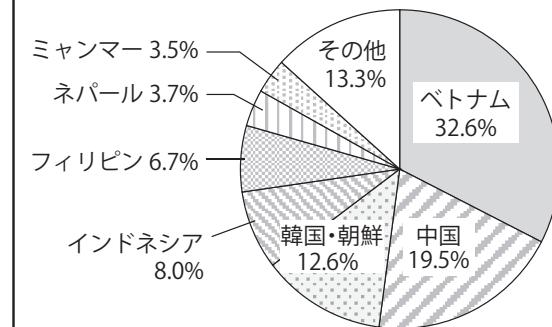


<岡山県の推移>



B14

<岡山県の国籍別在留外国人の割合>



<資料出所ほか>

- 調査時点 令和5年12月31日
- 算出方法 在留外国人数 ÷ 総人口 × 100
- 資料出所 法務省「在留外国人統計」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

B-15 総世帯数

順位	都道府県名	総世帯数 (世帯)	(千世帯)
1	東京	7,227,180	
2	神奈川	4,223,706	
3	大阪	4,135,879	
4	愛知	3,238,301	
5	埼玉	3,162,743	
6	千葉	2,773,840	
7	北海道	2,476,846	
8	兵庫	2,402,484	
9	福岡	2,323,325	
10	静岡	1,483,472	
11	広島	1,243,527	
12	京都	1,190,527	
13	茨城	1,184,133	
14	宮城	982,523	
15	新潟	864,750	
16	長野	832,097	
17	群馬	805,252	
18	岡山	801,409	
19	栃木	796,923	
20	岐阜	780,730	
21	福島	742,911	
22	三重	742,598	
23	鹿児島	728,179	
24	熊本	719,154	
25	沖縄	614,708	
26	愛媛	601,402	
27	山口	598,824	
28	滋賀	571,374	
29	長崎	558,230	
30	奈良	544,981	
31	青森	511,526	
32	岩手	492,436	
33	手取川	489,249	
34	大分	470,055	
35	宮崎	469,910	
36	鹿児島	406,985	
37	香川	403,989	
38	高知	398,015	
39	和歌山	394,483	
40	秋田	385,187	
41	山梨	338,853	
42	長崎	315,272	
43	佐賀	312,680	
44	福島	308,210	
45	島根	291,662	
46	鳥取	269,892	
47	全国計	55,830,154	

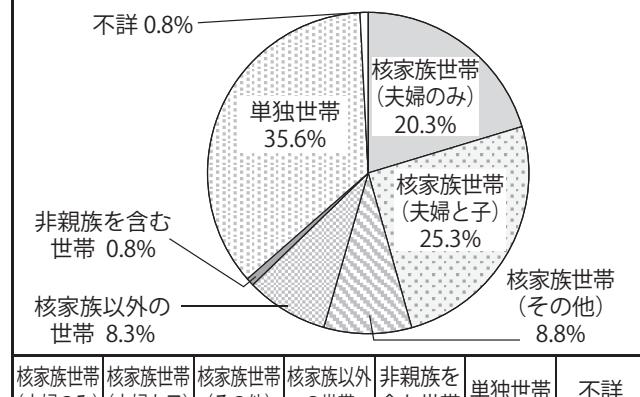
<岡山県の推移>

年	H12	H17	H22	H27	R2
総世帯	692	732	755	773	801
一般世帯	690	724	753	771	800
うち 核家族世帯	396	412	425	431	436
施設等の世帯	1	1	2	2	2

(千世帯)

※平成17年以前においては、不詳世帯の取扱が異なるため、一般世帯と施設等の世帯の合計が総世帯と一致しない。

<一般世帯の家族類型の割合>



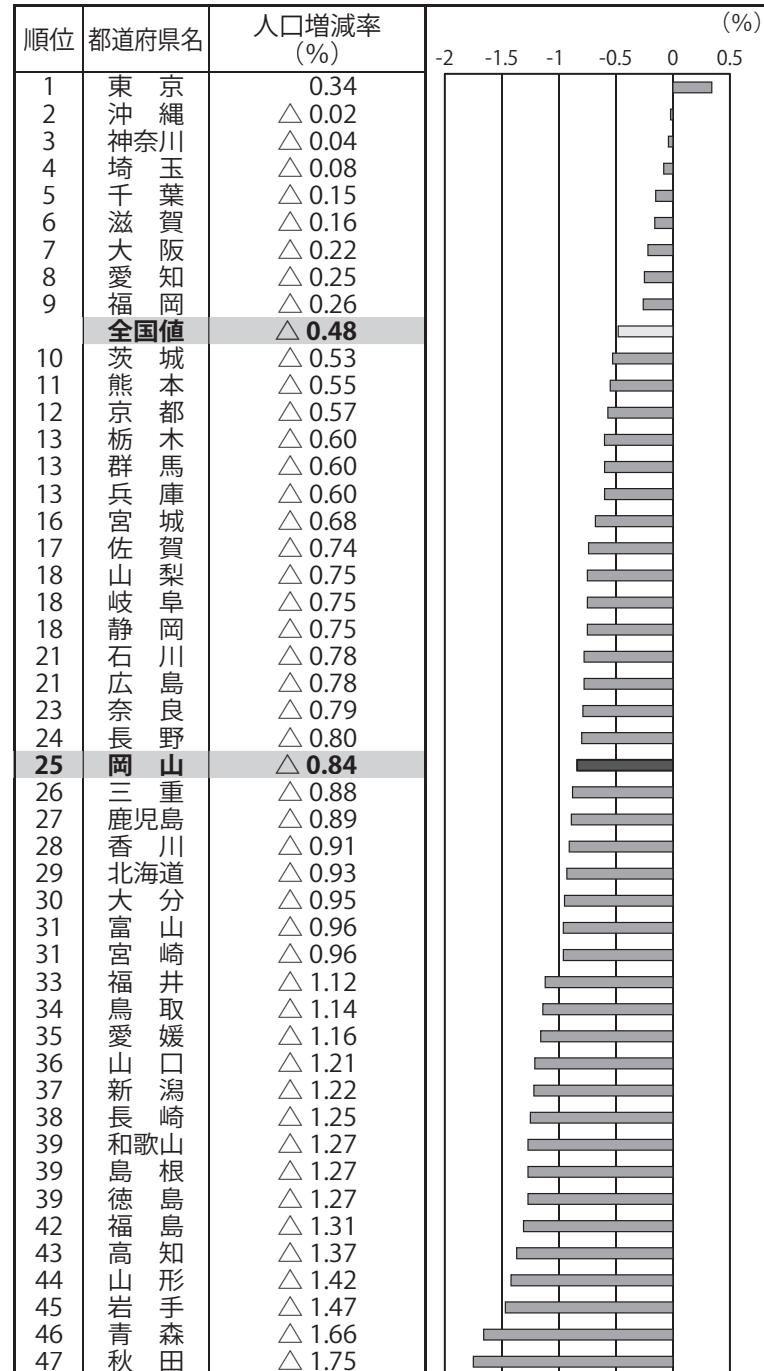
(百世帯)

<資料出所ほか>

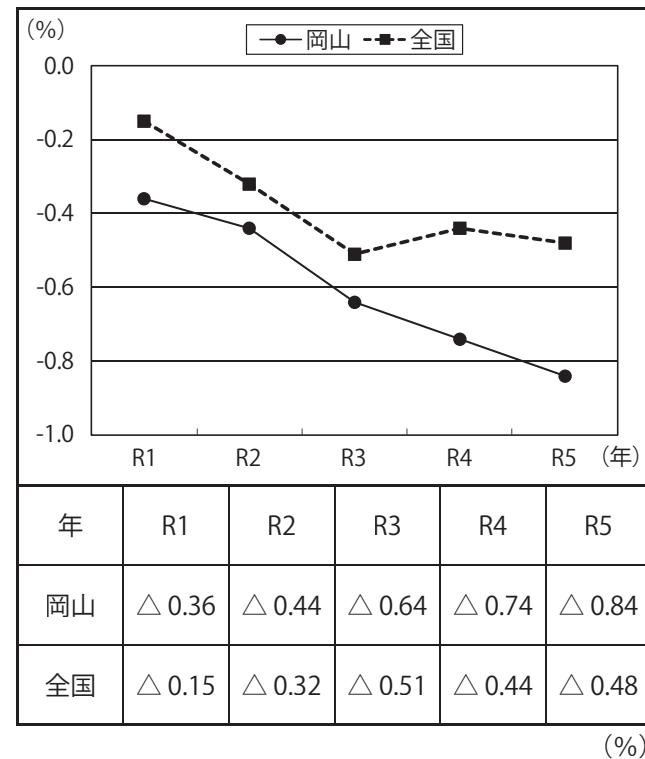
- ☆総世帯数とは、一般世帯数と施設等の世帯数の和（平成22年以降）
- ・調査時点 令和2年10月1日（5年毎）
- ・資料出所 総務省「国勢調査」

B15

B-16 人口増減率



<岡山県の推移>

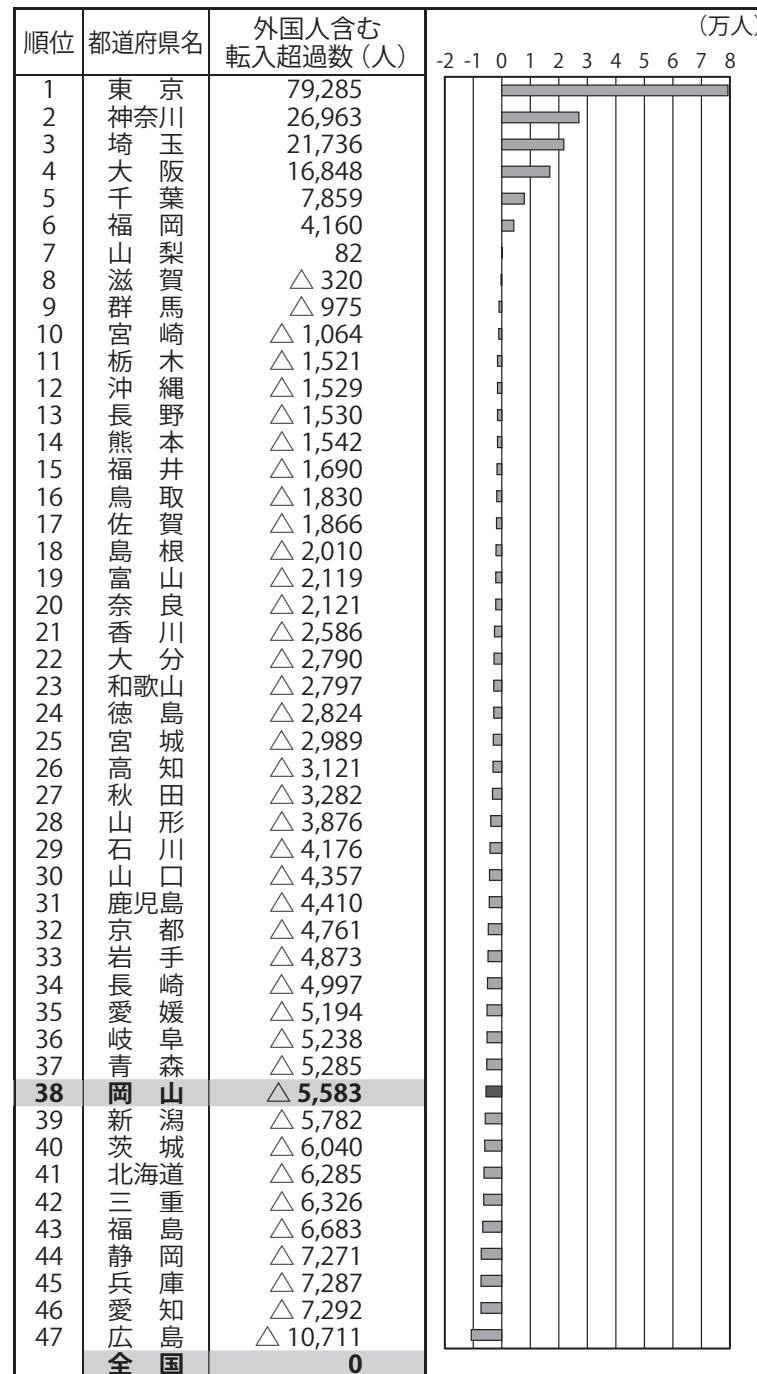


※令和元年及び2年の期首人口は、平成27年及び令和2年国勢調査結果による補完補正人口
(期首人口とは、前年10月1日時点の人口)

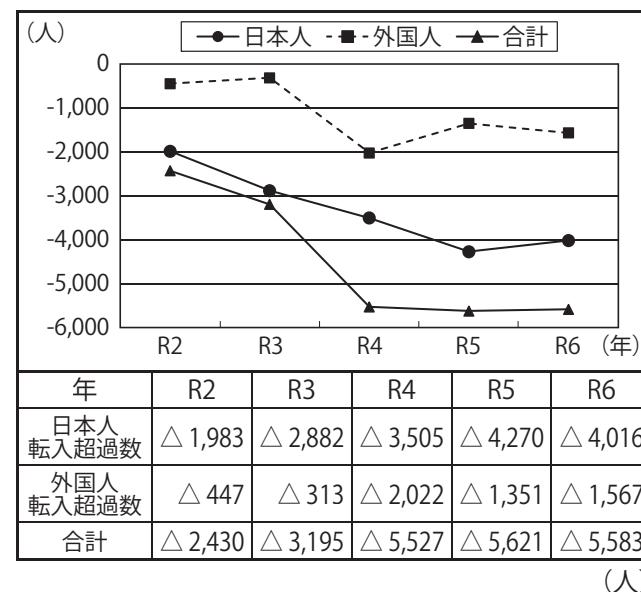
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和4年10月1日～令和5年9月30日
- ・算出方法
$$\frac{(R5.9.30\text{人口}) - (R4.10.1\text{人口})}{R4.10.1\text{人口}} \times 100$$
- ・資料出所 総務省「人口推計」

B-17 都道府県間の人口移動状況



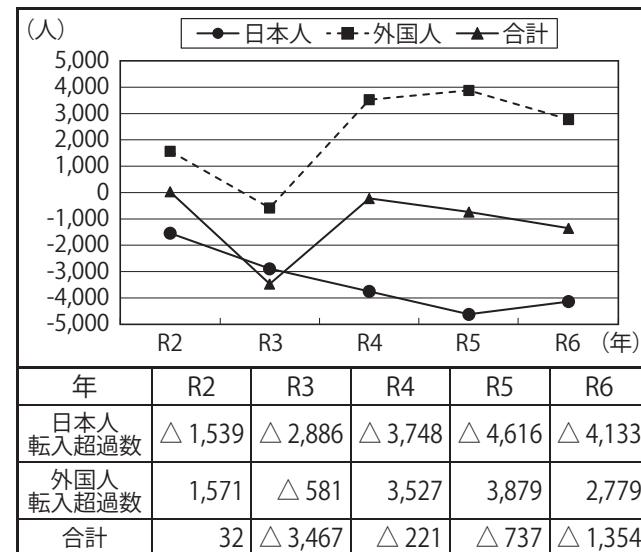
<岡山県の推移>



B17

(人)

(参考) 国外移動を含む人口移動状況



(人)

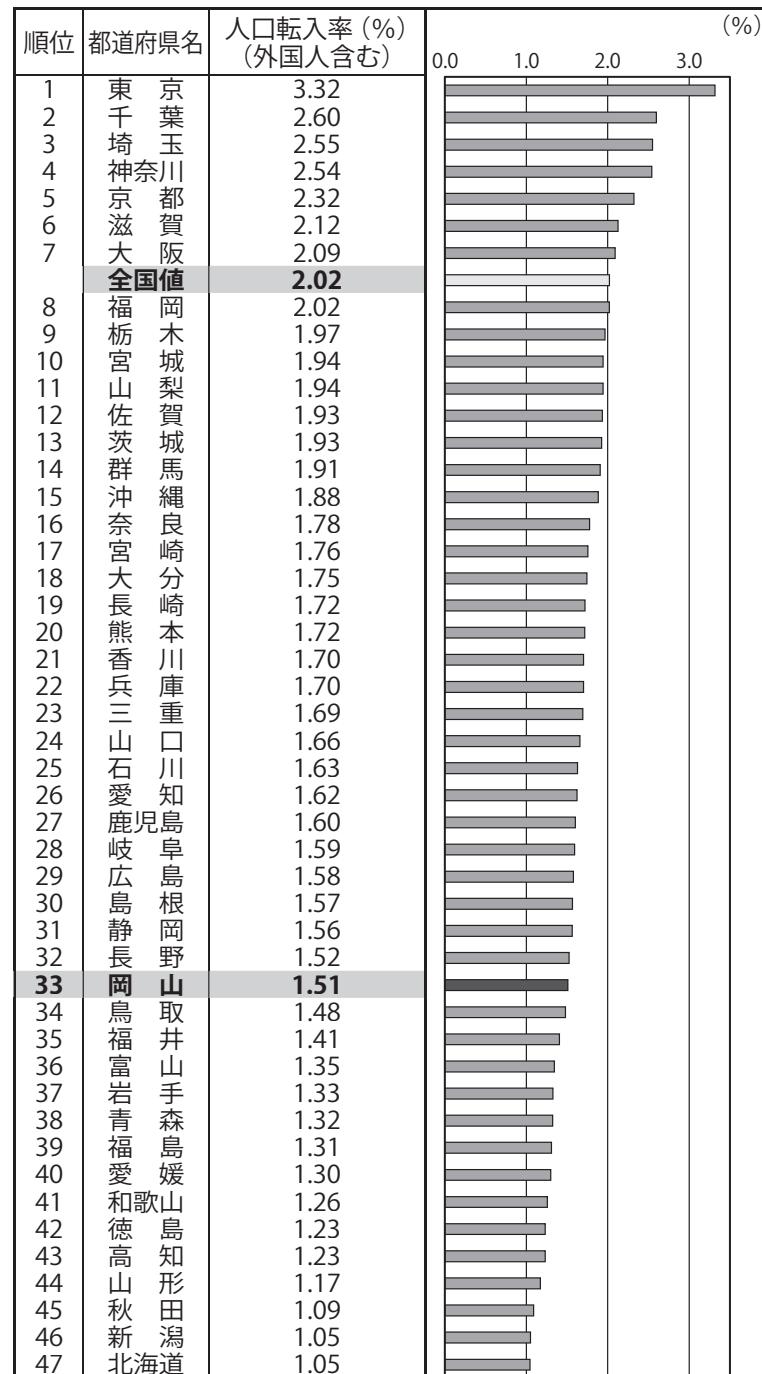
岡山県の順位は32位

※国外移動には、職権による住民票の記載、削除等を含まない。

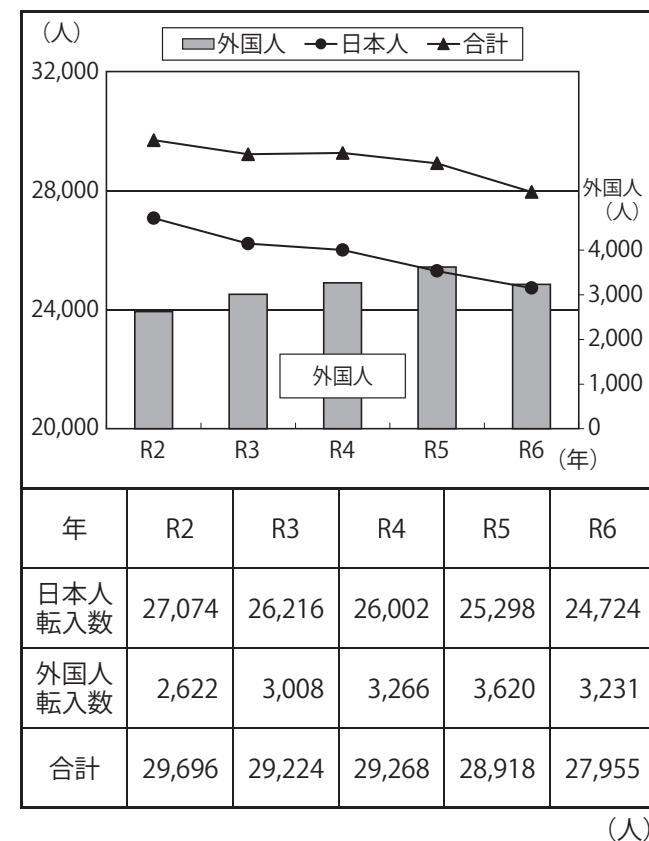
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・資料出所 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

B-18 人口転入率(外国人含む)



<岡山県の推移>

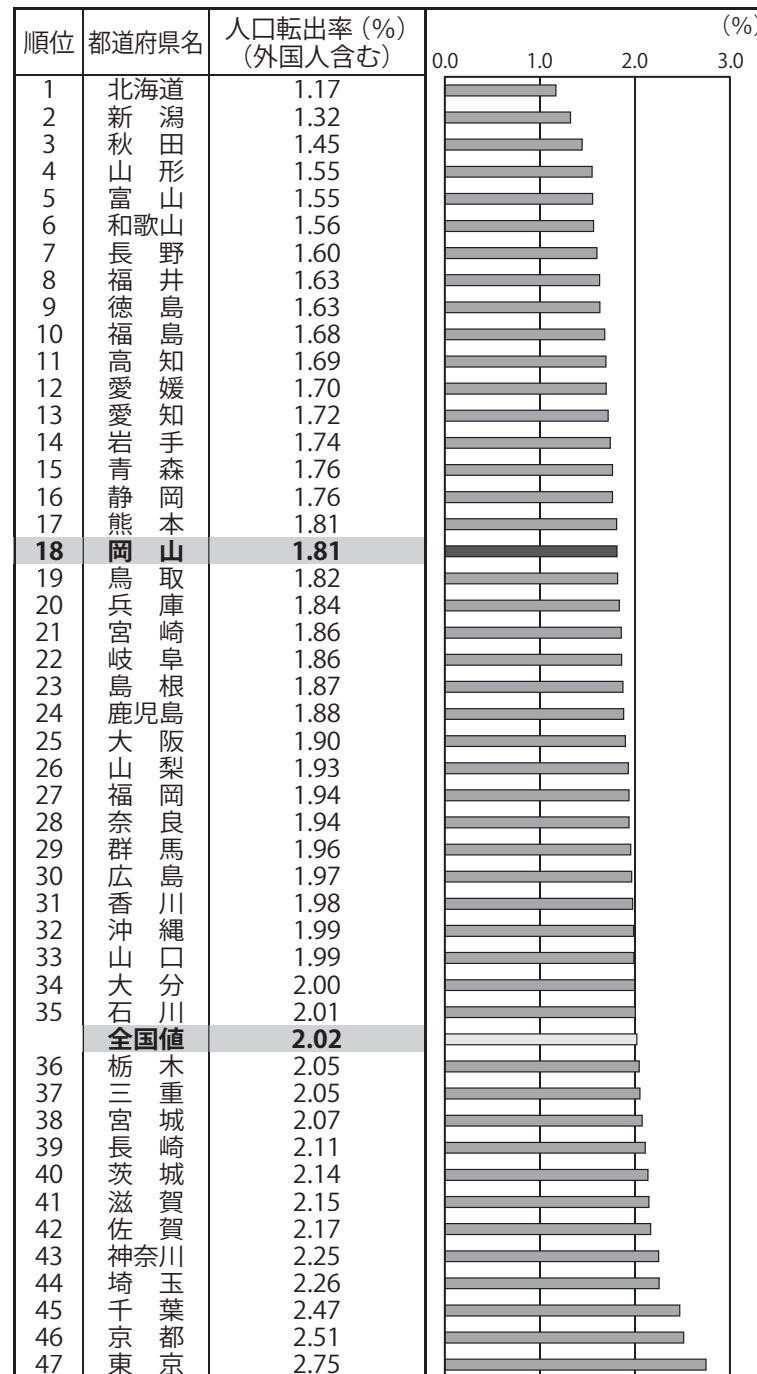


B18

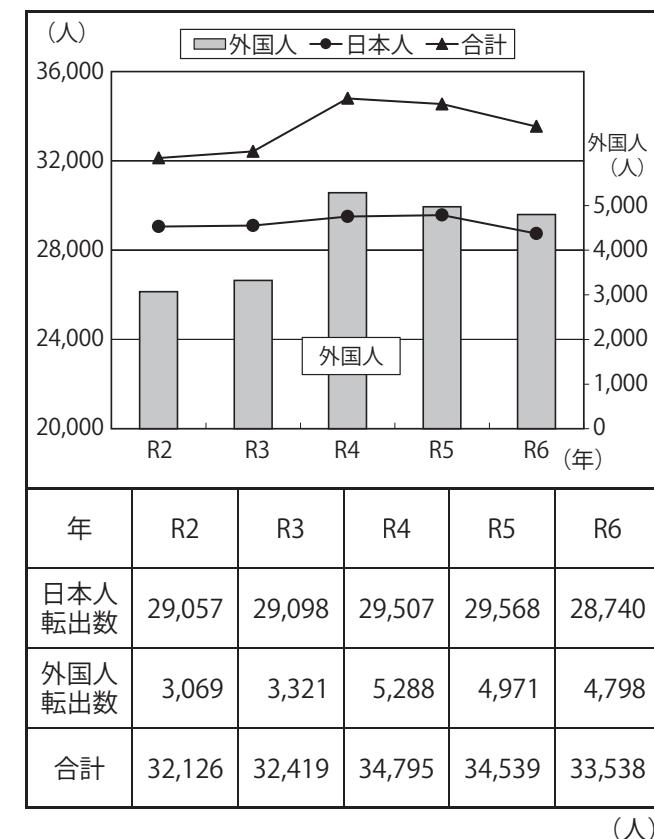
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・算出方法 $\frac{R6.1.1 \sim 12.31 の 転入者数}{R6.1.1 人口} \times 100$
- ・資料出所 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
- ・ここでいう、転入数とは他都道府県からの転入数である。(国外移動を含まない)

* B-19 人口転出率(外国人含む)



<岡山県の推移>

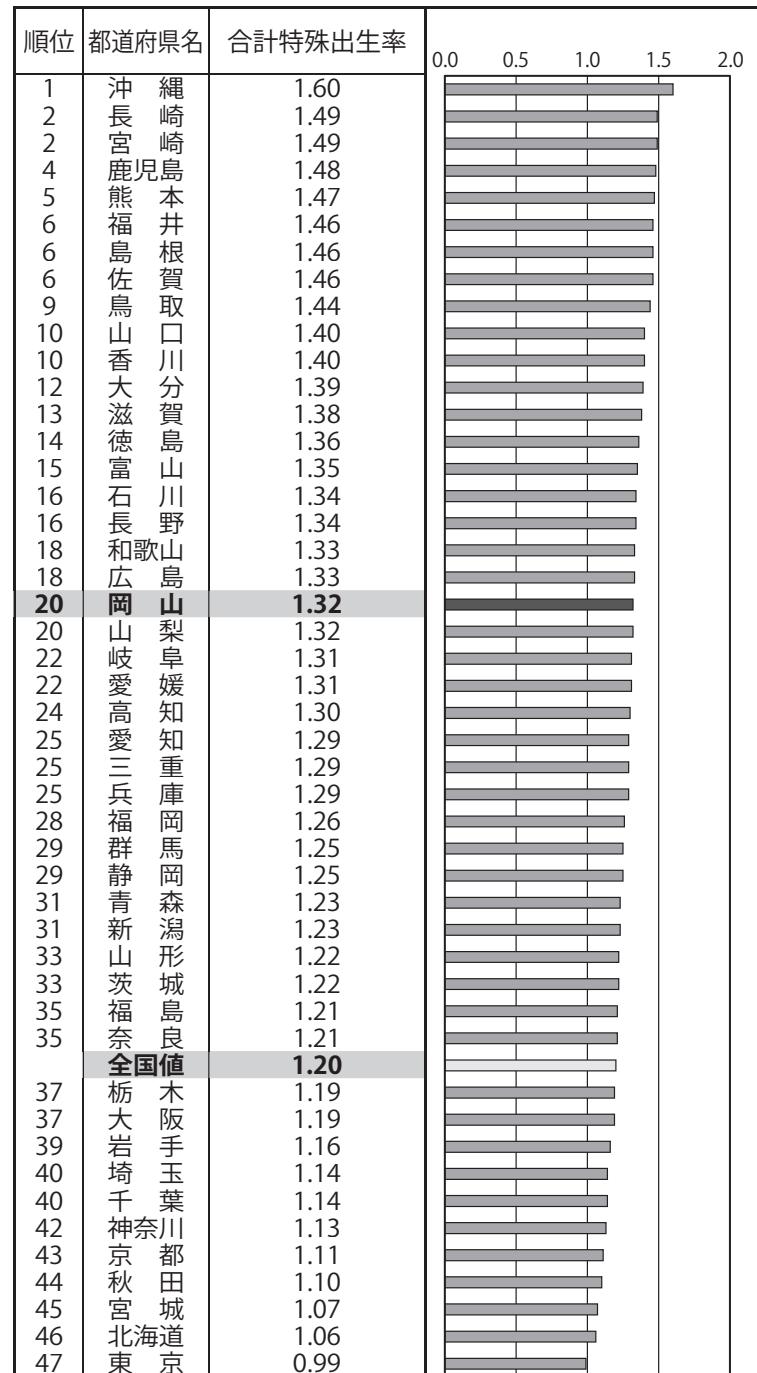


B19

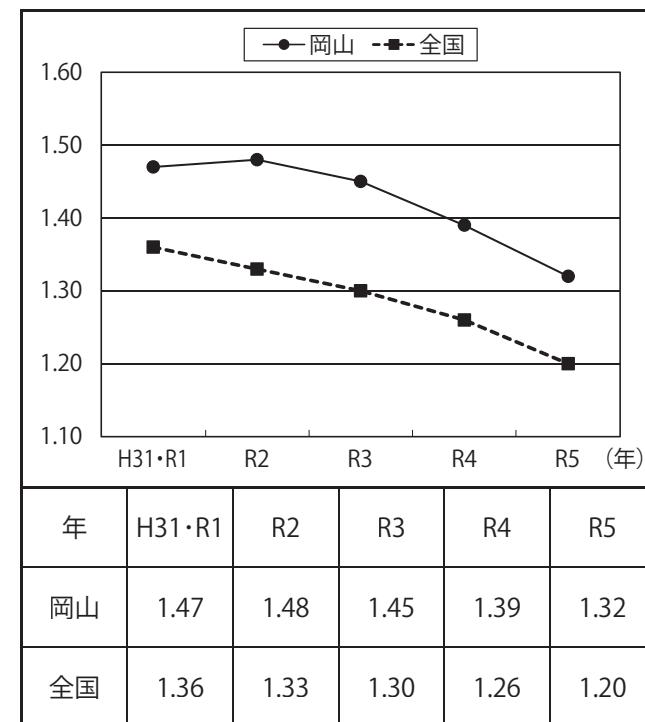
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・算出方法 $\frac{R6.1.1 \sim 12.31 の 転出者数}{R6.1.1 人口} \times 100$
- ・資料出所 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
- ・ここでいう、転出数とは他都道府県への転出数である。
(国外移動を含まない)

B-20 合計特殊出生率



<岡山県の推移>



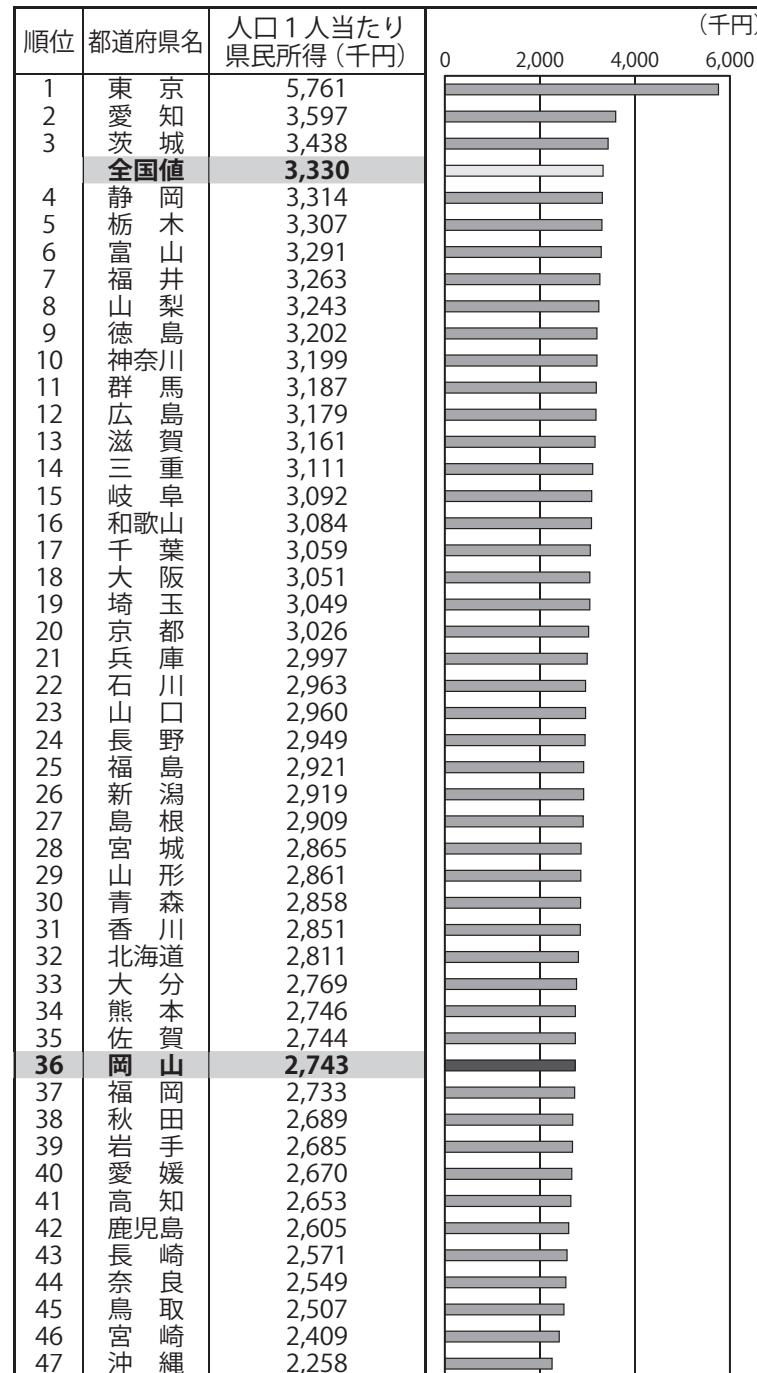
B20

<資料出所ほか>

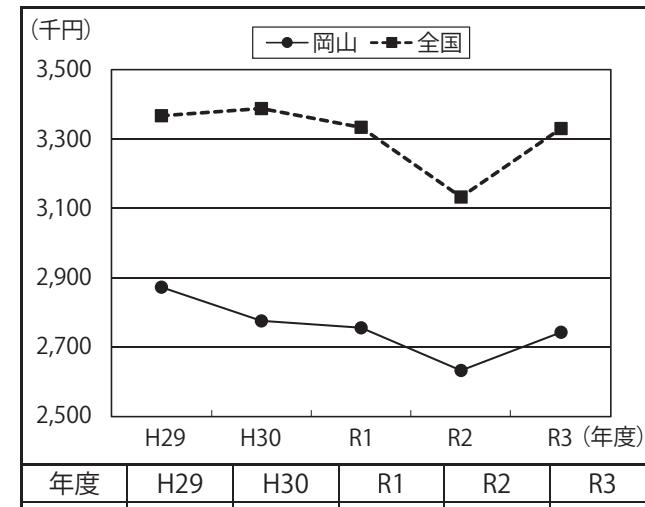
- ☆合計特殊出生率とは、1人の女性が15～49歳の間に生む平均の子どもの数
- ・調査期間 令和5年（1.1～12.31）
- ・資料出所 厚生労働省「人口動態調査」

C 経済・産業

C-21 県民所得(人口1人当たり)

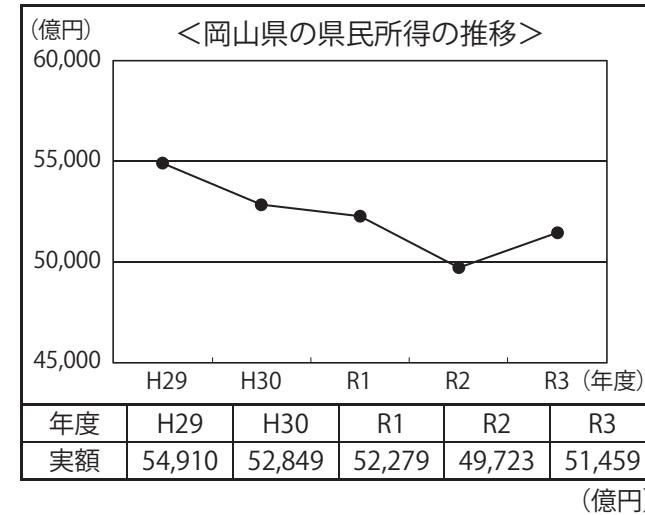


<岡山県の推移>



C21

<岡山県の県民所得の推移>

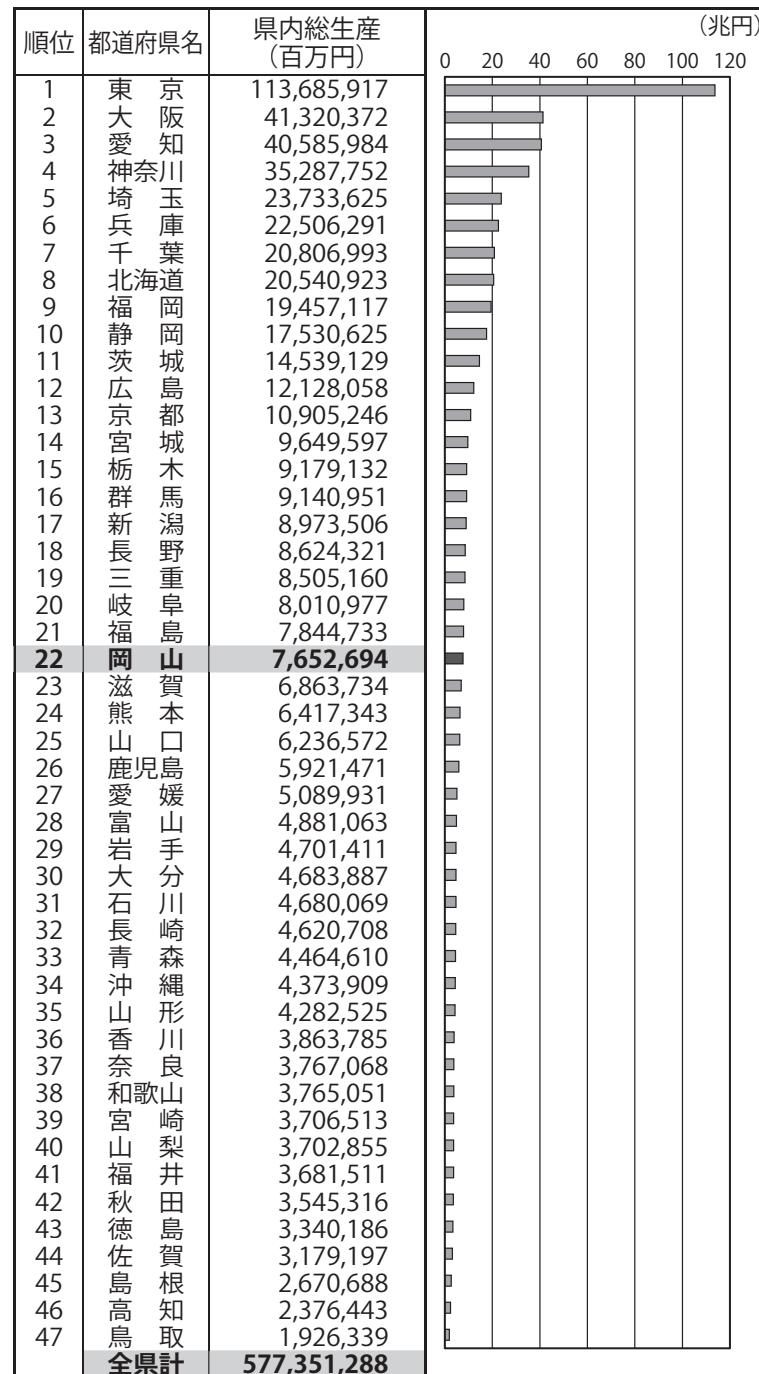


(億円)

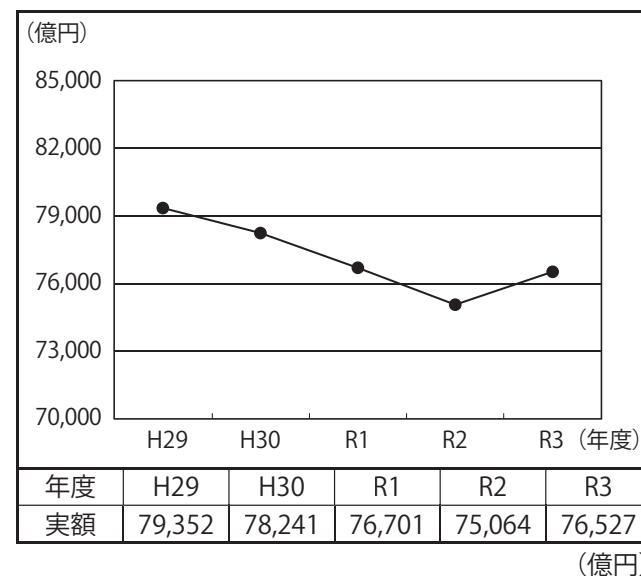
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和3年度
- 資料出所 内閣府 経済社会総合研究所「県民経済計算(平成23年度一令和3年度)」
- 注意 全国値については、全県の単純合計などの数値であり、国民経済計算の値とは一致しない。

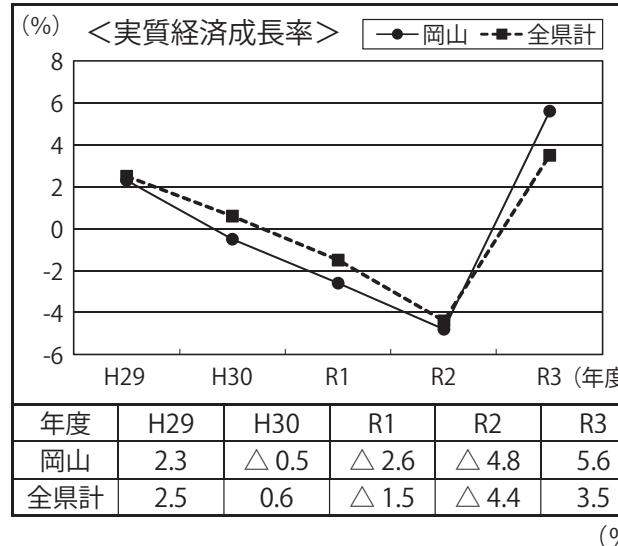
C-22 県内総生産(名目)



<岡山県の推移>



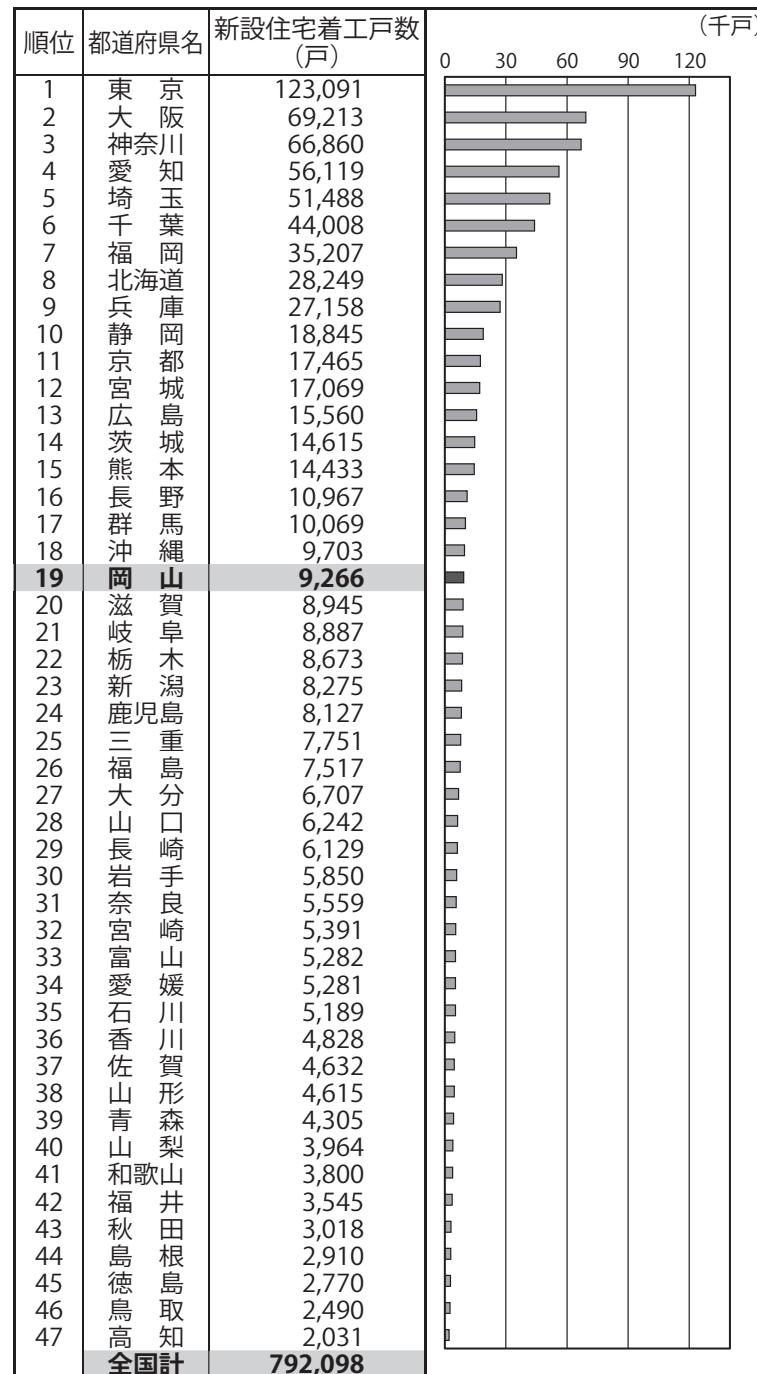
C22



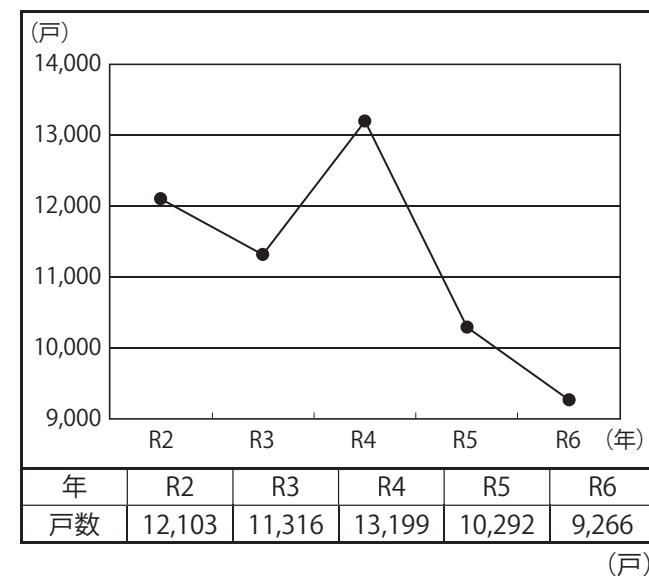
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和3年度
- ・資料出所 内閣府 経済社会総合研究所「県民経済計算(平成23年度一令和3年度)」
- ・注意 全国値については、全県の単純合計などの数値であり、国民経済計算の値とは一致しない。

C-23 新設住宅着工戸数

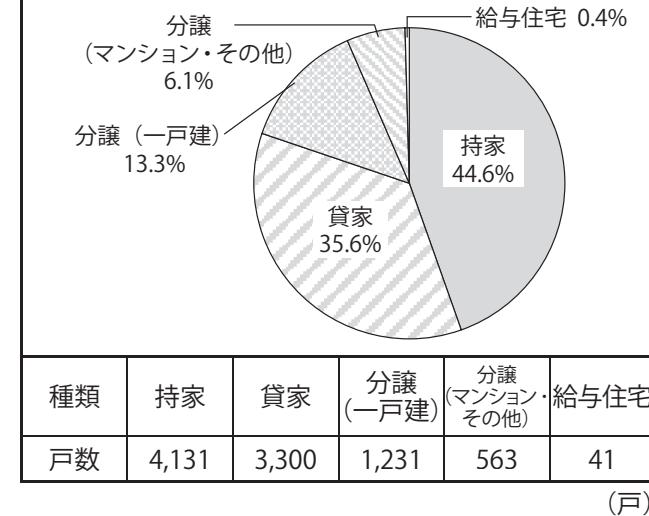


<岡山県の推移>



C23

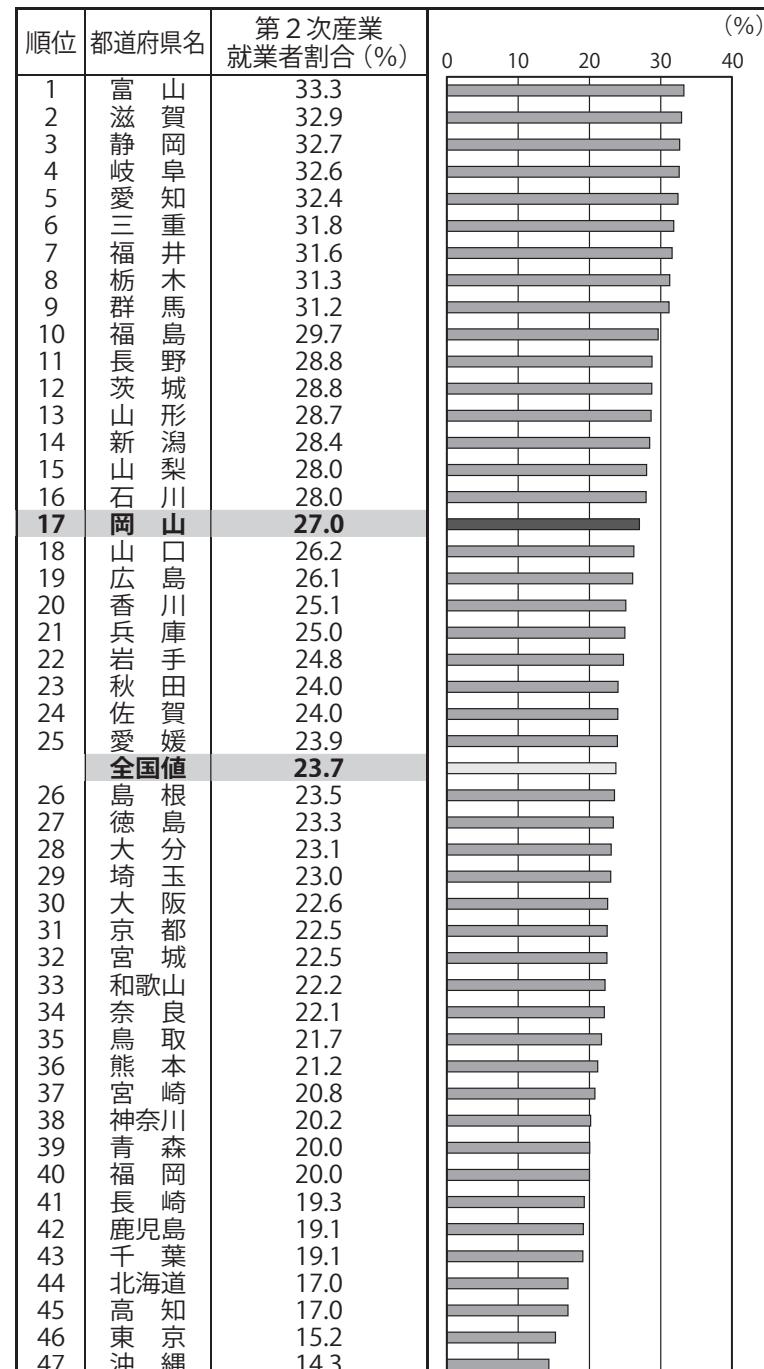
<岡山県の新設着工種類別割合>



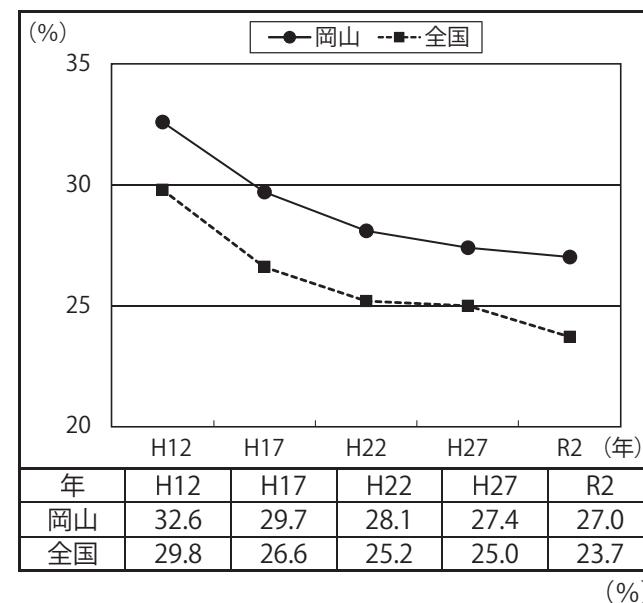
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和6年（1.1～12.31）
- 資料出所 国土交通省「建築着工統計調査」

C-24 第2次産業就業者割合

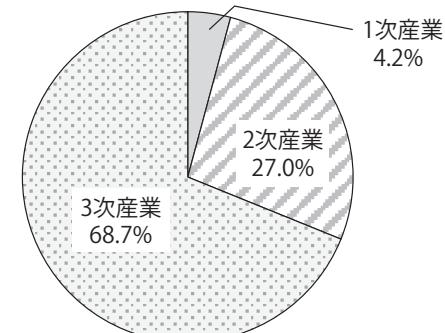


<岡山県の推移>



C24

<岡山県の産業別就業者割合>



<資料出所ほか>

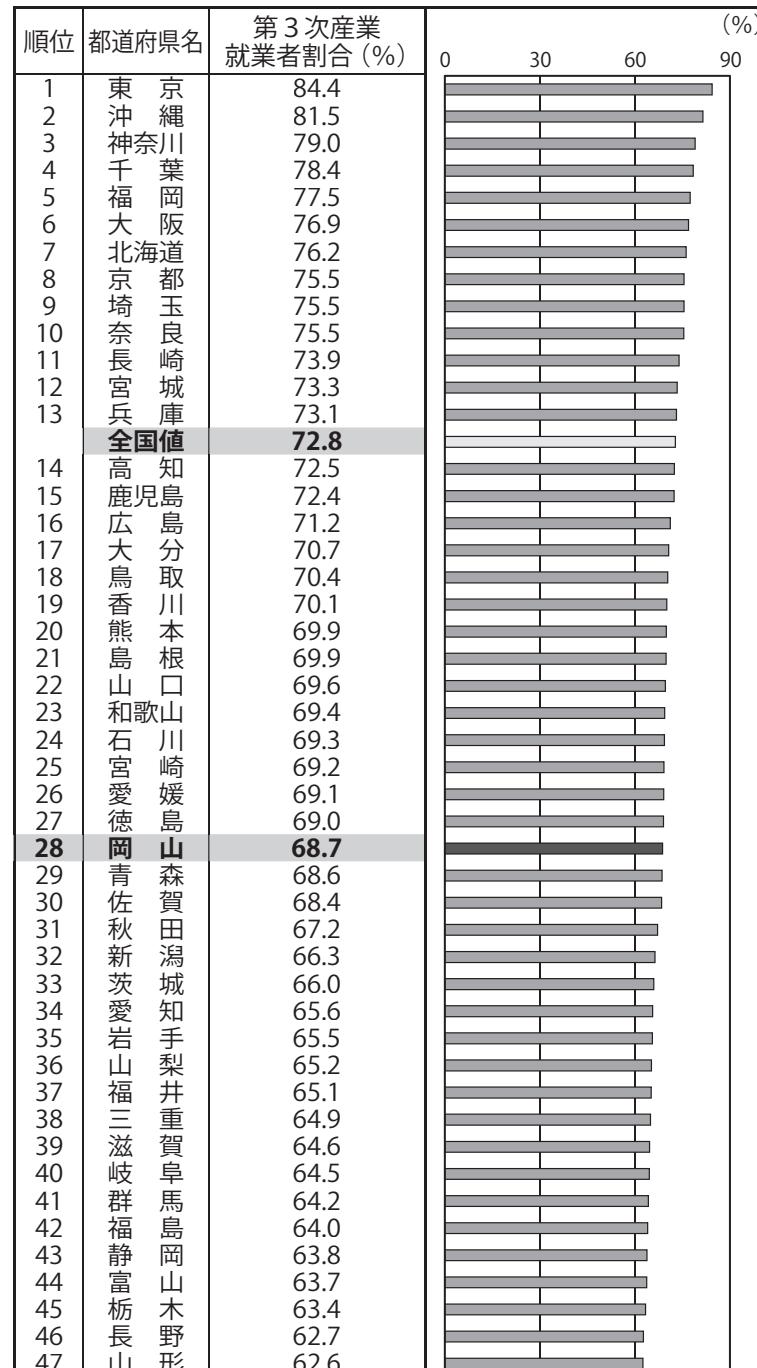
☆第2次産業とは、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業及び製造業のこと

- ・調査時点 令和2年10月1日（5年毎）
- ・算出方法

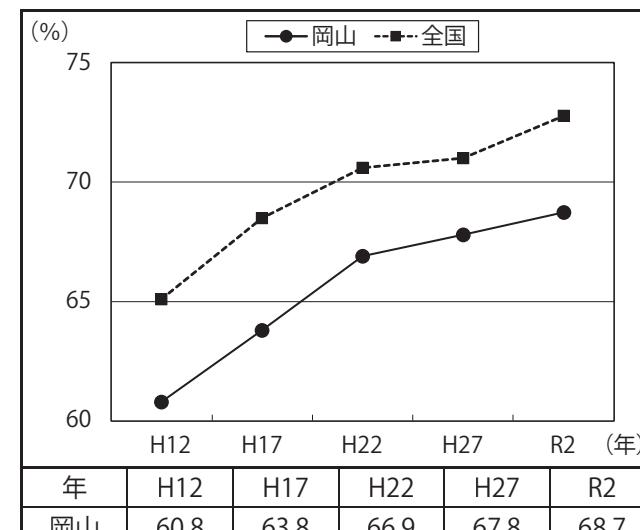
$$\frac{\text{第2次産業就業者数}}{\text{15歳以上就業者数} \times 100}$$

- ・資料出所 総務省「国勢調査」

C-25 第3次産業就業者割合



<岡山県の推移>



C25

<岡山県の産業別就業者数>

	総数	第1次	第2次	第3次	分類不能
男女計	867,759	35,699	227,154	577,858	27,048
男	468,854	22,437	166,523	265,605	14,289
女	398,905	13,262	60,631	312,253	12,759

(人)

<資料出所ほか>

☆第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品販賣業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）及び公務（他に分類されるものを除く）のこと

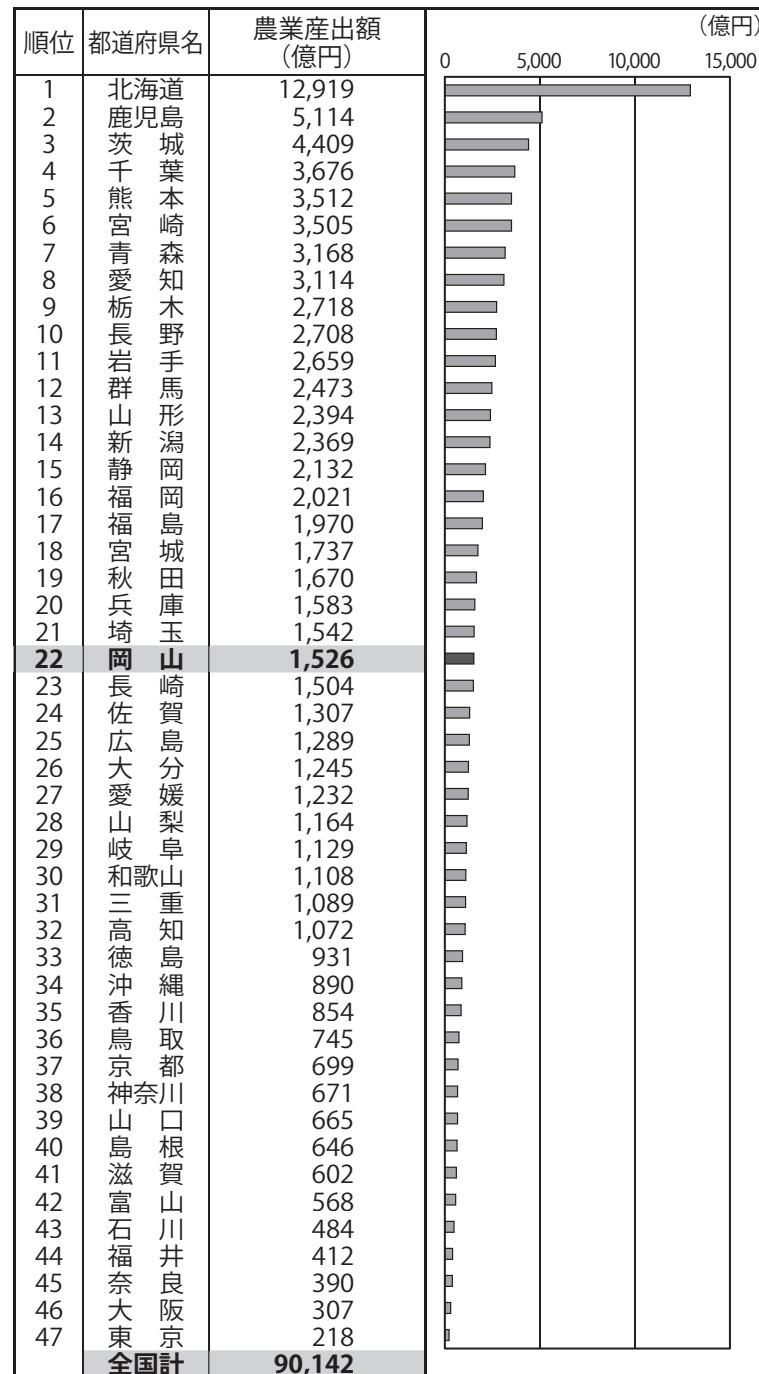
- ・調査時点 令和2年10月1日（5年毎）

- ・算出方法

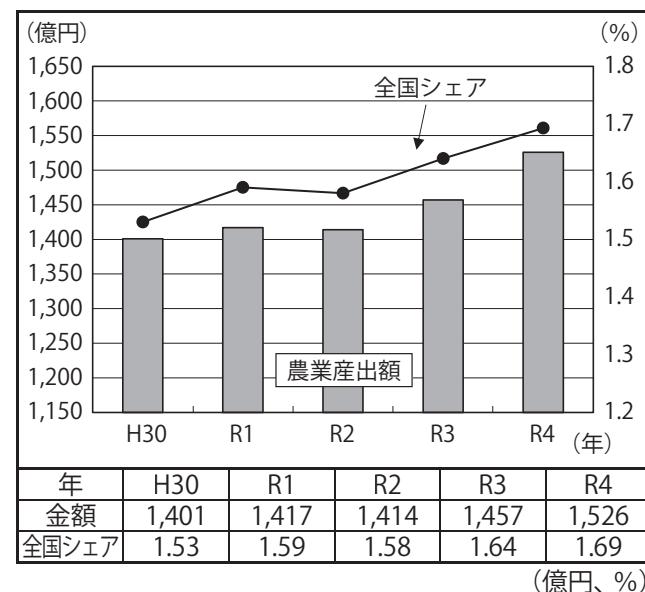
$$\frac{\text{第3次産業就業者数}}{15歳以上就業者数（「分類不能の産業」を除く。）} \times 100$$

- ・資料出所 総務省「国勢調査」

C-26 農業産出額

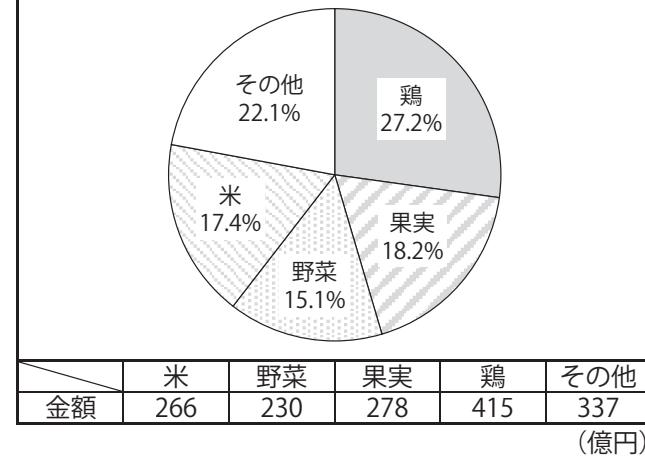


<岡山県の推移>



C26

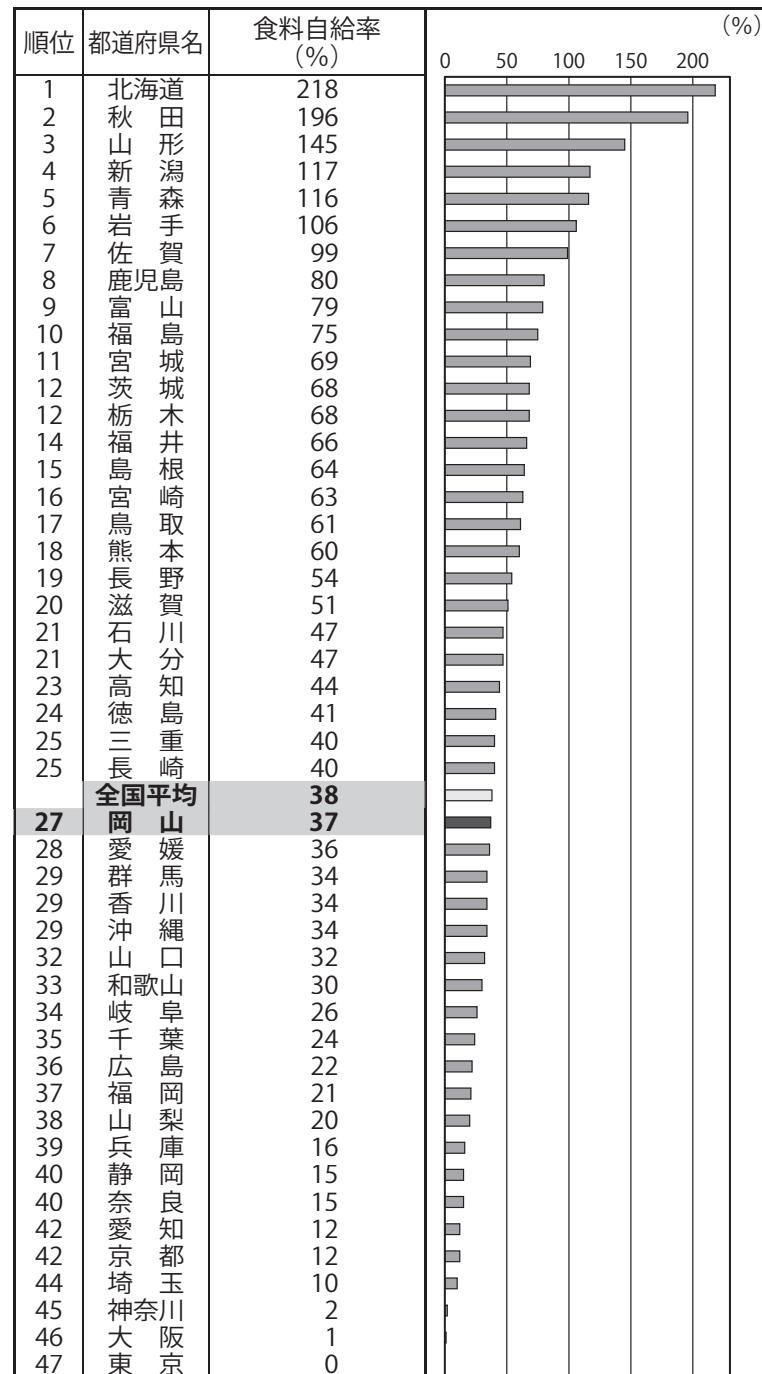
<岡山県の農業産出額の内訳>



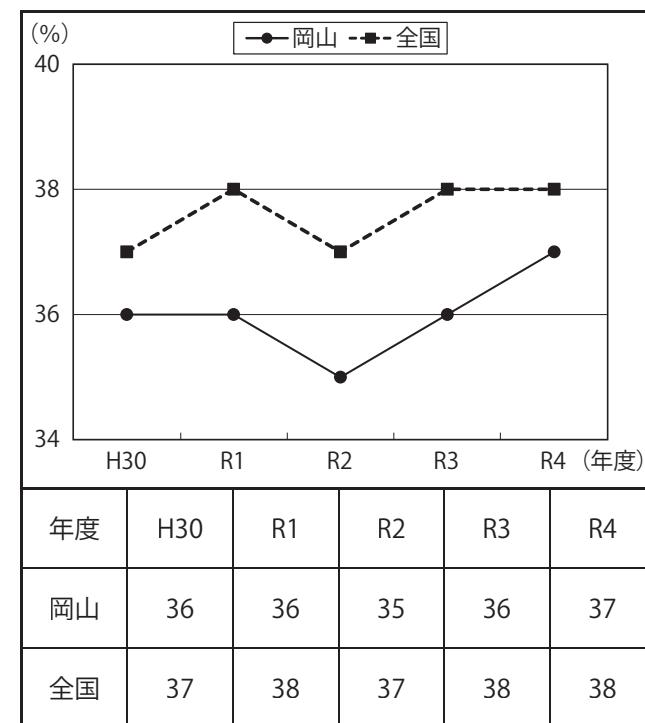
<資料出所ほか>

- ☆農業産出額とは、品目ごとの生産数量に農家庭先価格を乗じて求めたもの
- ・調査期間 令和4年（1.1～12.31）
- ・資料出所 農林水産省「生産農業所得統計」

C-27 食料自給率(カロリーベース)



<岡山県の推移>



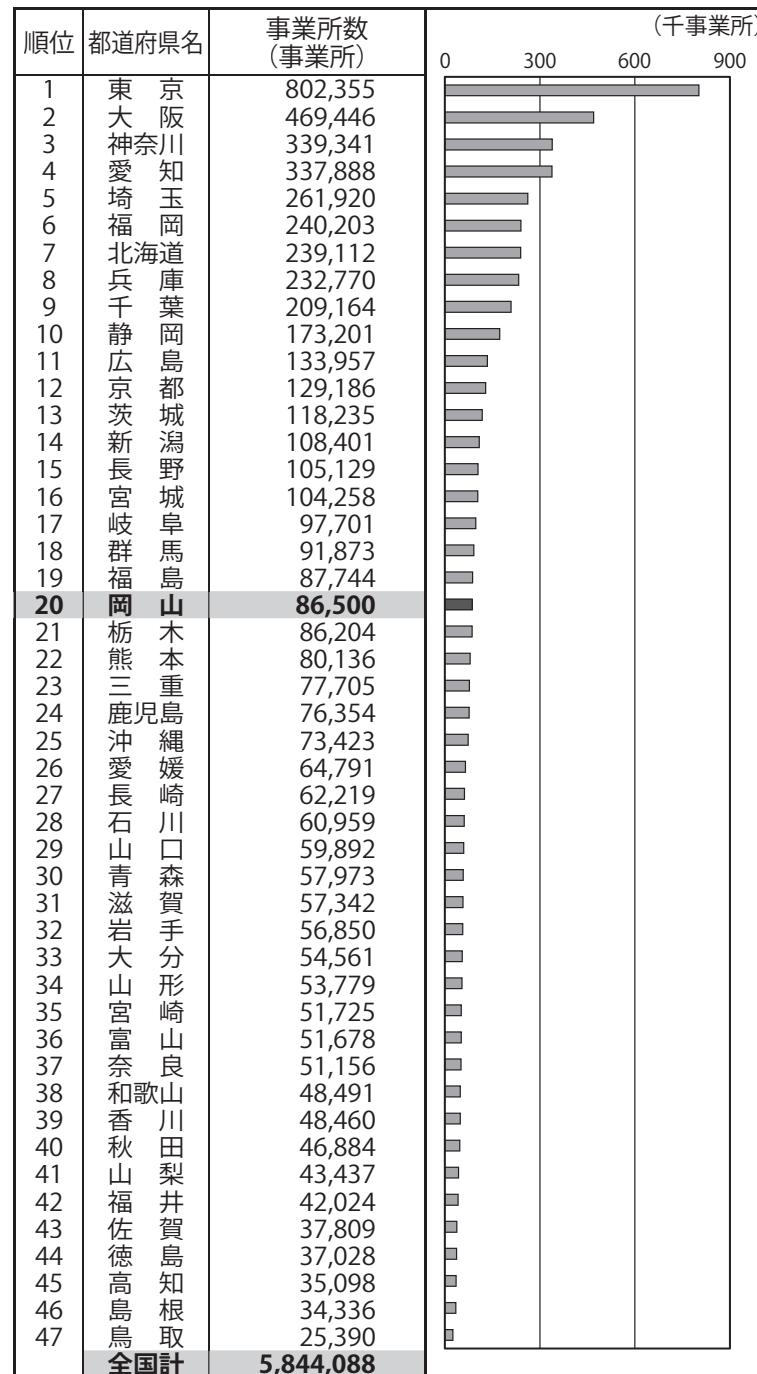
C27

※令和3年度以前は確定値、令和4年度は概算値。(%)

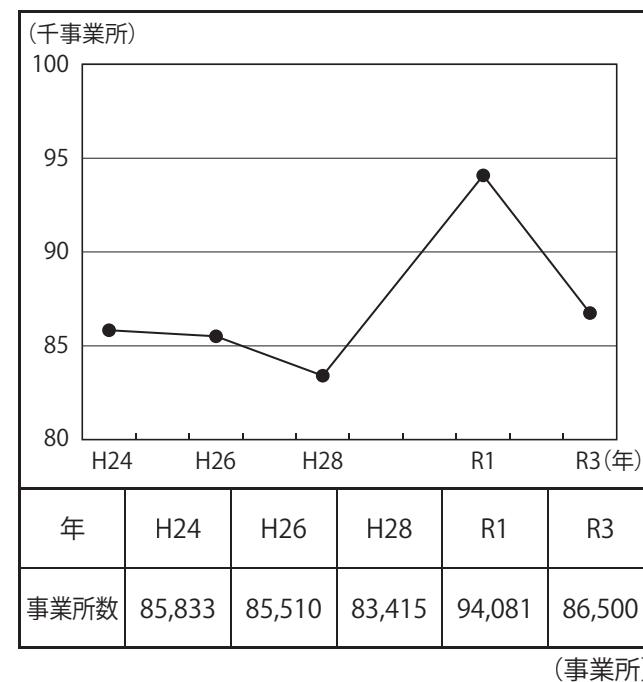
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和4年度
- 資料出所 農林水産省「都道府県別食料自給率」

C-28 事業所数



<岡山県の推移>



C28

※平成24年は、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」(平成24年2月1日時点)による。

※平成26年は、総務省「平成26年経済センサス-基礎調査」(平成26年7月1日時点)による。

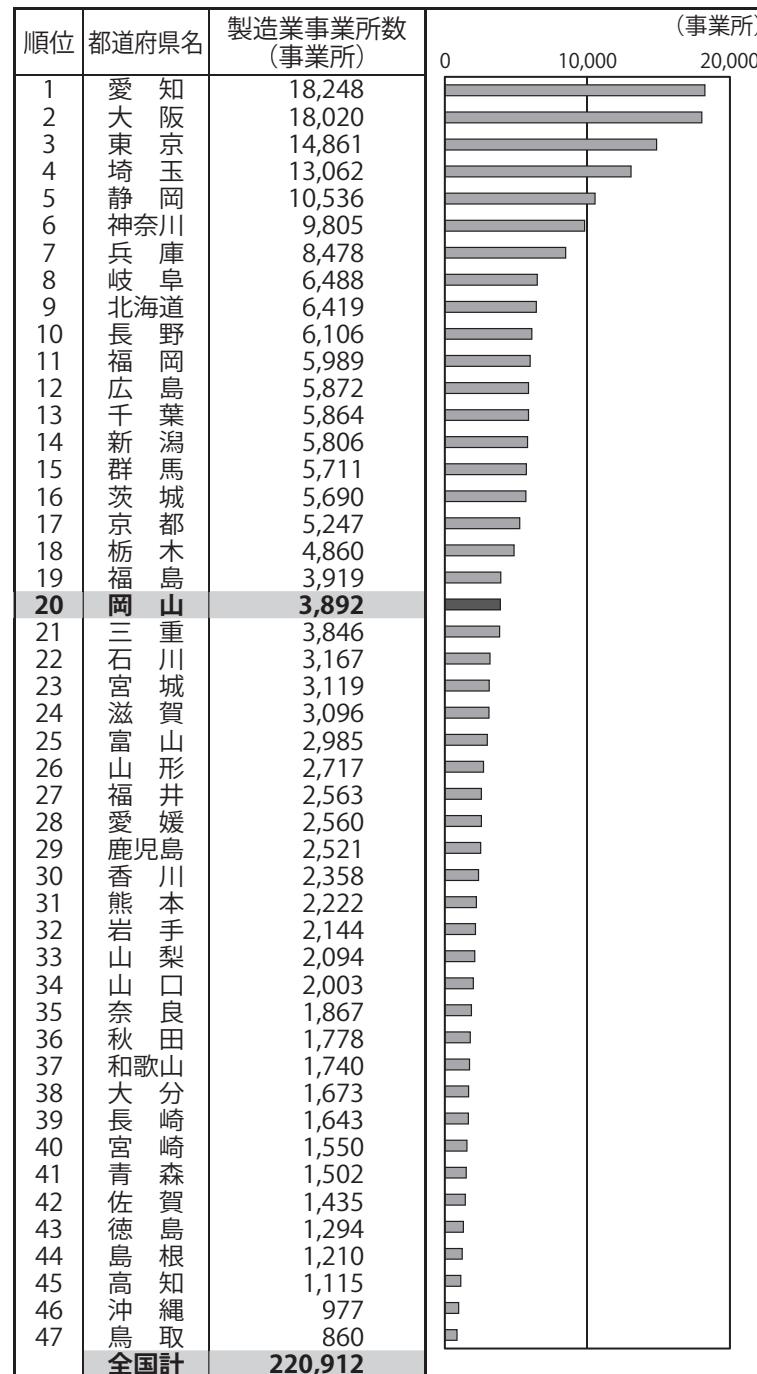
※平成28年は、総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」(平成28年6月1日時点)による。

※令和元年は、総務省「令和元年経済センサス-基礎調査」(令和元年6月1日時点)による。

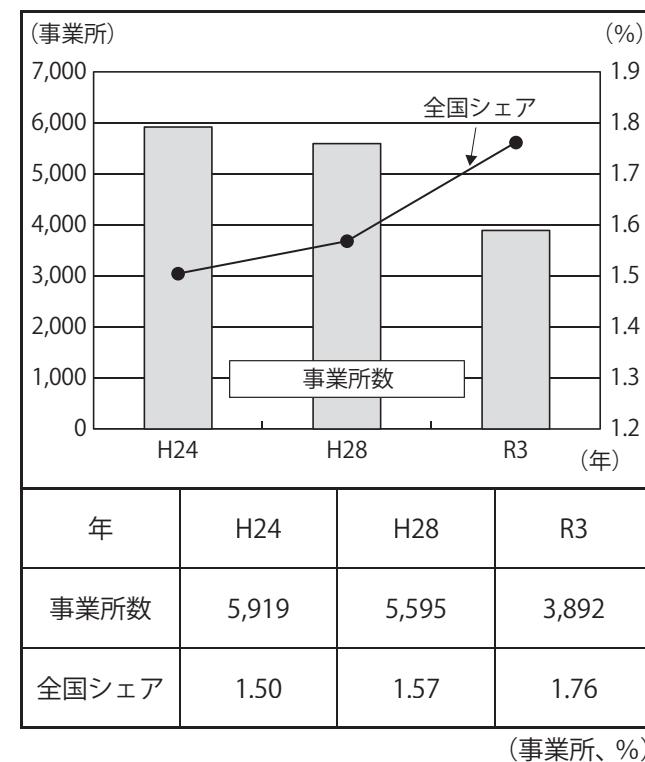
<資料出所ほか>

- 調査対象 全ての事業所
ただし、個人経営の農林漁業の事業所、国及び地方公共団体の事業所等を除く。
- 調査時点 令和3年6月1日
- 資料出所 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

C-29 製造業事業所数



<岡山県の推移>



C29

※平成24年は、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」による。

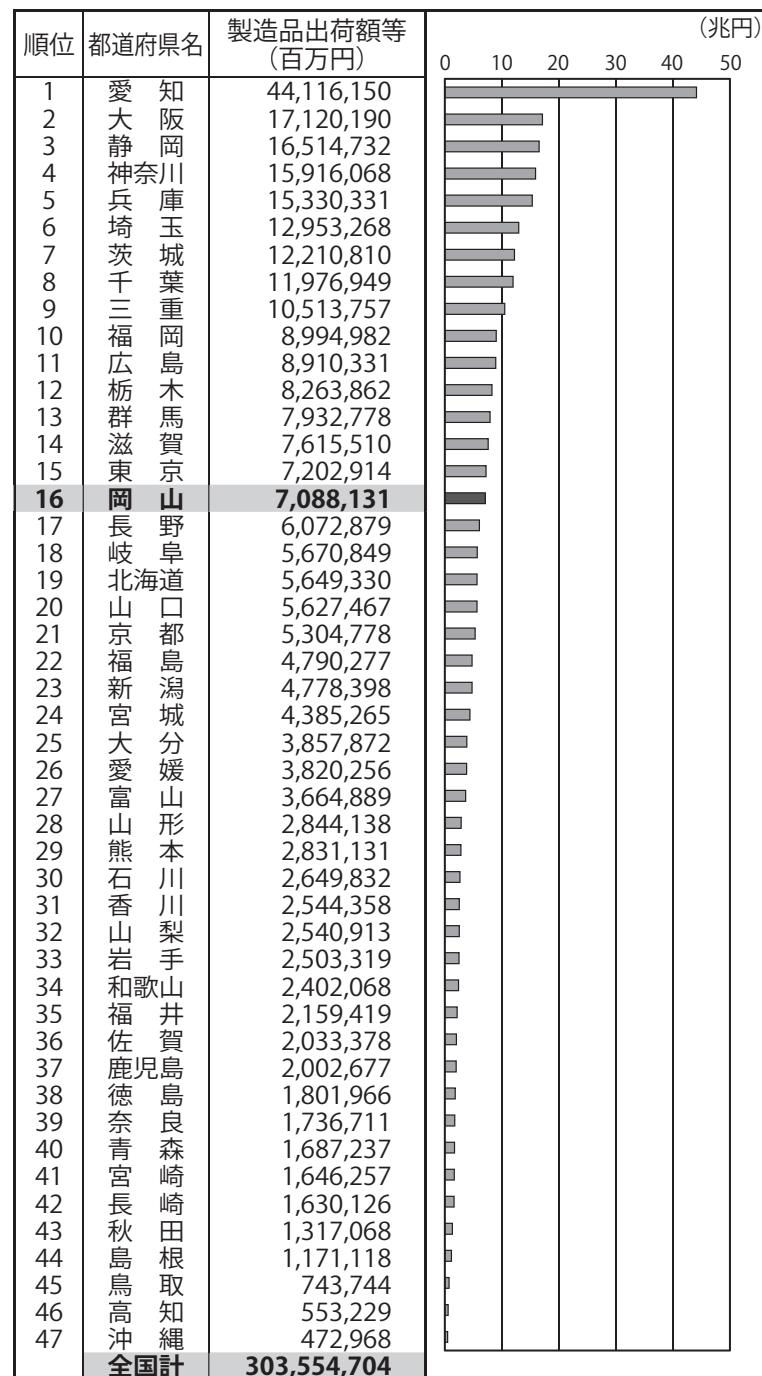
※平成28年は、総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」による。

※製造事業所数は、各統計の6月1日現在の数値、製造品出荷額等及び付加価値額は、各統計の前年1年間(1.1～12.31)の数値であるため、上記表における「年」がそれぞれ異なる。

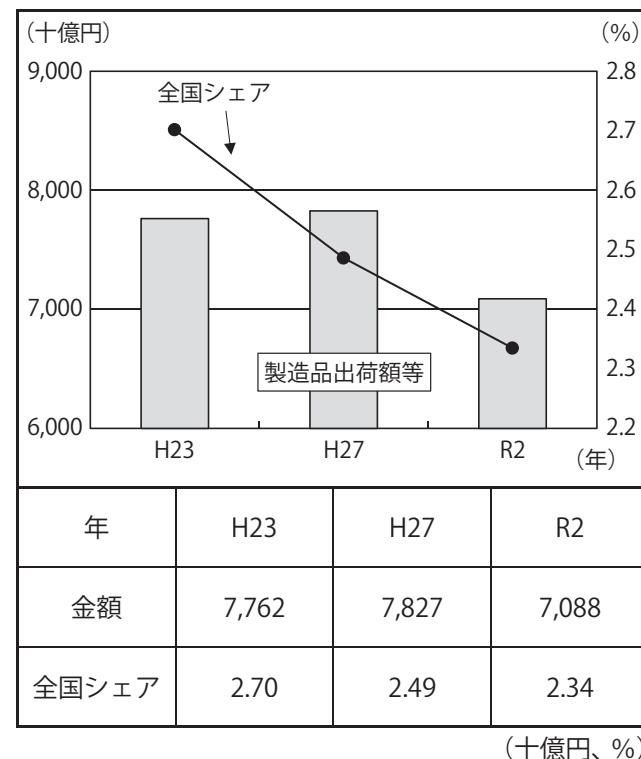
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和3年6月1日
- ・資料出所 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

C-30 製造品出荷額等



<岡山県の推移>



C30

※平成 23 年は、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス - 活動調査」による。

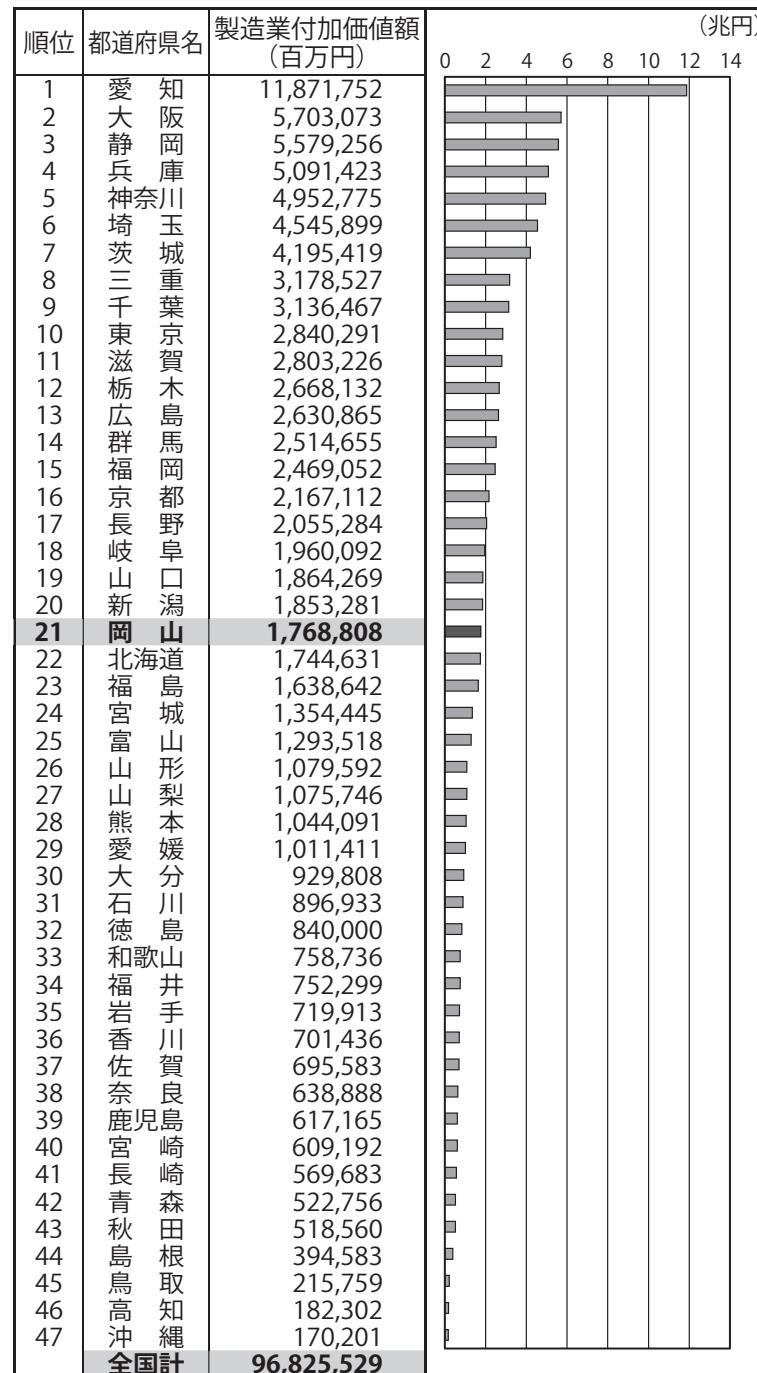
※平成 27 年は、総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス - 活動調査」による。

※製造事業所数は、各統計の 6 月 1 日現在の数値、製造品出荷額等及び付加価値額は、各統計の前年 1 年間(1.1 ~ 12.31) の数値であるため、上記表における「年」がそれぞれ異なる。

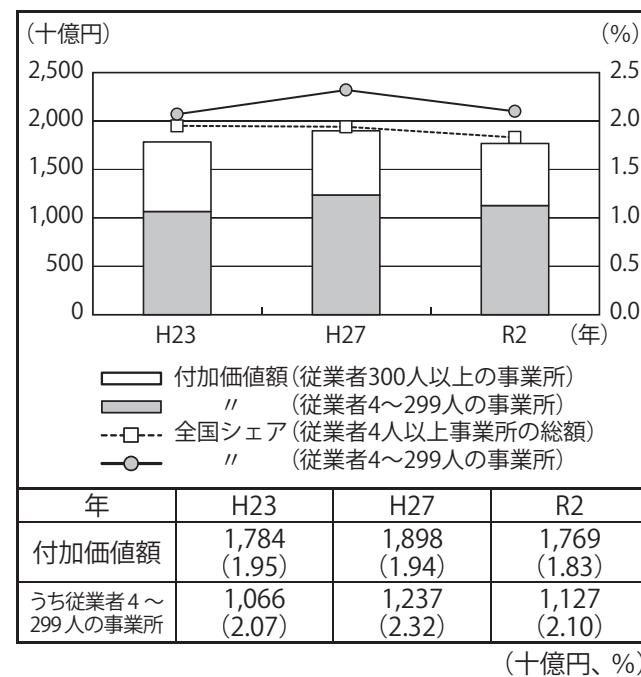
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和 2 年 (1.1 ~ 12.31)
- ・資料出所 総務省・経済産業省「令和 3 年経済センサス - 活動調査」

C-31 製造業付加価値額



<岡山県の推移>



C31

※付加価値額について、従業者 29 人以下の事業所は粗付加価値額となる。

※平成 23 年は、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス-活動調査」による。

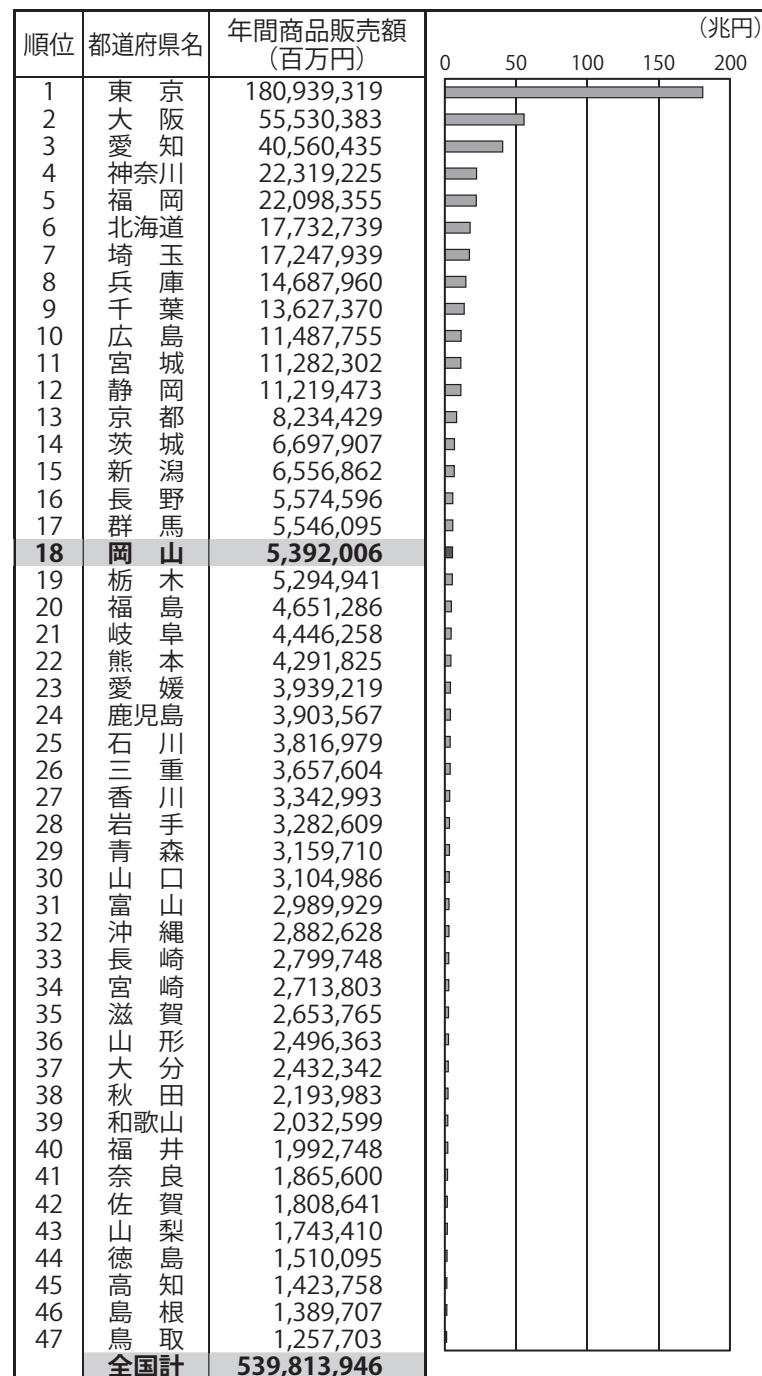
※平成 27 年は、総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス-活動調査」による。

※製造事業所数は、各統計の 6 月 1 日現在の数値、製品出荷額等及び付加価値額は、各統計の前年 1 年間(1.1～12.31)の数値であるため、上記表における「年」がそれぞれ異なる。

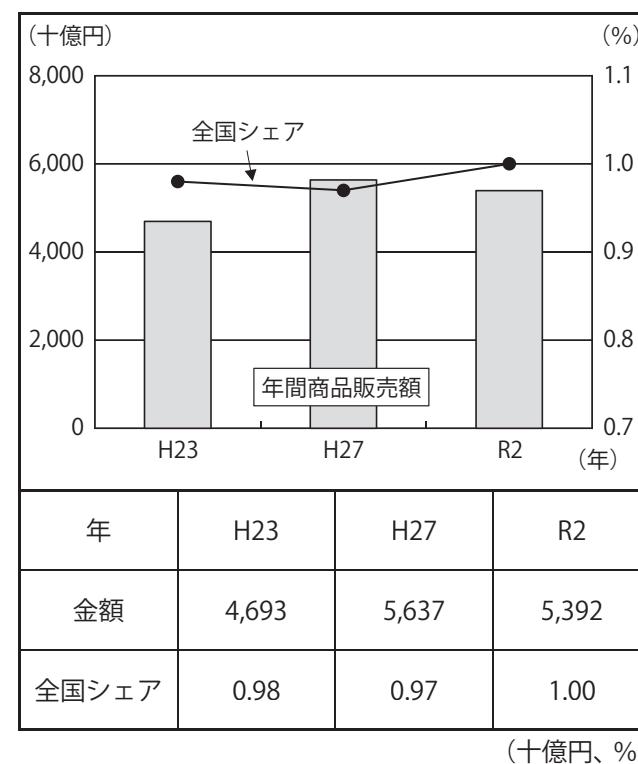
<資料出所ほか>

- ・調査対象 従業者 4 人以上の事業所
- ・調査期間 令和 2 年 (1.1～12.31)
- ・資料出所 総務省・経済産業省「令和 3 年経済センサス-活動調査」

C-32 年間商品販売額(卸売・小売業)



<岡山県の推移>



C32

※平成23年は、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」による。

※平成27年は、総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」による。

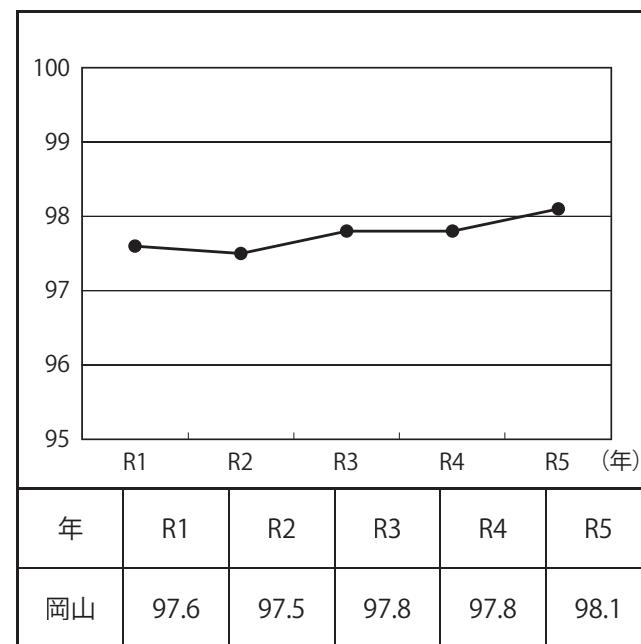
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和2年(1.1~12.31)
- ・資料出所 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

C-33 消費者物価地域差指数（総合）

順位	都道府県名	消費者物価 地域差指数	94 96 98 100 102 104 106
1	東京	104.5	
2	神奈川	103.1	
3	北海道	101.7	
4	千葉	101.5	
5	山形	101.2	
6	京都	100.8	
7	埼玉	100.4	
8	島根	100.1	
9	高知	100.0	
	全国	100.0	
10	宮城	99.9	
11	岩手	99.7	
11	山口	99.7	
13	沖縄	99.6	
14	石川	99.4	
15	福島	99.3	
15	滋賀	99.3	
15	大阪	99.3	
18	福井	99.1	
18	三重	99.1	
18	愛知	99.1	
21	兵庫	98.9	
21	京都	98.9	
23	神奈	98.8	
23	富士	98.8	
23	鳥取	98.8	
23	広島	98.8	
23	徳島	98.8	
23	長崎	98.8	
28	青森	98.6	
28	和歌	98.6	
30	静岡	98.5	
30	愛媛	98.5	
32	愛媛	98.4	
33	新潟	98.2	
34	岡山	98.1	
35	茨城	98.0	
36	長野	97.9	
37	山梨	97.8	
37	香川	97.8	
39	栃木	97.6	
40	佐賀	97.5	
41	岐阜	97.2	
42	奈良	97.1	
42	福岡	97.1	
44	大分	97.0	
45	群馬	96.4	
46	宮崎	96.1	
47	鹿児島	95.9	

<岡山県の推移>



C33

<項目別にみる岡山県の消費者物価指数>

食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物
100.6	84.1	106.0	98.4	101.3
保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
100.2	97.6	89.6	94.7	99.0

<資料出所ほか>

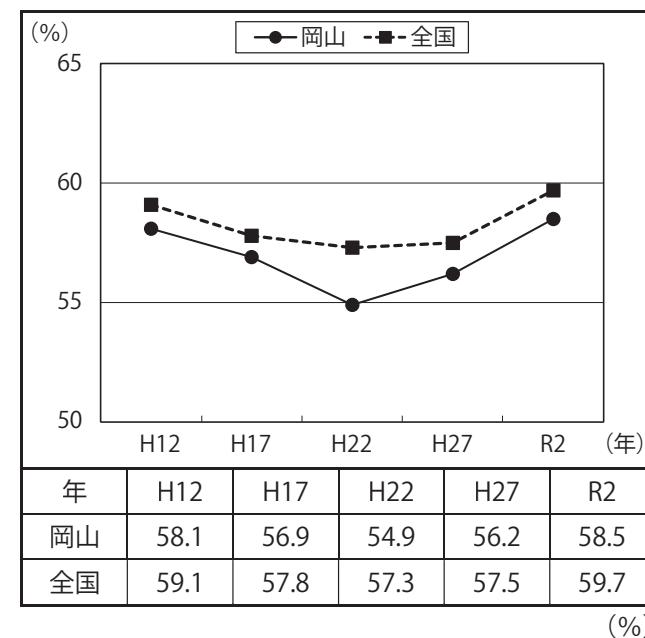
- ☆全国を100として算出
- ・調査期間 令和5年（1.1～12.31）
- ・資料出所 総務省「小売物価統計調査（構造編）2023年」

D 労働

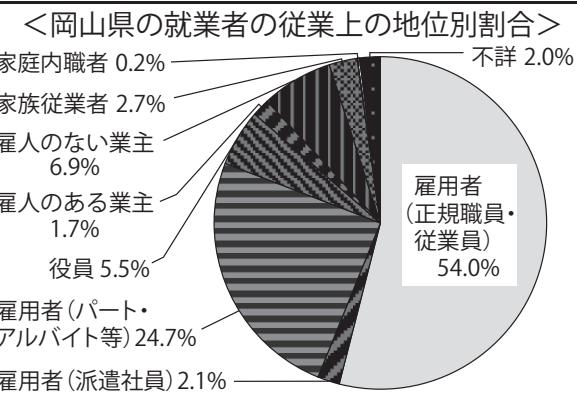
D-34 就業率



<岡山県の推移>



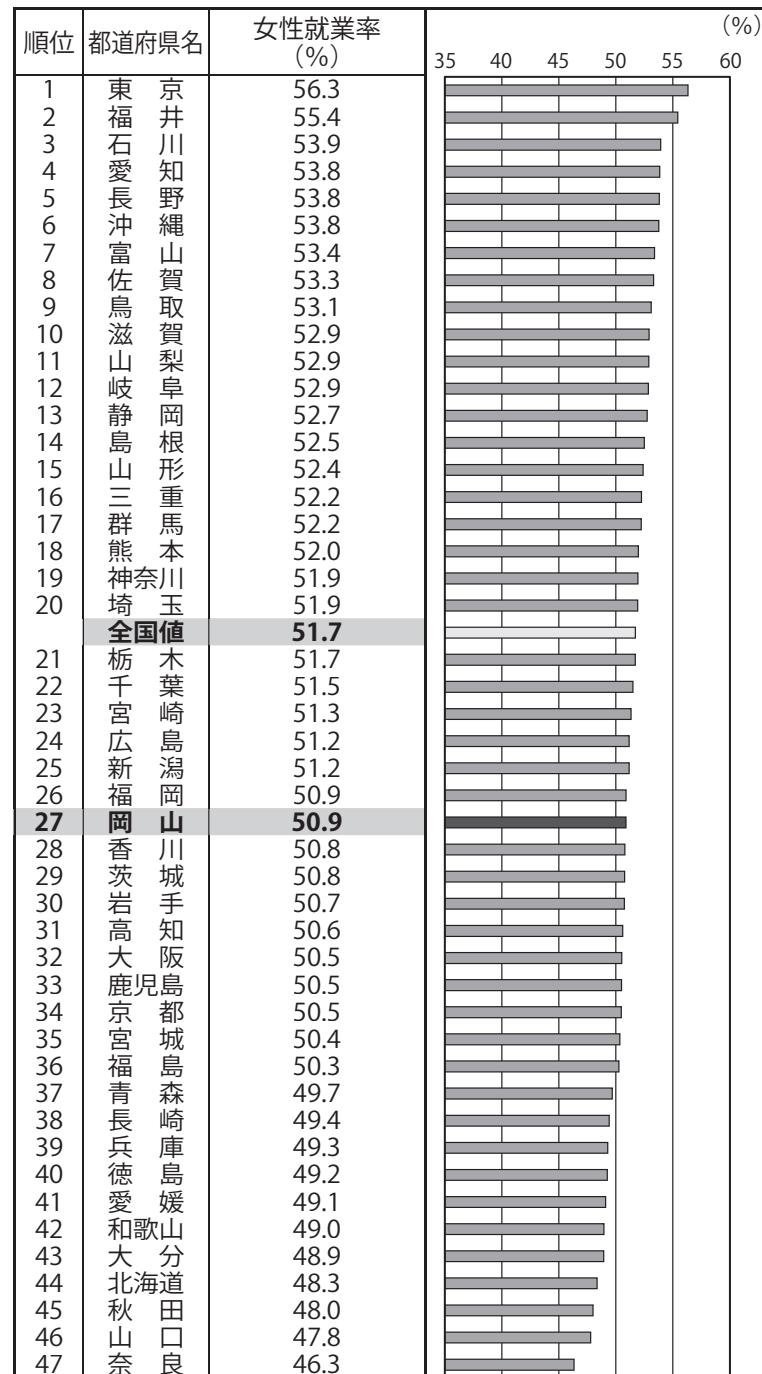
D34



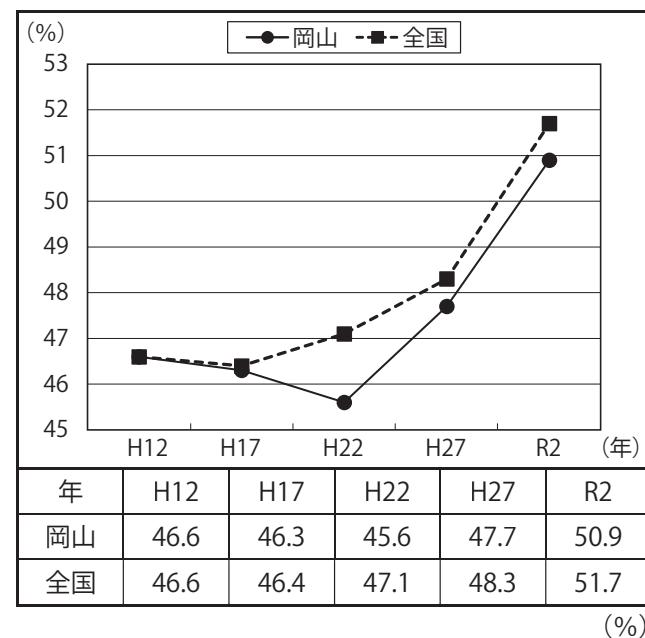
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和2年10月1日（5年毎）
- 算出方法 $\frac{15歳以上就業者数}{15歳以上人口(労働力状態「不詳」を除く。)} \times 100$
- 資料出所 総務省「国勢調査」

D-35 女性就業率

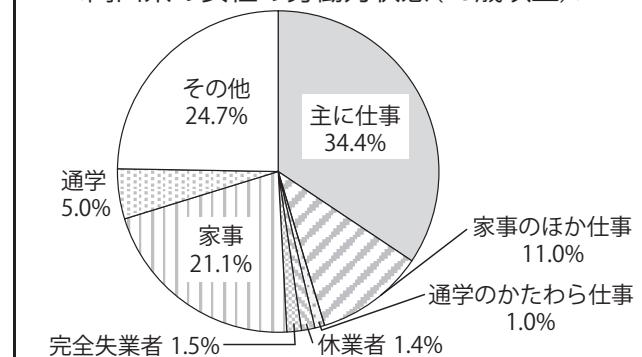


<岡山県の推移>



D35

<岡山県の女性の労働力状態(15歳以上)>

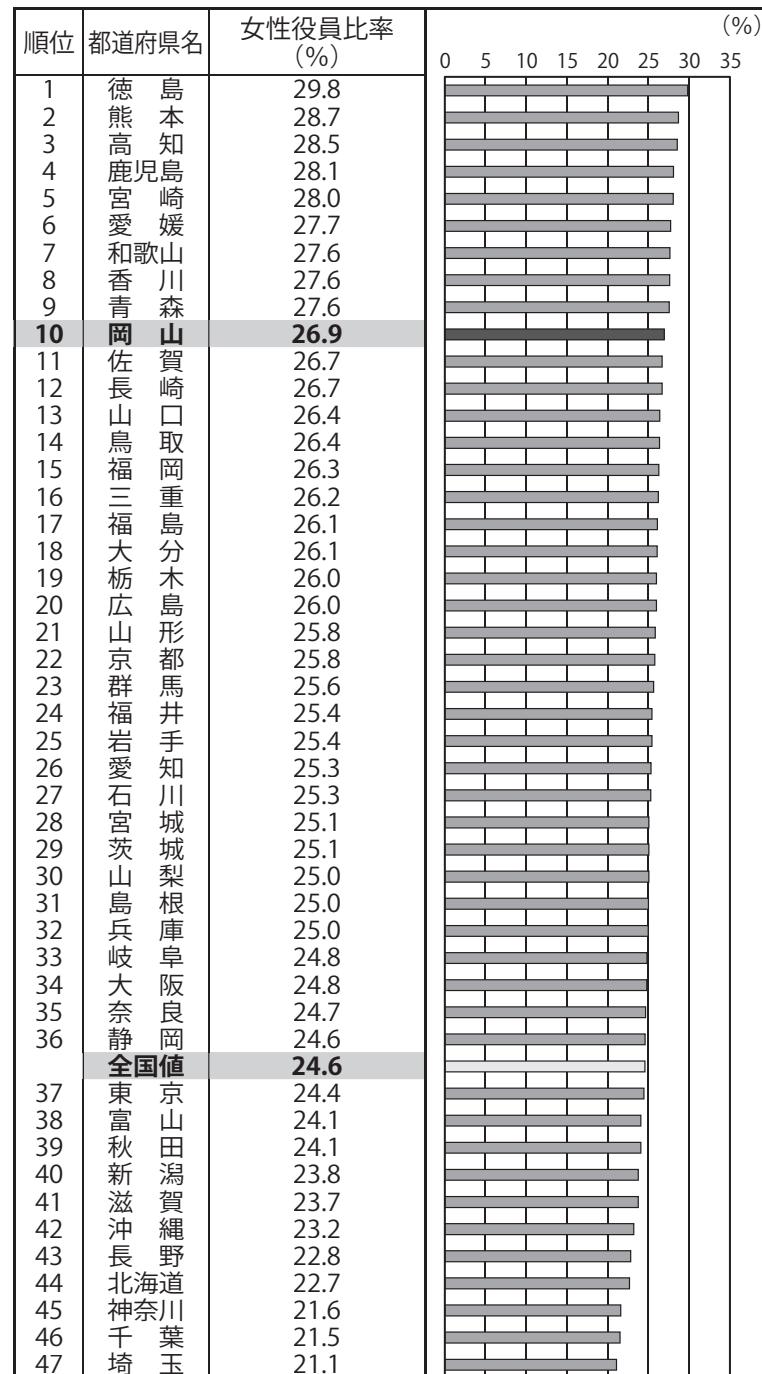


※「その他」には、労働力状態不詳の者を含む。

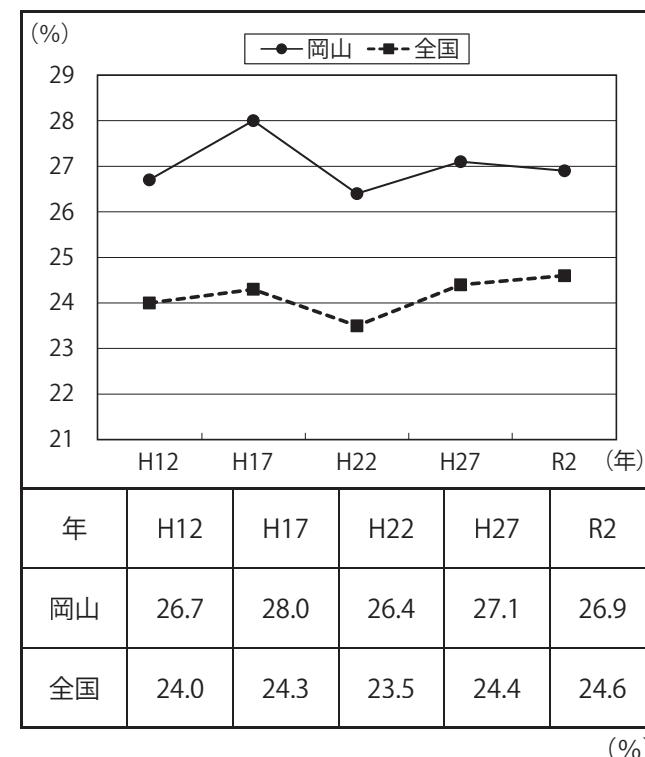
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和2年10月1日（5年毎）
- ・算出方法 $\frac{15歳以上女性就業者数}{15歳以上女性人口(労働力状態「不詳」を除く。)} \times 100$
- ・資料出所 総務省「国勢調査」

D-36 女性役員比率



<岡山県の推移>

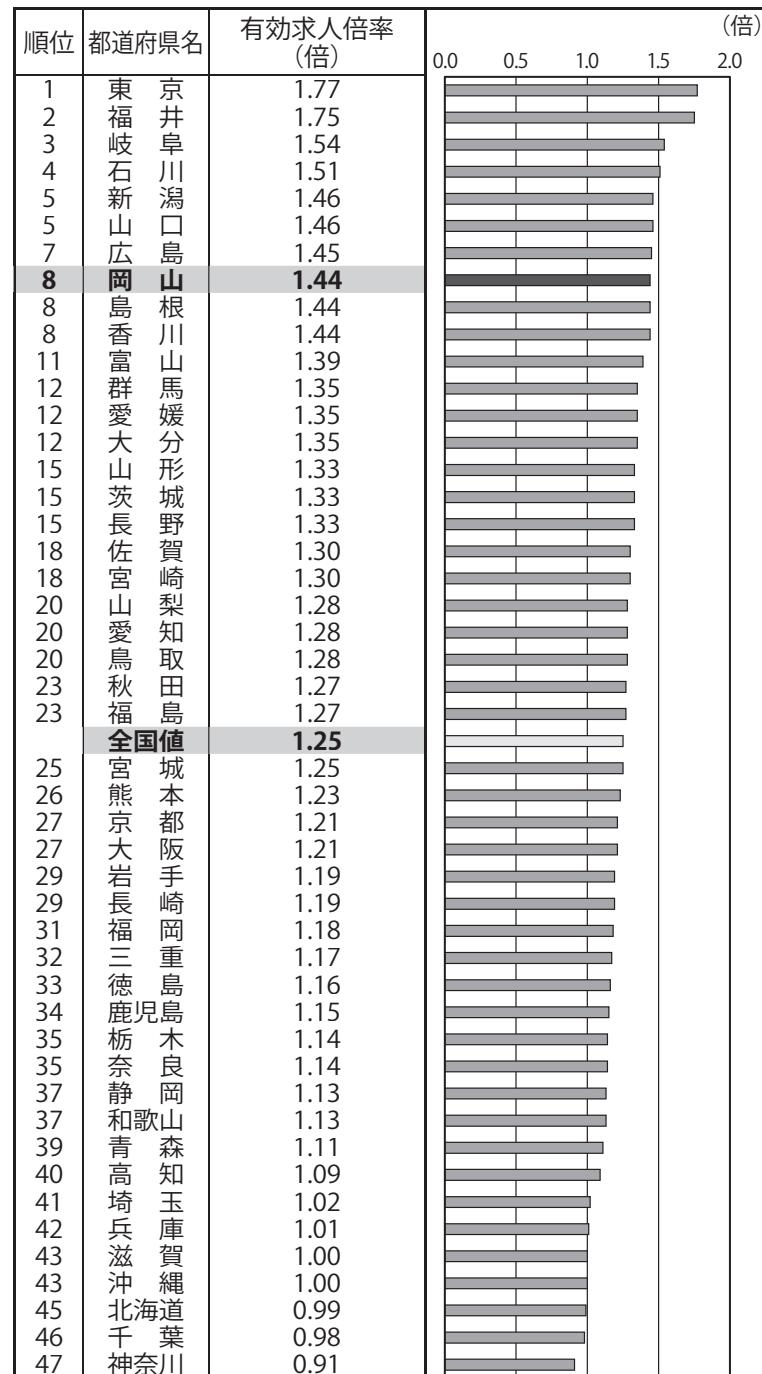


D36

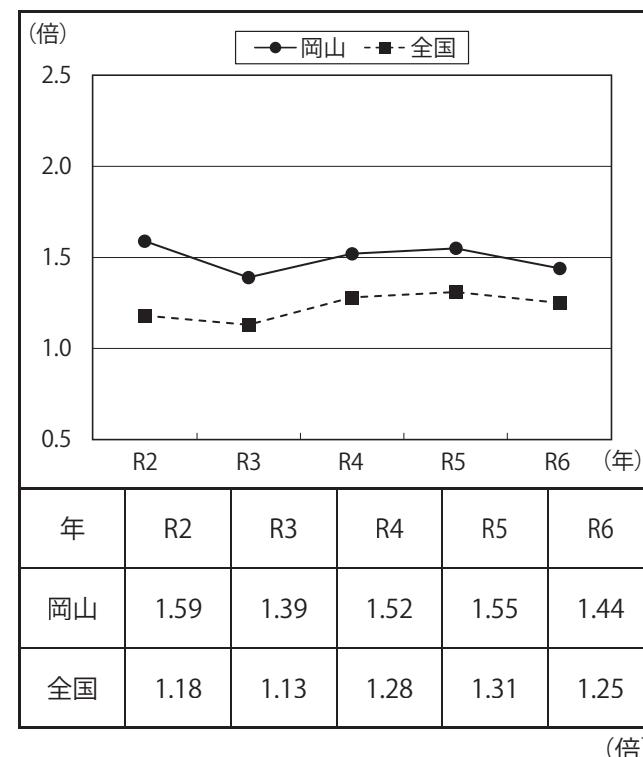
<資料出所ほか>

- ☆女性役員比率とは、従業上の地位が役員であるもののうち、女性の割合
- ・調査時点 令和2年10月1日（5年毎）
- ・算出方法 役員（女性）÷役員（総数）×100
- ・資料出所 総務省「国勢調査」

D-37 有効求人倍率



<岡山県の推移>

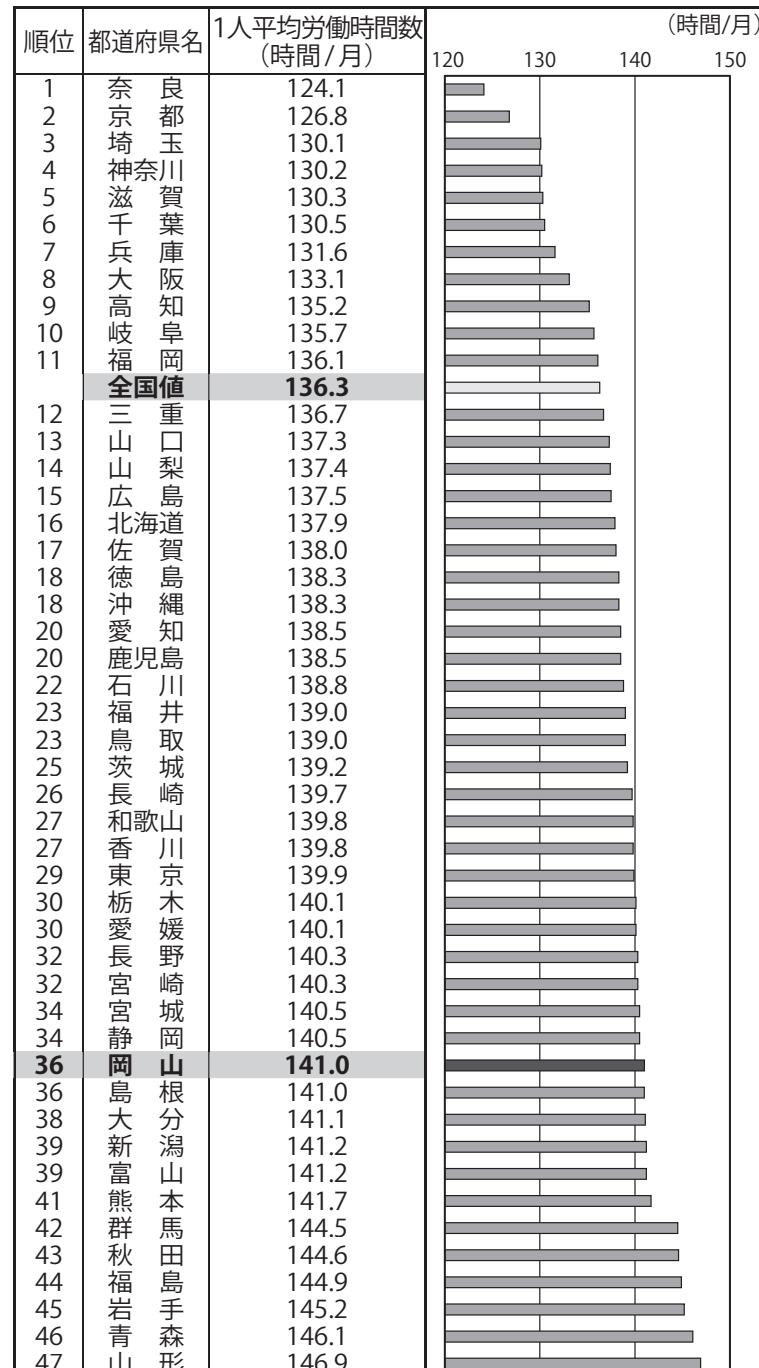


D37

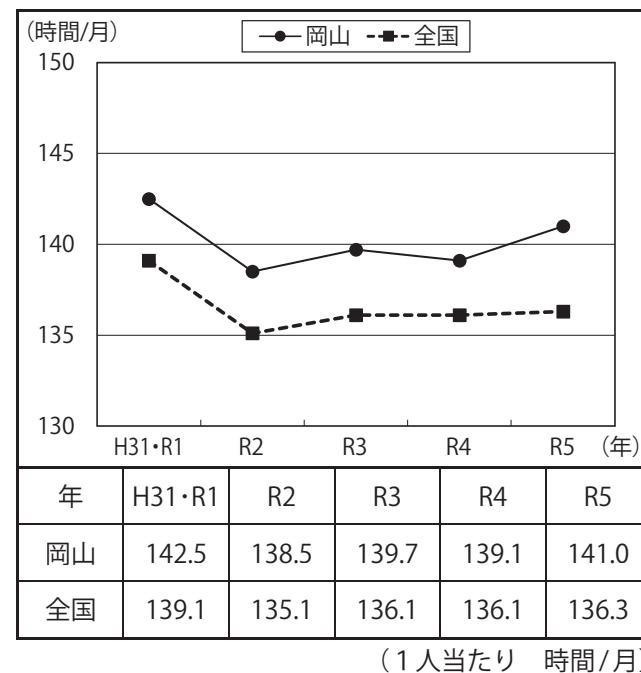
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年平均
- ・資料出所 厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」

* D-38 労働時間数



<岡山県の推移>



D38

<岡山県の総実労働時間数>

年	H31·R1	R2	R3	R4	R5
総数	142.5	138.5	139.7	139.1	141.0
所定内	131.6	129.2	129.5	128.6	130.6
所定外	10.9	9.3	10.2	10.5	10.4

(1人当たり 時間/月)

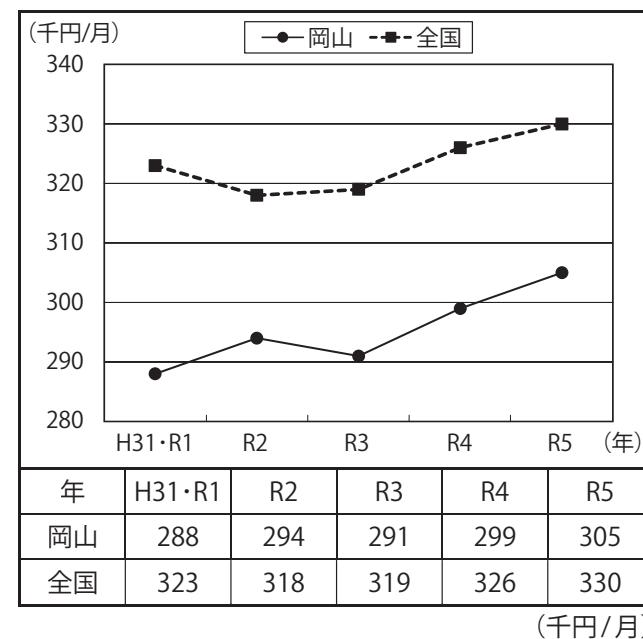
<資料出所ほか>

- ☆常用労働者5人以上を雇用する事業所における常用労働者1人平均月間総実労働時間数
- ☆総実労働時間数とは、所定内及び所定外労働時間数の合計のこと
- ・調査時点 令和5年平均
- ・資料出所 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

D-39 常用労働者現金給与総額

順位	都道府県名	1人平均 現金給与総額(円/月)	(千円/月)
1	東京	432,475	
2	愛知	354,256	
3	大阪	342,896	
4	神奈川	337,407	
	全国値	329,777	
5	茨城	323,329	
6	群馬	322,361	
7	広島	321,396	
8	静岡	318,617	
9	栃木	315,149	
10	三重	314,158	
11	兵庫	312,474	
12	滋賀	312,428	
13	福井	311,342	
14	富山	306,846	
15	長野	306,742	
16	岡山	304,923	
17	香川	303,311	
18	宮城	302,381	
19	福井	301,829	
20	山梨	300,565	
21	千葉	299,866	
22	徳島	299,847	
23	山口	299,768	
24	山形	299,094	
25	岐阜	298,771	
26	京都	297,315	
27	北海道	296,578	
28	石川	295,949	
29	福島	294,847	
30	和歌山	294,361	
31	新潟	293,185	
32	埼玉	289,873	
33	愛媛	289,146	
34	島根	287,982	
35	岩手	287,572	
36	熊本	286,192	
37	大分	286,117	
38	秋田	279,827	
39	高知	274,916	
40	佐賀	269,457	
41	青森	266,205	
42	長崎	265,921	
43	宮崎	264,172	
44	鹿児島	263,151	
45	鳥取	263,026	
46	奈良	262,204	
47	沖縄	248,906	

<岡山県の推移>



D39

<岡山県の主な産業別常用労働者 1人平均
月間現金給与総額>

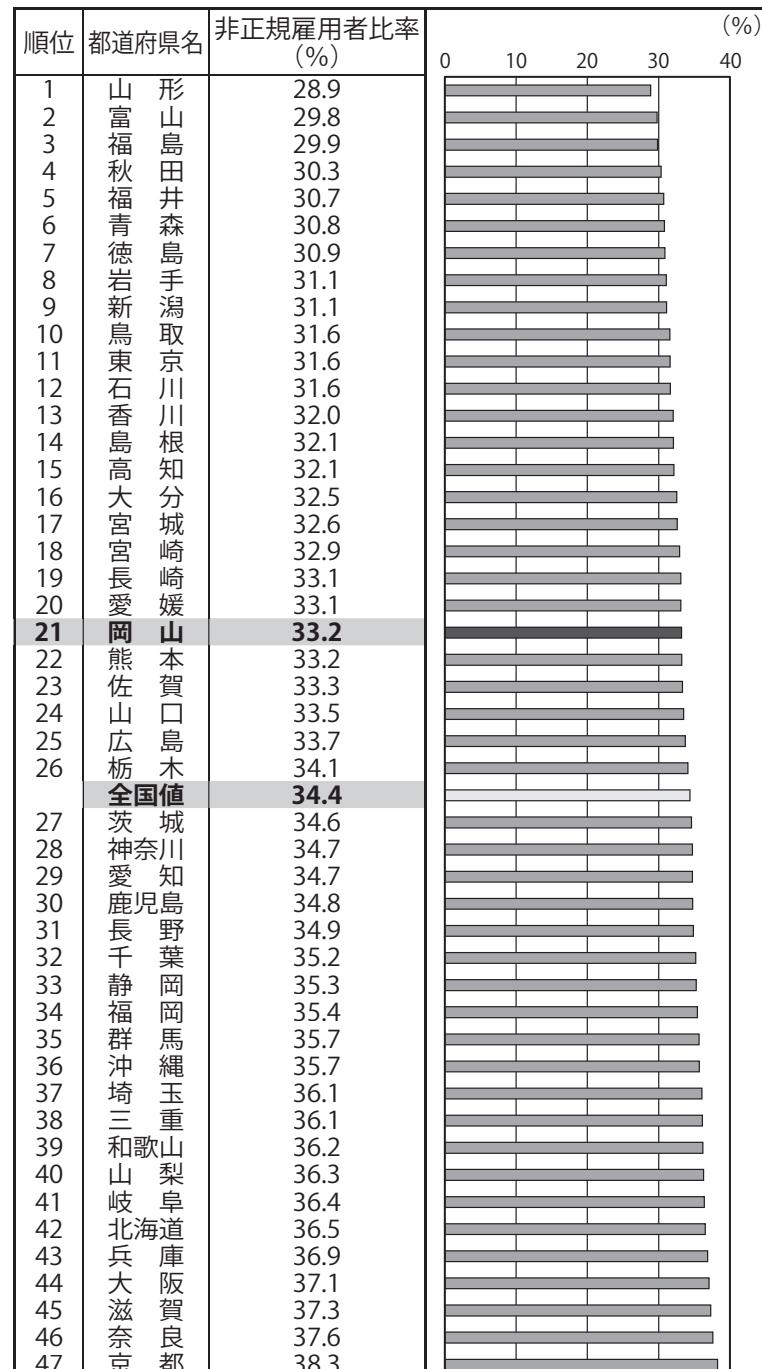
建設業	418,506
製造業	379,099
運輸・郵便業	333,371
卸売・小売業	228,869
医療・福祉	289,288
教育・学習支援	394,856

(円/月)

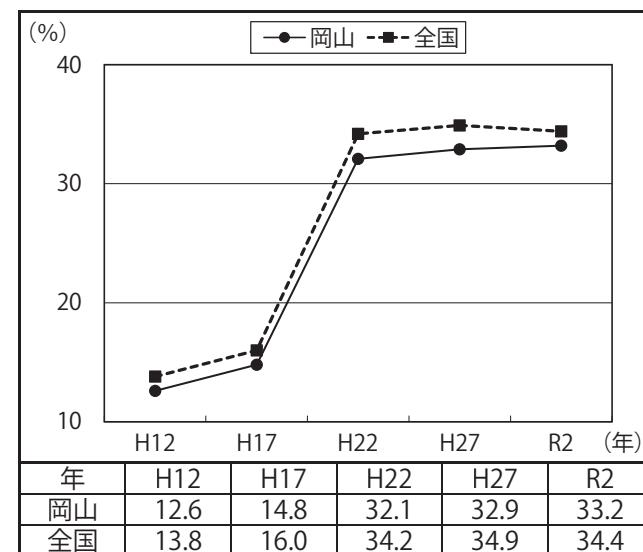
<資料出所ほか>

- ☆常用労働者 5人以上を雇用する事業所における常用労働者 1人平均月間現金給与総額
- ☆現金給与総額とは、所得税、社会保険料等の引き去り前の給与総額で超過勤務手当や賞与等を含む。
- ・調査時点 令和5年平均
- ・資料出所 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

* D-40 非正規雇用者比率



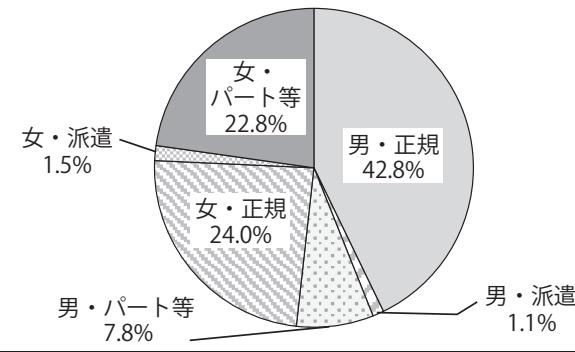
<岡山県の推移>



※平成12年及び17年は、臨時雇用者の比率である。(%)

D40

<岡山県の雇用状態別割合>



内訳	男	女
正規の職員・従業員	300,404	168,079
派遣社員	7,938	10,606
パート・アルバイト・その他	54,763	159,606

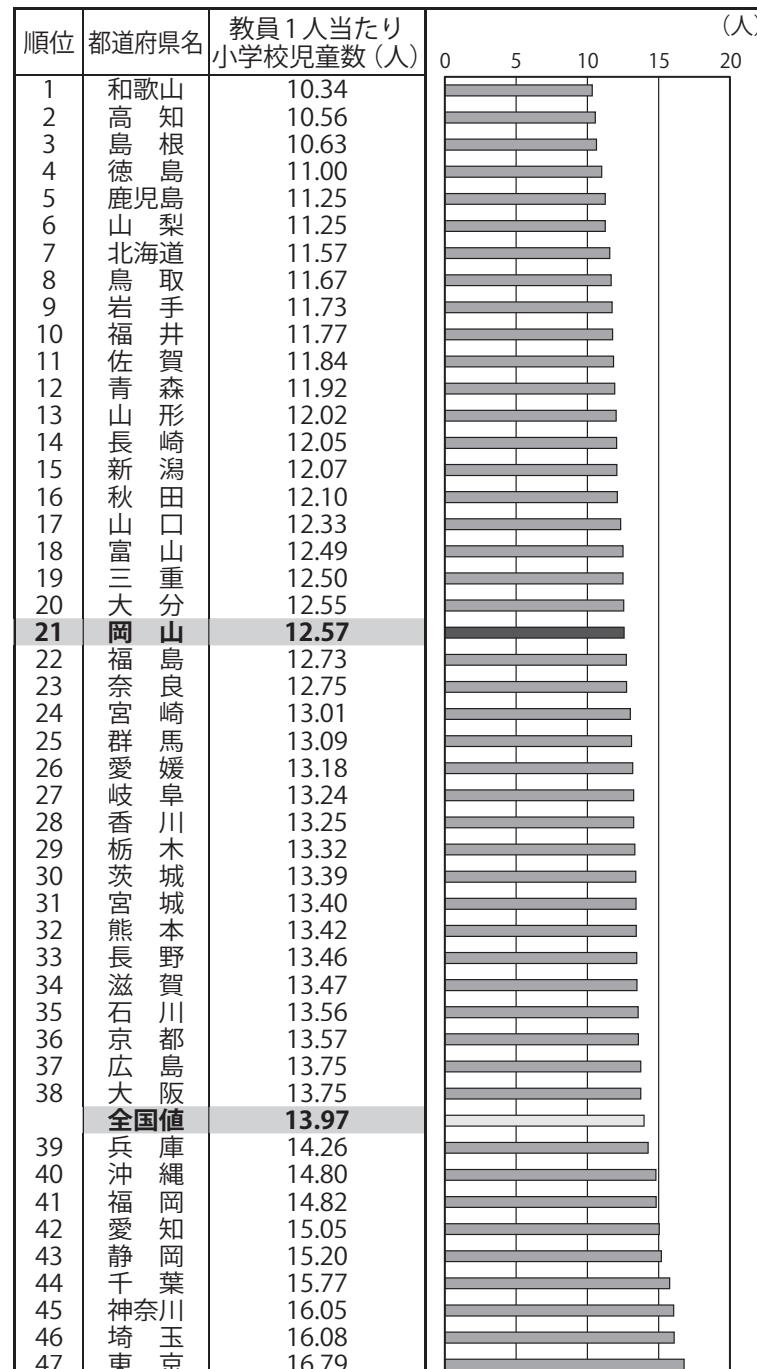
(人)

<資料出所ほか>

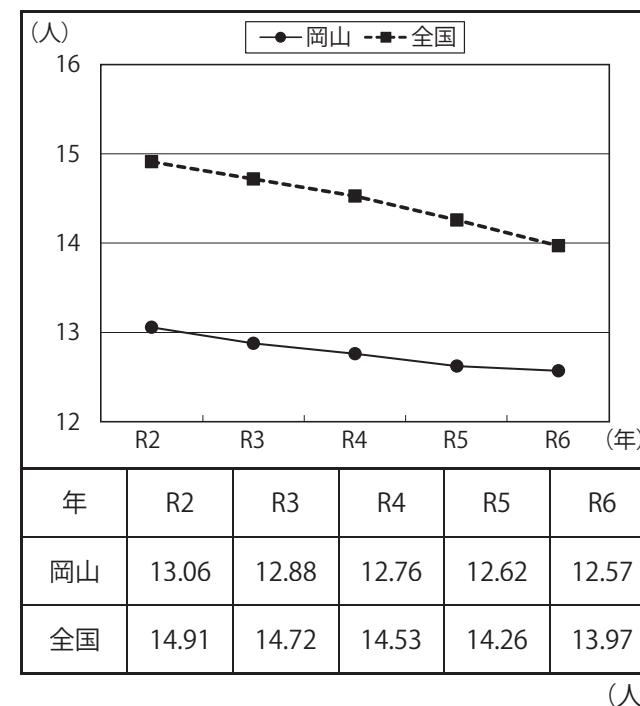
- ☆ここでいう非正規雇用者とは、労働者派遣事業所の派遣社員、パート・アルバイト・その他に区分される雇用者のこと
- ・調査時点 令和2年10月1日（5年毎）
- ・算出方法 非正規雇用者数÷雇用者数×100
- ・資料出所 総務省「国勢調査」

E 教育・文化

* E-41 小学校児童数(教員1人当たり)



<岡山県の推移>



E41

<岡山県の小学校>

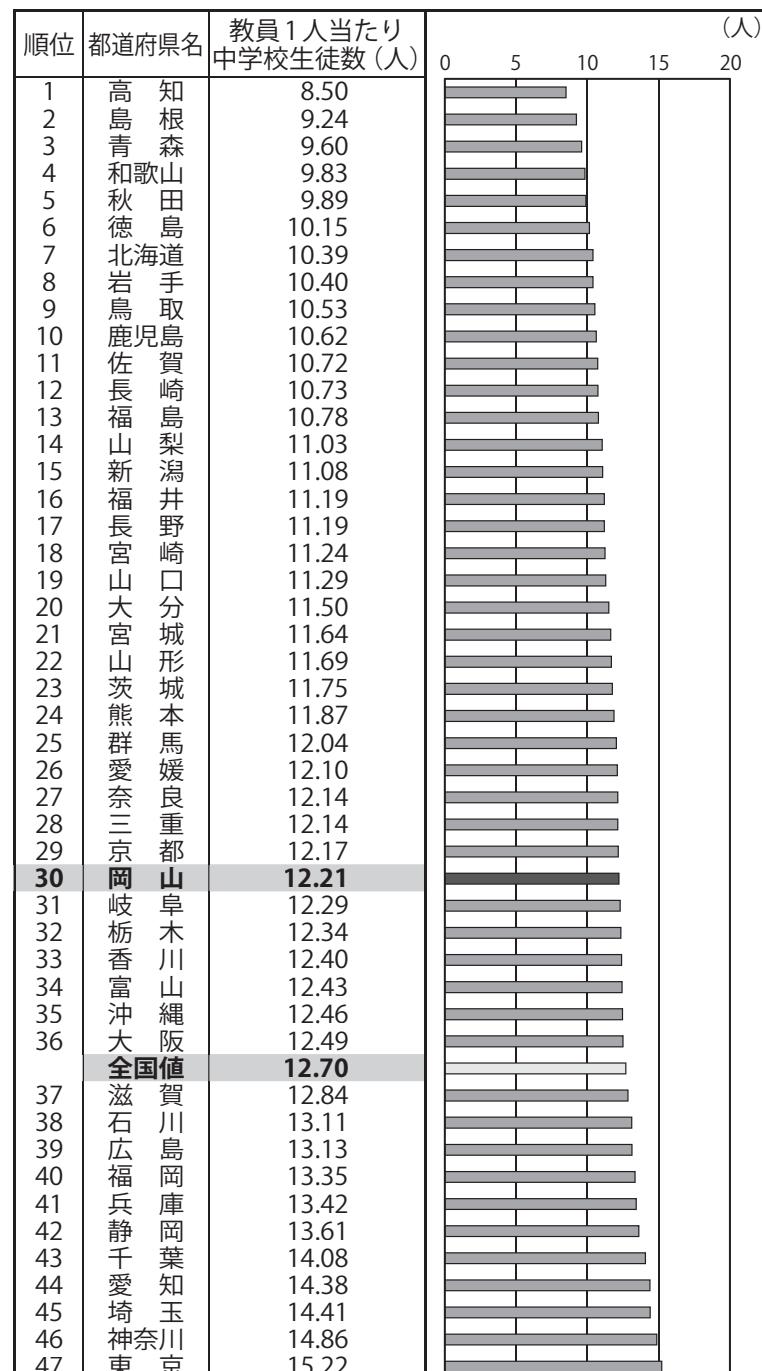
年	R2	R3	R4	R5	R6
学校数	389	389	383	375	371
児童数	98,893	97,981	96,499	94,614	92,600
教員数	7,574	7,609	7,562	7,496	7,364

(校、人)

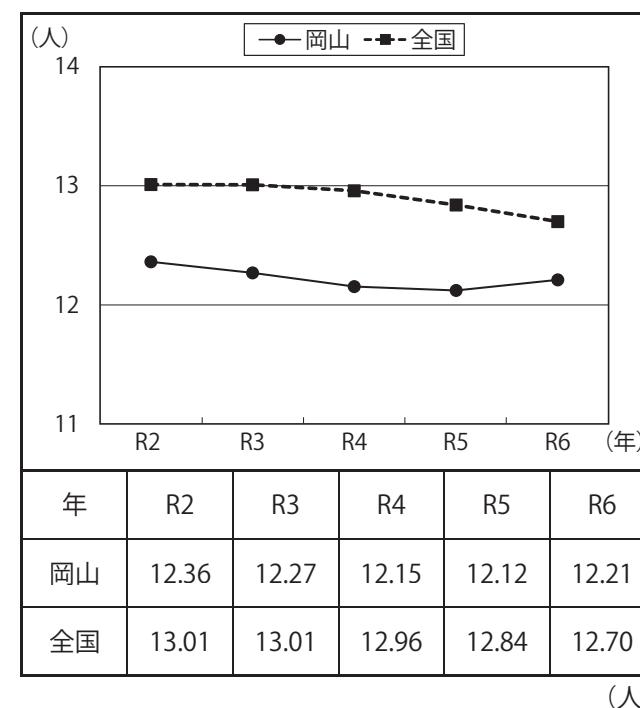
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年5月1日
- ・算出方法 小学校児童数÷小学校教員数（本務者）
- ・資料出所 文部科学省「学校基本調査」

* E-42 中学校生徒数(教員1人当たり)



<岡山県の推移>



E42

<岡山県の中学校>

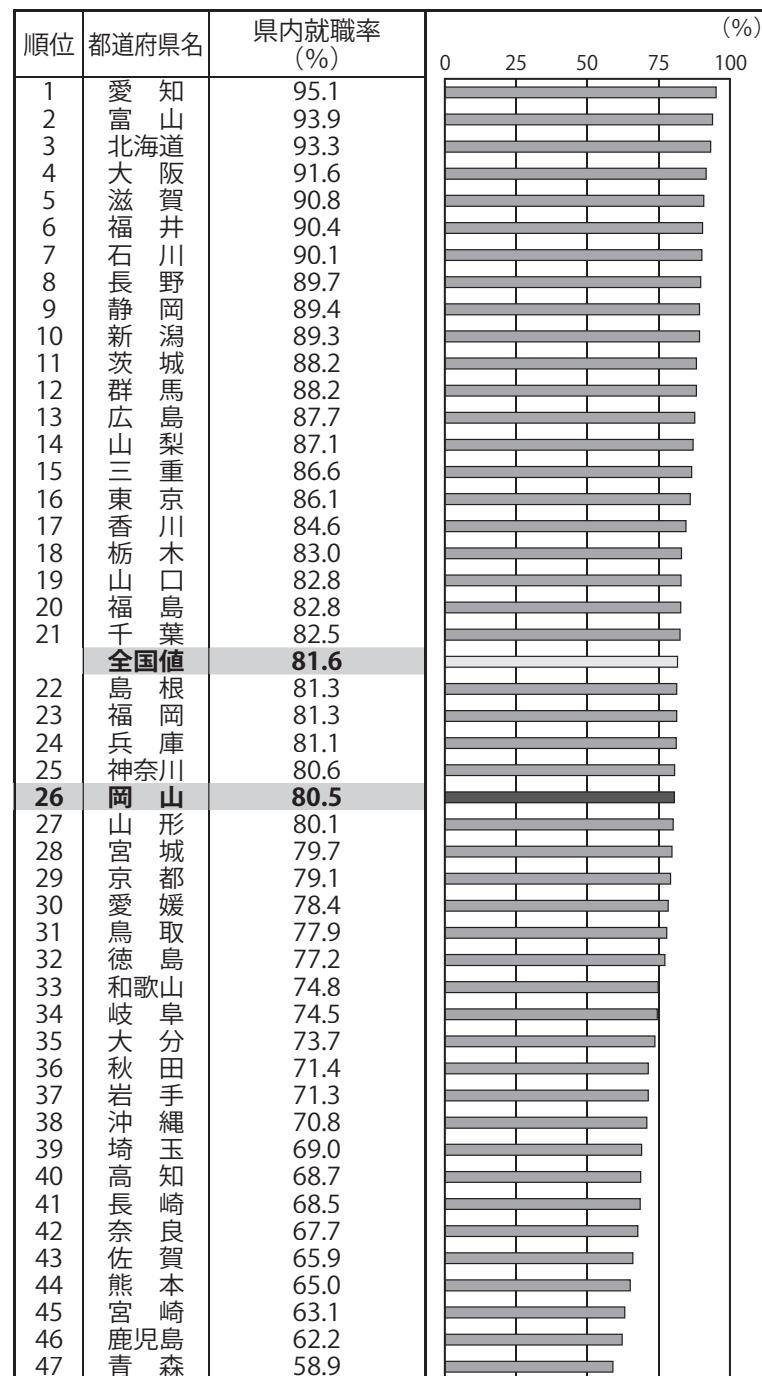
年	R2	R3	R4	R5	R6
学校数	165	165	164	163	161
生徒数	50,683	50,820	50,145	49,563	48,951
教員数	4,100	4,142	4,126	4,089	4,008

(校、人)

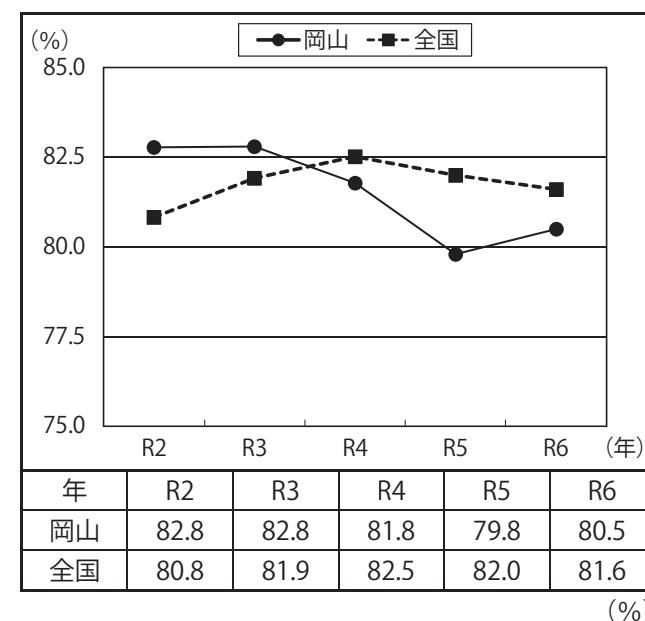
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年5月1日
- ・算出方法 中学校生徒数÷中学校教員数（本務者）
- ・資料出所 文部科学省「学校基本調査」

E-43 県内就職率(高等学校卒業後の状況)

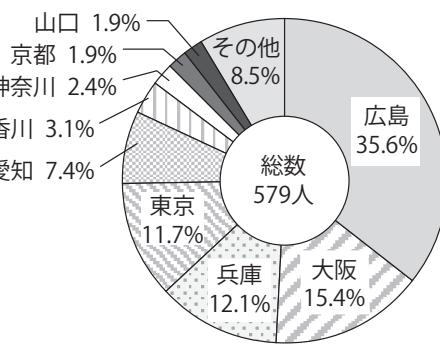


<岡山県の推移>



E43

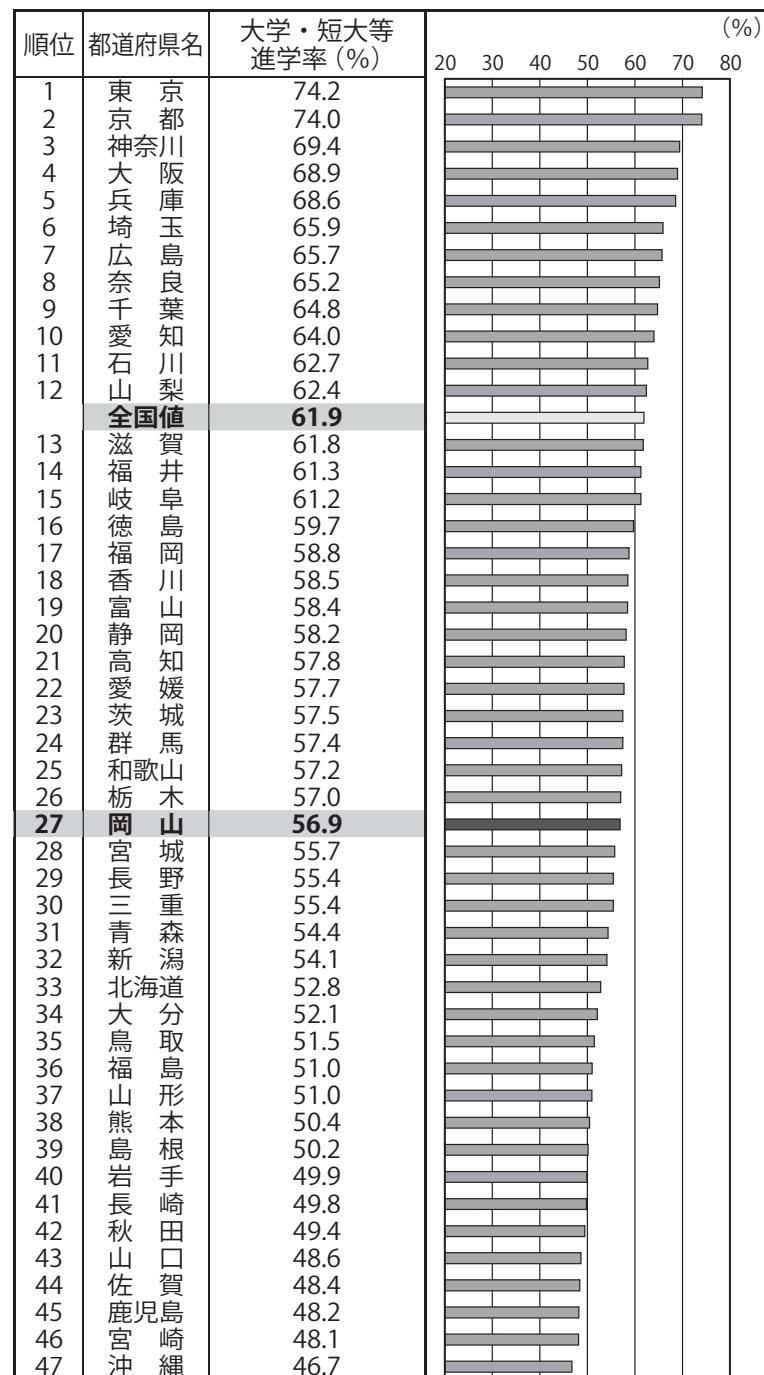
<高校卒業後の県外就職先県別割合>



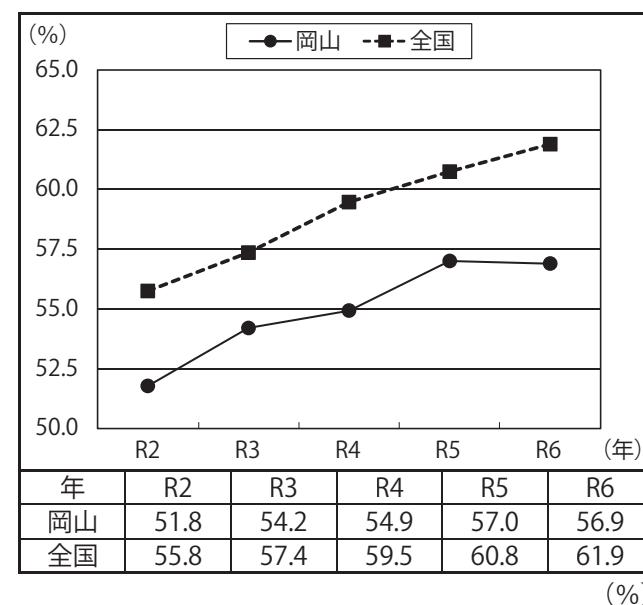
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年5月1日
- ・算出方法 $\frac{\text{就職者数} - \text{県外就職者}}{\text{就職者数}} \times 100$
- ・資料出所 文部科学省「学校基本調査」
- ・就職者には、就職進学者を含む。
- ・令和6年3月に高等学校を卒業した者の状況

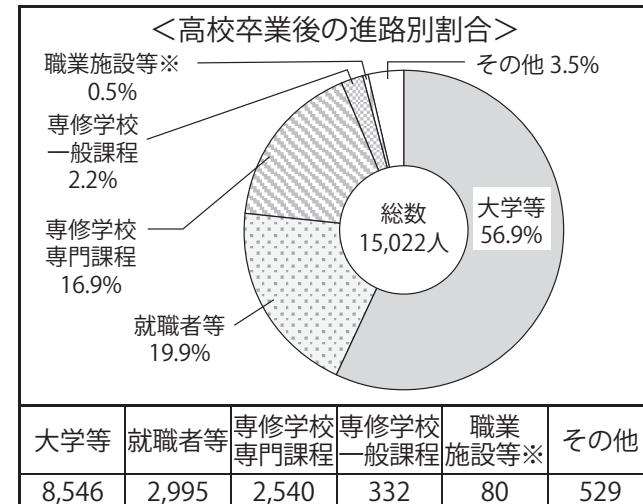
E-44 大学・短大等進学率



<岡山県の推移>



E44

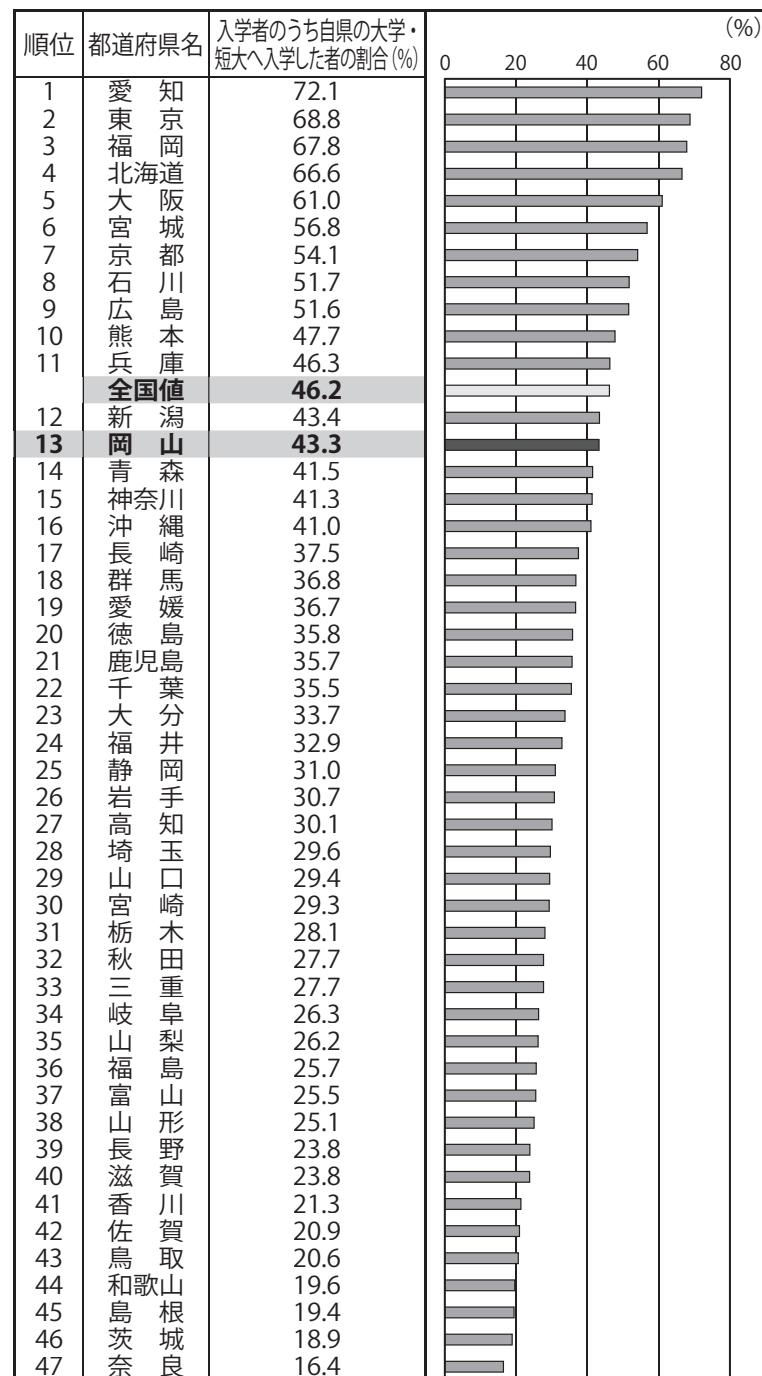


*公共職業能力開発施設等のこと (人)

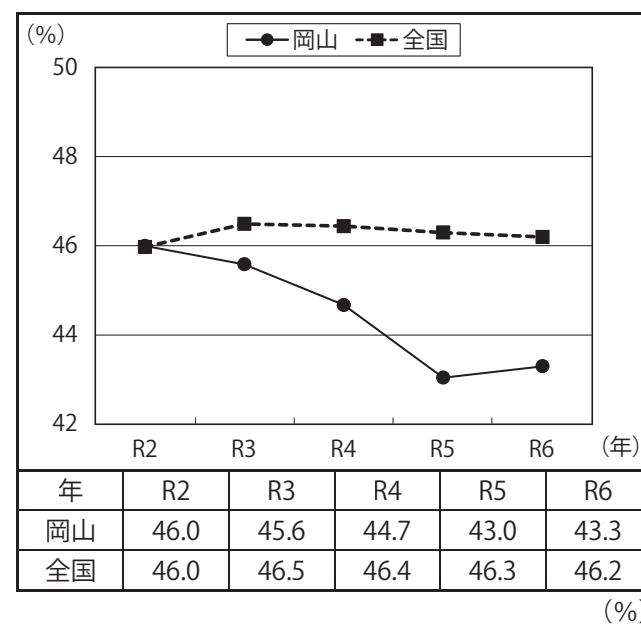
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和6年5月1日
- 資料出所 文部科学省「学校基本調査」
- 通信教育部への進学者数を含む。
- 令和6年3月に高等学校を卒業した者の状況

E-45 県内高卒者で大学・短大入学者のうち、自県の大学等への入学者割合

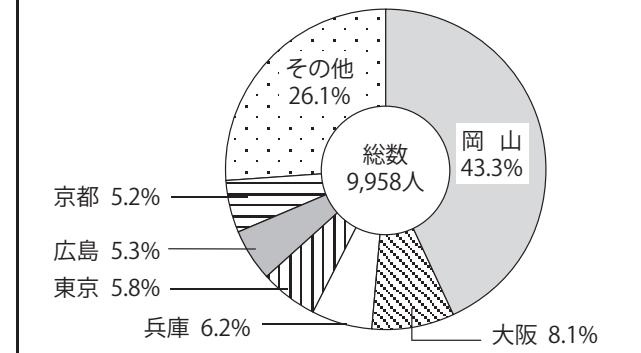


<岡山県の推移>



E45

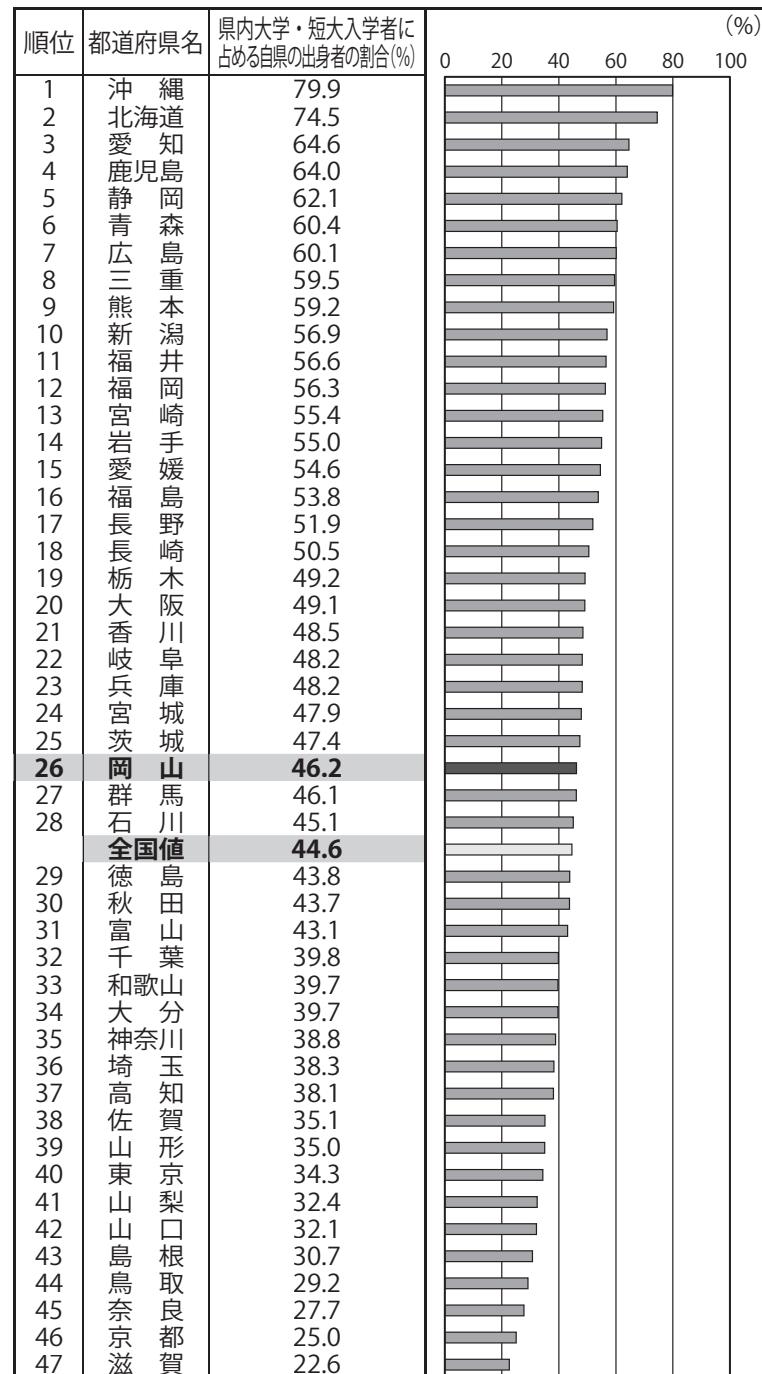
<岡山県内高卒者で大学・短大入学者の入学先県別割合>



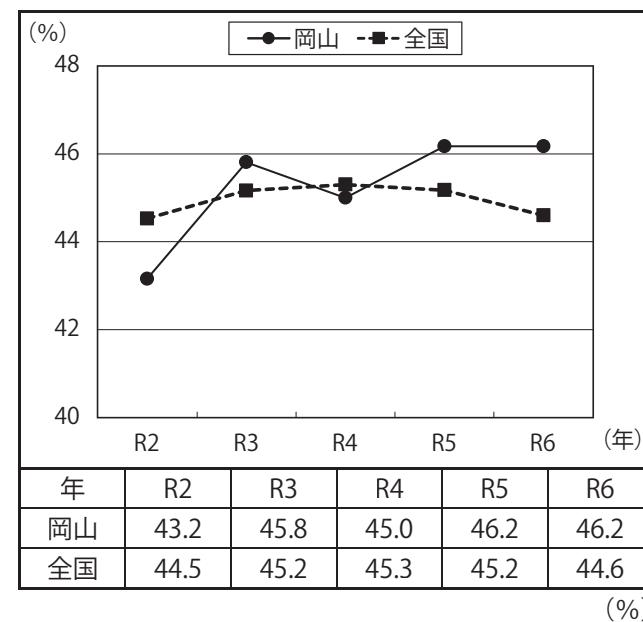
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年5月1日
- ・算出方法 自県大学・短大入学者数÷県内高卒者で大学・短大入学者数×100
- ・資料出所 文部科学省「学校基本調査」
- ・県内高卒者は、県内に所在する高校の卒業者である。
- ・入学者数には、5月1日現在在籍しない者は含まない。
- ・大学の所在地は、入学した学部の所在地による。
- ・短期大学の所在地は、入学した学科の所在地による。

E-46 県内大学・短大入学者に占める自県の出身者の割合

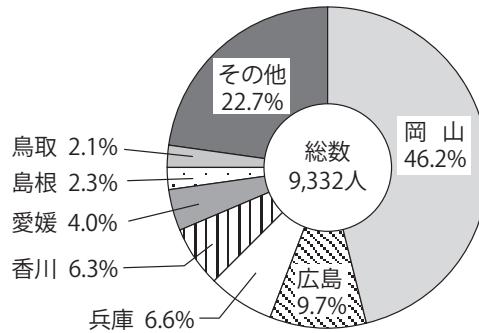


<岡山県の推移>



E46

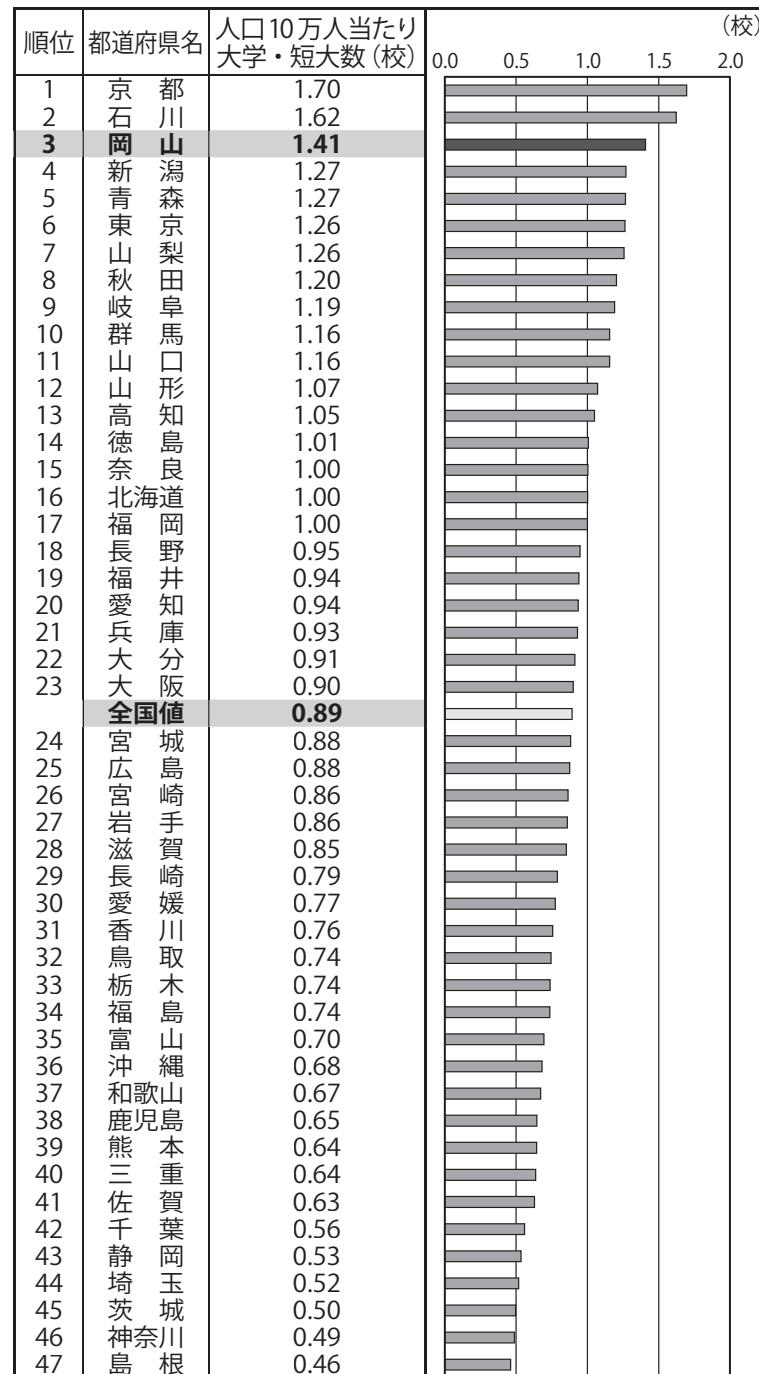
<岡山県内大学・短大入学者の出身県別割合>



<資料出所ほか>

- 調査時点 令和6年5月1日
- 算出方法 自県出身者数 ÷ 県内大学・短大入学者数 × 100
- 資料出所 文部科学省「学校基本調査」
- 自県出身者は、県内に所在する高校の卒業者である。
- 入学者数には、5月1日現在在籍しない者は含まない。
- 大学の所在地は、入学した学部の所在地による。
- 短期大学の所在地は、入学した学科の所在地による。

E-47 大学・短大数(人口10万人当たり)



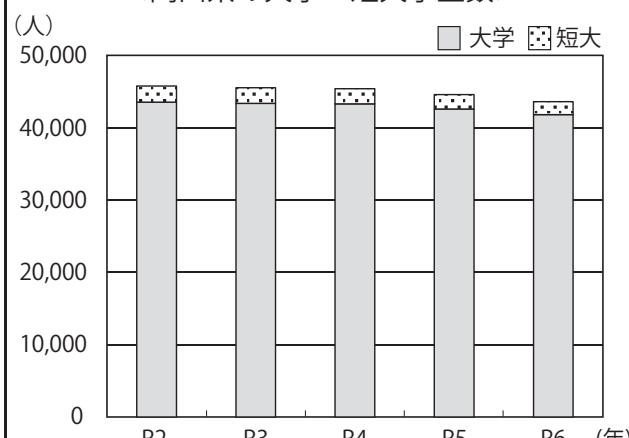
<岡山県の推移>

年	R2	R3	R4	R5	R6
大学	18	18	18	18	18
短大	9	8	8	8	8

(校)

E47

<岡山県の大学・短大学生数>



年	R2	R3	R4	R5	R6
大学	43,532	43,366	43,296	42,577	41,814
短大	2,214	2,164	2,097	2,004	1,780

(人)

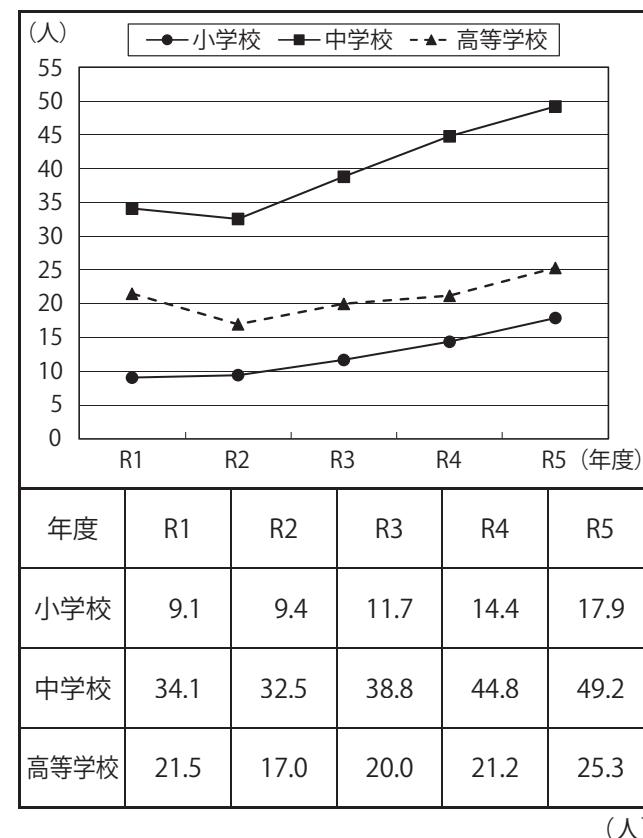
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和6年5月1日
- 算出方法 大学・短期大学校数÷総人口×100,000
- 資料出所 文部科学省「学校基本調査」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)
を使用

* E-48 小・中・高等学校不登校者数(児童生徒千人当たり)

順位	都道府県名	児童生徒千人当たり 不登校児童生徒数(人)	(人)
1	福井	24.3	
2	岩手	27.5	
3	岡山	27.9	
4	福島	28.0	
5	宮崎	28.4	
6	香川	28.8	
7	徳島	29.2	
8	京都	29.3	
9	青森	29.4	
10	高崎	29.6	
11	埼玉	29.8	
12	群馬	29.9	
13	佐賀	30.3	
14	千葉	30.7	
15	茨城	30.8	
16	山梨	31.0	
17	愛知	31.3	
18	山形	31.6	
19	秋田	31.6	
20	群馬	32.0	
21	滋賀	33.0	
22	東京	33.0	
23	鹿児島	33.2	
24	長崎	33.3	
25	新潟	33.5	
26	三重	33.7	
27	岐阜	33.7	
28	兵庫	33.8	
29	富山	33.9	
	全国値	33.9	
30	大分	34.0	
31	北海道	34.3	
32	神奈川	34.3	
33	鳥取	34.6	
34	愛知	34.8	
35	和歌山	35.7	
36	奈良	35.9	
37	熊本	36.1	
38	福岡	36.3	
39	大分	36.8	
40	静岡	37.5	
41	広島	37.6	
42	岡山	38.1	
43	長野	38.9	
44	福島	40.2	
45	島根	40.6	
46	沖縄	42.6	
47	宮城	44.1	

<岡山県の推移>



E48

※小学校には義務教育学校1～6学年、中学校には義務教育学校7～9学年および中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

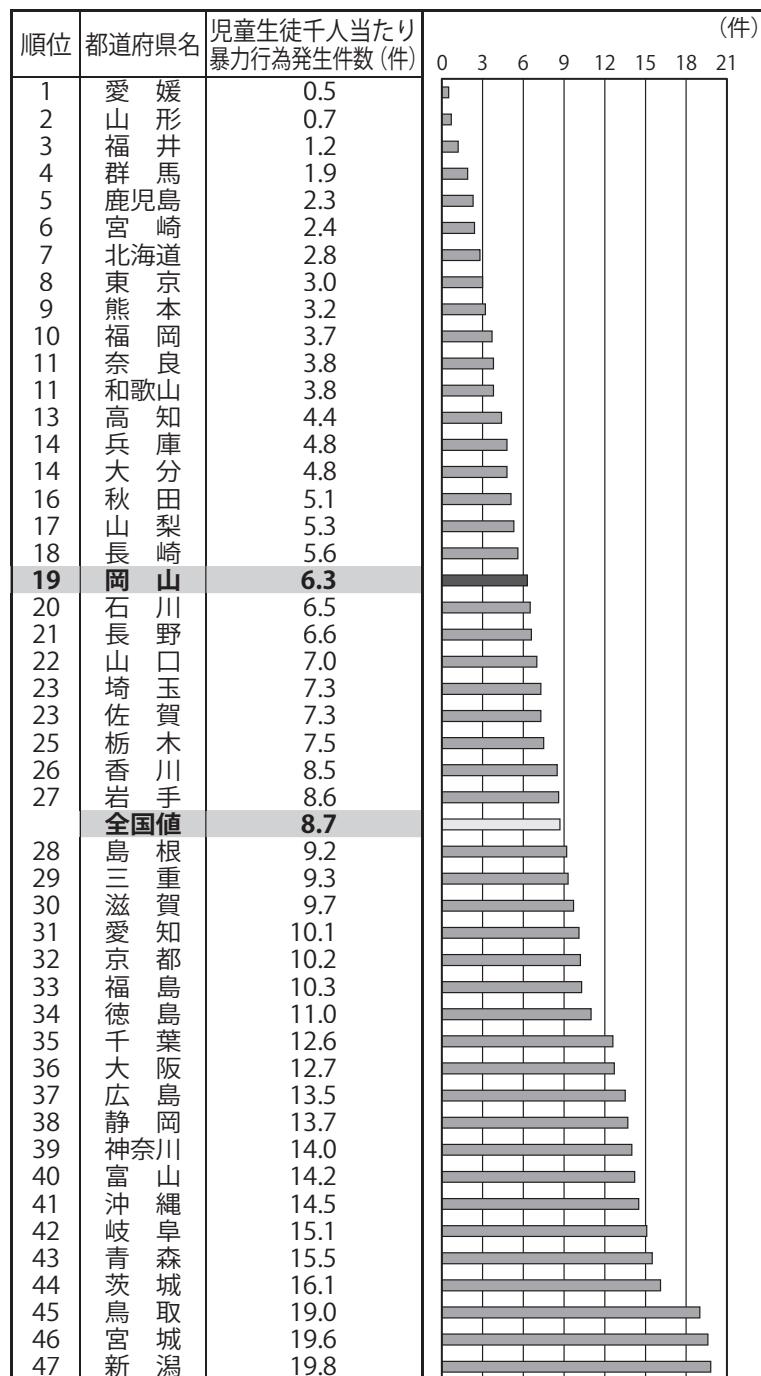
<資料出所ほか>

☆不登校とは、年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、欠席理由が「不登校」に該当するもの

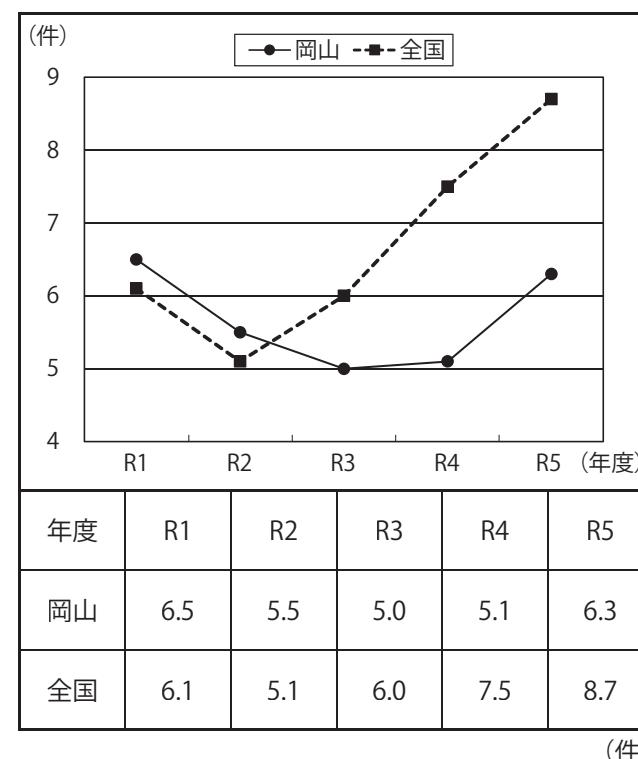
- ・調査期間 令和5年度
- ・算出方法 不登校者数 ÷ 児童生徒数 × 1,000
- ・資料出所 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

児童生徒数は、文部科学省「学校基本調査」(令和5年5月1日時点)を使用

* E-49 小・中・高等学校の暴力行為発生件数(児童生徒千人当たり)



<岡山県の推移>

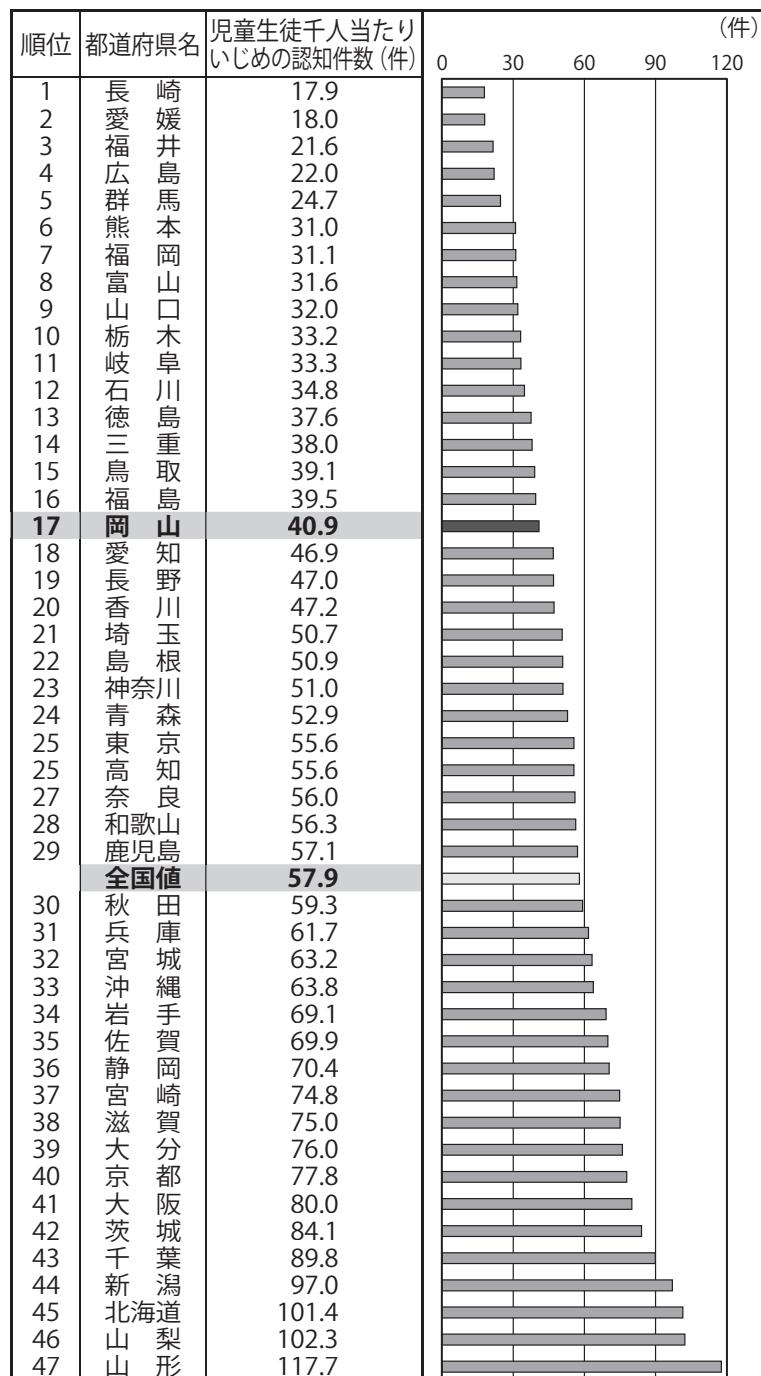


E49

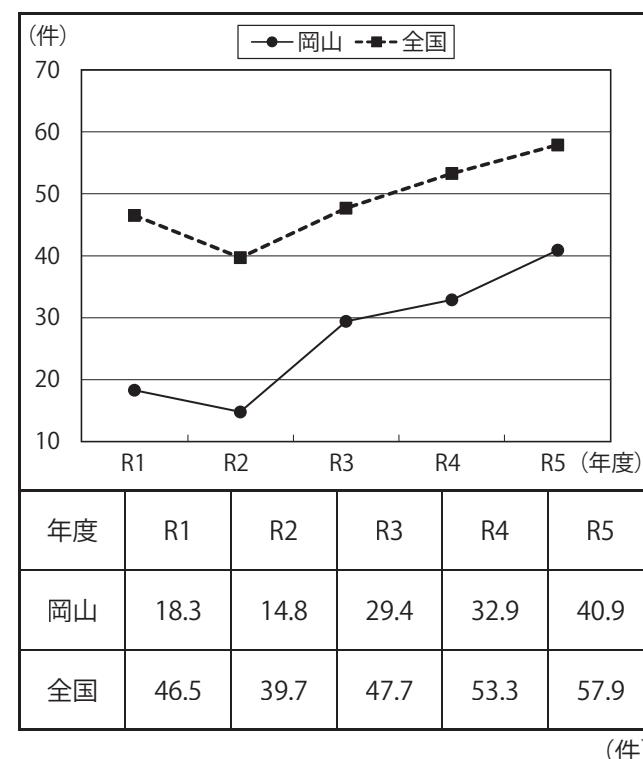
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和5年度
- 資料出所 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

* E-50 小・中・高等・特別支援学校のいじめ認知件数(児童生徒千人当たり)



<岡山県の推移>

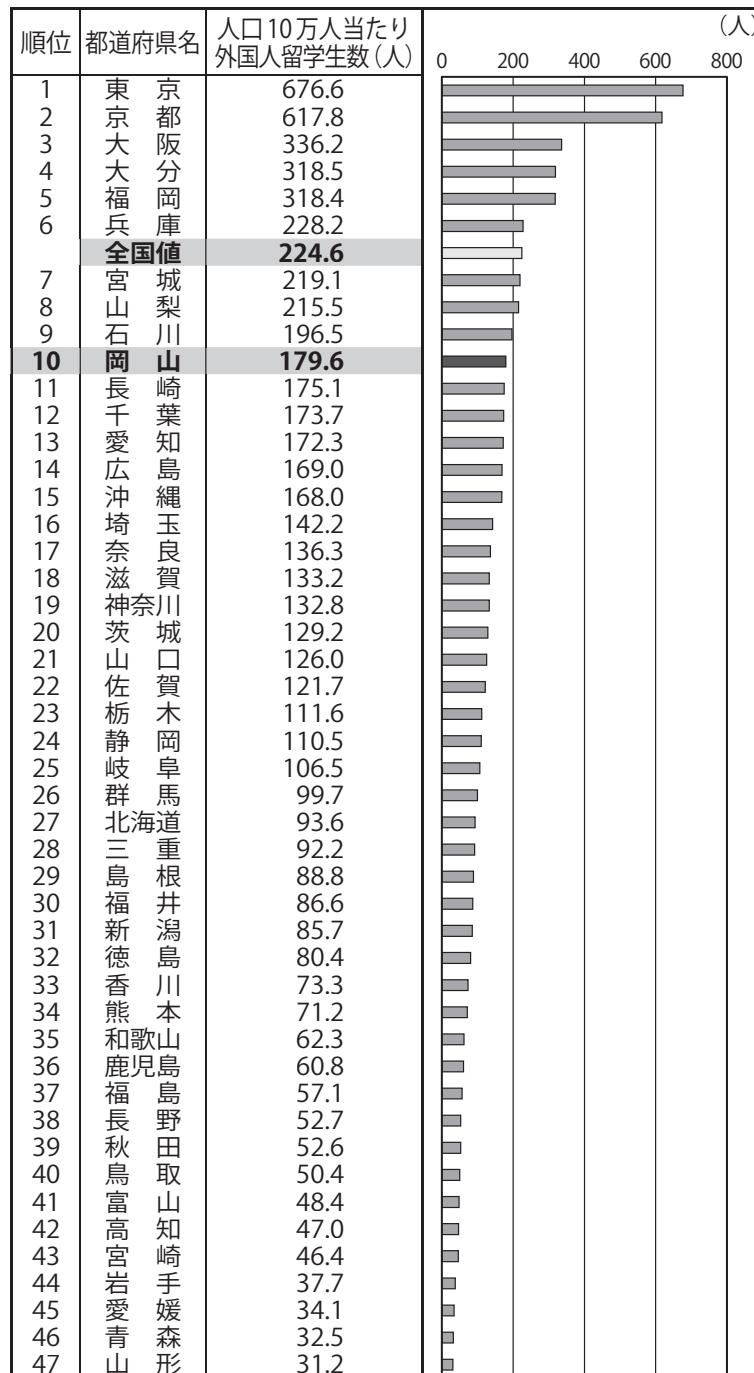


E50

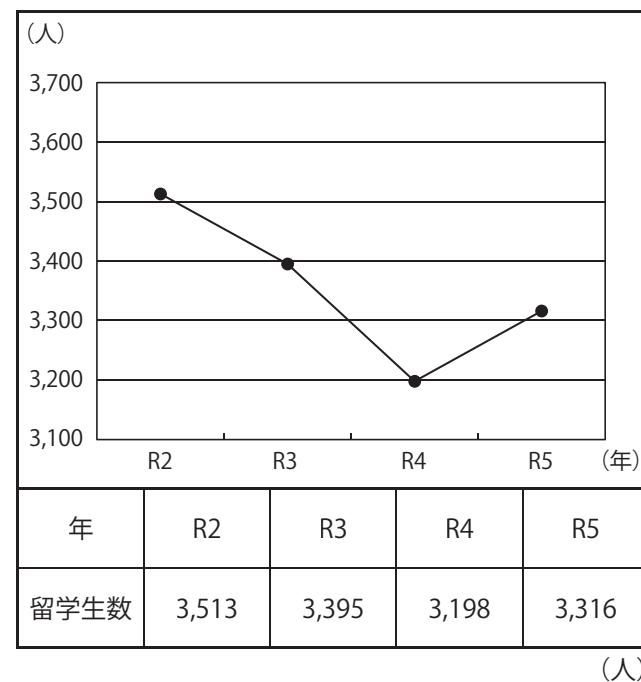
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和5年度
- ・資料出所 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

E-51 外国人留学生数(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



E51

<資料出所ほか>

☆ここでいう留学生とは、いわゆる「留学ビザ」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び日本語教育機関において教育を受ける外国人学生のこと

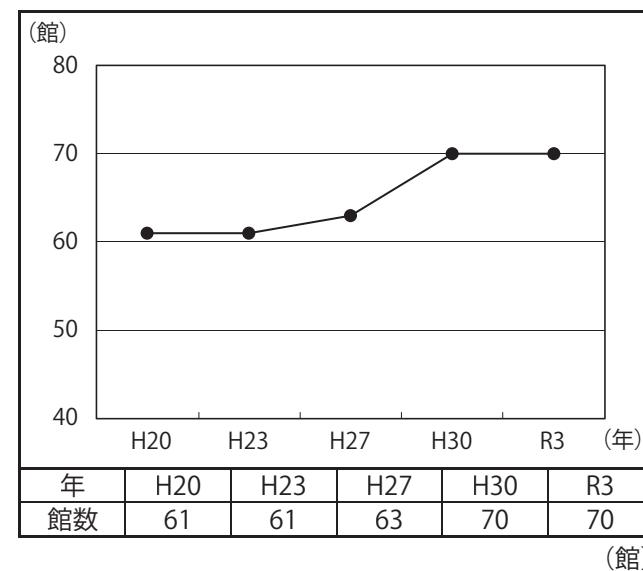
- ・調査時点 令和5年5月1日
- ・算出方法 外国人留学生数 ÷ 総人口 × 100,000
- ・資料出所 (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

総人口は、総務省「人口推計」（令和5年10月1日時点）を使用

E-52 図書館数（人口10万人当たり）

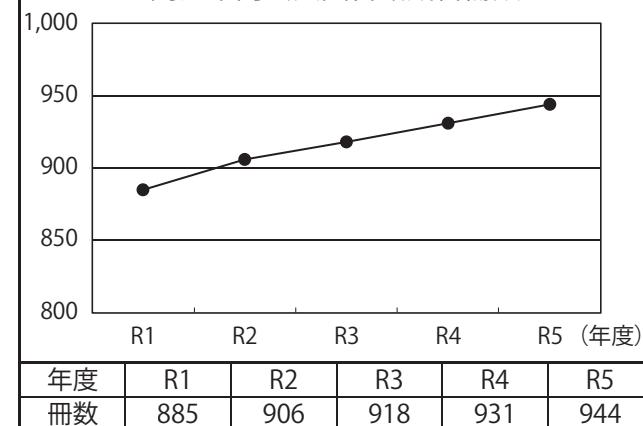
順位	都道府県名	人口10万人当たり 図書館数（館）	(館)
1	山梨県	6.58	6
2	島根県	6.17	5
3	長野県	5.90	5
4	高知県	5.85	5
5	鳥取県	5.47	4
6	富山县	5.46	4
7	秋田県	5.19	4
8	福井県	4.87	3
9	山口県	4.14	3
10	徳島県	4.07	3
11	鹿児島県	4.00	3
12	岩手県	3.93	3
13	福島県	3.92	3
14	佐賀県	3.85	3
15	山形県	3.79	3
16	岡山県	3.73	3
17	岐阜県	3.67	3
18	石川県	3.64	3
19	新潟県	3.63	3
20	滋賀県	3.62	3
21	愛媛県	3.33	3
22	宮崎県	3.20	3
23	香川県	3.18	3
24	北海道	3.18	3
25	広島県	3.09	3
26	長崎県	3.08	3
27	熊本県	3.01	3
28	大分県	2.96	3
29	和歌山县	2.96	3
30	群馬県	2.91	3
31	青森県	2.87	3
32	栃木県	2.86	3
33	東京都	2.86	3
全国値		2.70	3
34	三重県	2.68	2
35	静岡県	2.66	2
36	沖縄県	2.66	2
37	京都府	2.65	2
38	奈良県	2.51	2
39	埼玉県	2.37	2
40	茨城県	2.35	2
41	千葉県	2.29	2
42	福井県	2.22	2
43	兵庫県	1.97	2
44	大阪府	1.76	2
45	愛知県	1.53	2
46	神奈川県	1.29	2
47	東京都	0.92	2

<岡山県の推移>



E52

(万冊) <岡山県内公共図書館蔵書冊数>

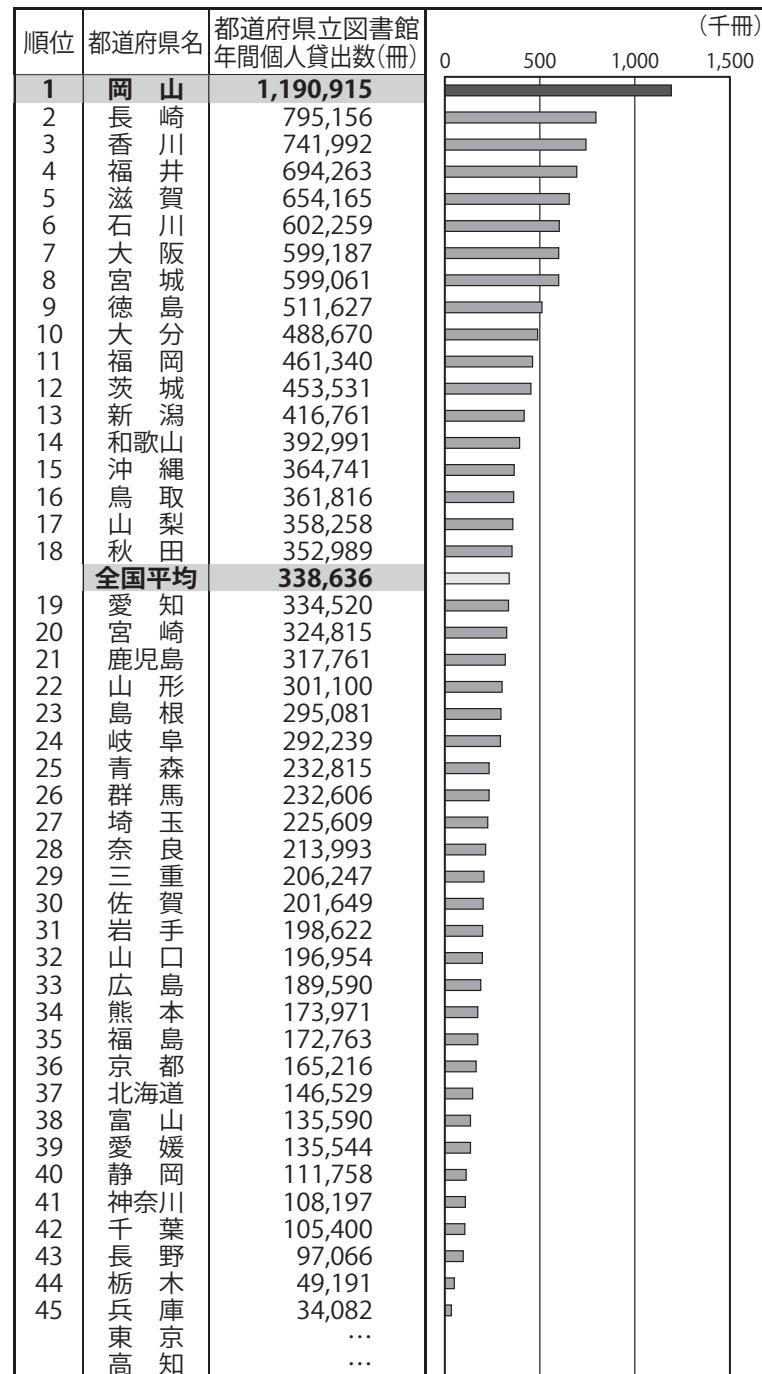


資料：岡山県立図書館 (万冊)

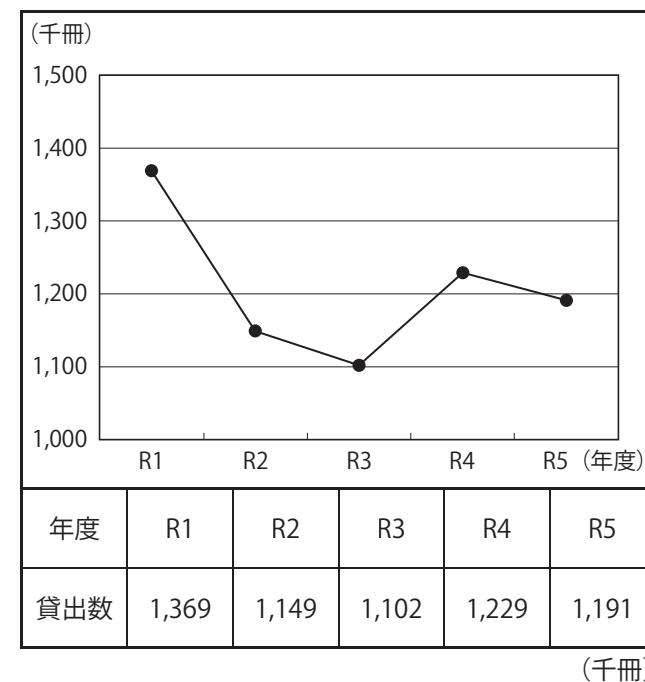
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和3年10月1日（3年毎）
- ・算出方法 図書館数÷総人口×100,000
- ・資料出所 文部科学省「社会教育調査」
総人口は、総務省「人口推計」（令和3年10月1日時点）
を使用

E-53 都道府県立図書館個人貸出数



<岡山県の推移>

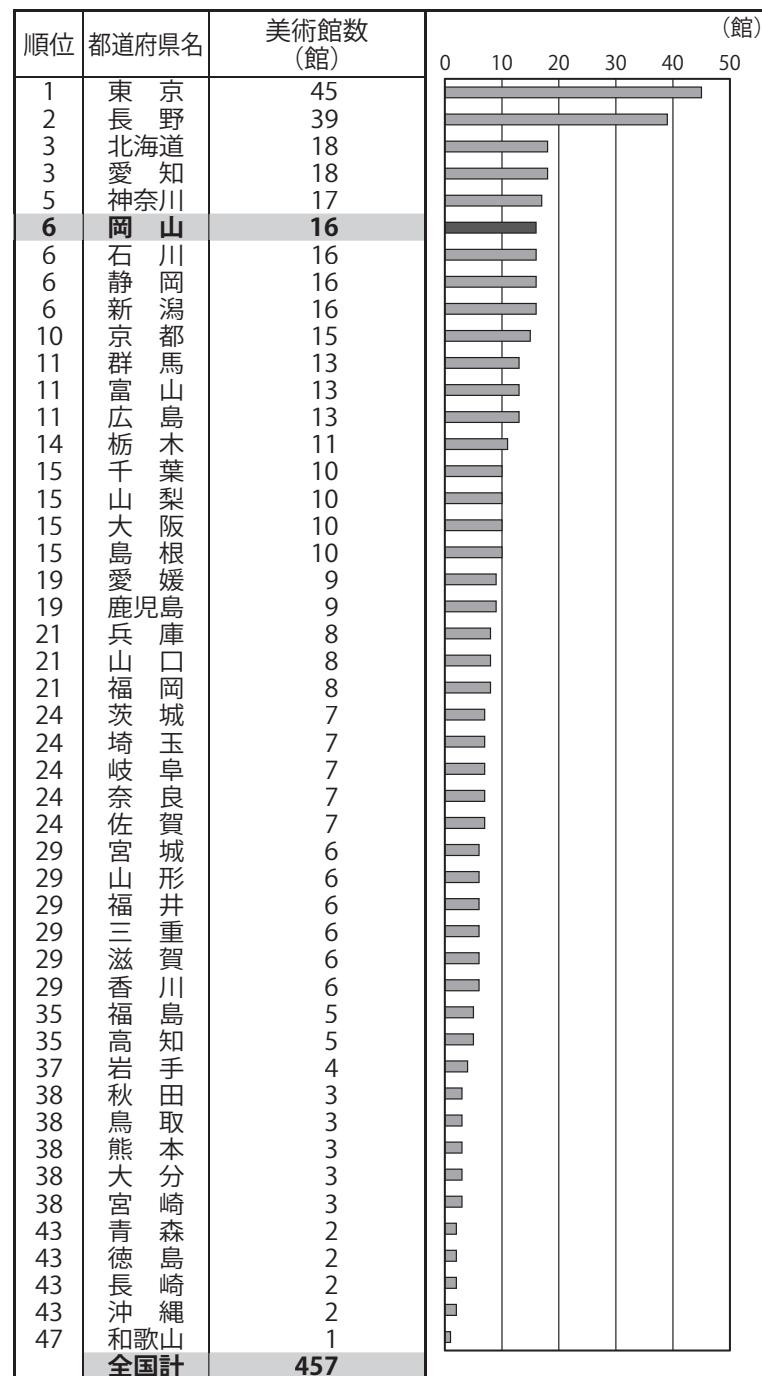


E53

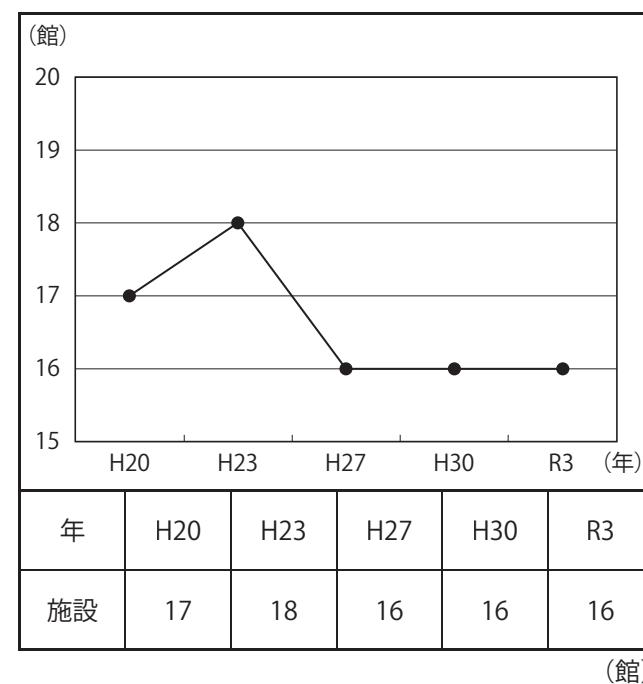
<資料出所ほか>

- ☆大阪府については、国際児童文学館の数値を含む。
- 高知県については、高知市立市民図書館に一括計上するため未記入。
- 東京都については、調査を未実施。
- ・調査期間 令和5年度
- ・資料出所 (公社)日本図書館協会「図書館雑誌」2024年8月号(速報値)

E-54 美術館数



<岡山県の推移>



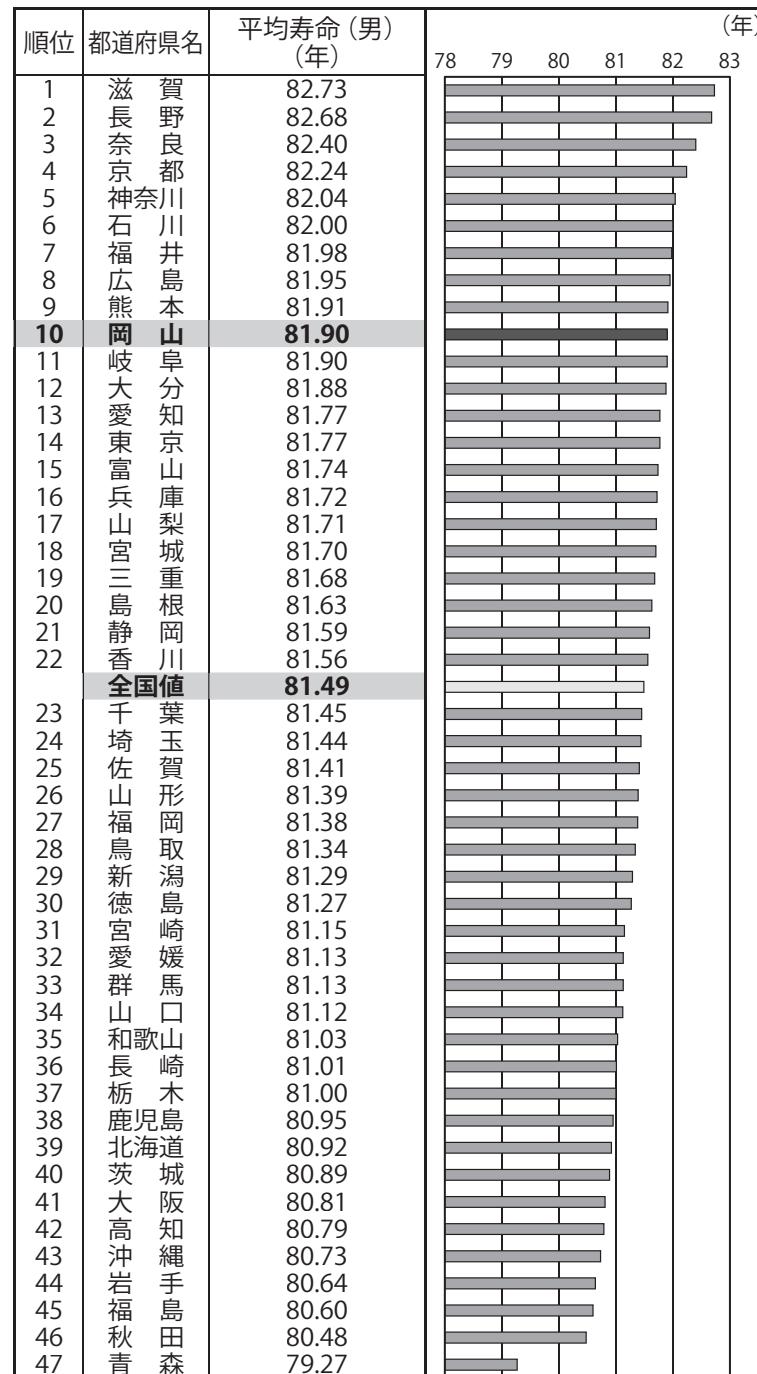
E54

<資料出所ほか>

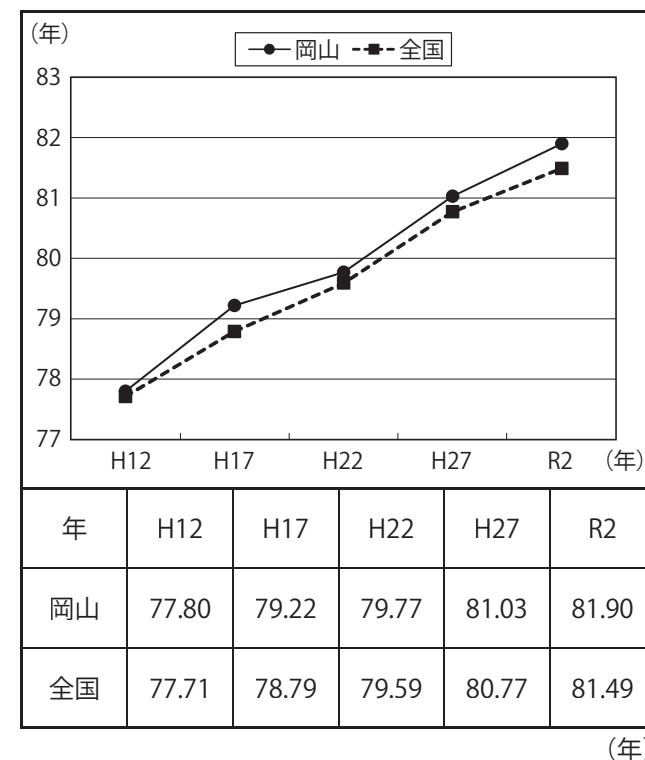
- 調査時点 令和3年10月1日（3年毎）
- 資料出所 文部科学省「社会教育調査」

F 医療・福祉

F-55 平均寿命(男)



<岡山県の推移>

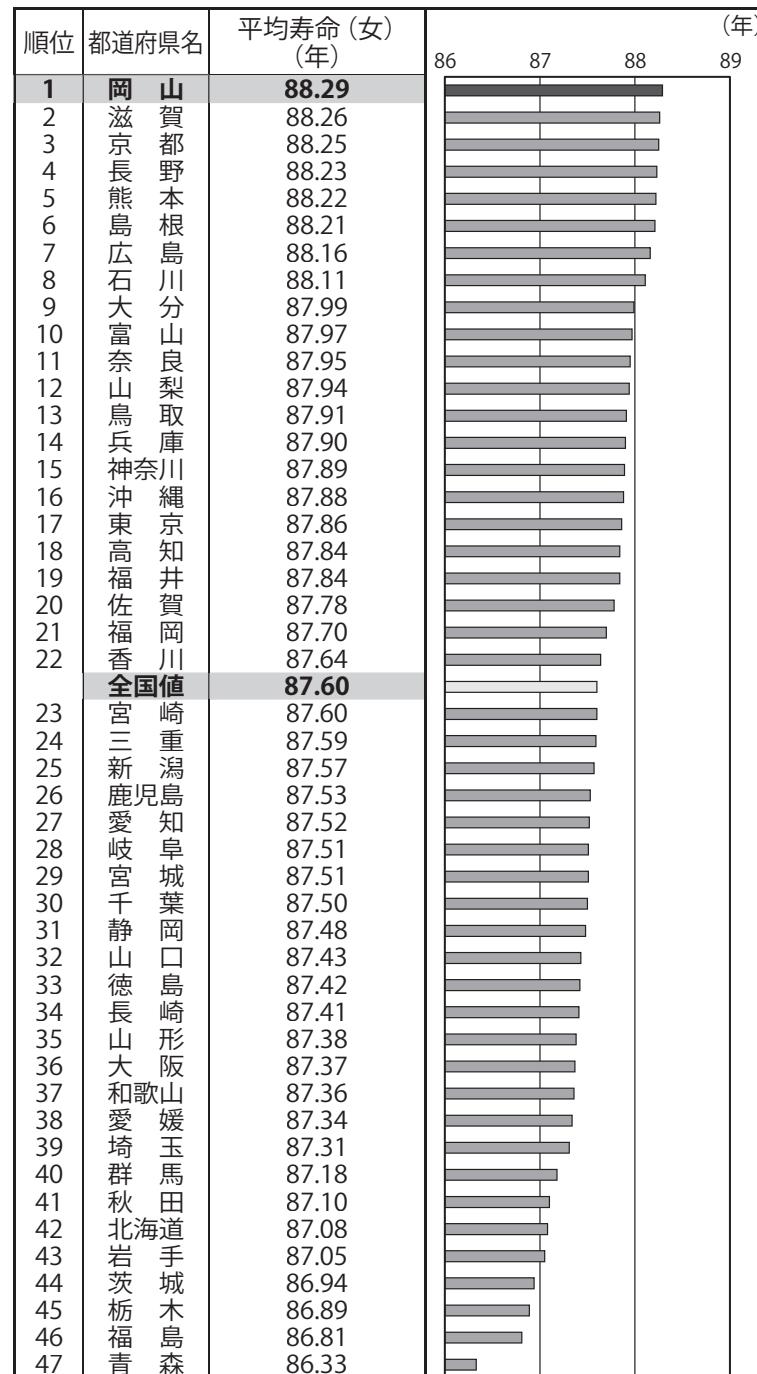


F55

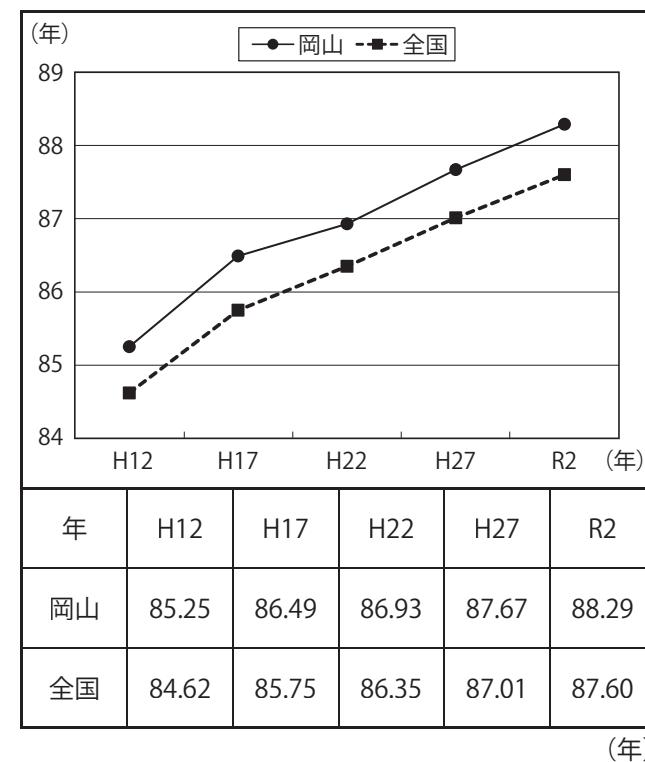
<資料出所ほか>

- ☆平均寿命とは、0歳児の平均余命のこと
- ・資料出所 厚生労働省「令和2年都道府県別生命表」
(5年毎)

F-56 平均寿命(女)



<岡山県の推移>

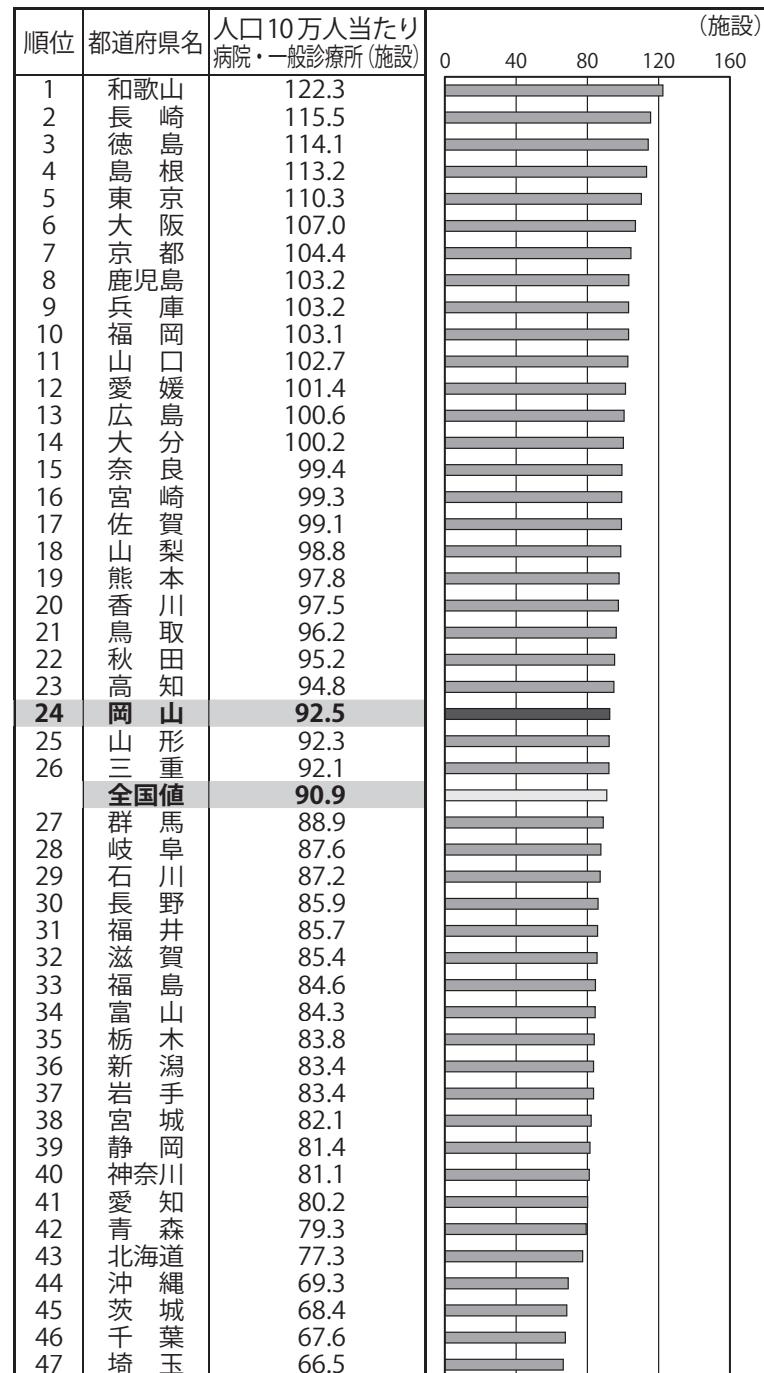


F56

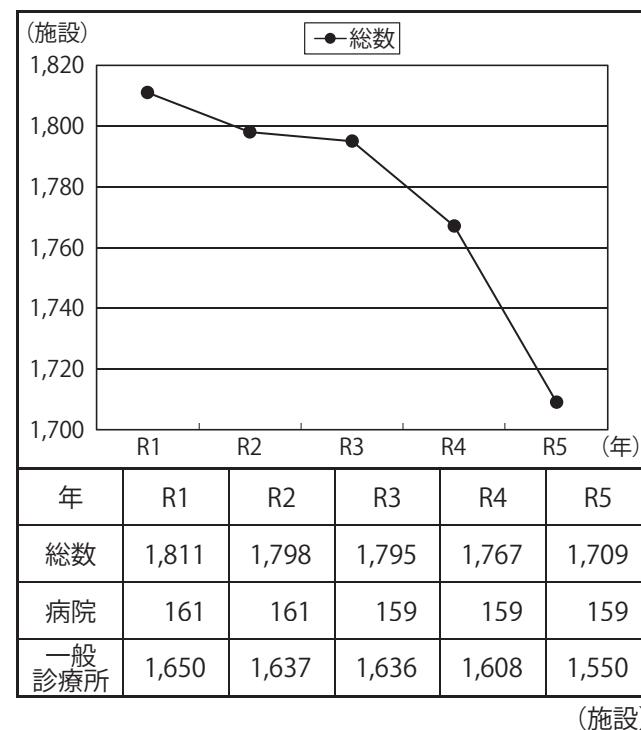
<資料出所ほか>

☆平均寿命とは、0歳児の平均余命のこと
 • 資料出所 厚生労働省「令和2年都道府県別生命表」
 (5年毎)

F-57 病院・一般診療所数(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



F57

<病院・一般診療所病床数>

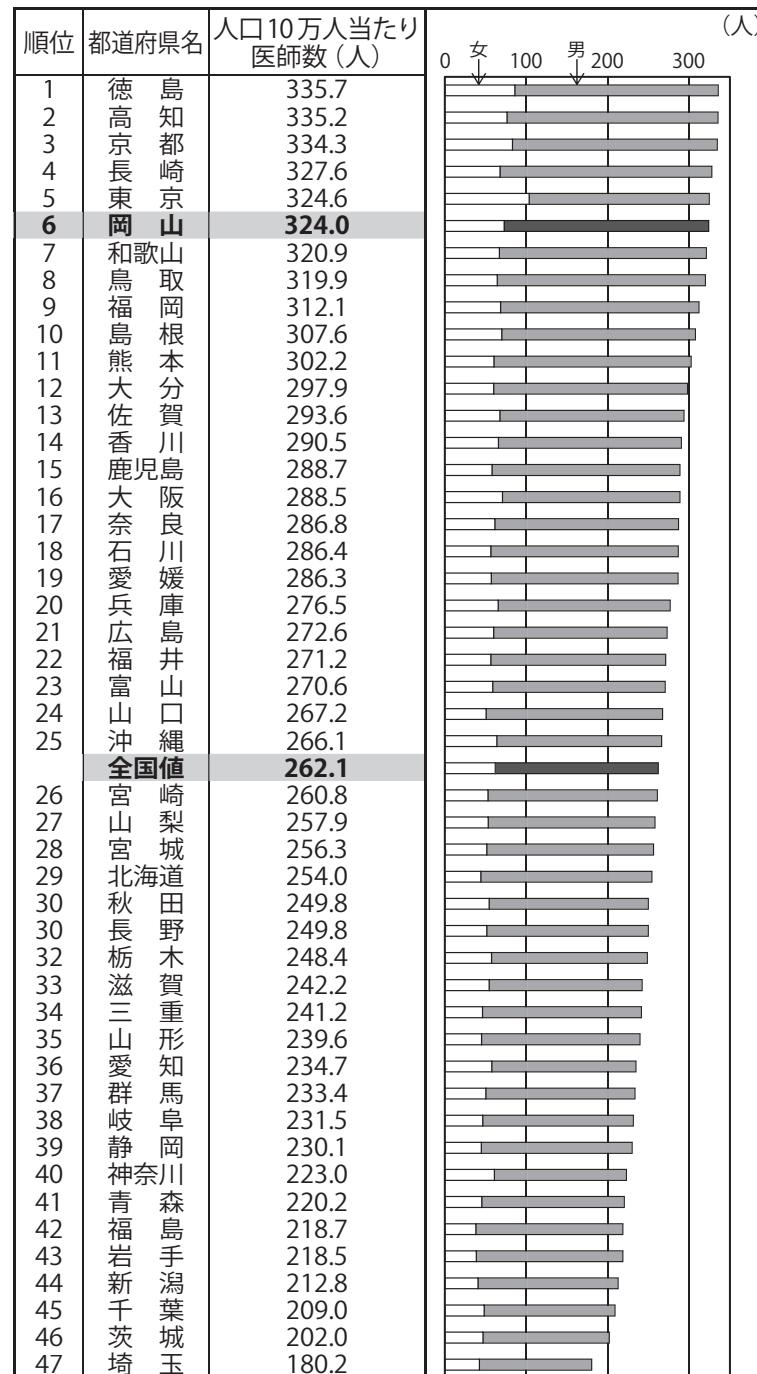
年	R1	R2	R3	R4	R5
病院	27,642	27,355	27,186	27,097	26,671
一般診療所	2,055	1,989	1,918	1,812	1,638

(床)

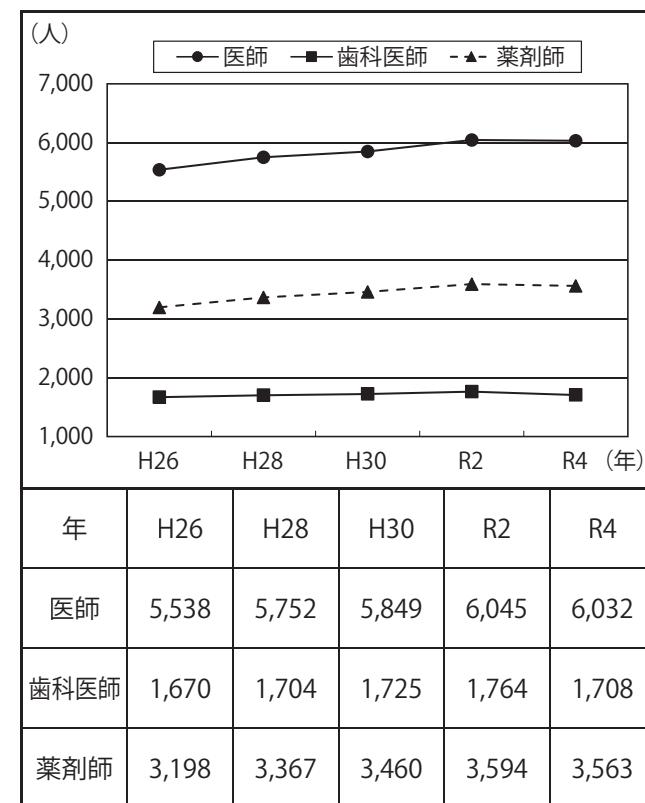
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和5年10月1日
- 算出方法 病院・一般診療所数÷総人口×100,000
- 資料出所 厚生労働省「医療施設調査」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

F-58 医師数(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



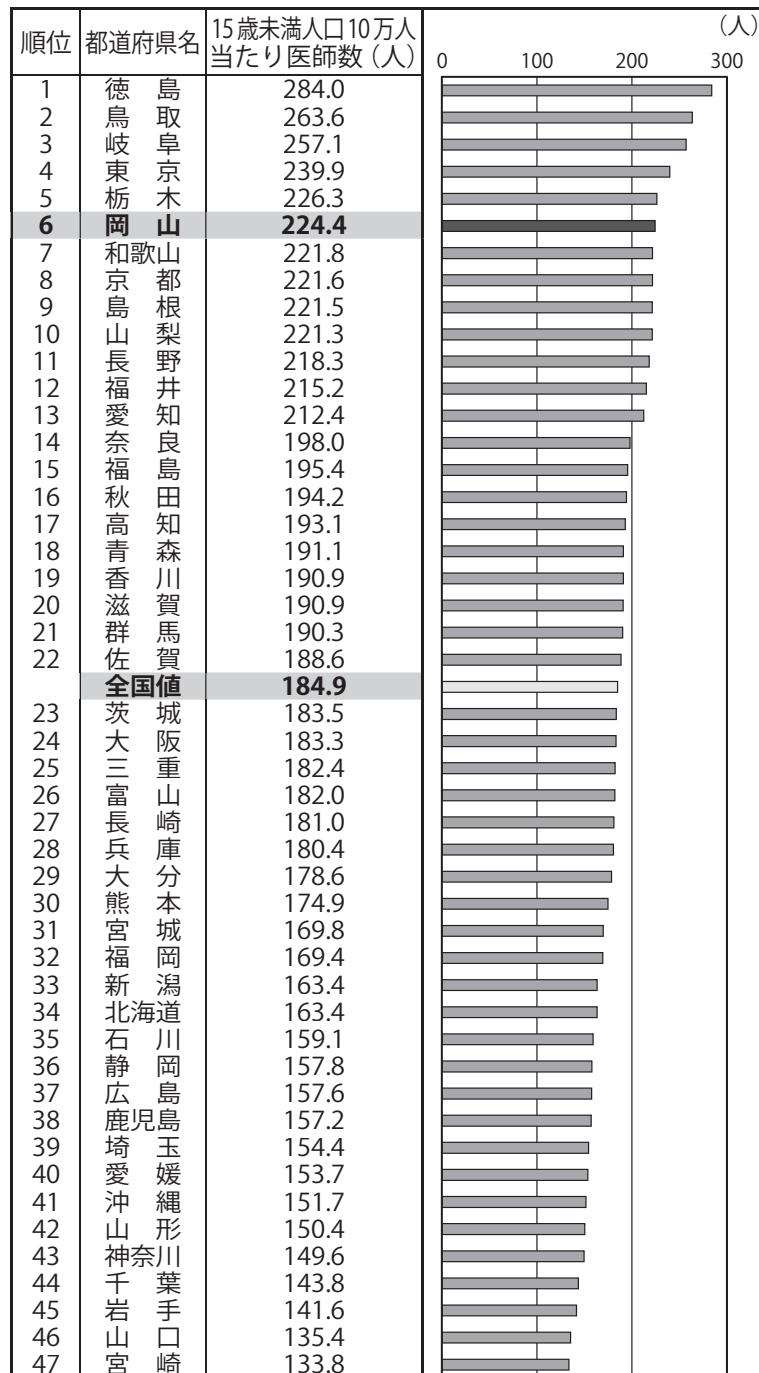
※医療施設又は薬局の従事者 (人)

F58

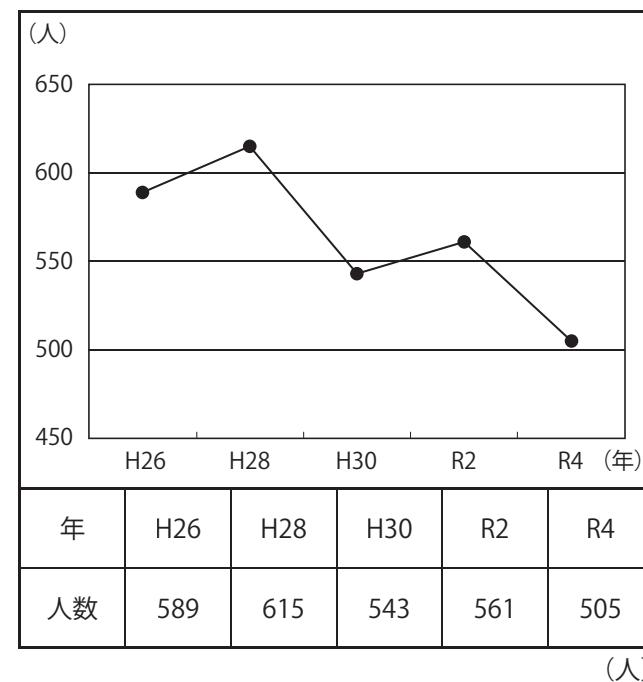
<資料出所ほか>

- ☆医療施設に従事している医師数
- ・調査時点 令和4年12月31日（2年毎）
- ・資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

F-59 小児科従事医師数（15歳未満人口10万人当たり）



<岡山県の推移>

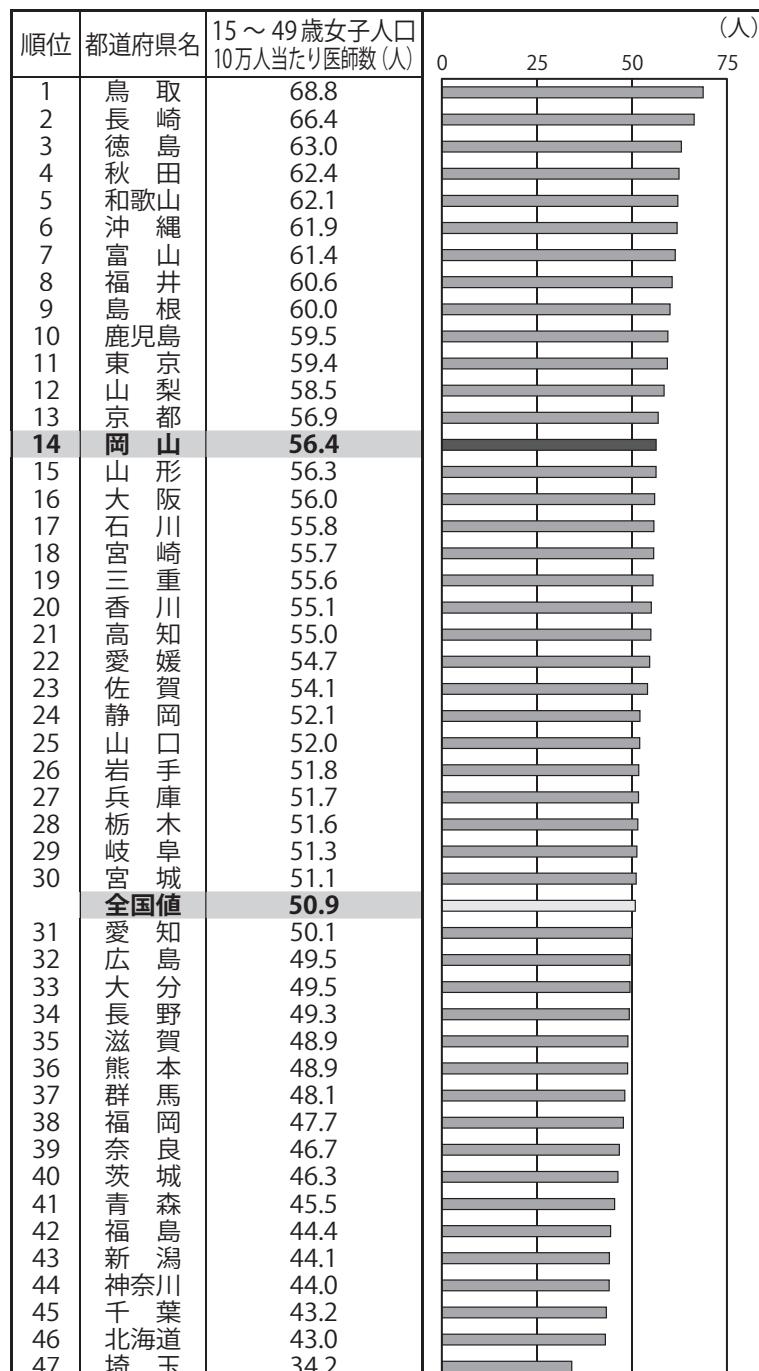


F59

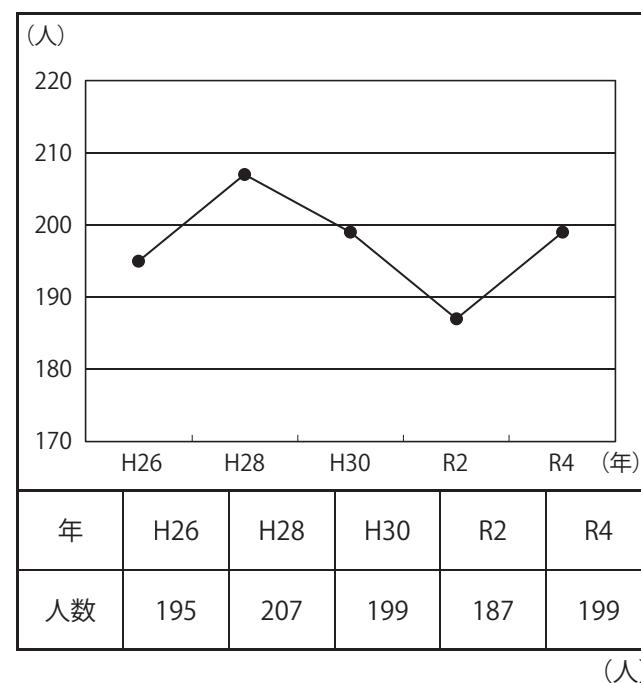
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和4年12月31日（2年毎）
- ・算出方法 小児科従事医師数 ÷ 15歳未満人口 × 100,000
- ・資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
15歳未満人口は、総務省「人口推計」（令和4年10月1日時点）を使用
- ・従事する診療科名（複数回答）で「小児科」と回答した者の数

F-60 産婦人科・産科従事医師数（15～49歳女子人口10万人当たり）



<岡山県の推移>



F60

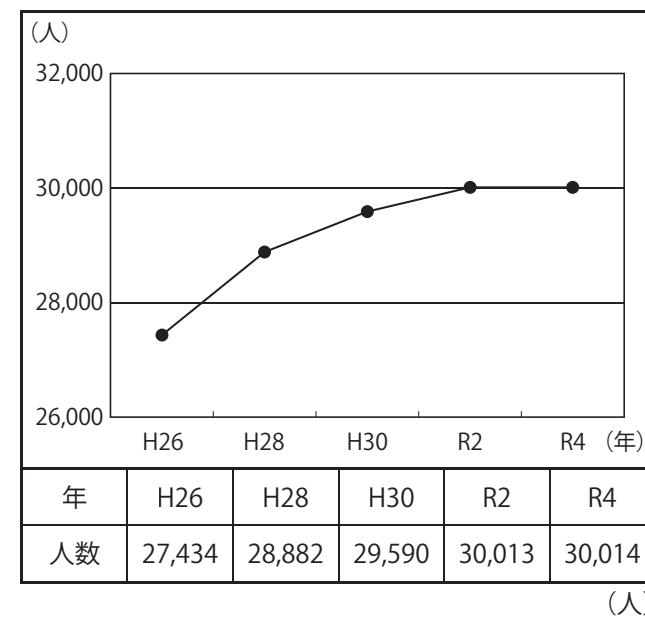
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和4年12月31日（2年毎）
- ・算出方法 産婦人科・産科従事医師数 ÷ 15～49歳女子人口 × 100,000
- ・資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
15～49歳女子人口は、総務省「国勢調査」（令和4年10月1日時点）を使用
- ・従事する診療科名（複数回答）で「産婦人科」、「産科」と回答した者の数

F-61 看護職員数（人口1万人当たり）



<岡山県の推移>



F61

<岡山県の看護職員数>

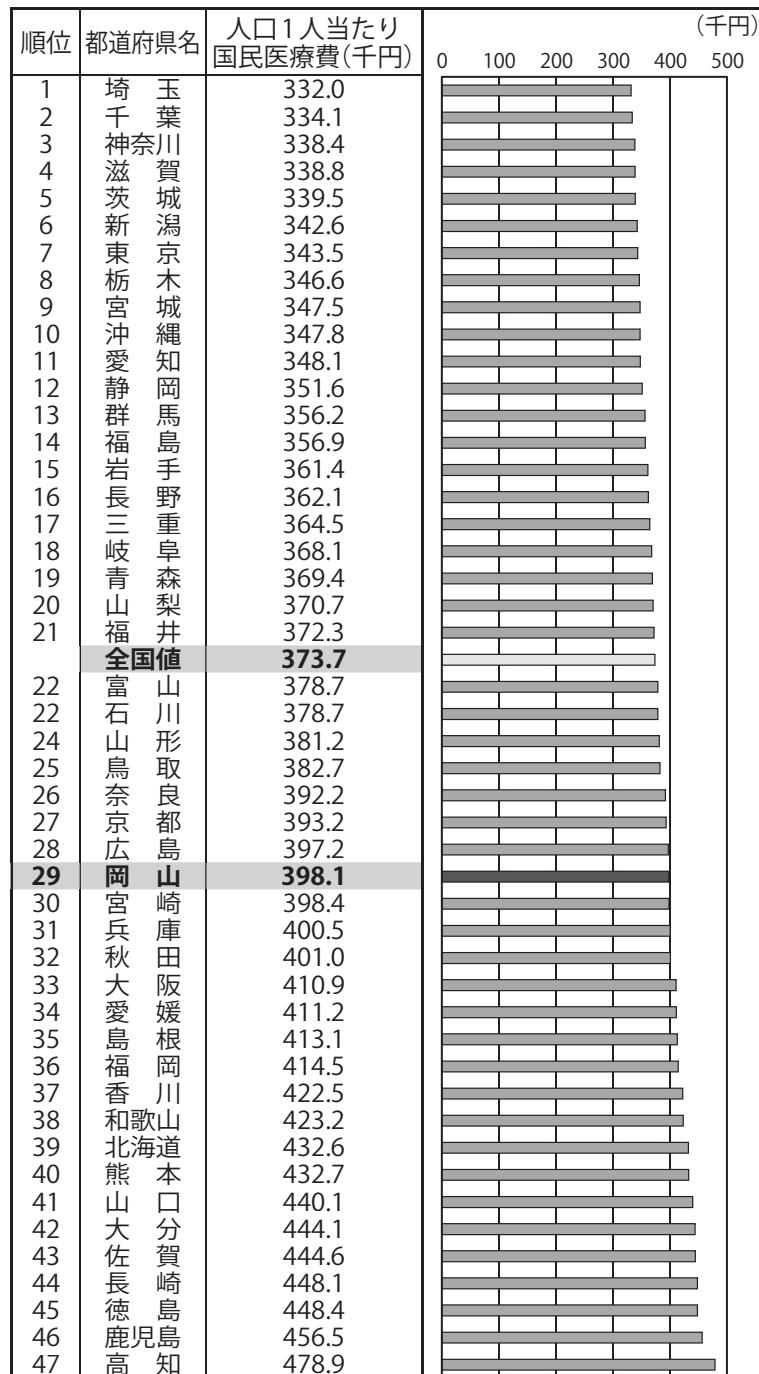
年	H26	H28	H30	R2	R4
保健師	936	974	1,018	1,069	1,159
助産師	453	517	539	553	560
看護師	20,926	22,563	23,523	24,240	24,654
准看護師	5,119	4,828	4,510	4,151	3,641

(人)

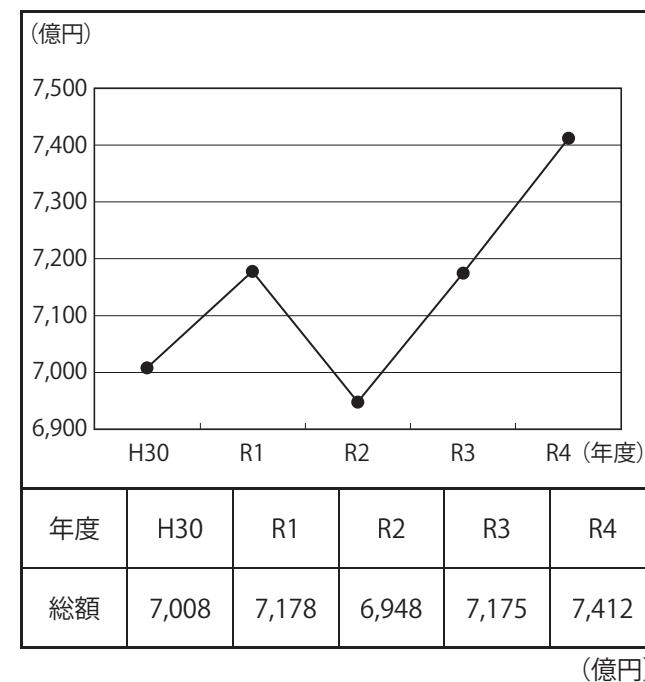
<資料出所ほか>

- ☆看護職員とは、保健師、助産師、看護師、准看護師のこと
- ・調査時点 令和4年12月31日（2年毎）
- ・算出方法 就業看護職員数 ÷ 総人口 × 10,000
- ・資料出所 厚生労働省「衛生行政報告例」
総人口は、総務省「人口推計」（令和4年10月1日時点）
を使用

* F-62 国民医療費(人口1人当たり)



<岡山県の推移>



F62

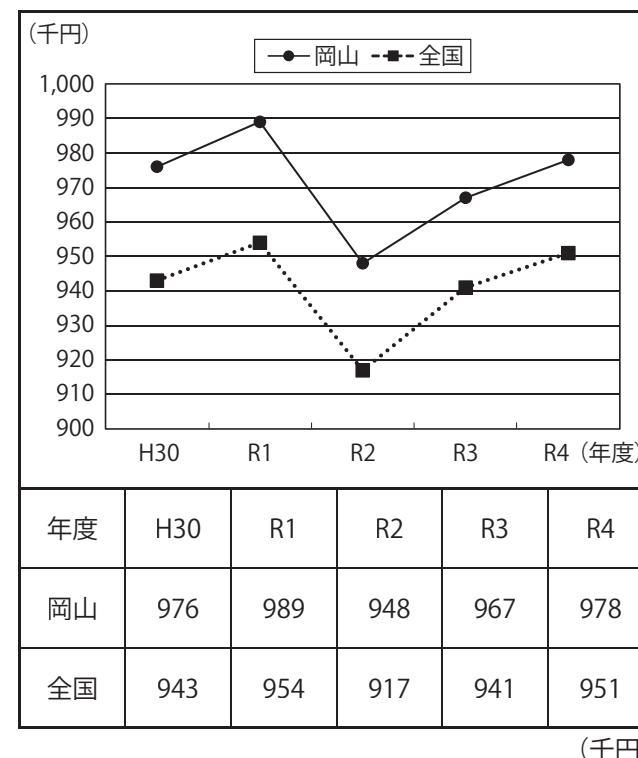
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和4年度
- ・資料出所 厚生労働省「国民医療費」
- ・国民医療費を患者の住所地に基づいて推計したもの

* F-63 後期高齢者医療費（1人当たり）

順位	都道府県名	1人当たり後期高齢者 医療費(円)	(千円)
1	新潟	763,869	
2	岩手	773,693	
3	青森	801,072	
4	秋田	809,284	
5	福島	822,782	
6	静岡	831,422	
7	千葉	834,138	
8	茨城	839,170	
9	栃木	839,196	
10	山形	844,933	
11	宮城	846,266	
12	埼玉	848,959	
13	長野	852,820	
14	三重	857,924	
15	群馬	874,070	
16	岐阜	874,913	
17	山梨	878,436	
18	神奈川	890,795	
19	福井	914,907	
20	宮崎	915,026	
21	滋賀	928,380	
22	富山	933,261	
23	島根	943,169	
24	鳥取	944,872	
25	奈良	945,246	
	全国値	951,767	
26	愛知	957,516	
27	愛媛	961,656	
28	東京	962,272	
29	和歌山	970,976	
30	石川	973,532	
31	岡山	978,051	
32	香川	988,574	
33	山口	1,024,487	
34	兵庫	1,029,830	
35	沖縄	1,036,191	
36	京都	1,038,701	
37	広島	1,042,089	
38	大分	1,053,623	
39	徳島	1,066,457	
40	北海道	1,071,635	
41	熊本	1,083,442	
42	大阪	1,087,577	
43	長崎	1,087,919	
44	佐賀	1,112,558	
45	鹿児島	1,125,145	
46	高知	1,154,017	
47	福岡	1,175,624	

<岡山県の推移>

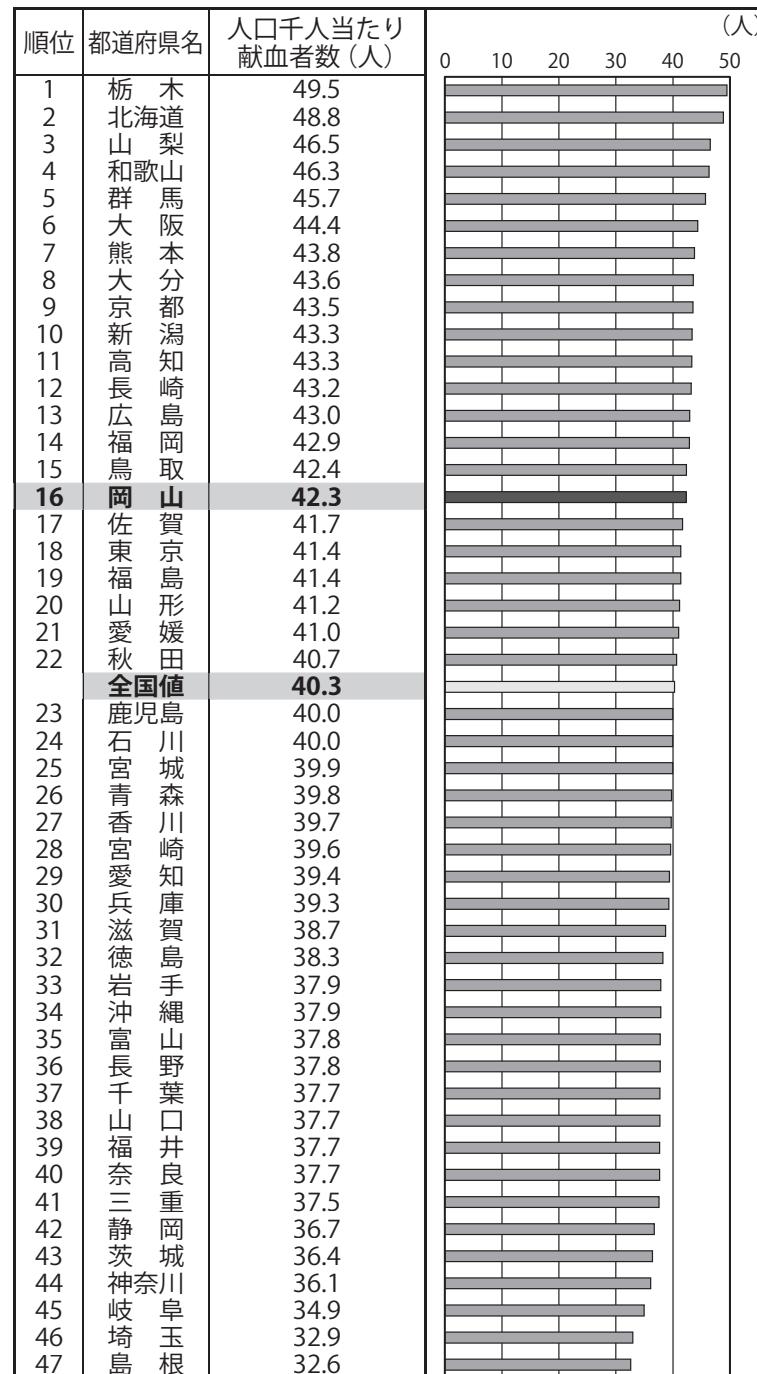


F63

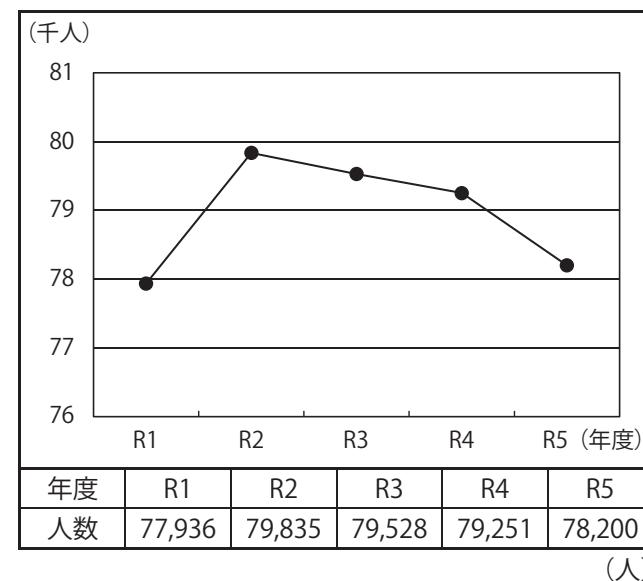
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和4年度
- ・資料出所 厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

F-64 献血者数(人口千人当たり)

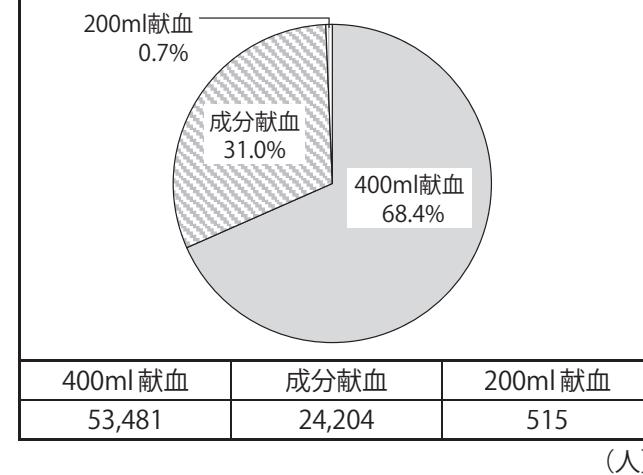


<岡山県の推移>



F64

<岡山県の献血者の内訳(献血方法別)>



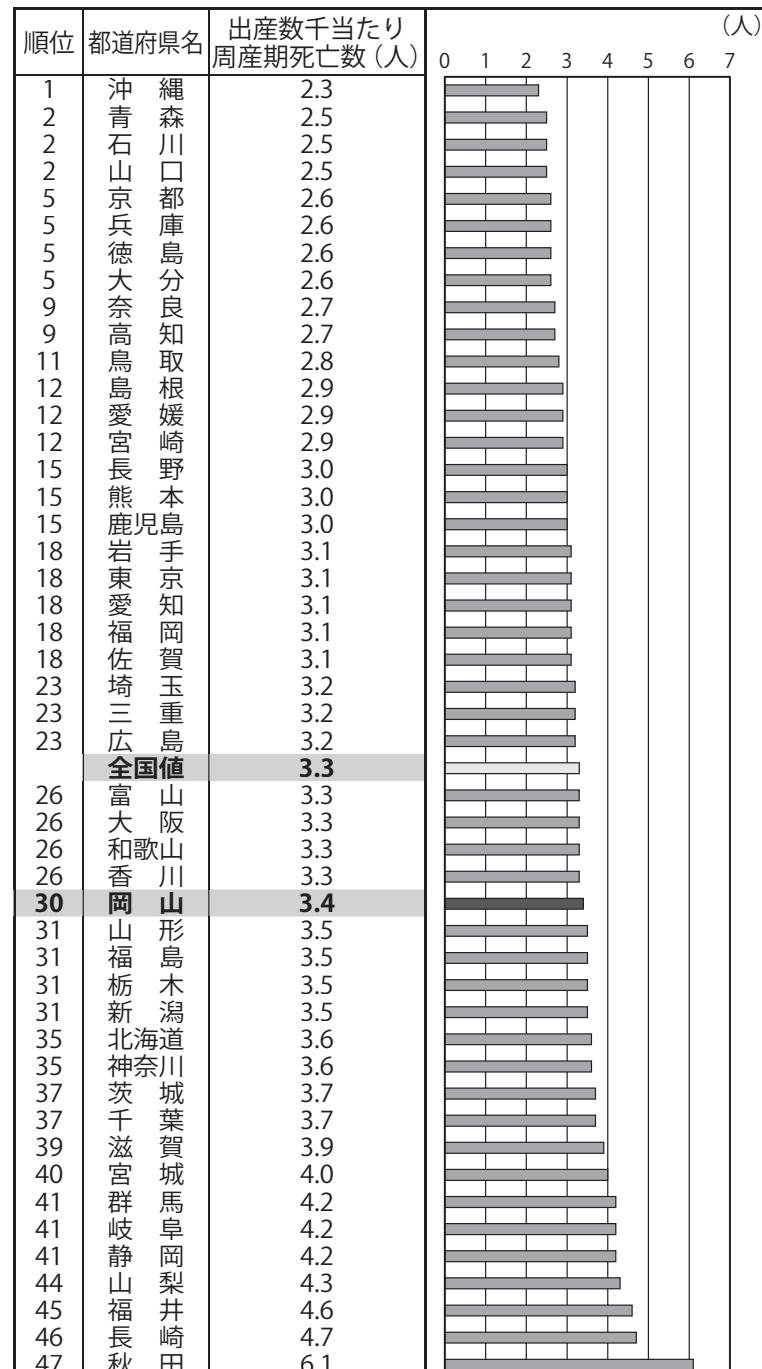
献血方法	人数
400ml献血	53,481
成分献血	24,204
200ml献血	515

(人)

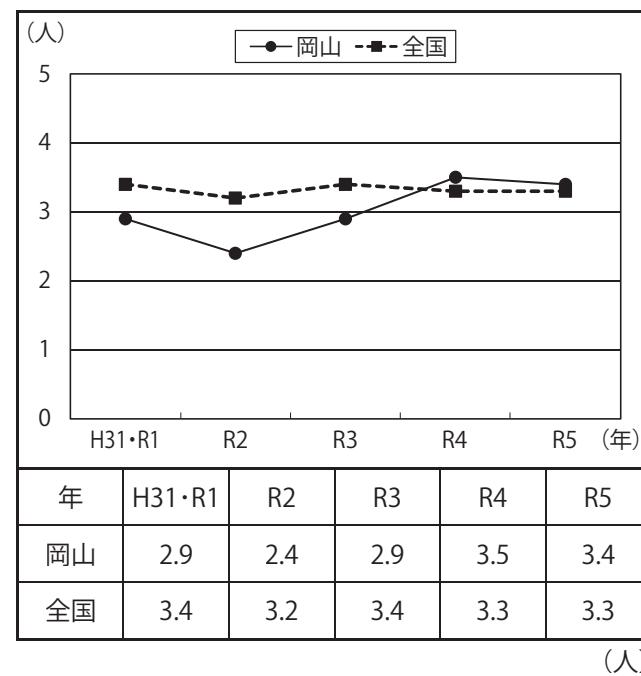
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和5年度
- ・算出方法 献血者数÷総人口×1,000
- ・資料出所 日本赤十字社「血液事業年度報」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)
を使用

* F-65 周産期死亡率(出産数千当たり)



<岡山県の推移>



F65

<岡山県の周産期死亡数>

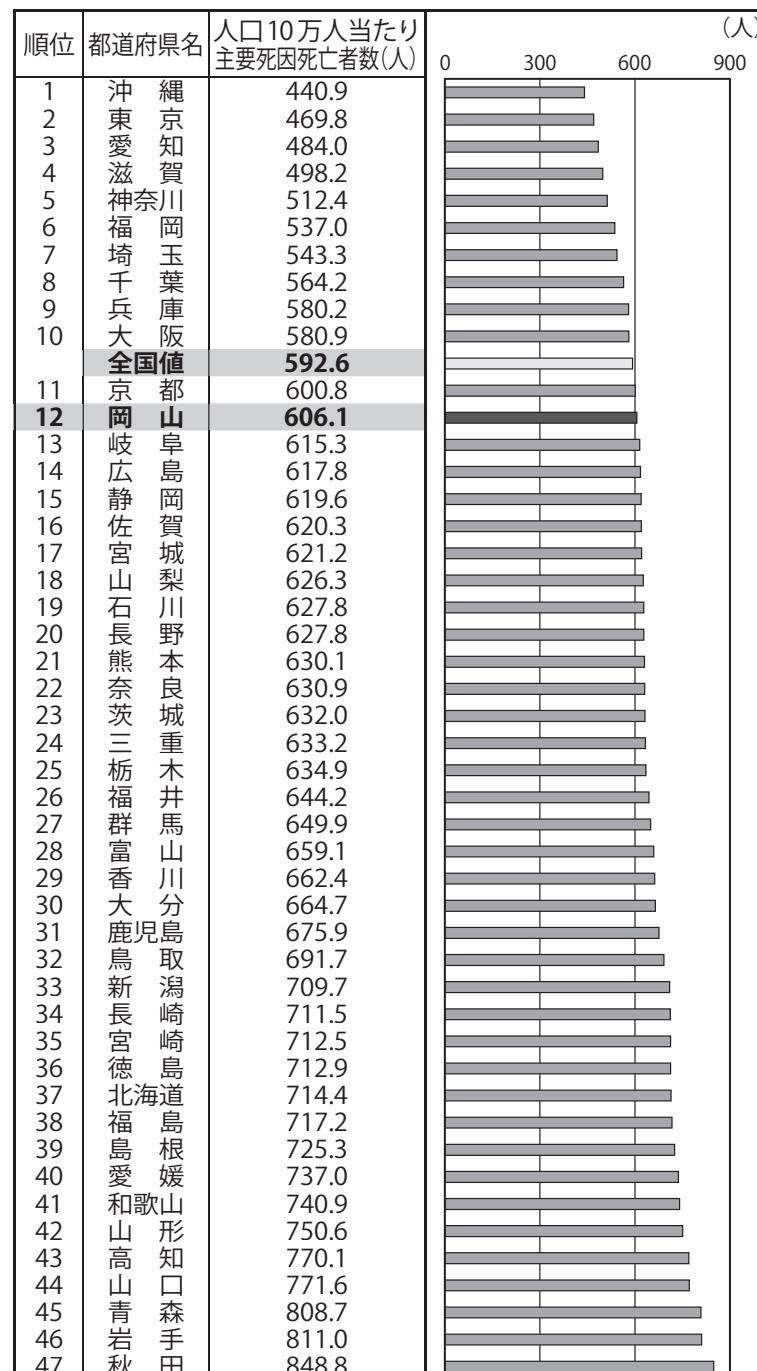
年	H31·R1	R2	R3	R4	R5
妊娠満22週以後死産	33	27	31	38	34
早期新生児死亡	7	6	7	6	6
総数	40	33	38	44	40

(人)

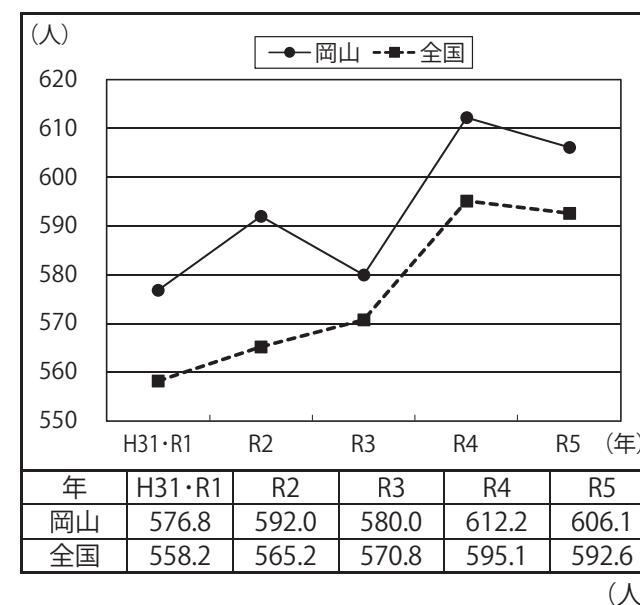
<資料出所ほか>

- ☆周産期死亡数は、妊娠満22週以後の死産と生後1週未満の早期新生児死亡の合計
- ・調査期間 令和5年(1.1~12.31)
- ・資料出所 厚生労働省「人口動態調査」
- ・集計対象 日本における日本人
- ・全国値には、住所が外国・不詳を含む。

* F-66 主要死因死亡率(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



F66

<岡山県の主要死因死亡数の推移>

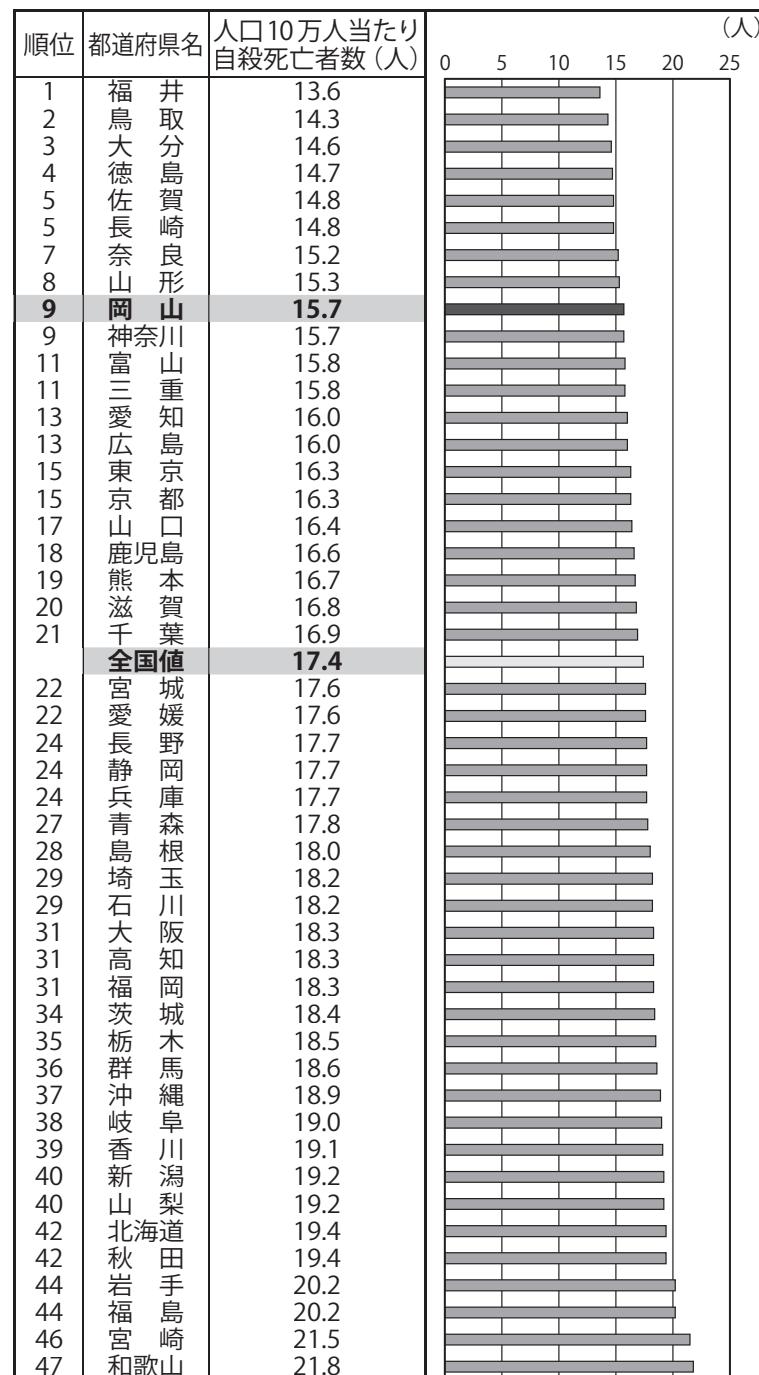
年	H31·R1	R2	R3	R4	R5
悪性新生物	5,691	5,665	5,675	5,715	5,686
心疾患	3,526	3,456	3,436	3,868	3,835
脳血管疾患	1,545	1,599	1,600	1,632	1,471
全死因	21,944	21,788	22,857	24,901	25,281

(人)

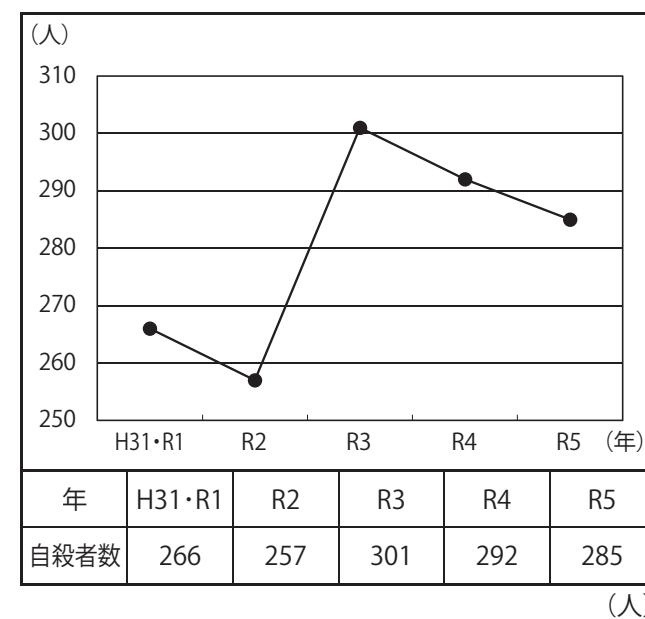
<資料出所ほか>

- ☆ここでいう主要死因とは、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患のこと
- ・調査期間 令和5年（1.1～12.31）
- ・算出方法 主要死因死亡数 ÷ 日本人人口 × 100,000
- ・資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
日本人人口は、総務省「人口推計」（令和5年10月1日時点）を使用
- ・集計対象 日本における日本人
- ・全国値には、住所が外国・不詳を含む。

* F-67 自殺死亡率(人口10万人当たり)

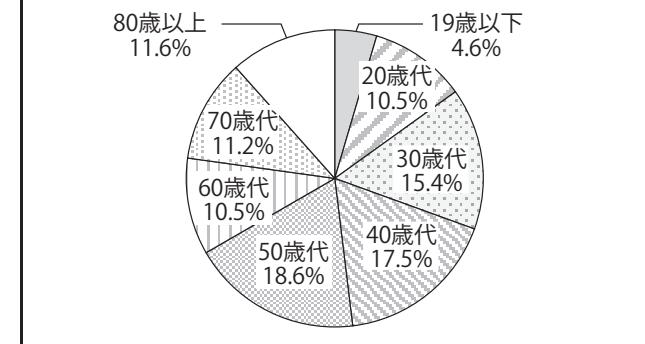


<岡山県の推移>



F67

<岡山県の年齢別自殺者割合>



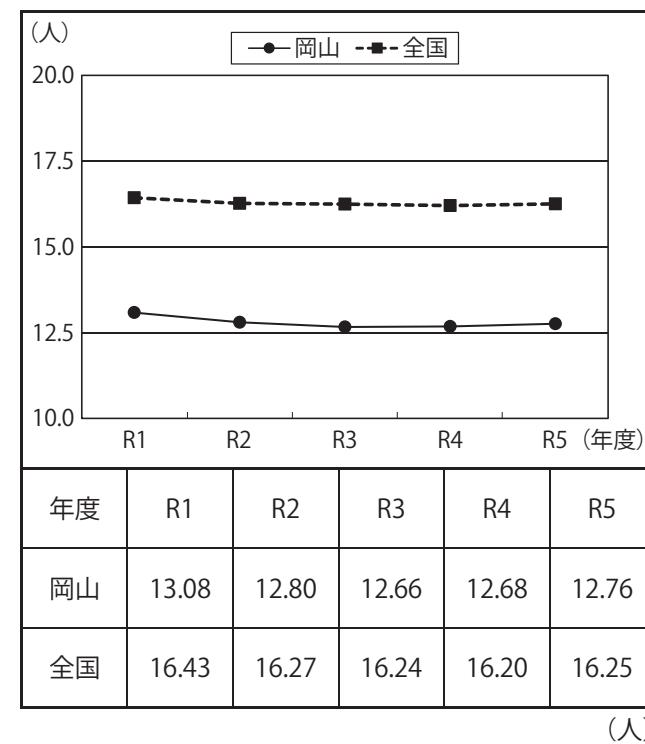
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和5年(1.1~12.31)
- ・資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
- ・集計対象 日本における日本人
- ・全国値には、住所が外国・不詳を含む。

* F-68 被生活保護者数(月平均人口千人当たり)



<岡山県の推移>



F68

<岡山県の被生活保護者数>

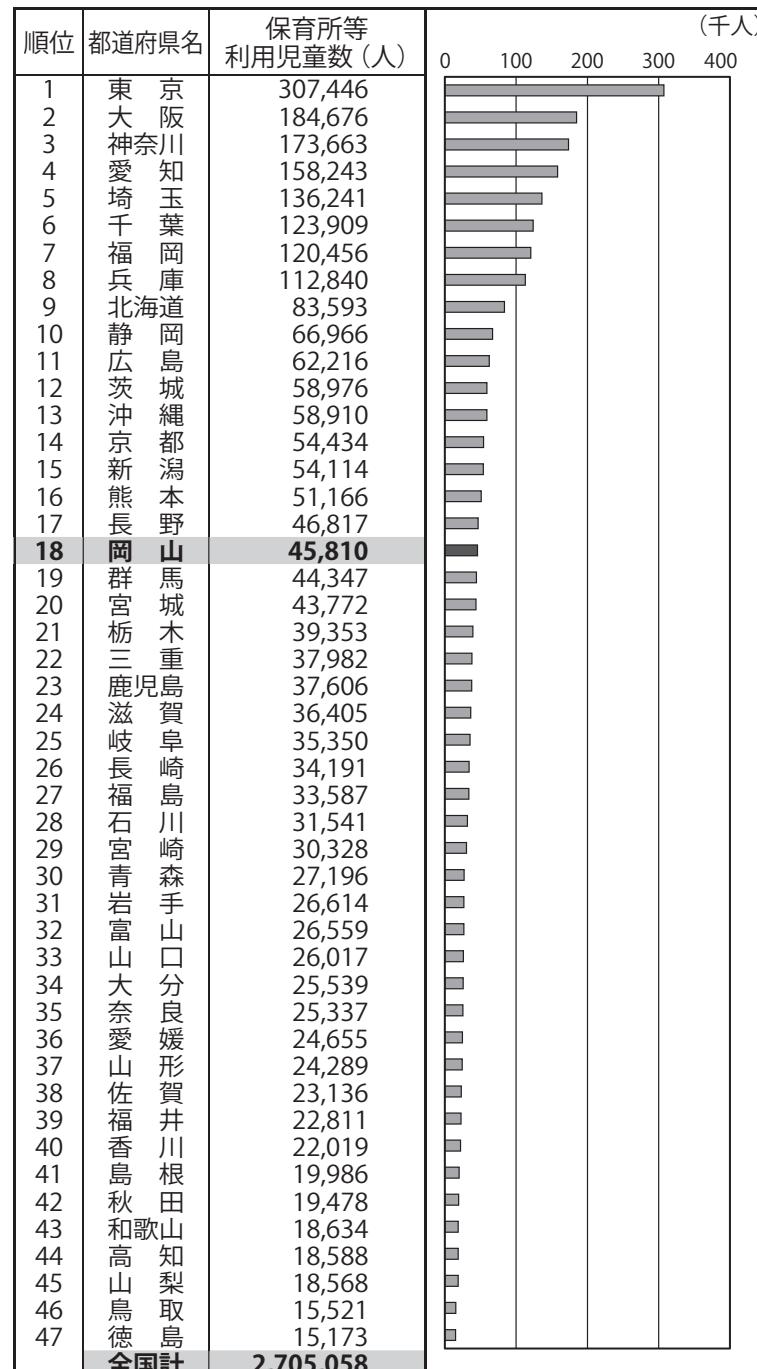
年度	R1	R2	R3	R4	R5
人数	24,722	24,179	23,762	23,612	23,559

(人)

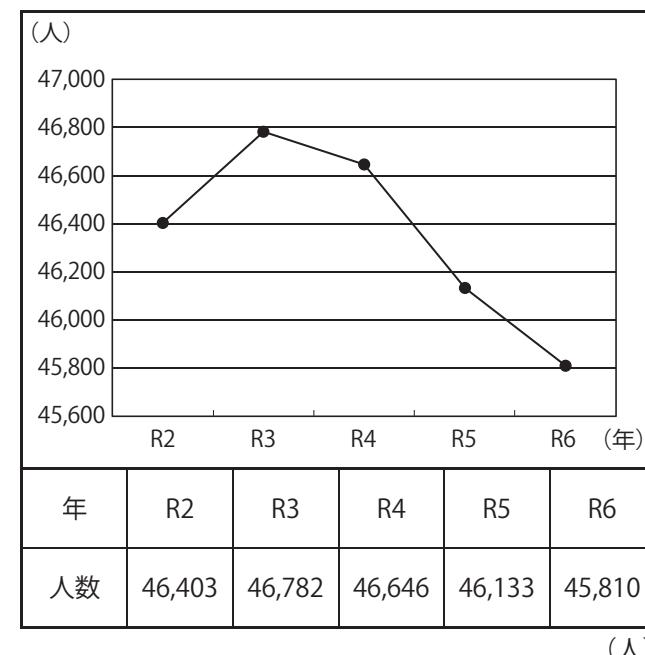
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和5年度
- ・算出方法 被生活保護実人員（1ヶ月平均）÷ 総人口 × 1,000
- ・資料出所 厚生労働省「被保護者調査」
総人口は、総務省「人口推計」（令和5年10月1日時点）を使用

F-69 保育所等利用児童数



<岡山県の推移>



F69

<岡山県の状況>

年	R2	R3	R4	R5	R6
保育所等 数	534	551	557	560	563
待機 児童数	403	104	79	56	31

(施設、人)

<資料出所ほか>

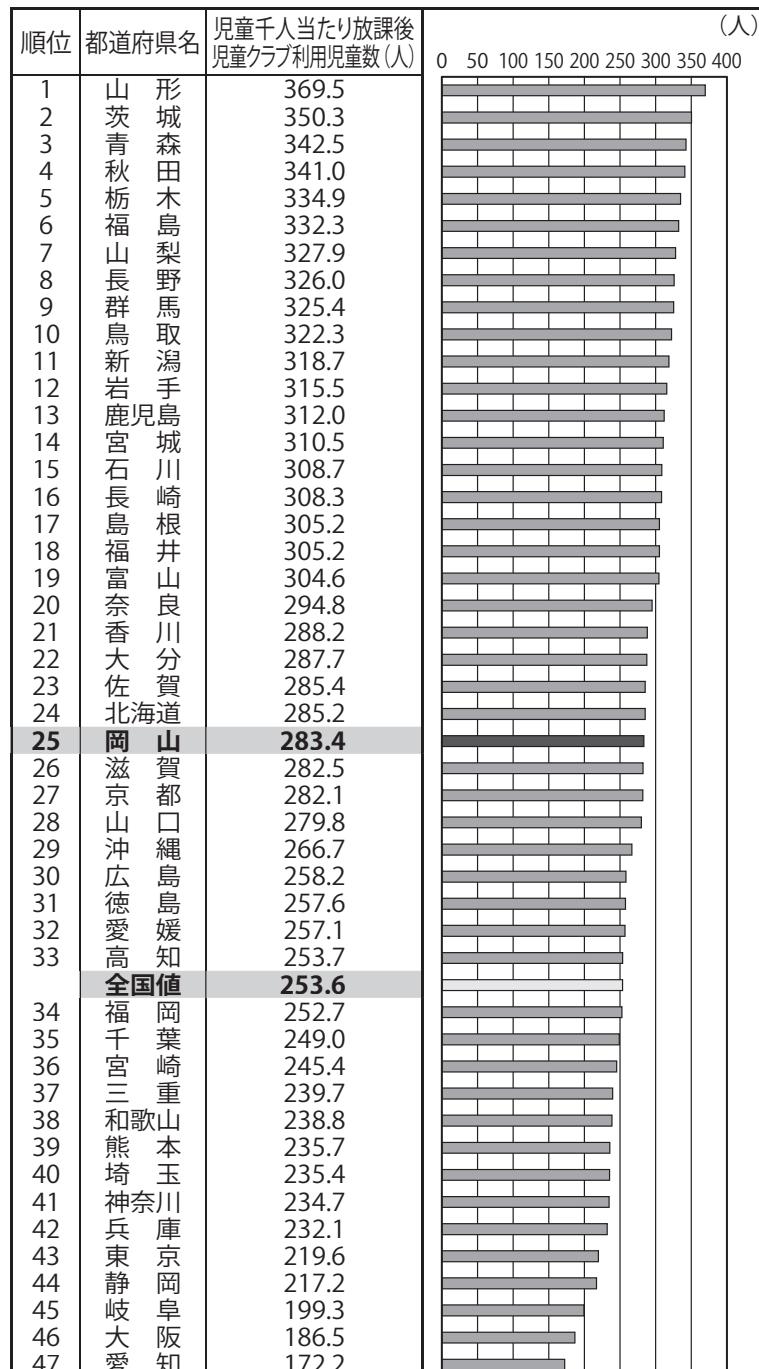
☆この調査での保育所等とは、保育所、特定教育・保育施設（幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園、地方裁量型認定こども園）、特定地域型保育事業（小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業）をいう。

☆特定教育・保育施設と特定地域型保育事業の利用児童数は、2号・3号認定の数値

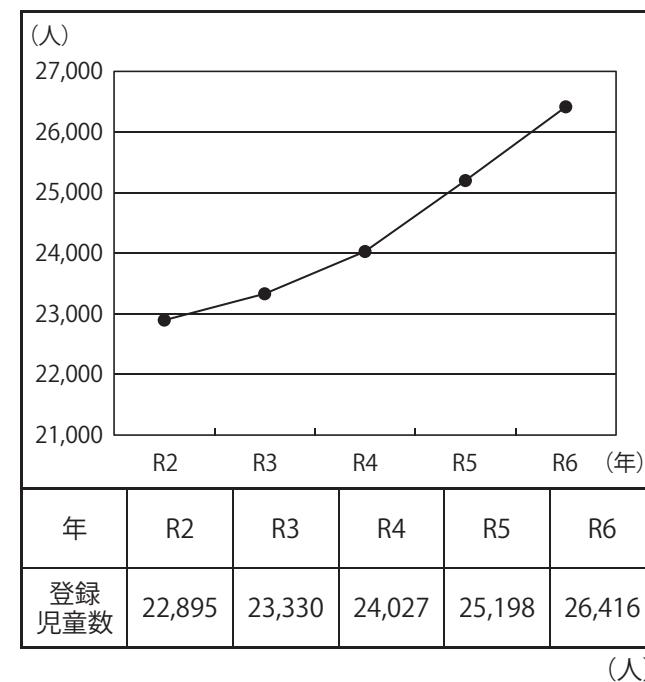
- ・調査時点 令和6年4月1日

- ・資料出所 こども家庭庁「保育所等関連状況とりまとめ」

F-70 放課後児童クラブ利用児童数(児童千人当たり)



<岡山県の推移>



F70

<資料出所ほか>

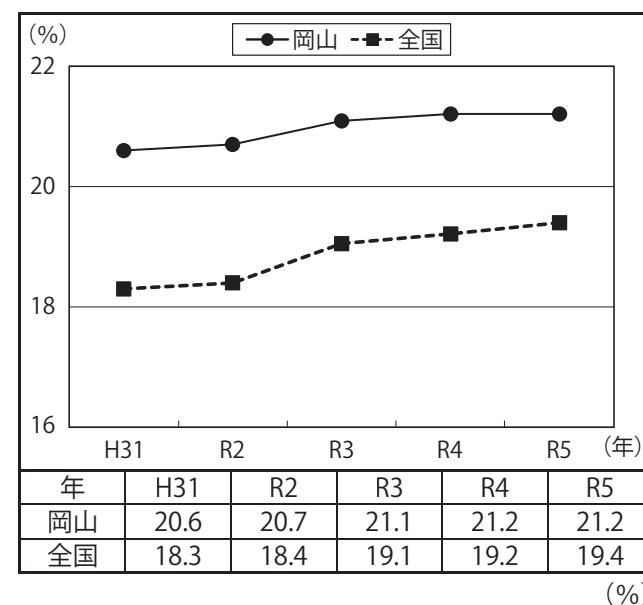
☆放課後児童クラブは、仕事や病気などで昼間保護者が家庭にいない児童に、遊びや集団生活の場を提供して、その健全な育成を図る事業のことである。

- ・調査時点 令和6年5月1日
- ・算出方法 放課後児童クラブ利用児童数 ÷ 児童数 × 100
- ・資料出所 こども家庭庁「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」
児童数は、文部科学省「学校基本調査」（令和6年5月1日時点）を使用

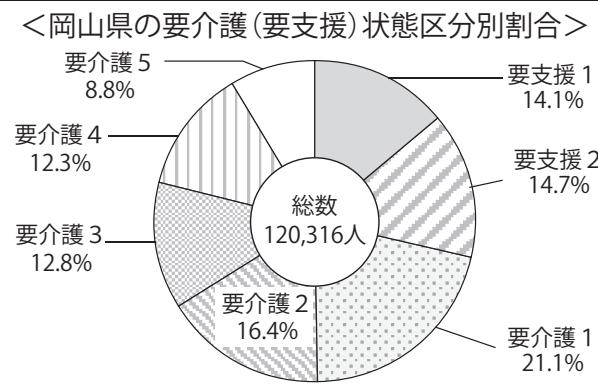
* F-71 高齢者人口に占める要介護者比率



<岡山県の推移>



F71



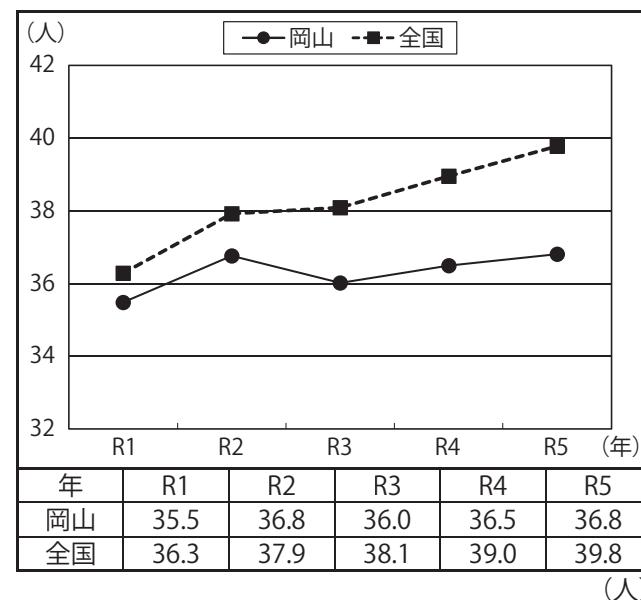
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和5年3月31日
- 算出方法 要介護・要支援認定者数 ÷ 第1号被保険者数 × 100
- 第1号被保険者とは、介護保険制度上、65歳以上の者をいうが適用除外施設に入所・入院している者は含まれない。
- 資料出所 厚生労働省「令和4年度介護保険事業状況報告」

F-72 老人ホーム定員数（65歳以上人口千人当たり）

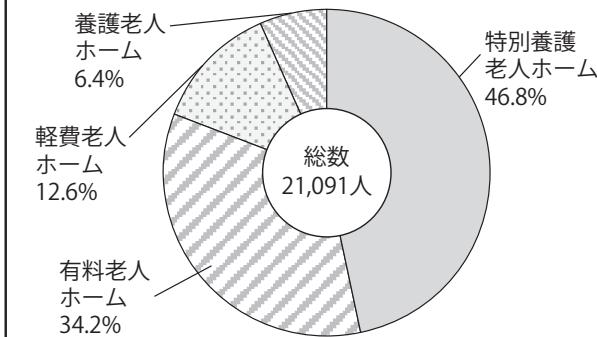


<岡山県の推移>



F72

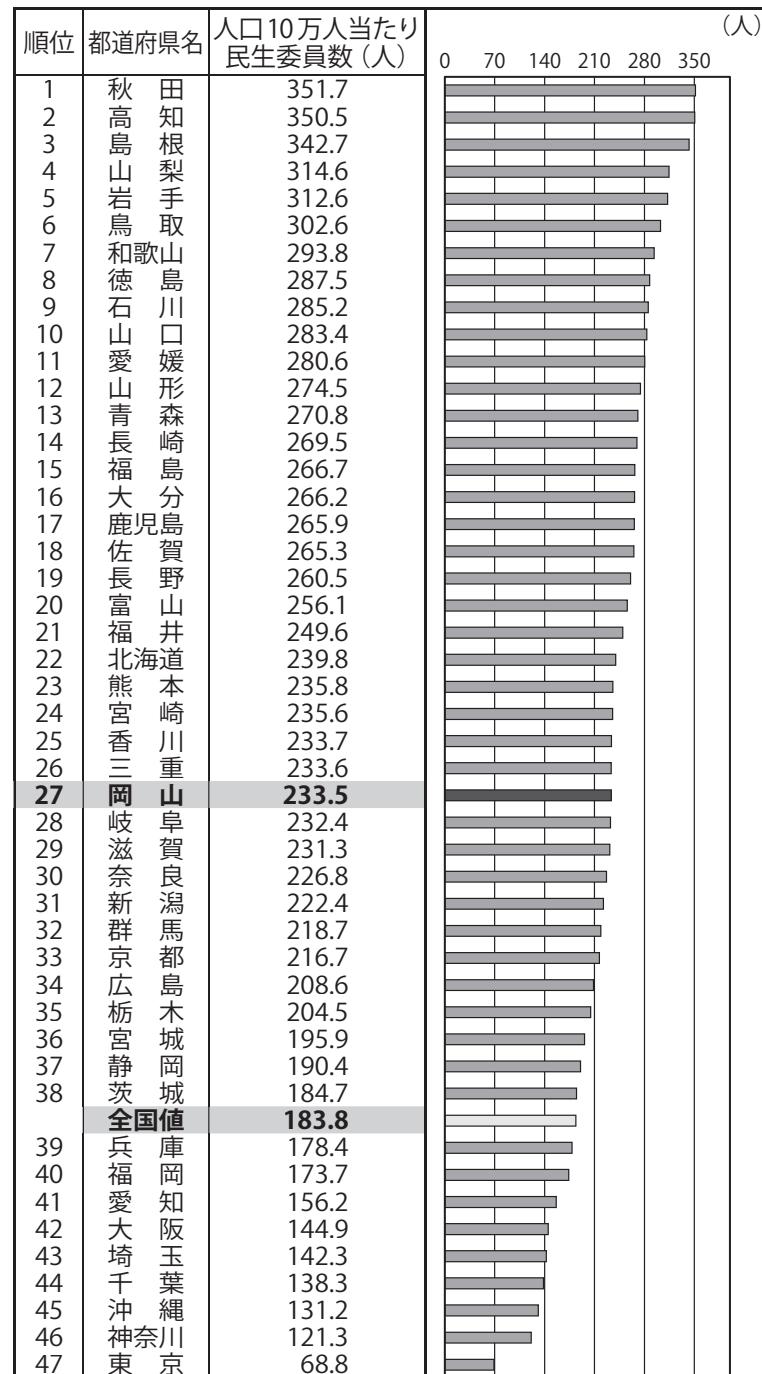
<岡山県の施設種類別定員割合>



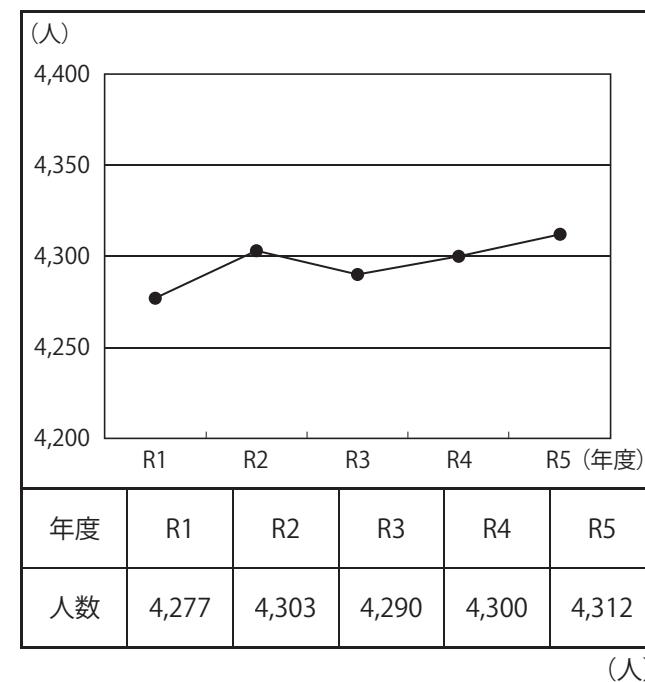
<資料出所ほか>

- ☆ここでいう老人ホームとは、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅以外）のこと
- ・調査時点 令和5年10月1日
- ・算出方法 定員数 ÷ 65歳以上人口 × 1,000
- ・資料出所 厚生労働省「令和5年社会福祉施設等調査」「令和5年介護サービス施設・事業所調査」
65歳以上人口は、総務省「人口推計」（令和5年10月1日時点）を使用
- ・特別養護老人ホームは、「令和5年介護サービス施設・事業所調査」で、介護老人福祉施設として把握した数値

F-73 民生委員(児童委員)数(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



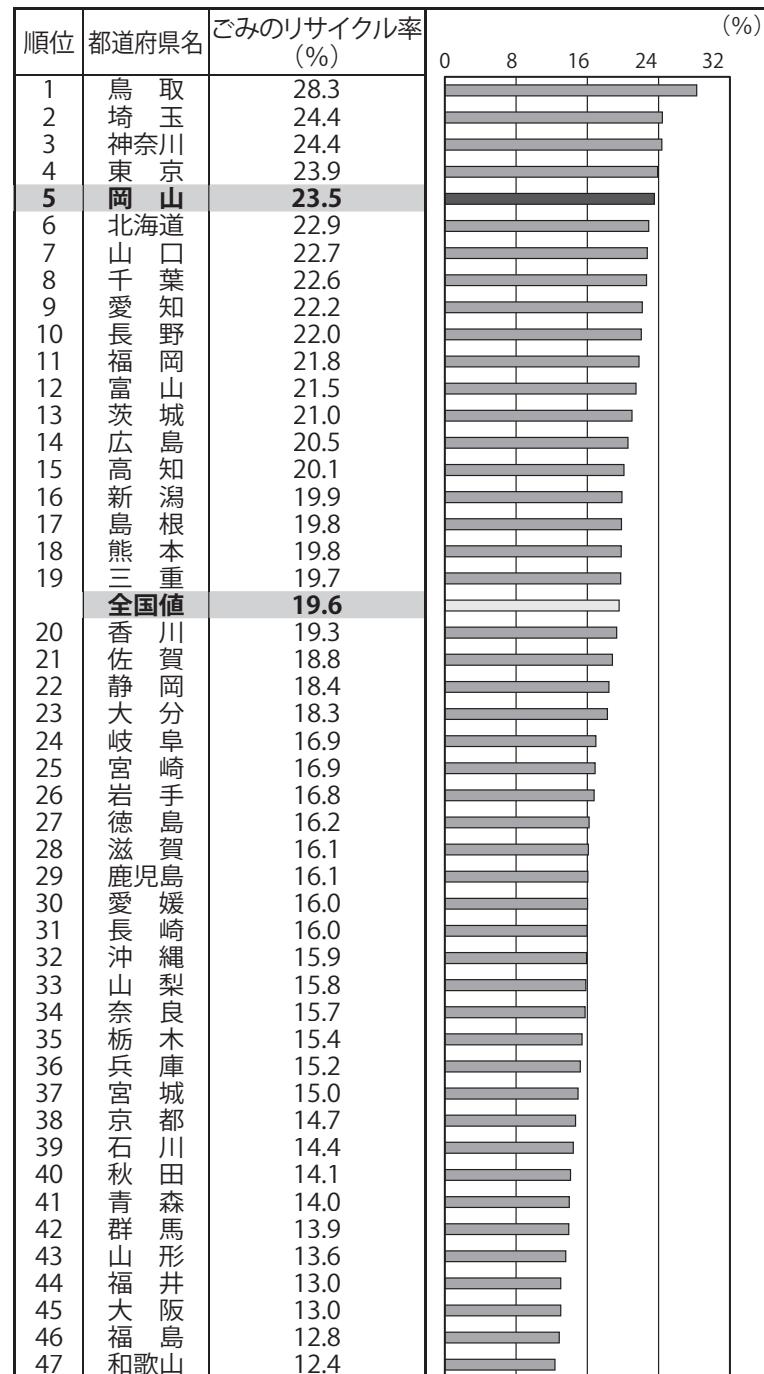
F73

<資料出所ほか>

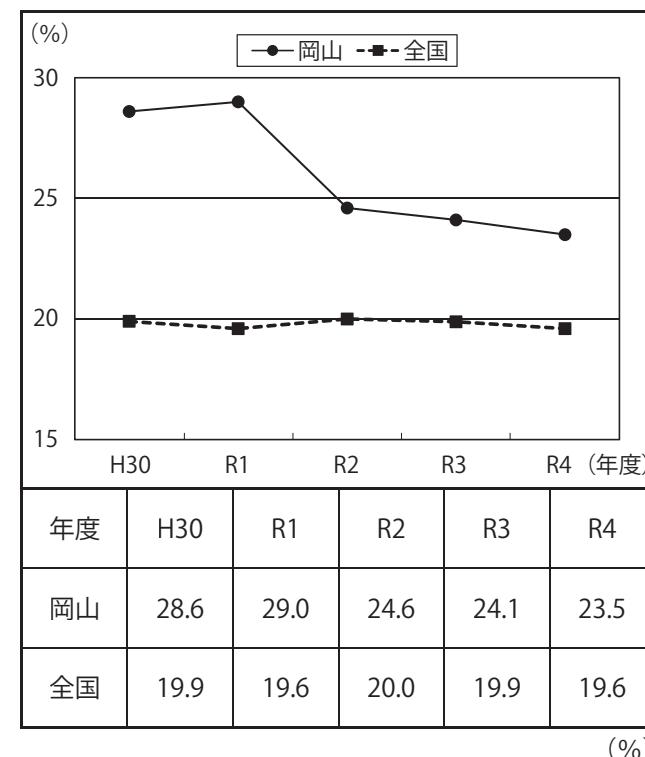
- ・調査時点 令和6年3月31日
- ・算出方法 民生委員(児童委員) ÷ 総人口 × 100,000
- ・資料出所 厚生労働省「令和5年度福祉行政報告例」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)
を使用

G 家計・居住環境

G-74 ごみのリサイクル率



<岡山県の推移>

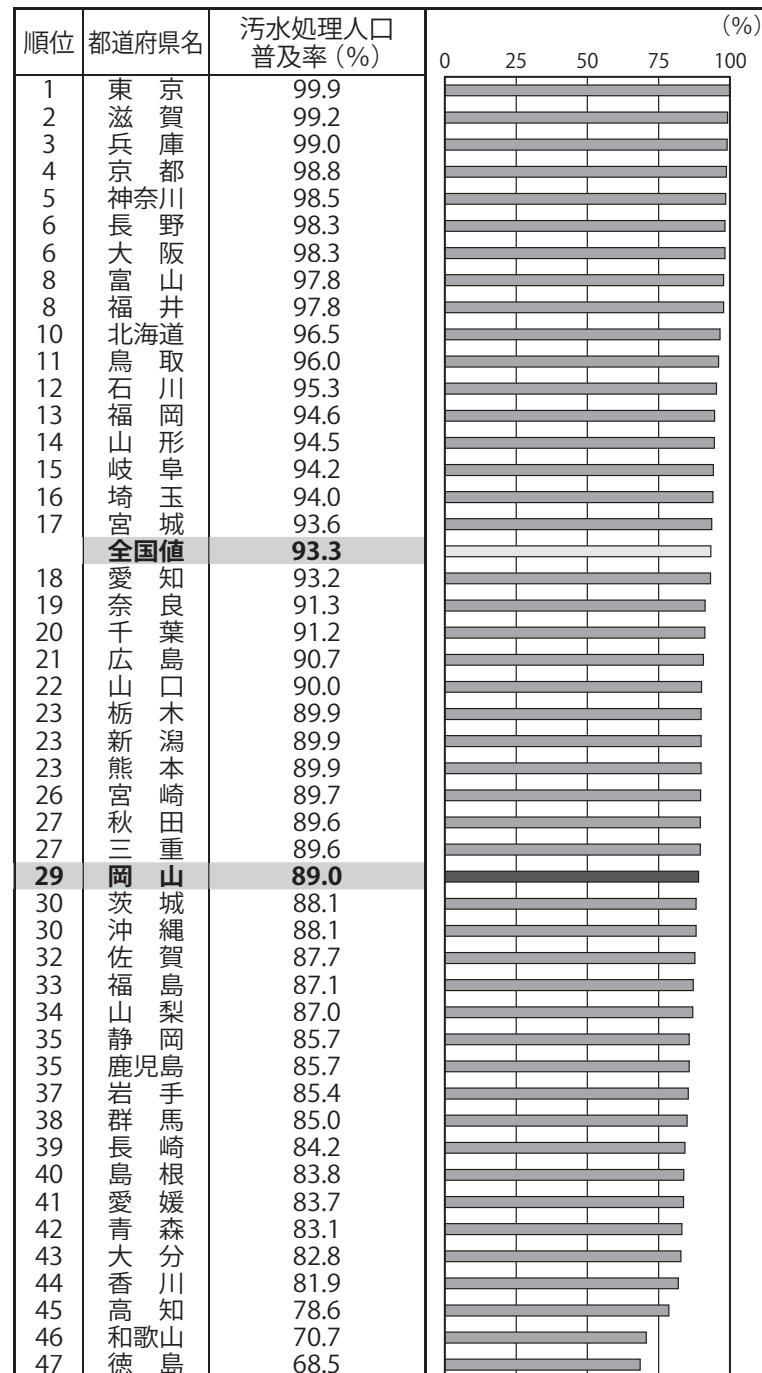


G74

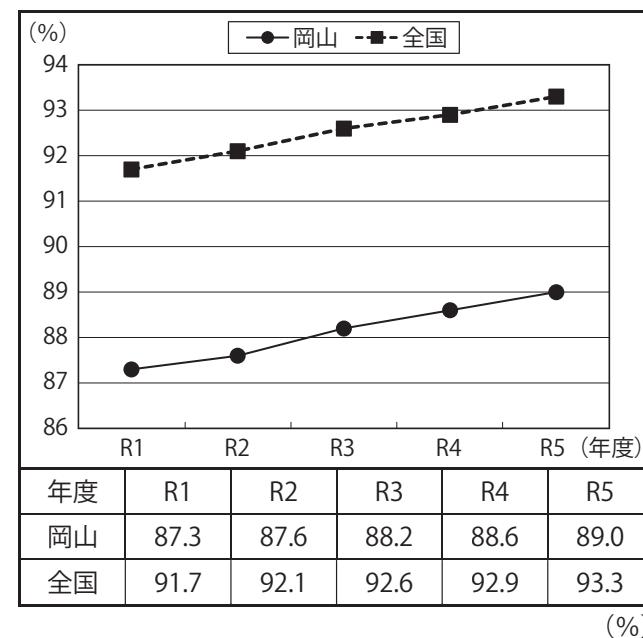
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和4年度
- 算出方法 $(\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}) \div (\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}) \times 100$
- 資料出所 環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

G-75 汚水処理人口普及率

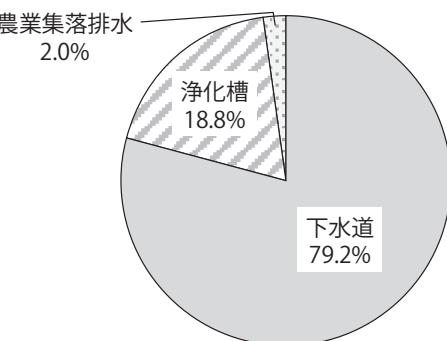


<岡山県の推移>



G75

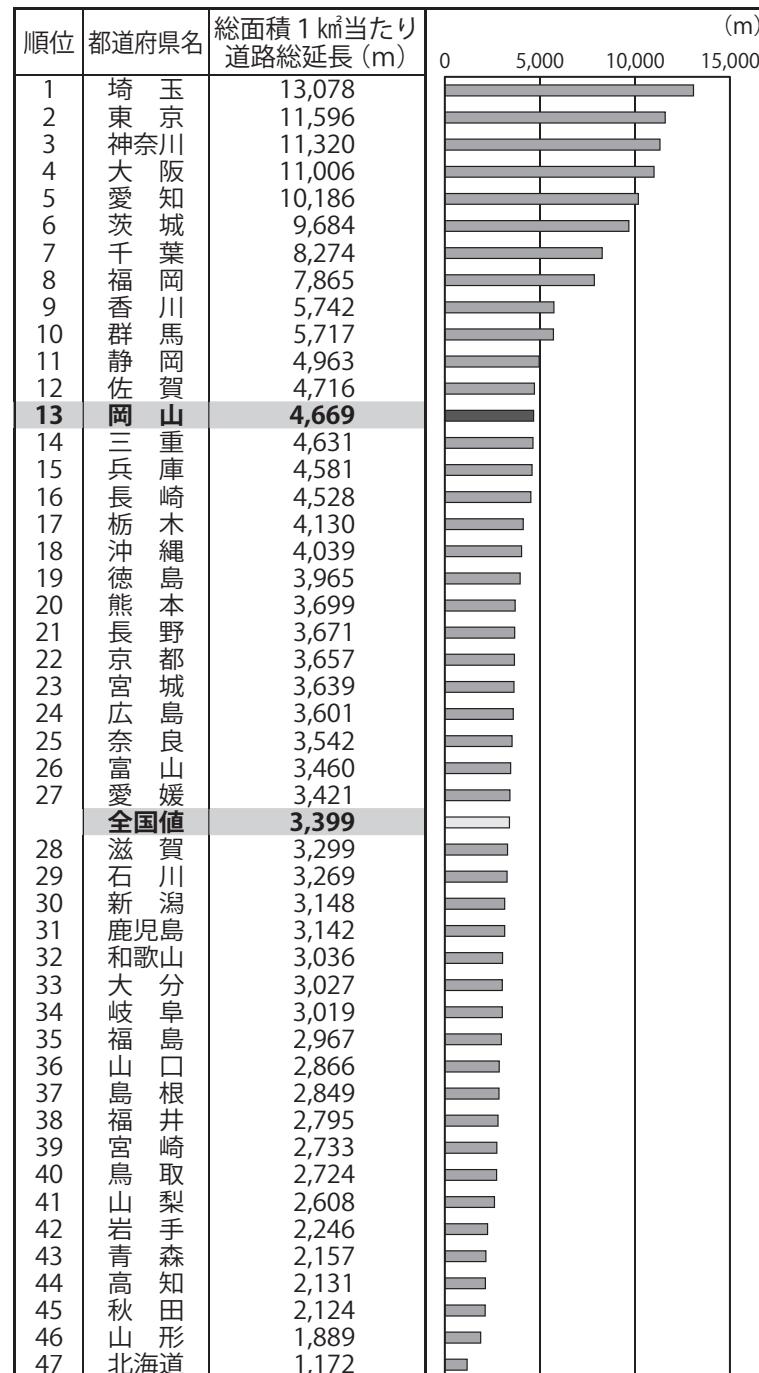
<岡山県の処理施設別内訳>



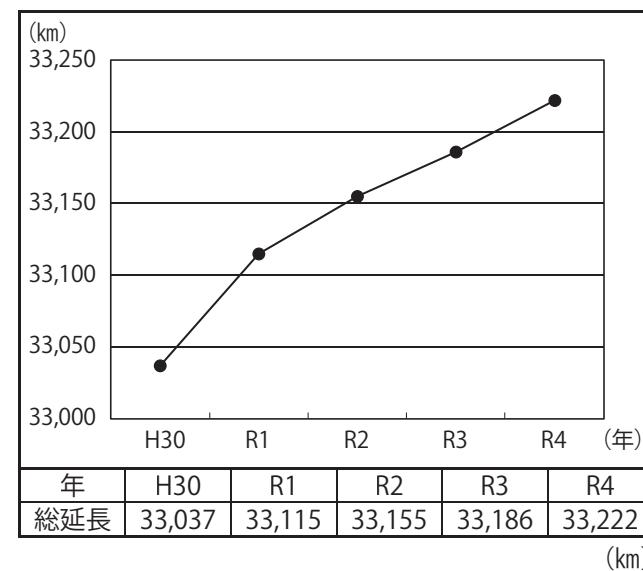
<資料出所ほか>

- ☆汚水処理施設には、下水道、農業集落排水施設等、浄化槽などがある。
- ・調査時点 令和6年3月31日
- ・資料出所 国土交通省、農林水産省、環境省資料「都道府県別汚水処理人口普及状況」

G-76 道路総延長(総面積1km²当たり)

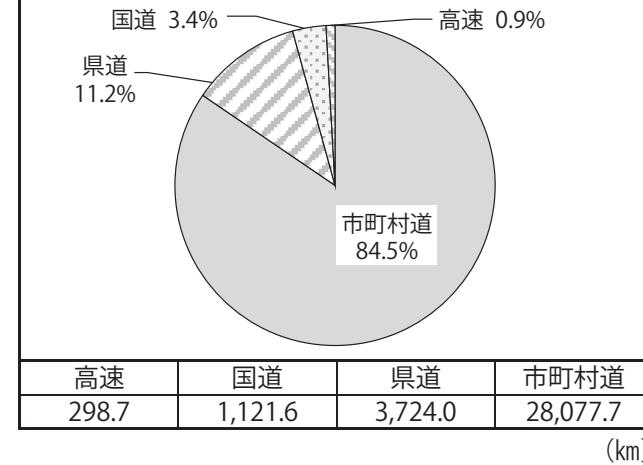


<岡山県の推移>



G76

<岡山県の道路種別割合>



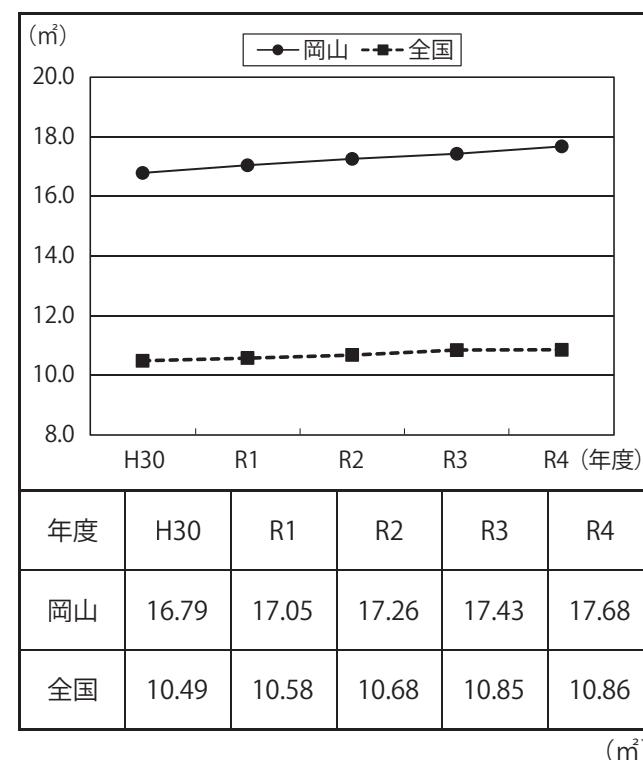
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和4年3月31日
- ・算出方法 道路総延長÷総面積
- ・資料出所 国土交通省「道路統計年報」
総面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
(令和4年10月1日時点)を使用
※北方地域及び竹島を除く。

G-77 都市公園面積(都市計画区域人口1人当たり)



<岡山県の推移>

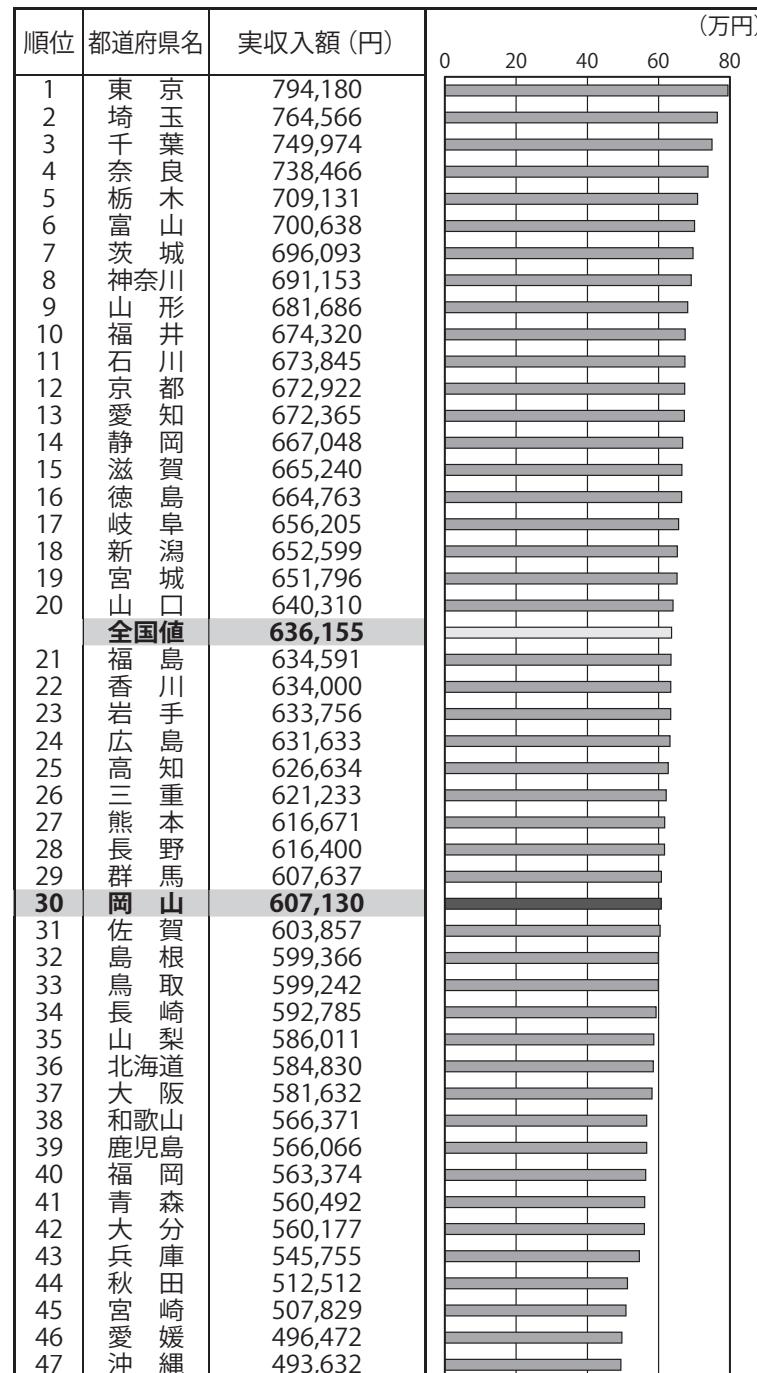


G77

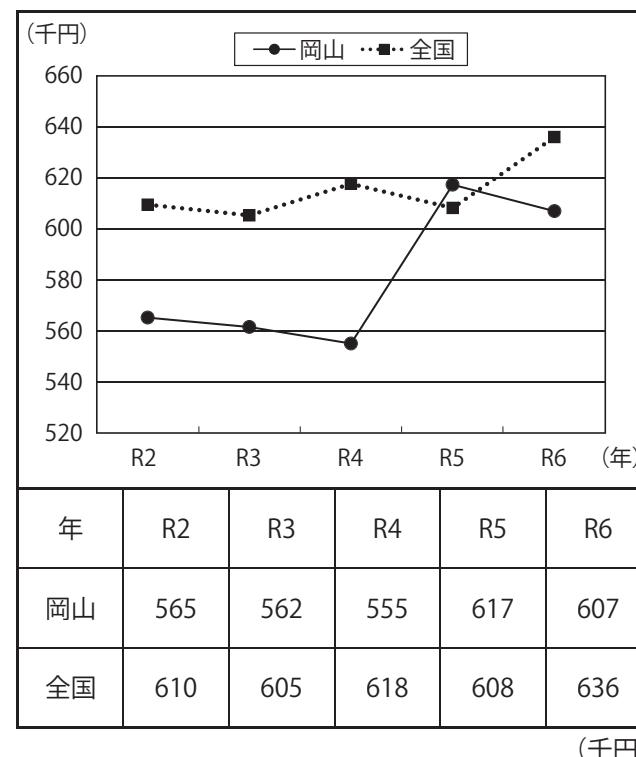
<資料出所ほか>

- ☆都市公園とは、都市計画区域において都市公園法に基づき設置された公園のこと
- ・調査時点 令和5年3月31日
- ・資料出所 国土交通省「都市公園等整備現況調査」

G-78 勤労者世帯の実収入額



<岡山県の推移>



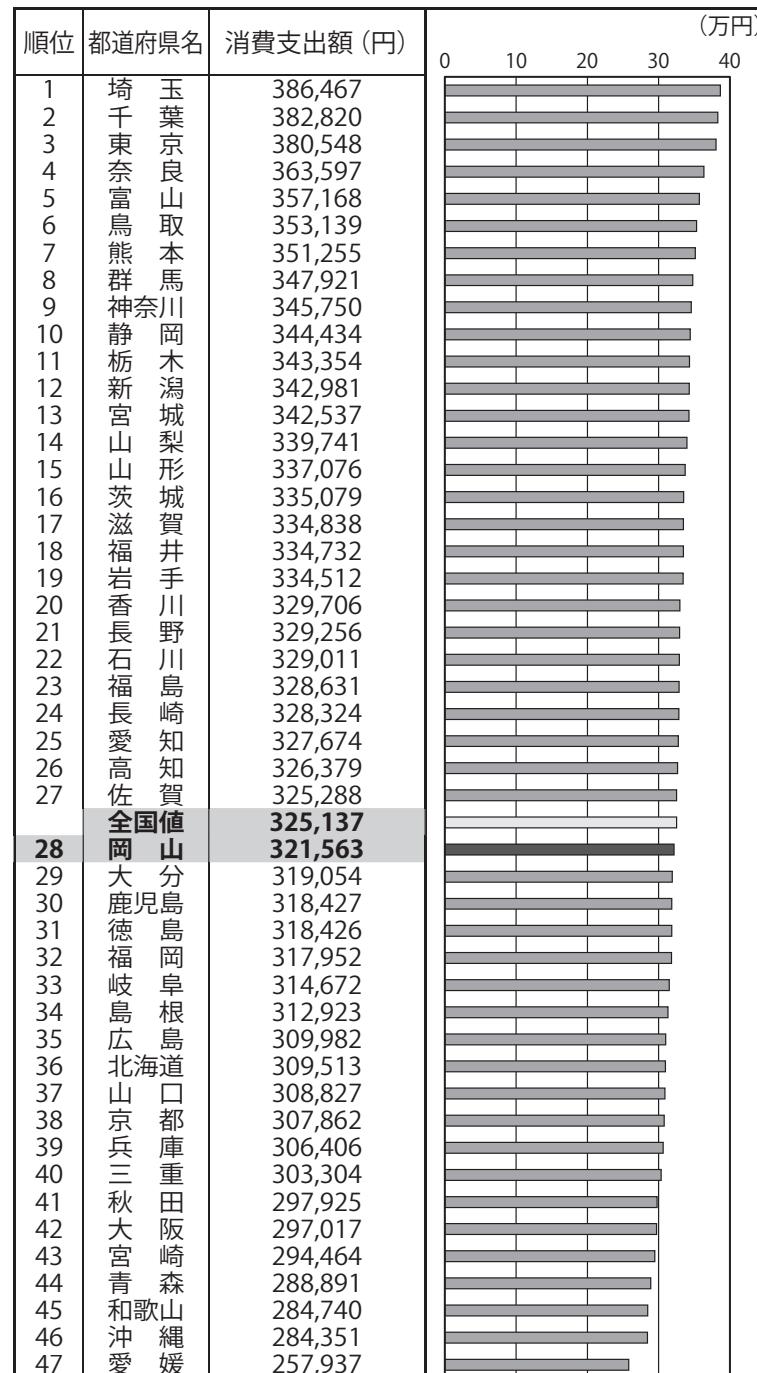
G78

※家計調査では、都道府県所在市の調査結果が公表されている。全国の実態を調べるために制度設計された標本調査であり、都道府県単位では標本世帯数が少ないため、標本誤差は大きく、数値を比較するには注意が必要である。

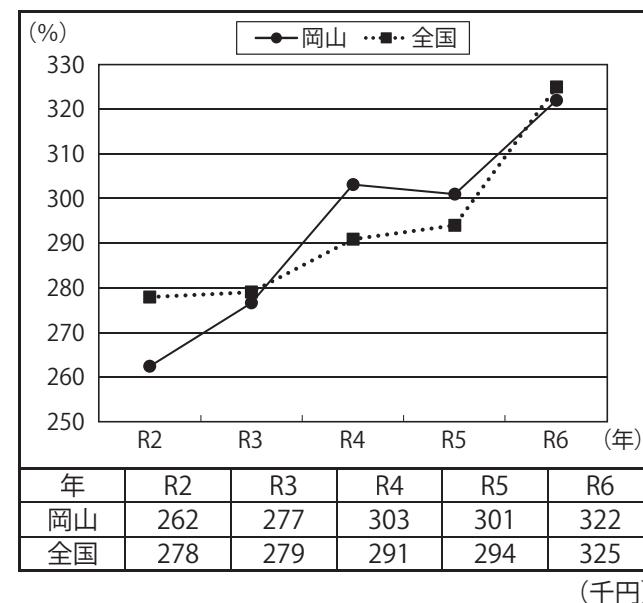
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年（1.1～12.31）
- ・資料出所 総務省「家計調査年報」
- ・算出方法 各県庁所在都市の2人以上世帯のうち、勤労者世帯の調査年における1か月間実収入の平均

G-79 勤労者世帯の消費支出額



<岡山県の推移>



G79

岡山県の消費支出額の内訳	
食 料	86,869
住 居	17,553
光熱・水道	21,128
家具・家事用品	15,215
被服及び履物	10,901
保健医療	15,578
交通・通信	58,507
教 育	10,923
教養娯楽	32,310
その他の	52,580

(円/月)

※家計調査では、都道府県単位の調査結果が公表されている。全国の実態を調べるために制度設計された標本調査であり、都道府県単位では標本世帯数が少ないので、標本誤差は大きく、数値を比較するには注意が必要である。

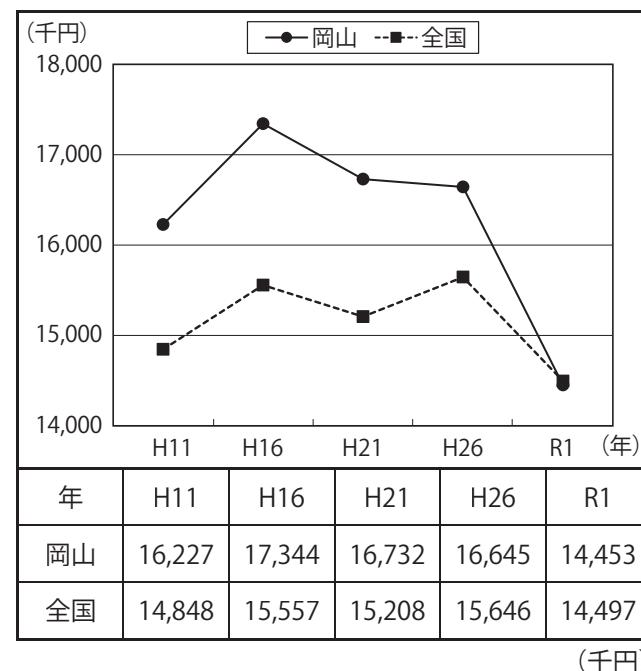
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年（1.1～12.31）
- ・資料出所 総務省「家計調査年報」
- ・算出方法 各県単位所在都市の2人以上世帯のうち、勤労者世帯の調査年における1か月間消費支出の平均

G-80 貯蓄現在高（2人以上の世帯、1世帯当たり）



<岡山県の推移>



G80

<岡山県の貯蓄現在高の内訳>

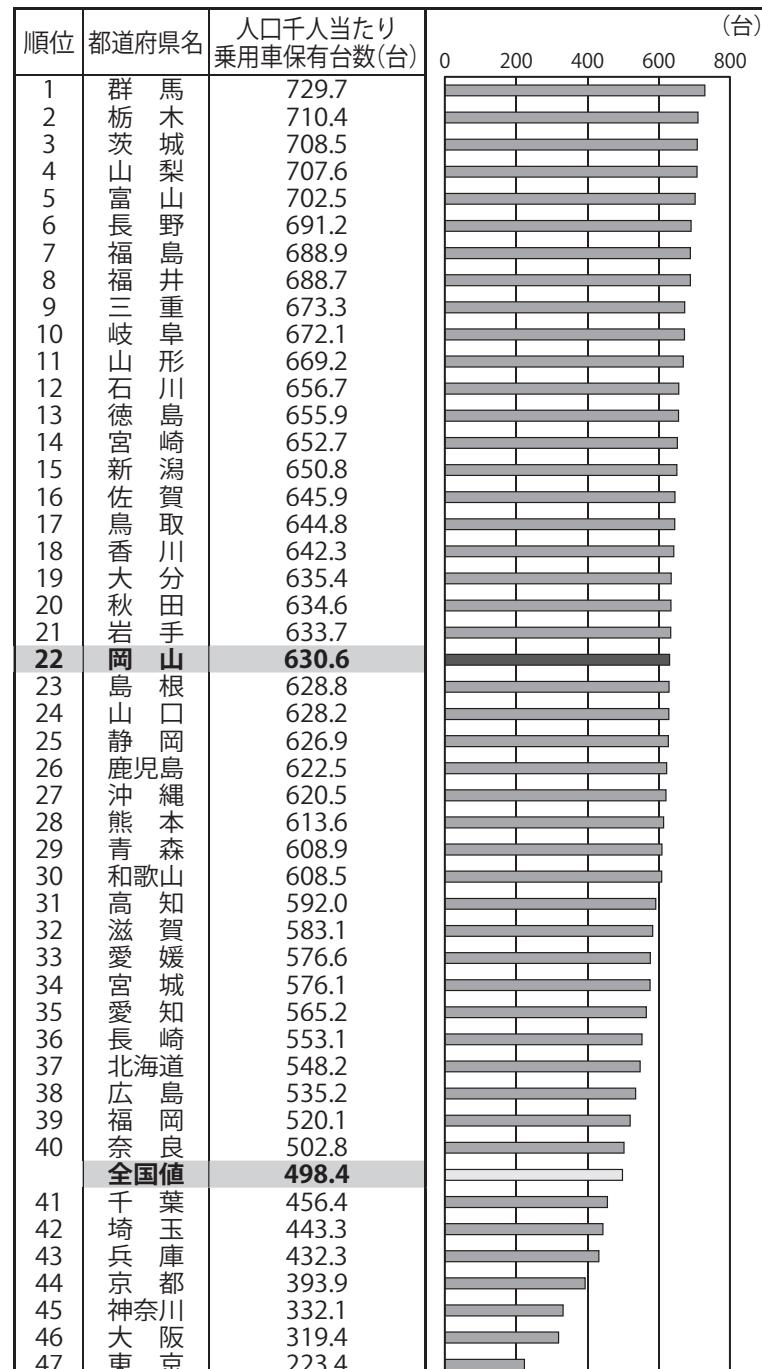
貯蓄現在高	14,453
通貨性預貯金	3,968
定期性預貯金	5,181
生命保険など	3,304
有価証券	1,867
その他	132

(千円)

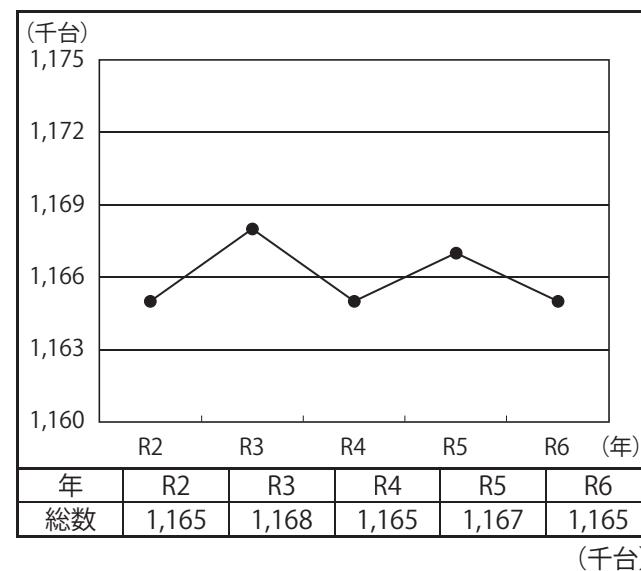
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和元年10月末（5年毎）
- ・資料出所 総務省「2019年全国家計構造調査」

G-81 乗用車保有台数(人口千人当たり)

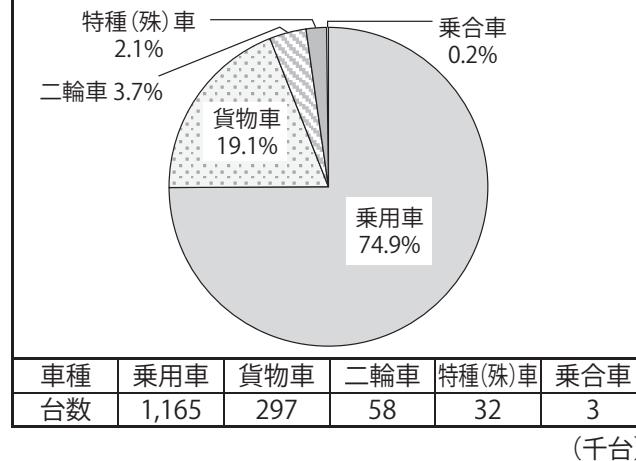


<岡山県の推移>



G81

<岡山県の車種別保有割合>

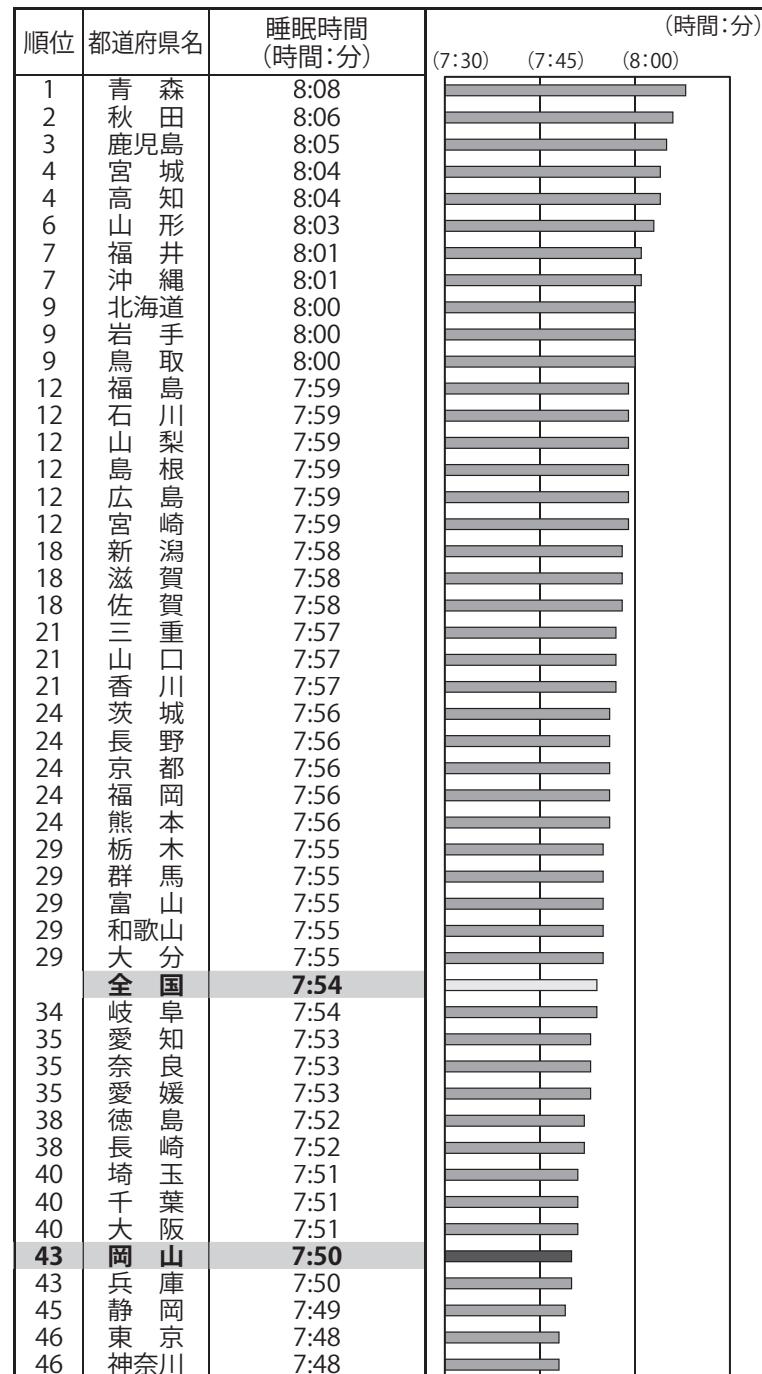


(千台)

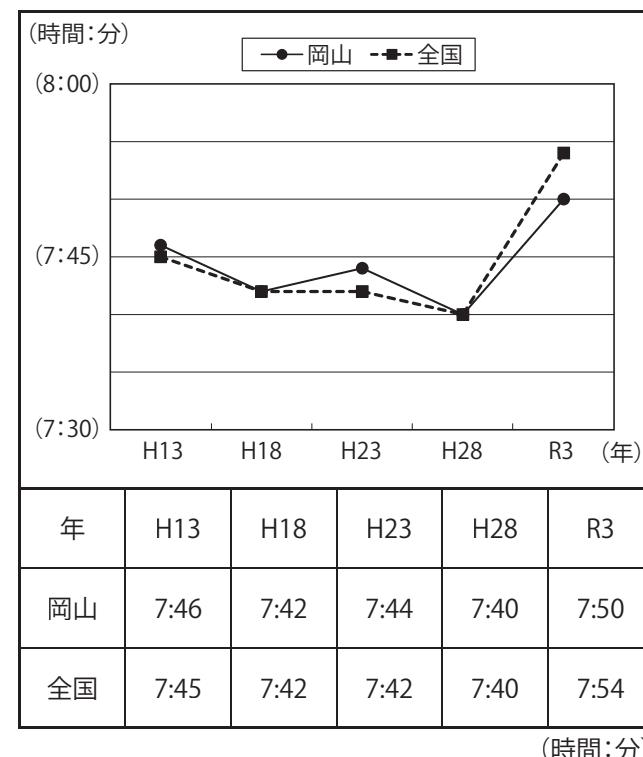
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年3月31日
- ・算出方法 乗用車保有台数 ÷ 総人口 × 1,000
- ・資料出所 (一財)自動車検査登録情報協会 資料
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)
を使用
- ・軽自動車を含む。

G-82 睡眠時間



<岡山県の推移>



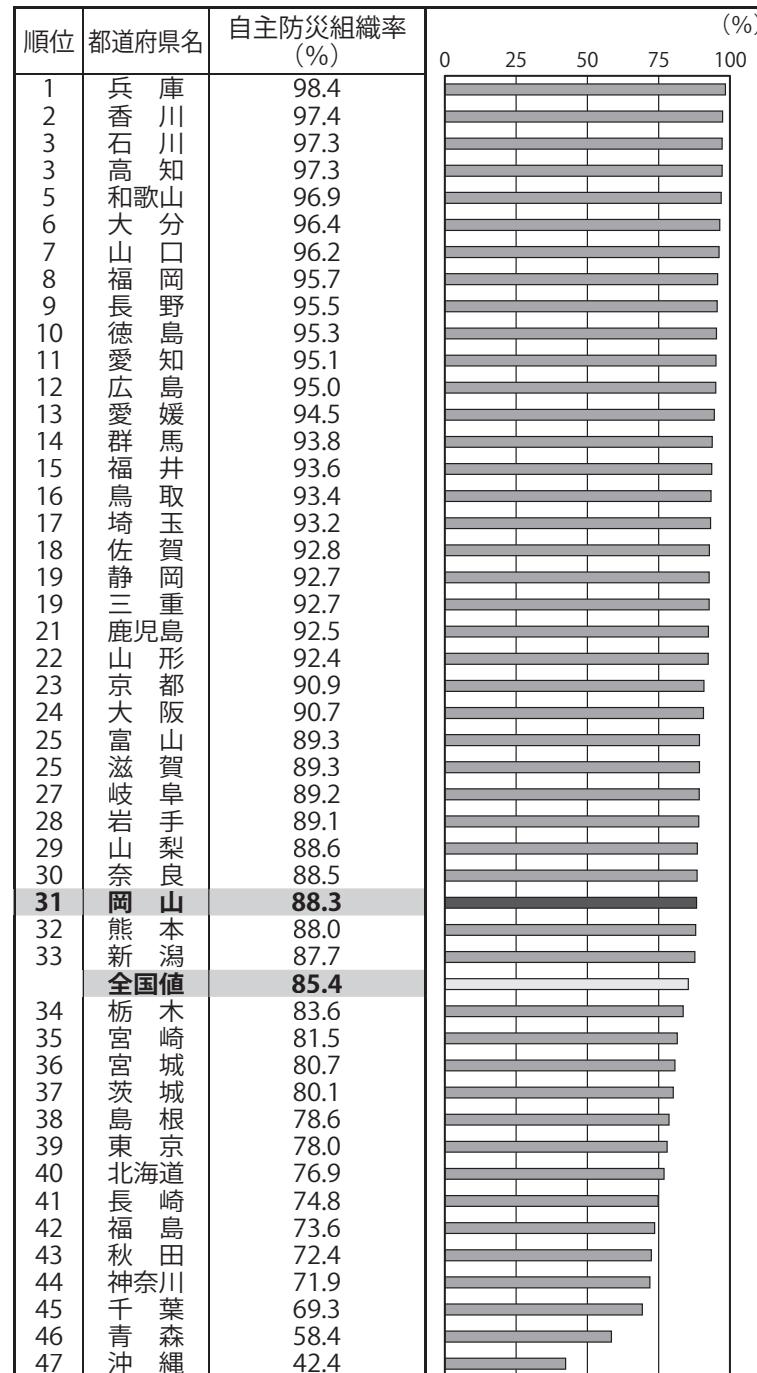
G82

<資料出所ほか>

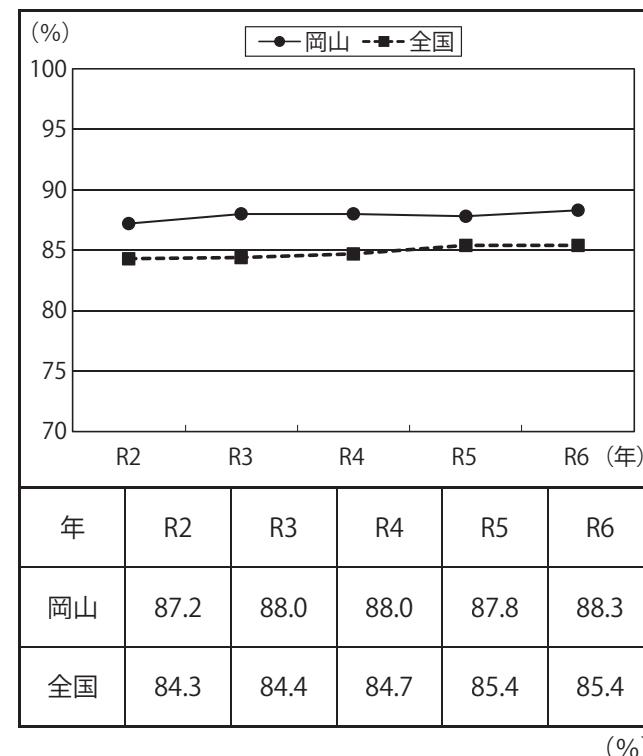
- 調査時点 令和3年10月16日から24日までのうち連続する二日間（5年毎）
- 資料出所 総務省「社会生活基本調査」

H 防災・安全

H-83 自主防災組織率



<岡山県の推移>

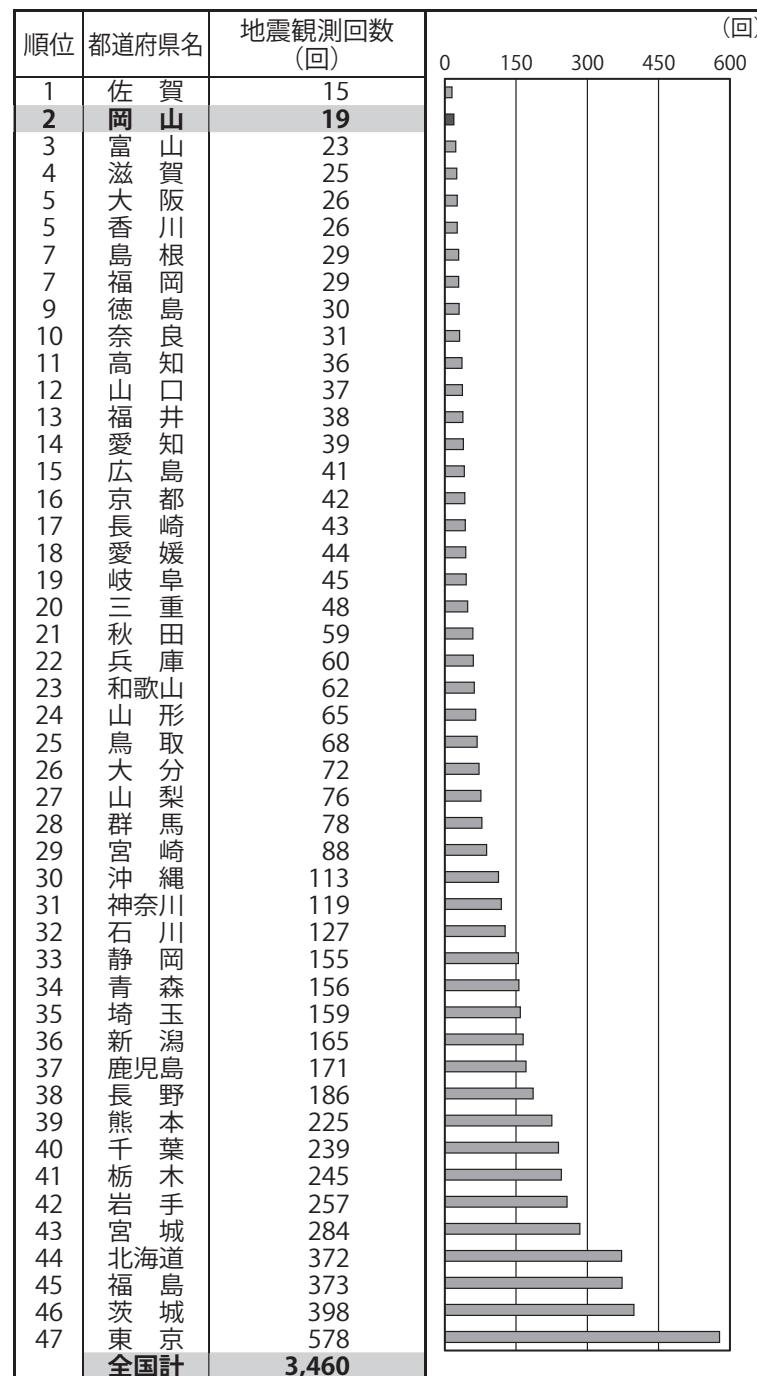


H83

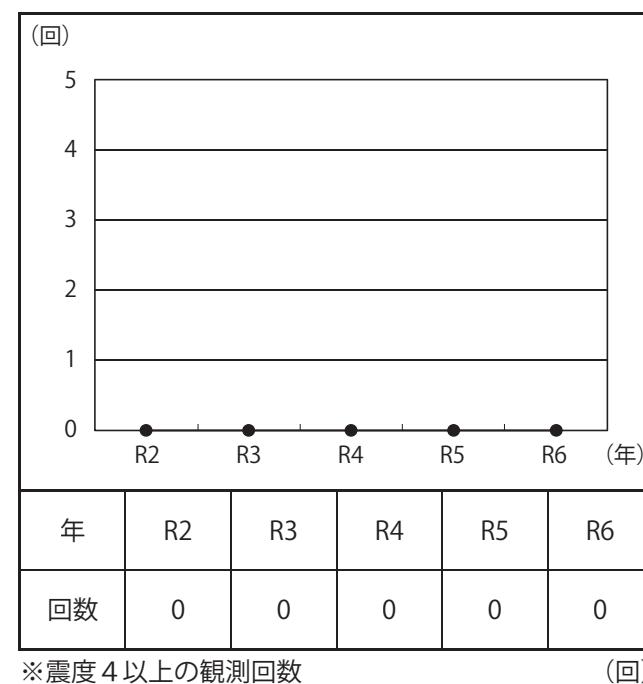
<資料出所ほか>

- ☆自主防災組織とは、住民の隣保共同の精神に基づく自発的な防災組織のこと。
- ・調査時点 令和6年4月1日
- ・資料出所 消防庁「令和6年版消防白書」

* H-84 地震観測回数(震度4以上)



<岡山県の推移>



H84

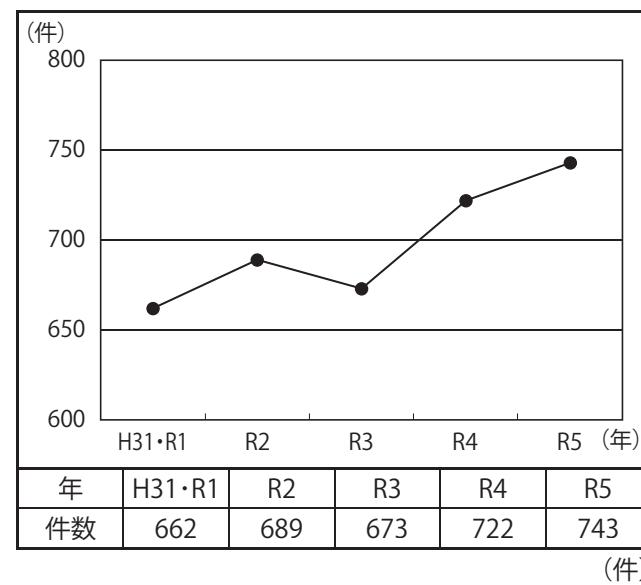
<資料出所ほか>

- ☆震度4以上の地震回数の合計
ただし、震度不明を除く。
- ・調査期間 1923(大正12)年から2024(令和6)年
- ・資料出所 気象庁ホームページ「震度データベース検索」
による。(令和7年1月6日閲覧)

* H-85 火災発生件数(人口1万人当たり)

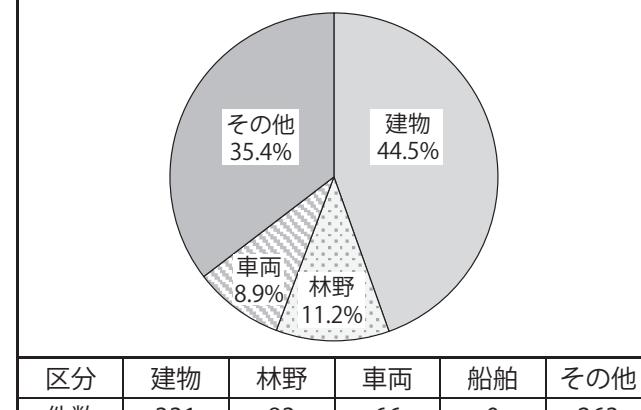


<岡山県の推移>



H85

<岡山県の出火別割合>

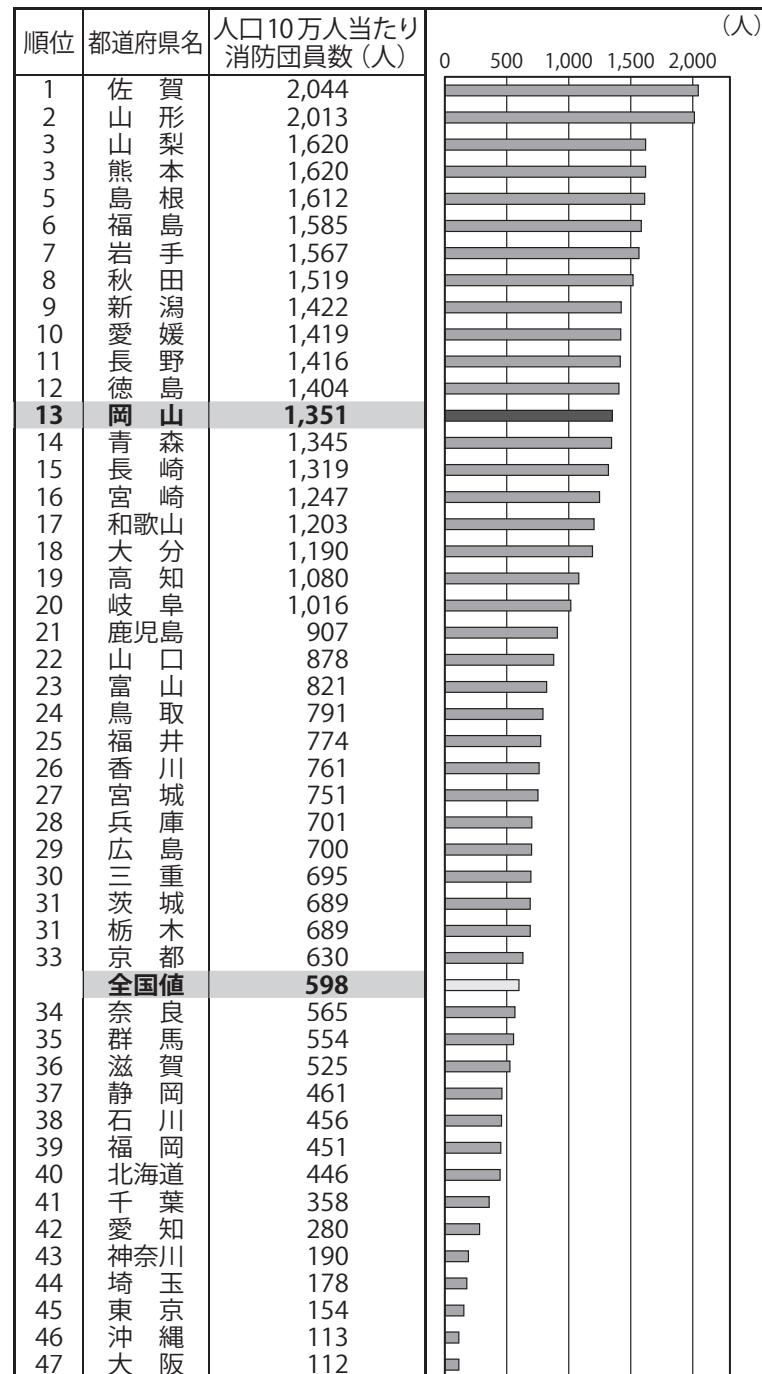


(件)

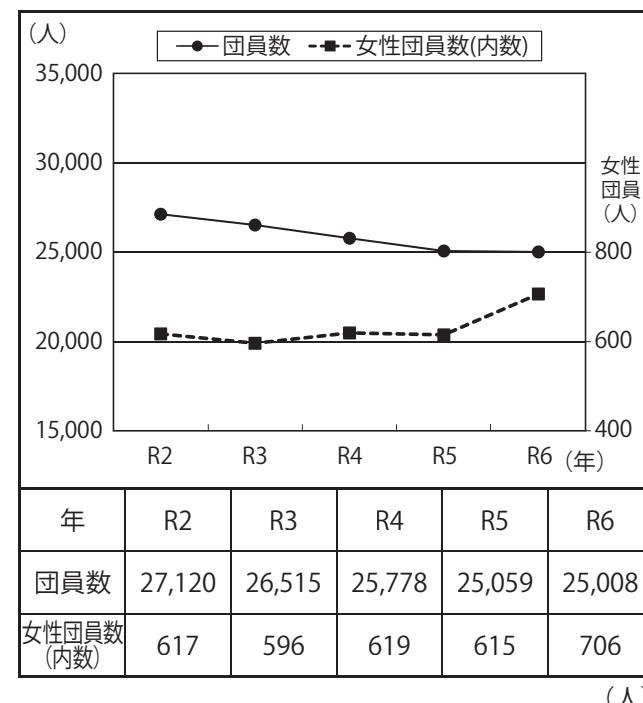
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和5年(1.1~12.31)
- 算出方法 出火件数÷総人口×10,000
- 資料出所 消防庁「令和6年版消防白書」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

H-86 消防団員数(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



H86

<岡山県の消防吏員数>

年	R2	R3	R4	R5	R6
人数	2,510	2,517	2,522	2,529	2,534

(人)

☆消防吏員とは、消防職員の中で主として消防活動に従事する者をいう。

※消防吏員数は、岡山県危機管理課・消防保安課「消防防災年報」(確報値)による。

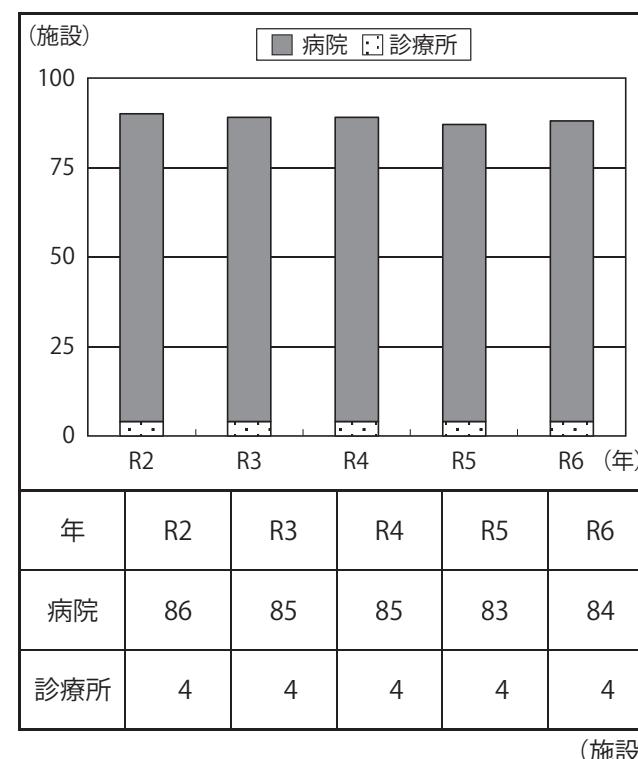
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和6年4月1日
- ・資料出所 消防庁「消防団の組織概要等に関する調査」

H-87 救急告示病院・診療所数(人口10万人当たり)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 救急病院・診療所数(施設)	(施設)
1	鹿児島	6.84	
2	福井	6.72	
3	香川	6.16	
4	高知	6.15	
5	和歌山	6.06	
6	徳島	5.90	
7	佐賀	5.66	
8	宮崎	5.66	
9	北海道	5.40	
10	山梨	5.28	
11	熊本	5.03	
12	山口	5.01	
13	大分	4.93	
14	岡山	4.77	
15	広島	4.75	
16	石川	4.69	
17	長崎	4.66	
18	愛媛	4.49	
19	長野	4.44	
20	島根	4.00	
21	群馬	4.00	
22	岩手	3.95	
23	兵庫	3.80	
24	富山	3.77	
25	福井	3.64	
26	青森	3.63	
27	京都	3.59	
28	岐阜	3.42	
29	大阪	3.40	
30	鳥取	3.35	
	全国値	3.35	
31	三重	3.24	
32	奈良	3.24	
33	山形	3.22	
34	宮城	3.14	
35	福島	3.11	
36	茨城	3.01	
37	新潟	2.96	
38	秋田	2.96	
39	福井	2.94	
40	埼玉	2.76	
41	千葉	2.45	
42	東京	2.29	
43	愛知	2.21	
44	滋賀	2.20	
45	沖縄	2.18	
46	静岡	2.14	
47	神奈川	1.89	

<岡山県の推移>

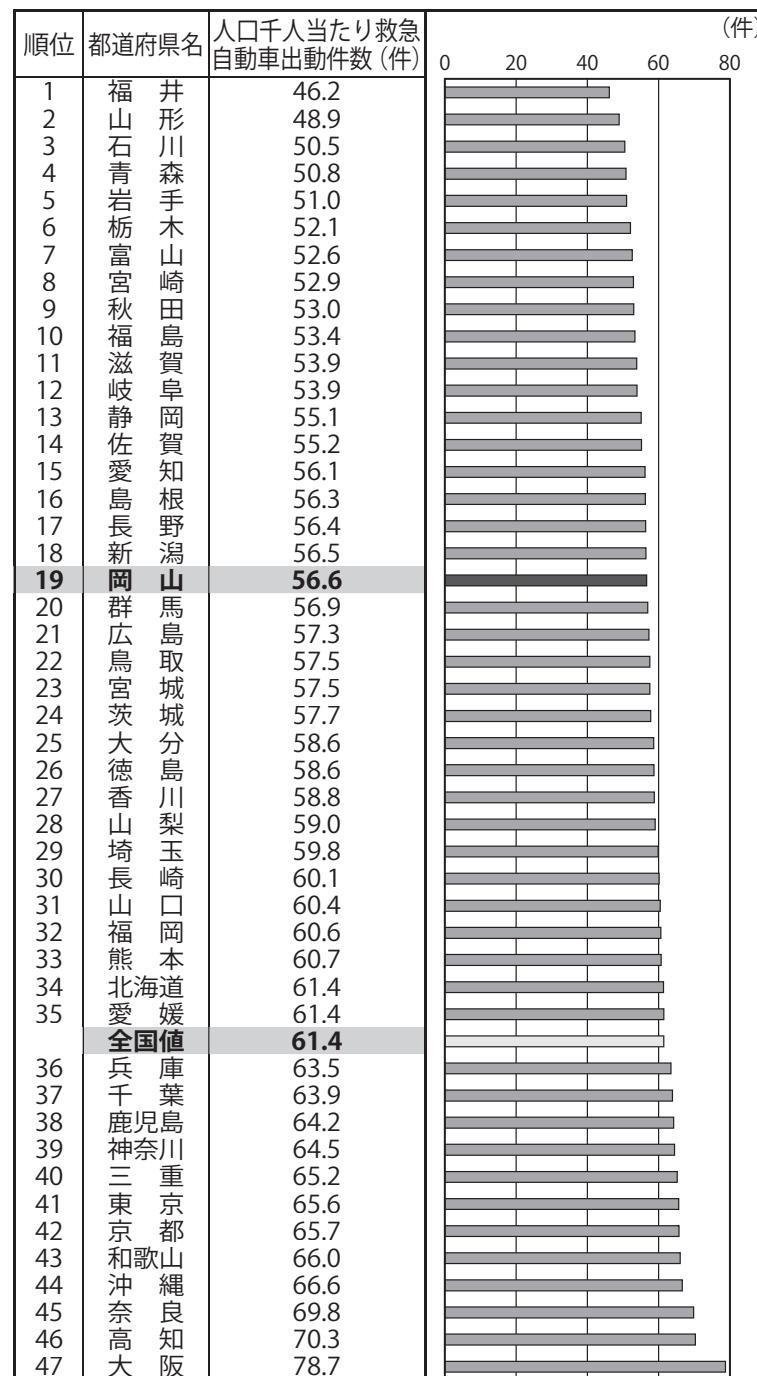


H87

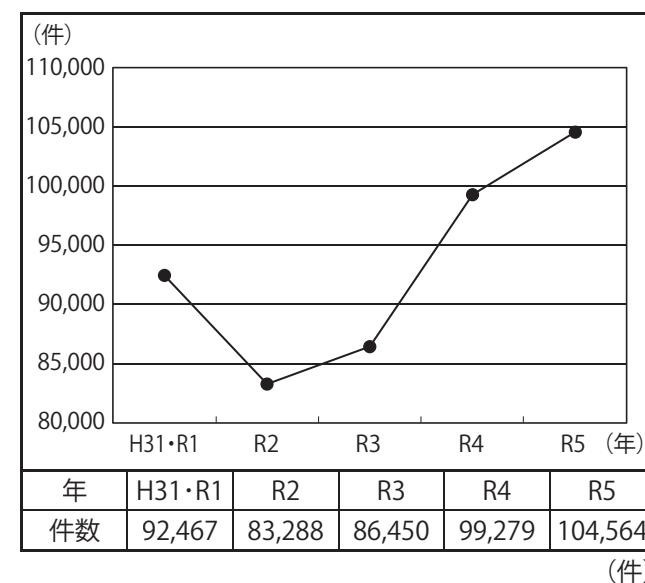
<資料出所ほか>

- 調査時点 令和6年4月1日
- 算出方法 救急告示病院・診療所数 ÷ 総人口 × 100,000
- 資料出所 消防庁「令和6年版消防白書」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

* H-88 救急自動車出動件数(人口千人当たり)

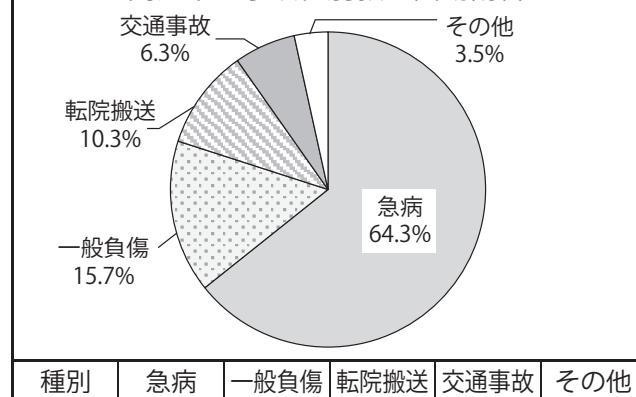


<岡山県の推移>



H88

<岡山県の事故種別救急出動割合>

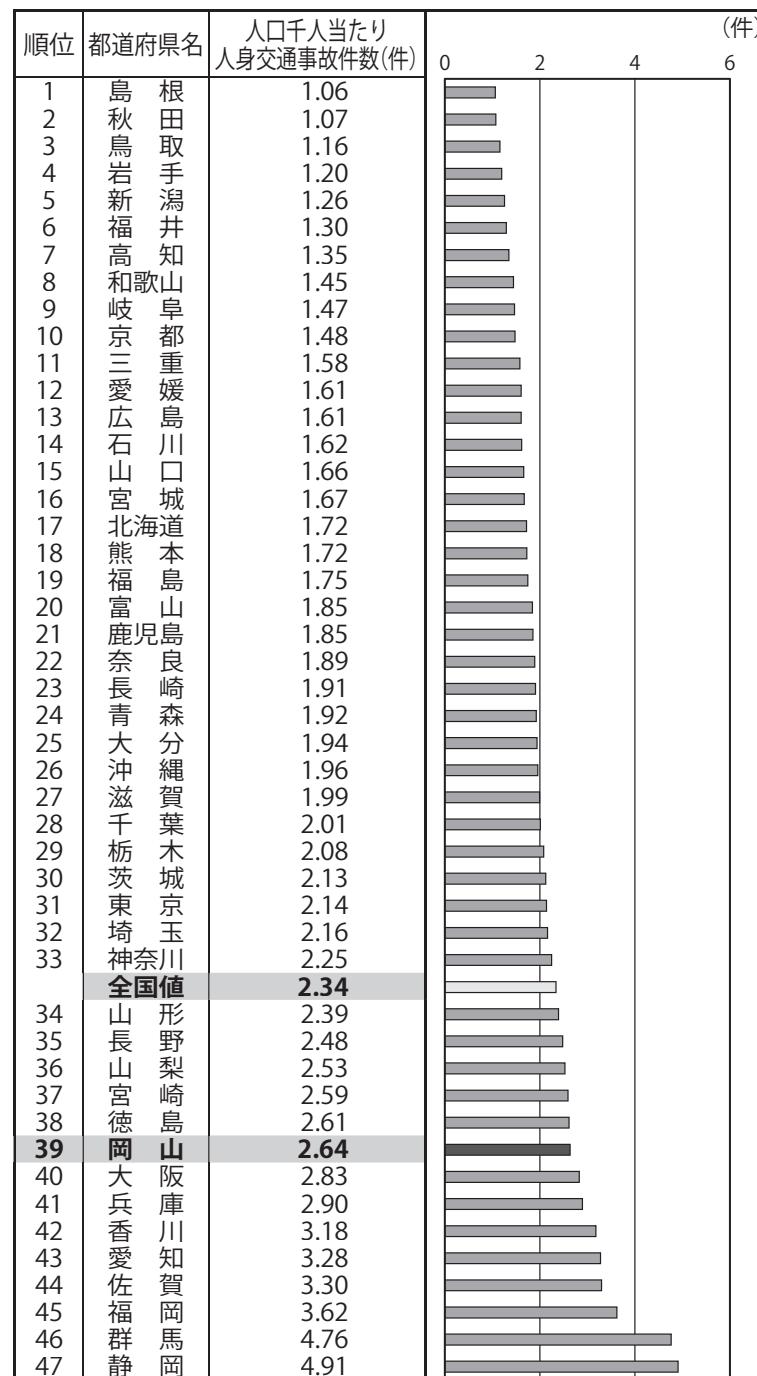


(件)

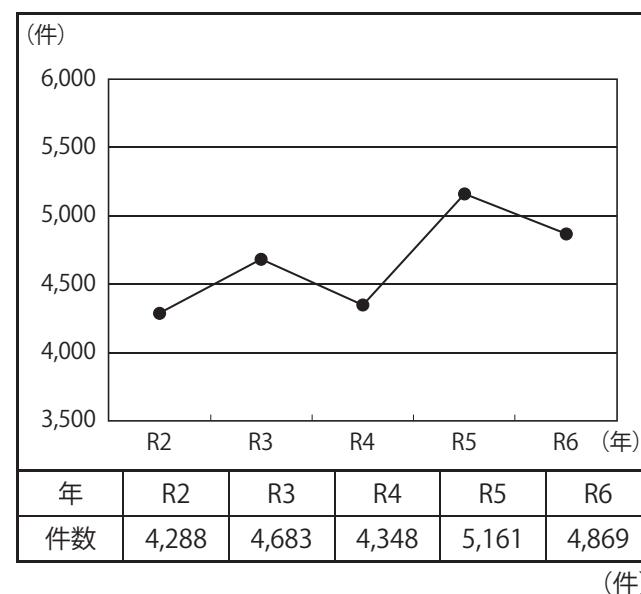
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和5年(1.1~12.31)
- ・算出方法 救急自動車出動件数÷総人口×1,000
- ・資料出所 消防庁「令和6年版消防白書」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

* H-89 人身交通事故件数(人口千人当たり)

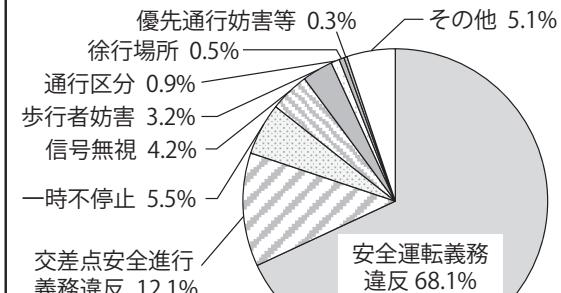


<岡山県の推移>



H89

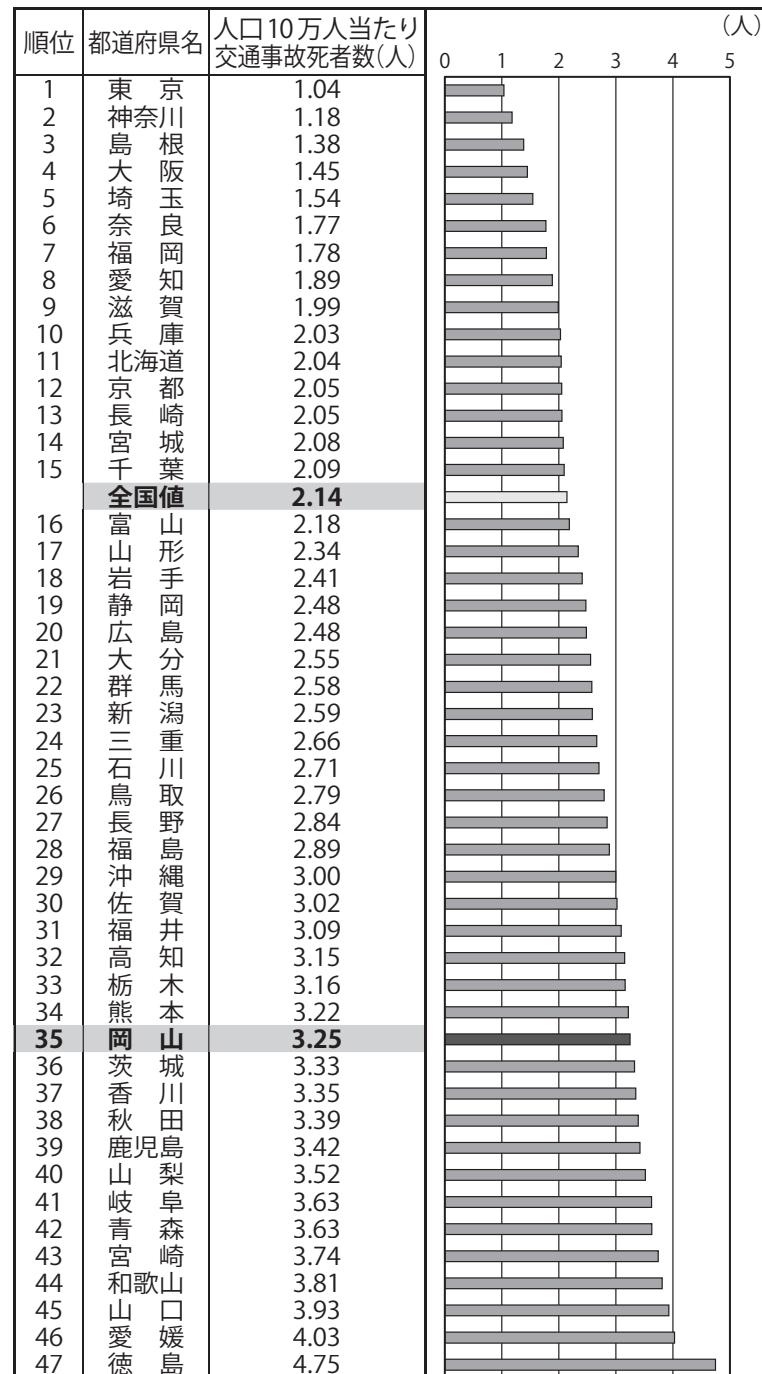
<岡山県の違反別発生割合>



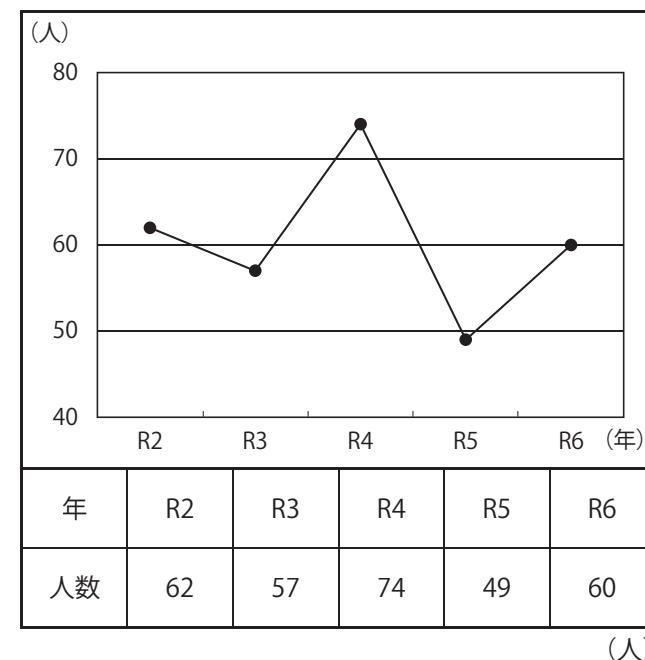
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・資料出所 警察庁「道路の交通に関する統計」、県警交通企画課資料

* H-90 交通事故死者数(人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



H90

<岡山県の交通事故負傷者数>

年	R2	R3	R4	R5	R6
負傷者	4,840	5,239	4,855	5,816	5,489

(人)

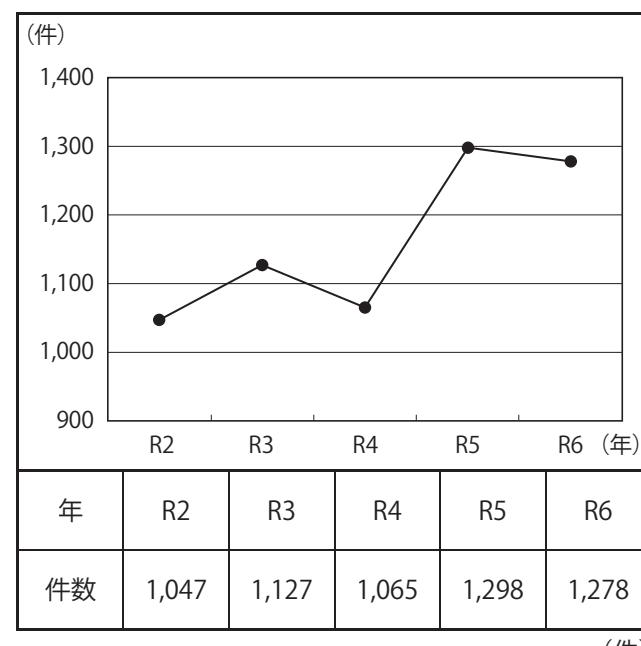
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・資料出所 警察庁「道路の交通に関する統計」

* H-91 高齢者(第1当事者) 人身交通事故件数(65歳以上1万人当たり)



<岡山県の推移>



H91

<岡山県の高齢者の死傷者数>

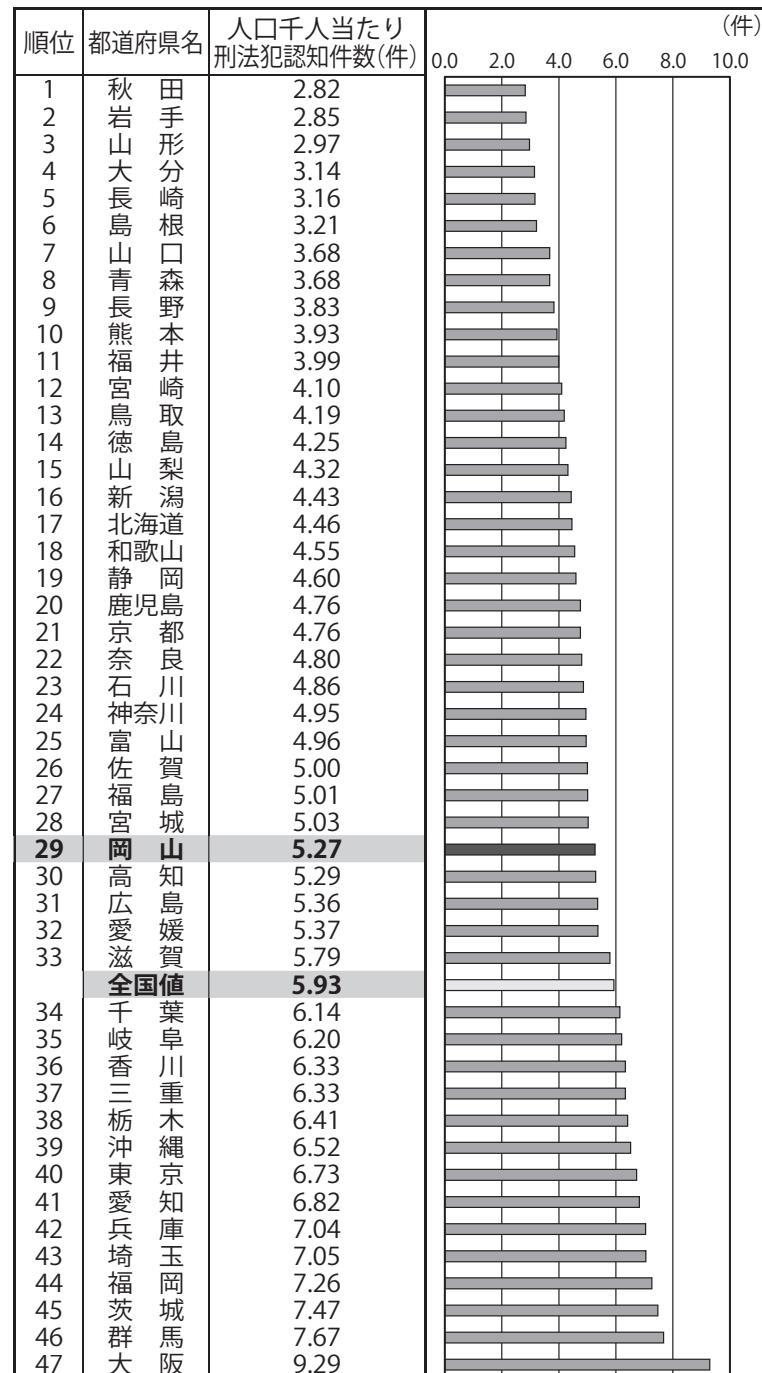
年	R2	R3	R4	R5	R6
死者数	40	35	44	29	37
負傷者数	799	917	769	901	900

(人)

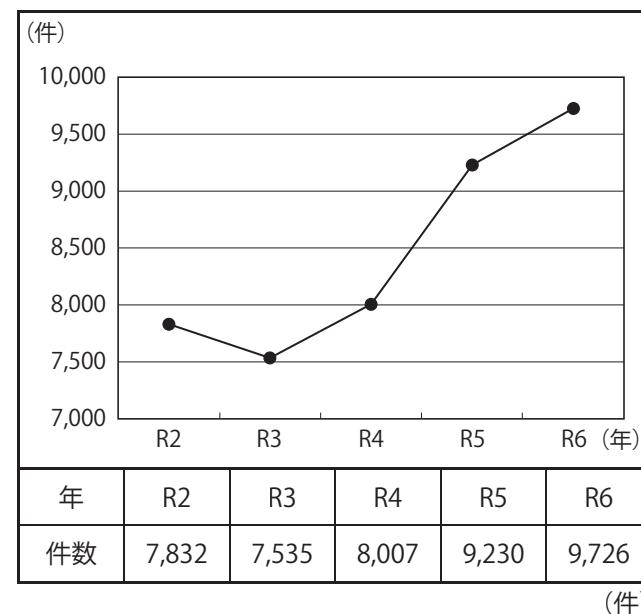
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- ・算出方法 高齢者第1当事者交通事故件数 ÷ 65歳以上人口 × 10,000
- ・資料出所 警察庁「道路の交通に関する統計」、県警交通企画課資料
65歳以上人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

* H-92 刑法犯認知件数(人口千人当たり)

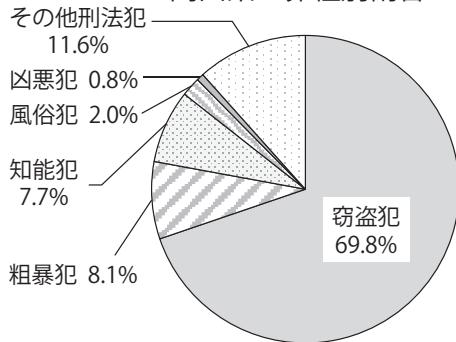


<岡山県の推移>



H92

<岡山県の罪種別割合>



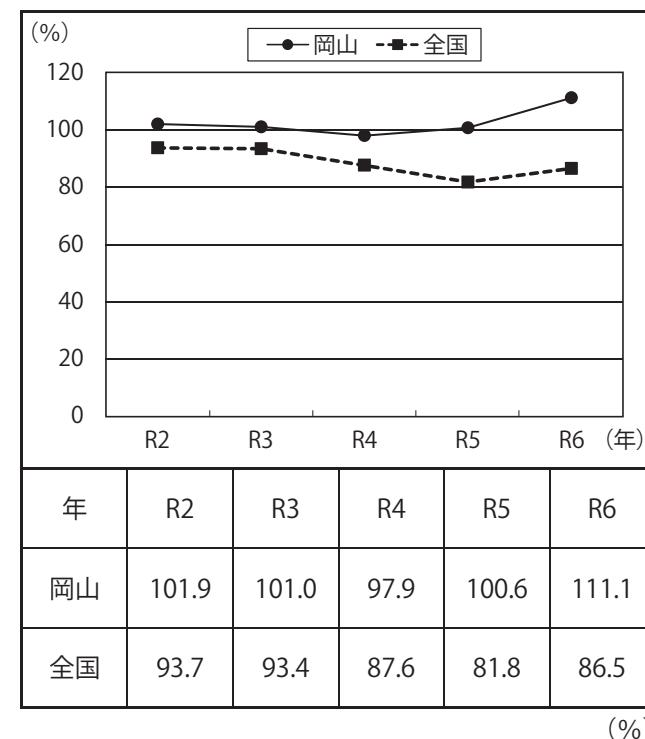
<資料出所ほか>

- 調査期間 令和6年(1.1~12.31)
- 算出方法 刑法犯認知件数 ÷ 総人口 × 1,000
- 資料出所 警察庁「犯罪統計資料」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

H-93 重要犯罪検挙率



<岡山県の推移>



H93

<重要犯罪認知件数>

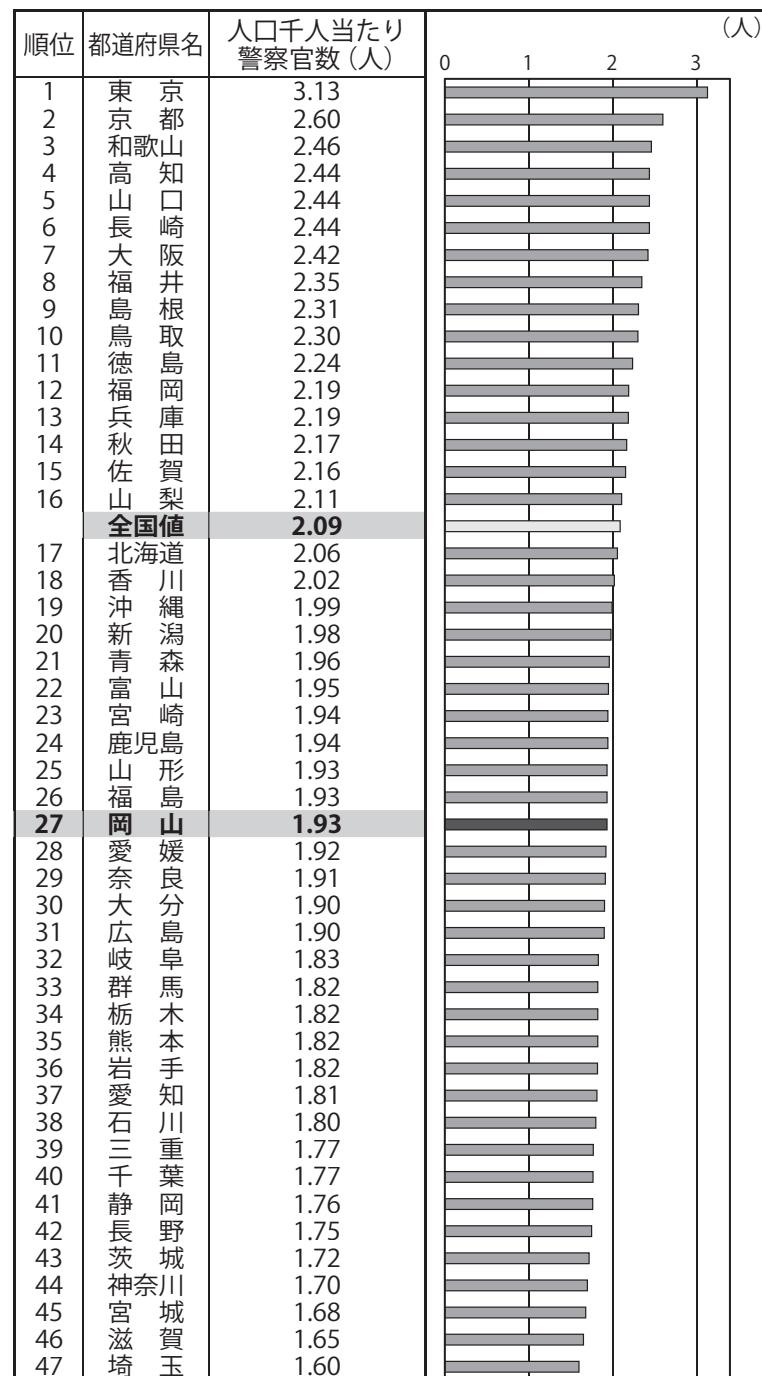
年	R2	R3	R4	R5	R6
認知件数	103	104	145	159	144

(件)

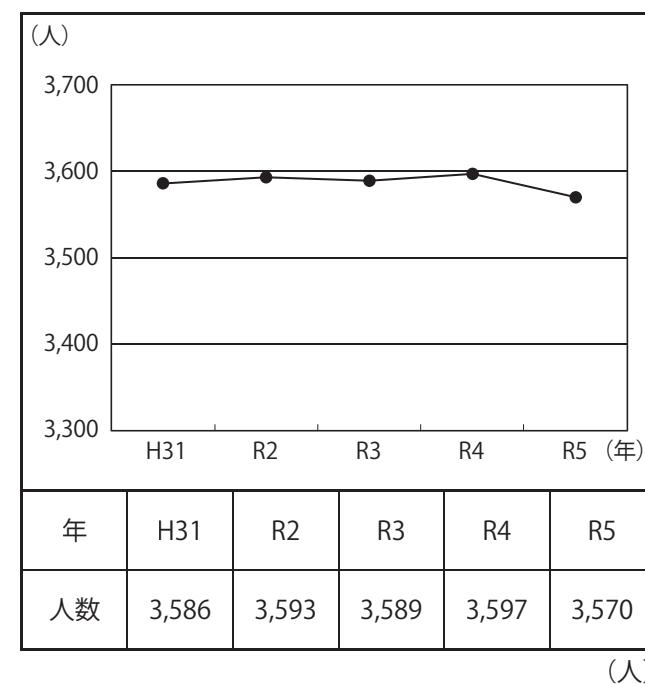
<資料出所ほか>

- ☆重要犯罪とは、殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買及び不同意わいせつをいう。
- ・調査期間 令和6年（1.1～12.31）
- ・資料出所 警察庁「犯罪統計資料」

H-94 警察官数(人口千人当たり)



<岡山県の推移>



H94

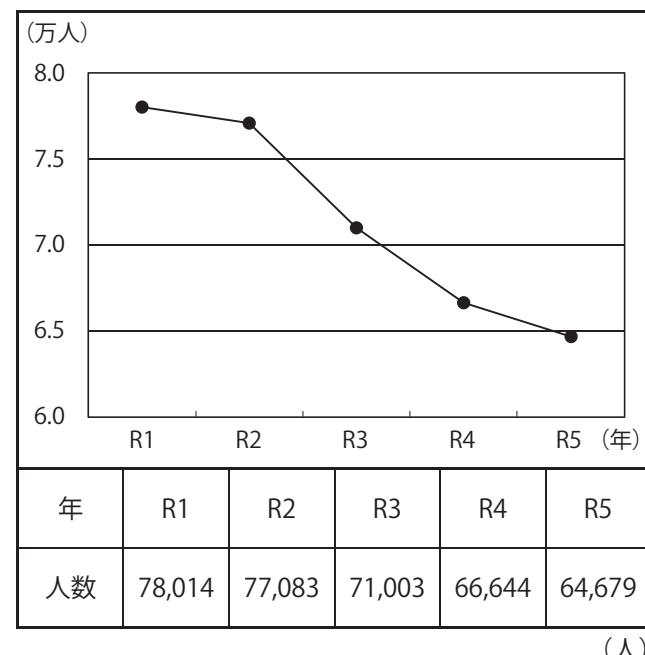
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和5年4月1日
- ・算出方法 警察官数÷総人口×1,000
- ・資料出所 総務省「地方公共団体定員管理調査」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)
を使用

H-95 防犯ボランティア団体構成員数(人口1万人当たり)

順位	都道府県名	人口1万人当たり防犯ボランティア団体構成員数(人)	(人)
1	埼玉	397.0	
2	富山	353.7	
3	岡山	350.2	
4	岐阜	344.7	
5	群馬	318.8	
6	奈良	290.2	
7	神奈川	283.1	
8	京都	264.9	
9	千葉	263.3	
10	福井	244.7	
11	栃木	221.0	
12	佐賀	219.8	
13	福島	213.3	
14	石川	199.5	
15	三重	198.4	
16	茨城	193.8	
17	島根	190.2	
18	山形	188.1	
	全国値	187.7	
19	兵庫	185.3	
20	大阪	184.5	
21	香川	182.1	
22	新潟	178.2	
23	山口	175.3	
24	熊本	170.8	
25	長野	162.8	
26	大分	162.0	
27	愛媛	158.0	
28	愛知	143.7	
29	山梨	140.9	
30	鳥取	130.5	
31	高知	130.2	
32	鹿児島	127.1	
33	和歌山	118.2	
34	宮崎	117.6	
35	広島	115.3	
36	岩手	115.1	
37	沖縄	110.9	
38	静岡	109.6	
39	福島	101.5	
40	長崎	95.7	
41	徳島	94.8	
42	滋賀	88.7	
43	秋田	86.3	
44	東京	77.5	
45	北海道	65.7	
46	宮城	51.9	
47	青森	46.4	

<岡山県の推移>



H95

<岡山県の防犯ボランティア団体数>

年	R1	R2	R3	R4	R5
団体数	1,409	1,368	1,332	1,297	1,268

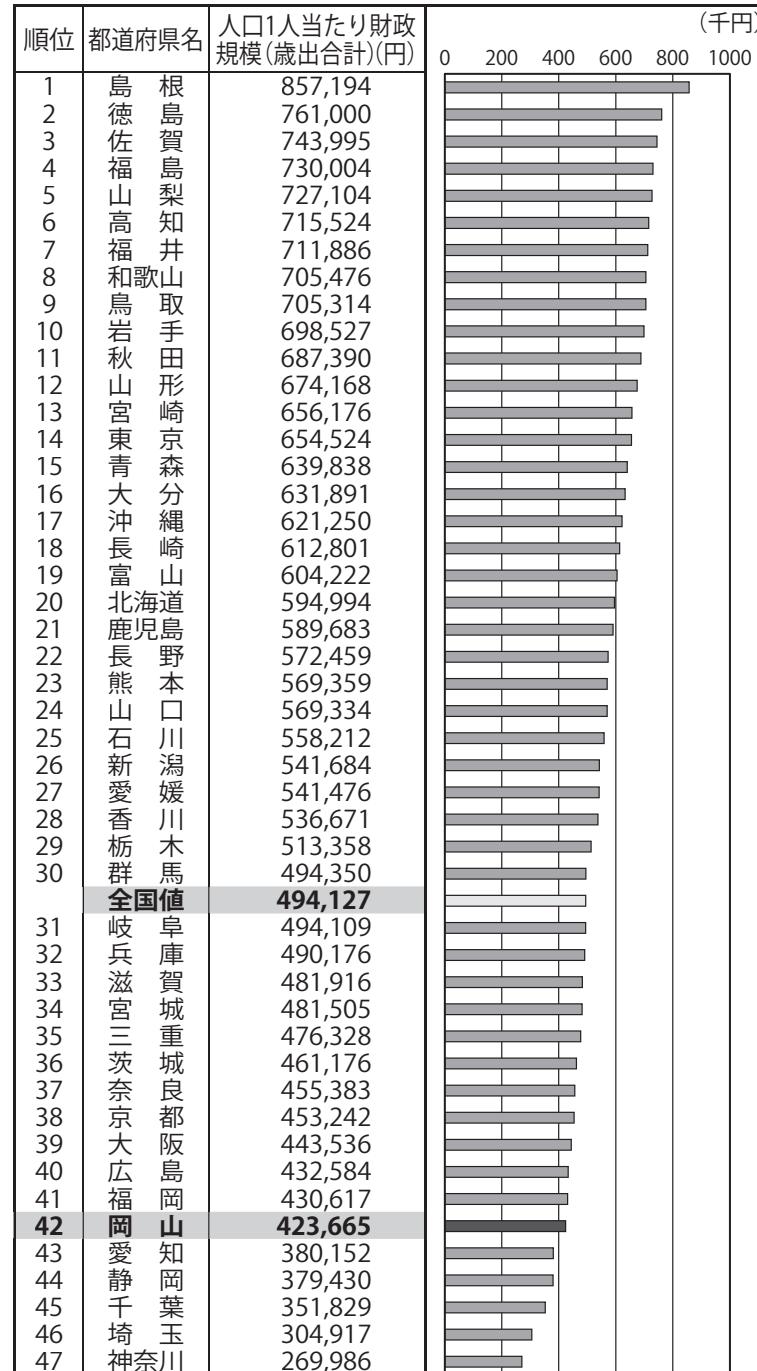
(団体)

<資料出所ほか>

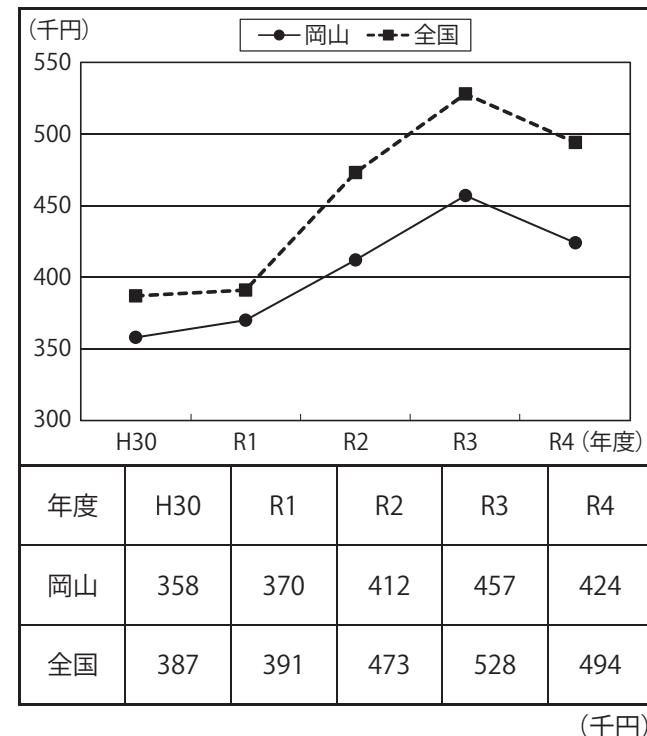
- ・調査時点 令和5年12月31日
- ・算出方法 防犯ボランティア団体構成員数÷総人口×10,000
- ・資料出所 警察庁資料「防犯ボランティア団体の活動状況等について」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

I 財政

I-96 財政規模(人口1人当たり)



<岡山県の推移>



I96

<岡山県の歳出総額>

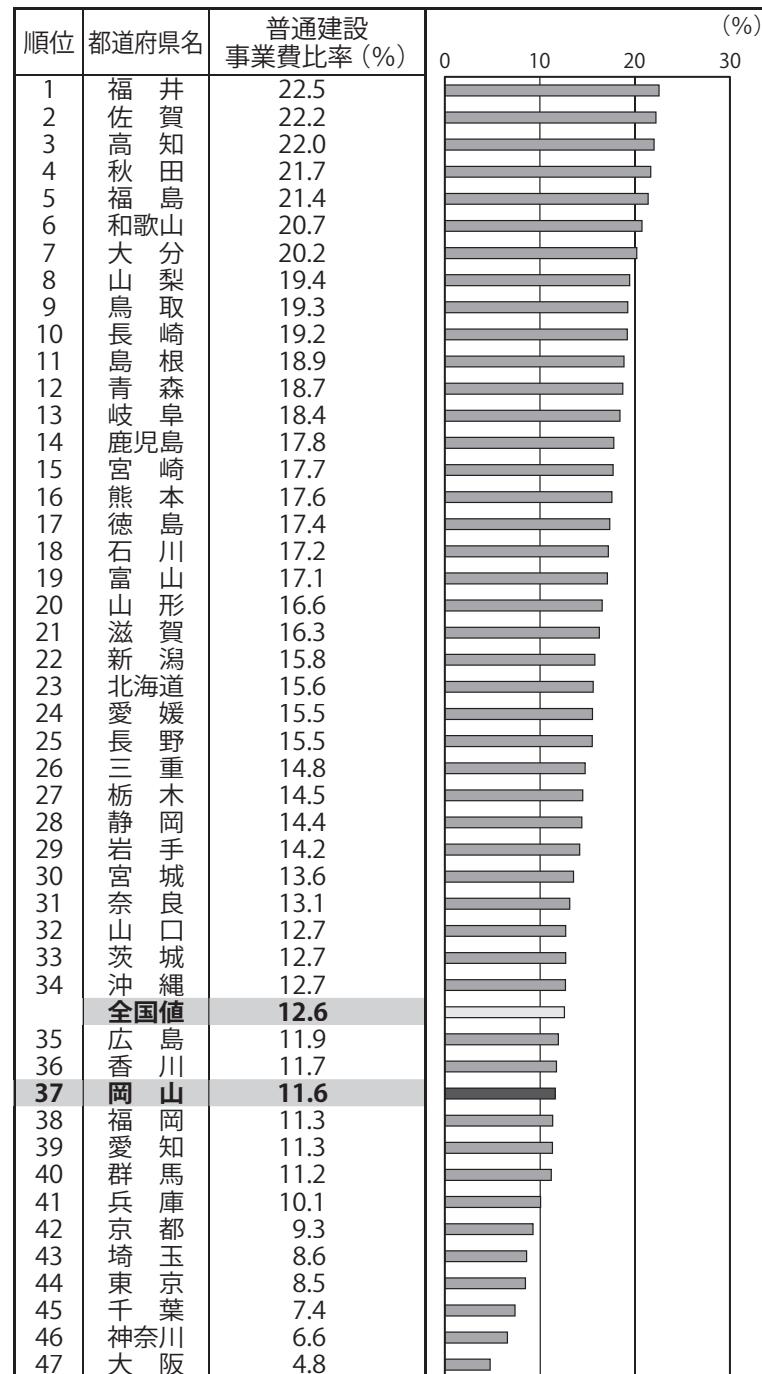
年度	H30	R1	R2	R3	R4
金額	6,795	6,983	7,788	8,579	7,890

(億円)

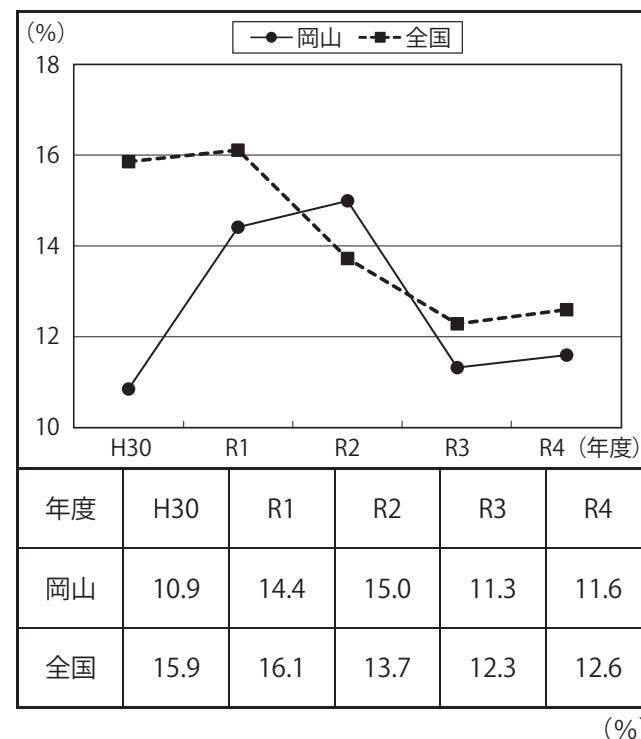
<資料出所ほか>

- ☆歳出合計とは、都道府県の普通会計の歳出決算額のこと
- ・調査期間 令和4年度
- ・算出方法 歳出合計÷総人口
- ・資料出所 総務省「都道府県決算状況調」
総人口は、総務省「人口推計」(令和4年10月1日時点)を使用

I-97 普通建設事業費比率



<岡山県の推移>



I97

<岡山県の普通建設事業費>

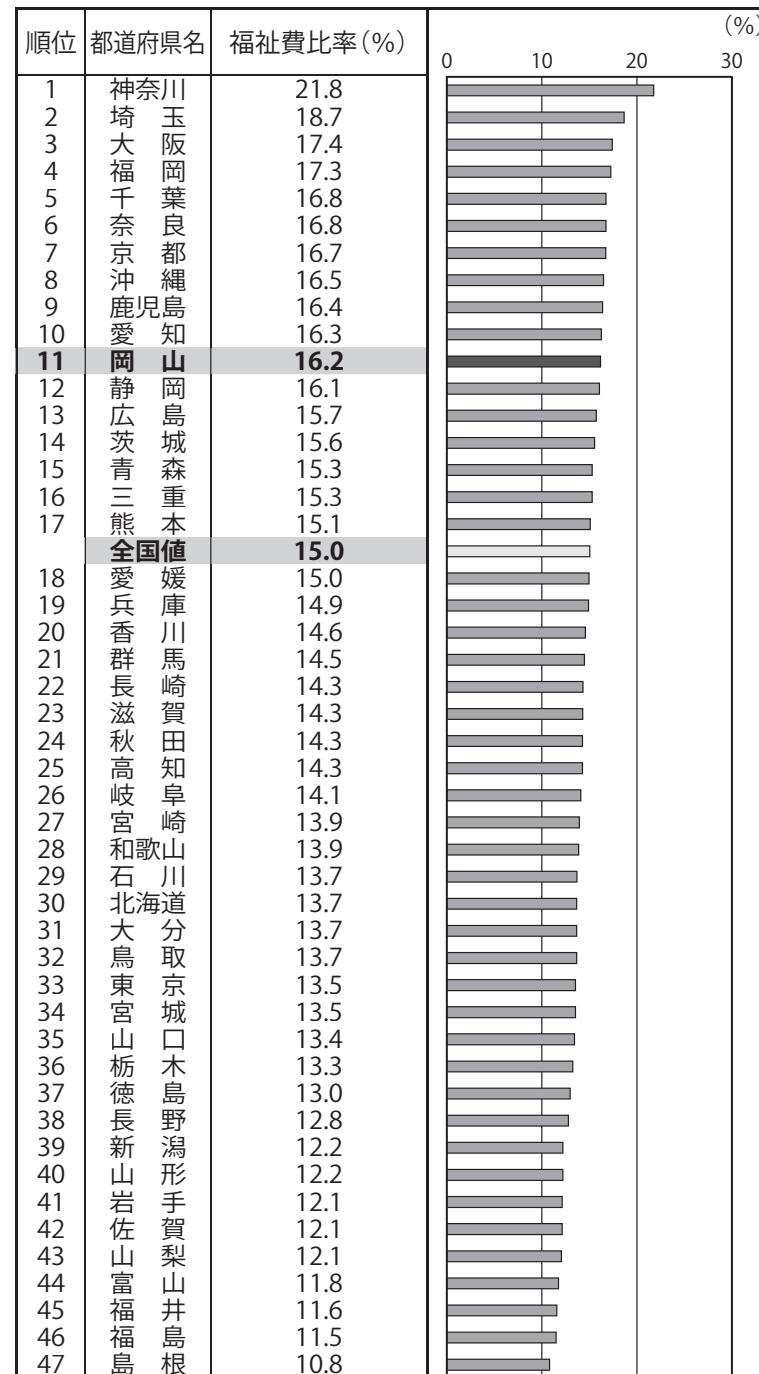
年度	H30	R1	R2	R3	R4
金額	737	1,007	1,168	971	917

(億円)

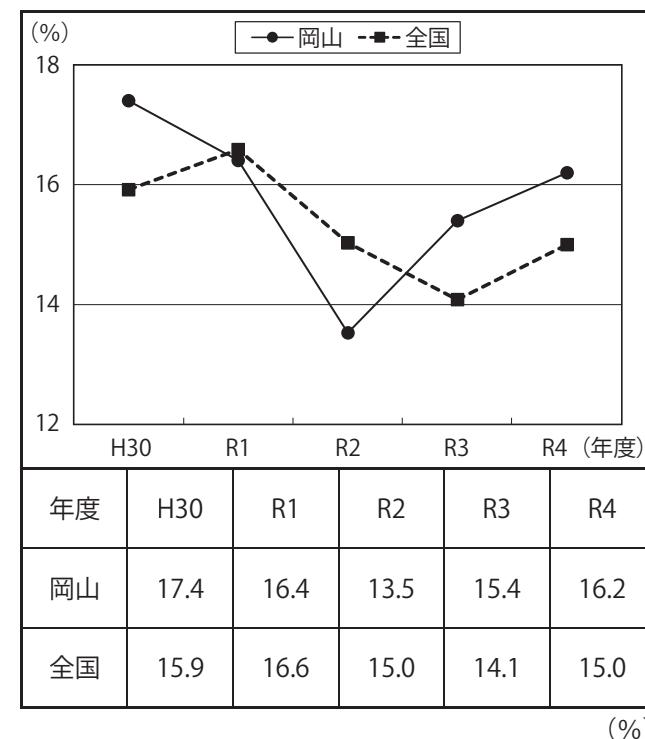
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和4年度
- ・算出方法 普通建設事業費 ÷ 歳出合計 × 100
- ・資料出所 総務省「都道府県決算状況調」

I-98 福祉費比率



<岡山県の推移>



I98

<岡山県の民生費>

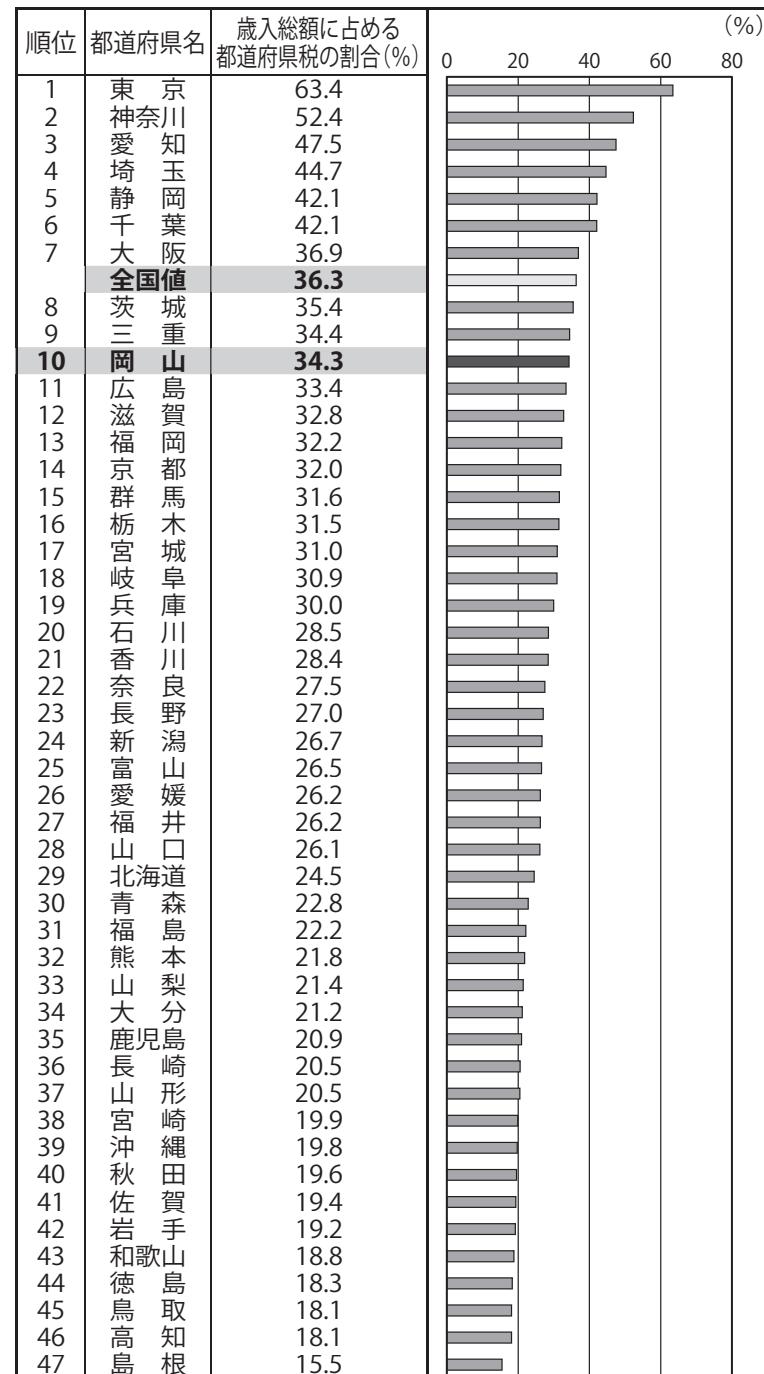
年度	H30	R1	R2	R3	R4
金額	1,182	1,146	953	1,321	1,276

(億円)

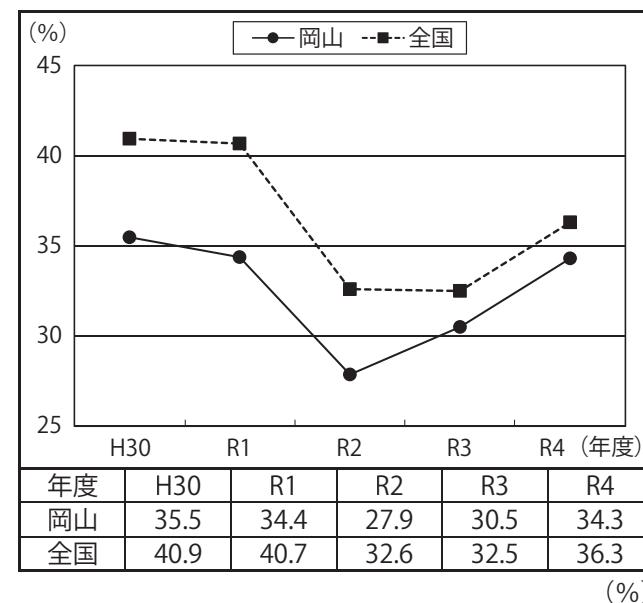
<資料出所ほか>

- ☆目的別歳出内訳の民生費を福祉費とみなし計上
- ・調査期間 令和4年度
- ・算出方法 民生費÷歳出総額×100
- ・資料出所 総務省「都道府県決算状況調」

I-99 県税収入比率

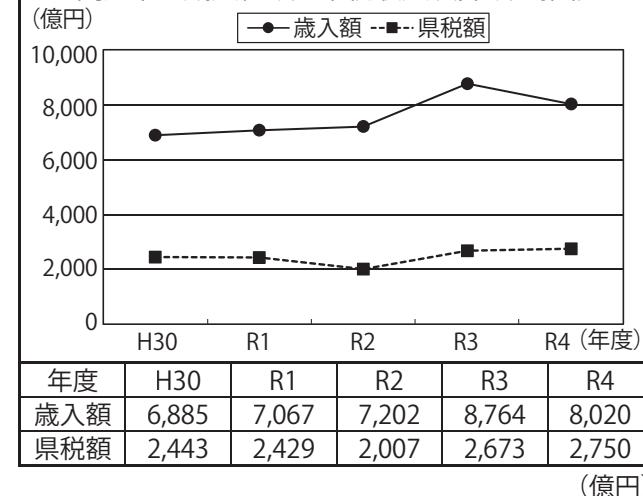


<岡山県の推移>



I99

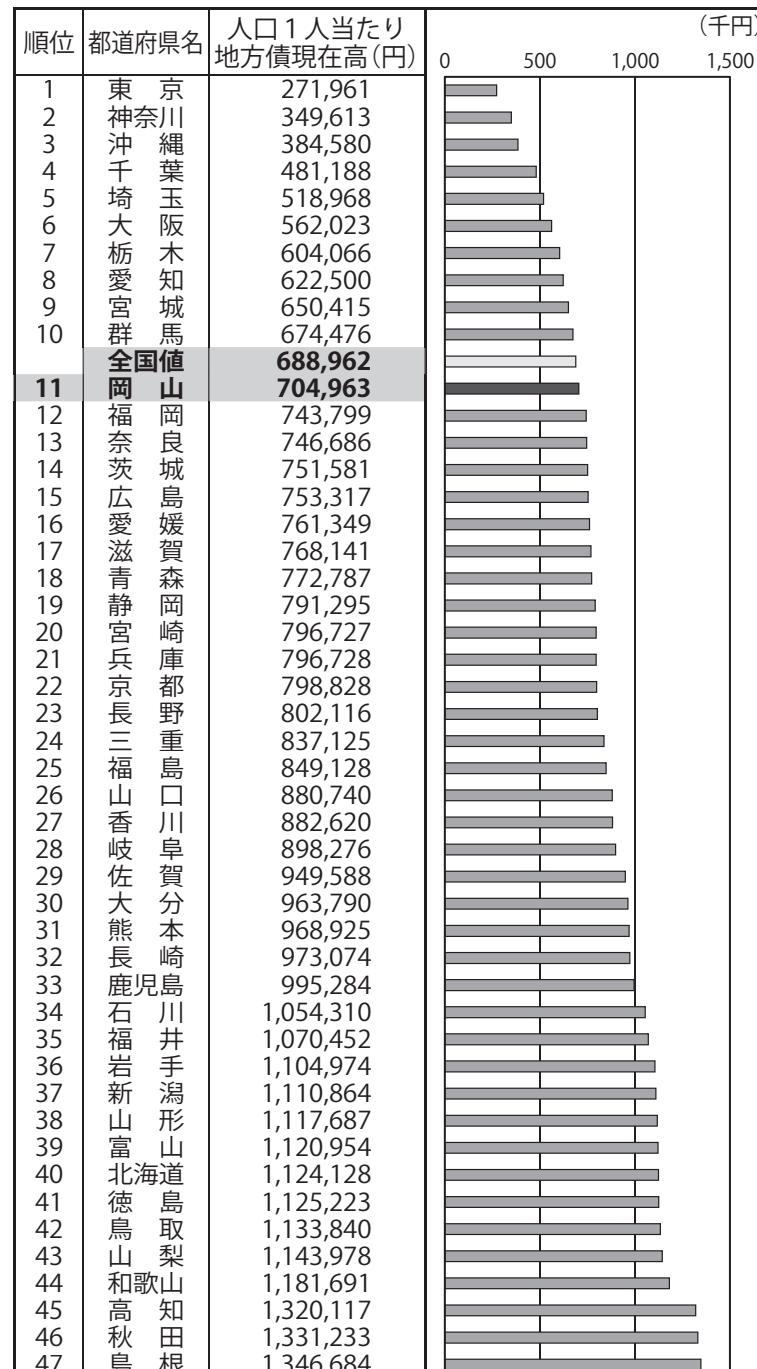
<岡山県の歳入総額と県税収入決算額の推移>



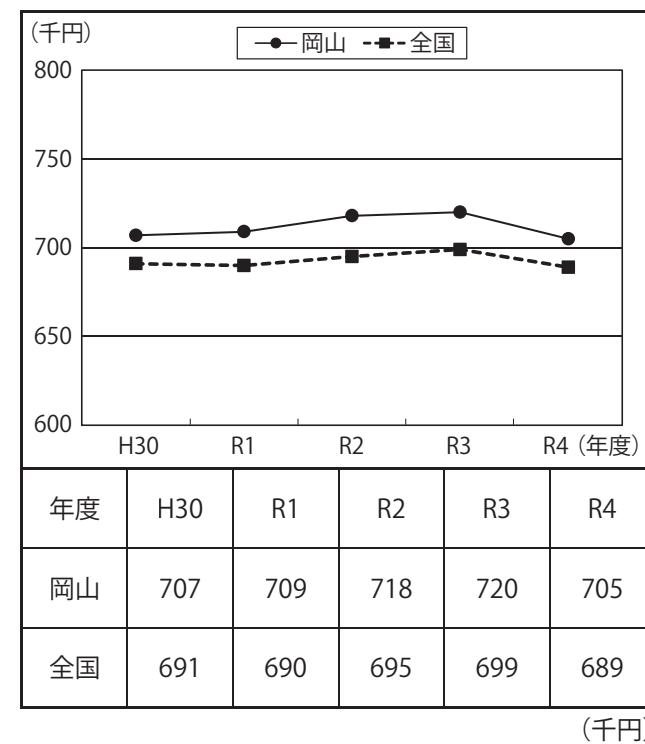
<資料出所ほか>

- ・調査期間 令和4年度
- ・算出方法 地方税÷歳入総額×100
- ・資料出所 総務省「都道府県決算状況調」

* I-100 地方債現在高(人口1人当たり)



<岡山県の推移>



I100

<岡山県の地方債現在残高>

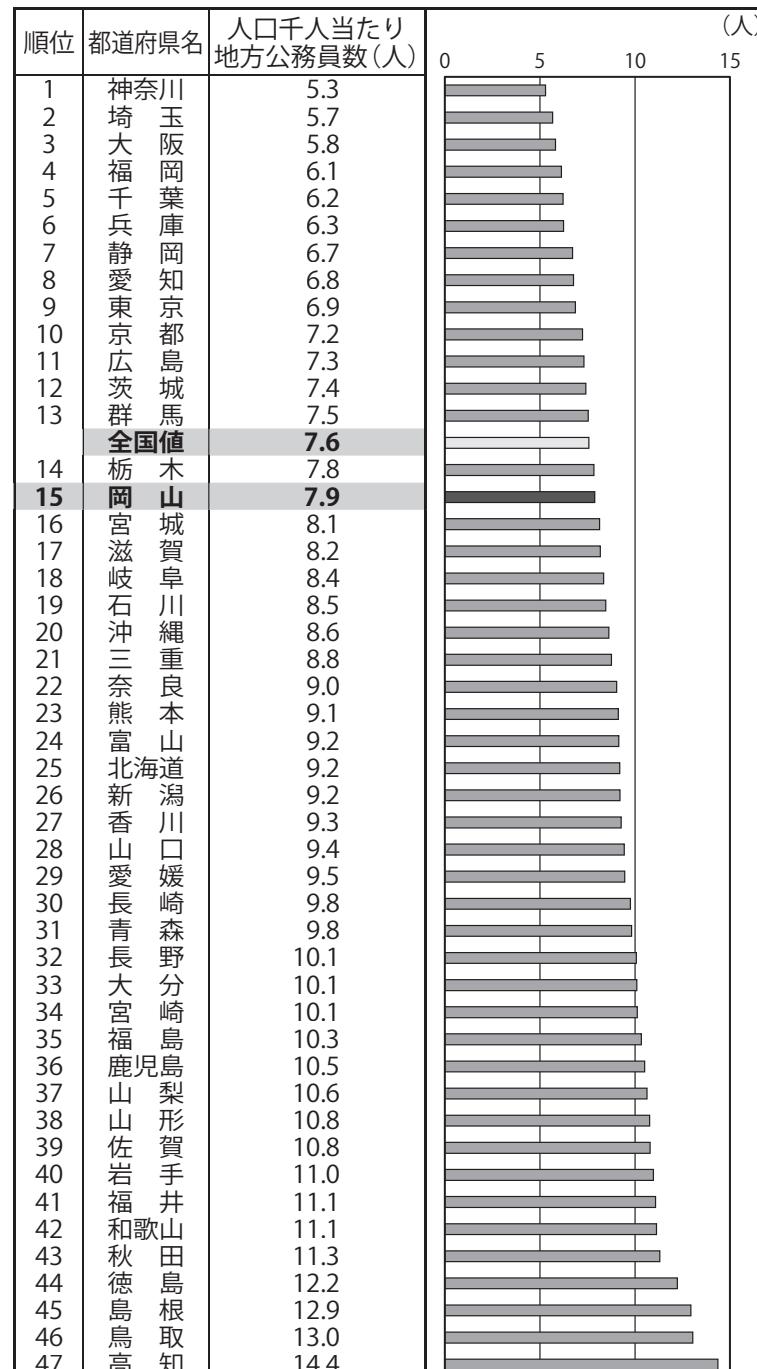
年度	H30	R1	R2	R3	R4
金額	13,414	13,392	13,560	13,516	13,129
うち 臨財債	5,452	5,408	5,307	5,267	4,982

(億円)

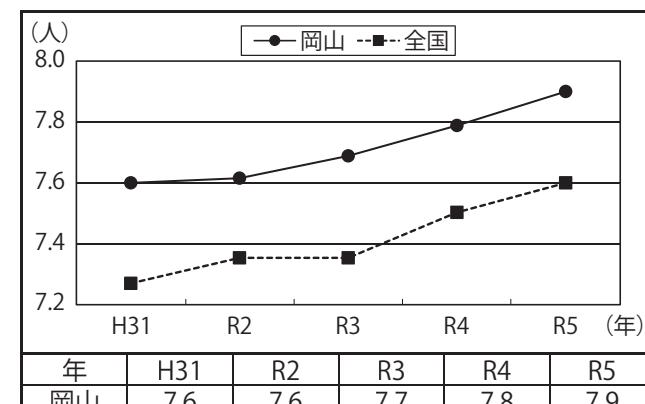
<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和5年3月31日
- ・算出方法 地方債現在高(普通会計債)÷総人口
- ・資料出所 総務省「都道府県決算状況調」
総人口は、総務省「人口推計」(令和4年10月1日時点)
を使用

* I-101 地方公務員数(人口千人当たり)



<岡山県の推移>

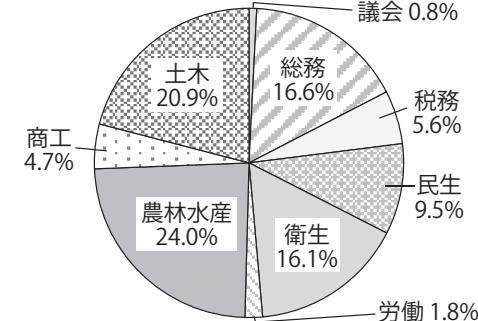


<岡山県の地方公務員数>

年	H31	R2	R3	R4	R5
県	3,827	3,844	3,856	3,874	3,877
市町村	10,528	10,537	10,570	10,630	10,687

I101

<岡山県職員の部門別職員割合>



<資料出所ほか>

- ☆消防部門、警察部門、教育部門及び公営企業等会計部門の職員数は含まない。
- ☆市町村には、一部事務組合を含む。
- ・調査時点 令和5年4月1日
- ・算出方法 一般行政部門職員数(都道府県+指定都市+市区町村) ÷ 総人口 × 1,000
- ・資料出所 総務省「地方公共団体定員管理調査」
総人口は、総務省「人口推計」(令和5年10月1日時点)を使用

付表-1 市町村編

市町村名	1 総面積 (km ²)	2 総人口 (人)	3 人口密度 (人/km ²)
岡山県	7,114.44	1,888,432	265.4
岡山市	789.95	724,691	917.4
北区	450.70	314,523	697.9
中区	51.24	149,232	2,912.4
東区	160.53	93,108	580.0
南区	127.48	167,828	1,316.5
倉敷市	356.07	474,592	1,334.5
津山市	506.33	99,937	197.4
玉野市	103.44	56,531	545.8
笠岡市	136.07	46,088	338.3
井原市	243.54	38,384	157.6
総社市	211.90	69,030	325.8
高梁市	546.99	29,072	53.1
新見市	793.29	28,079	35.4
備前市	258.13	32,320	125.2
瀬戸内市	125.46	36,048	287.3
赤磐市	209.36	42,661	203.8
真庭市	828.53	42,725	51.6
美作市	429.29	25,939	60.4
浅口市	66.46	32,772	493.1
和気町	144.21	13,623	94.5
早島町	7.62	12,368	1,623.1
里庄町	12.23	10,950	895.3
矢掛町	90.62	13,414	148.0
新庄村	67.11	813	12.1
鏡野町	419.68	12,062	28.7
勝央町	54.05	10,888	201.4
奈義町	69.52	5,578	80.2
西粟倉村	57.97	1,398	24.1
久米南町	78.65	4,530	57.6
美咲町	232.17	13,053	56.2
吉備中央町	268.78	10,886	40.5
調査時点	令和6年10月1日	令和2年10月1日	令和2年10月1日
資料出所	国土地理院 「全国都道府県 市区町村別面積調」	総務省 「国勢調査結果」	総務省 「国勢調査結果」
調査周期	毎年	5年ごと	5年ごと
備 考	(*)		

*児島湖は、水面が境界未定のため、岡山市南区、岡山市の合計及び玉野市の面積には含まれず、県計には含む。また、玉野市の面積は、香川県直島町と境界未定のため参考値。

市町村名	4 総世帯数 (世帯)	5 事業所数 (事業所)	6 病院・一般 診療所数 (施設)
岡山県	801,409	78,646	1,709
岡山市	327,620	32,683	681
北区	155,323	18,777	394
中区	65,547	4,249	111
東区	37,471	3,005	67
南区	69,279	6,652	109
倉敷市	199,082	17,484	381
津山市	41,213	4,756	100
玉野市	24,090	2,107	55
笠岡市	18,466	1,860	45
井原市	14,732	1,577	30
総社市	27,110	2,243	49
高梁市	12,886	1,488	34
新見市	11,324	1,429	31
備前市	13,486	1,694	35
瀬戸内市	14,068	1,236	33
赤磐市	16,439	1,287	35
真庭市	15,845	2,304	55
美作市	10,793	1,219	27
浅口市	12,615	926	19
和気町	5,296	515	12
早島町	4,522	479	11
里庄町	4,138	336	6
矢掛町	5,000	550	11
新庄村	331	48	1
鏡野町	4,643	493	13
勝央町	4,089	448	7
奈義町	1,942	239	5
西粟倉村	575	82	1
久米南町	1,793	163	5
美咲町	5,028	522	12
吉備中央町	4,283	478	15
調査時点	令和2年10月1日	令和3年6月1日	令和5年10月1日
資料出所	総務省 「国勢調査結果」	総務省・経済産業省 「令和3年経済センサス-活動調査」	厚生労働省 「医療施設調査」
調査周期	5年ごと	5年ごと	毎年
備 考		(*)	

*個人経営の農林漁業の事業所、国及び地方公共団体の事業所等を除く。
(事業内容等不詳の事業所を除く。)

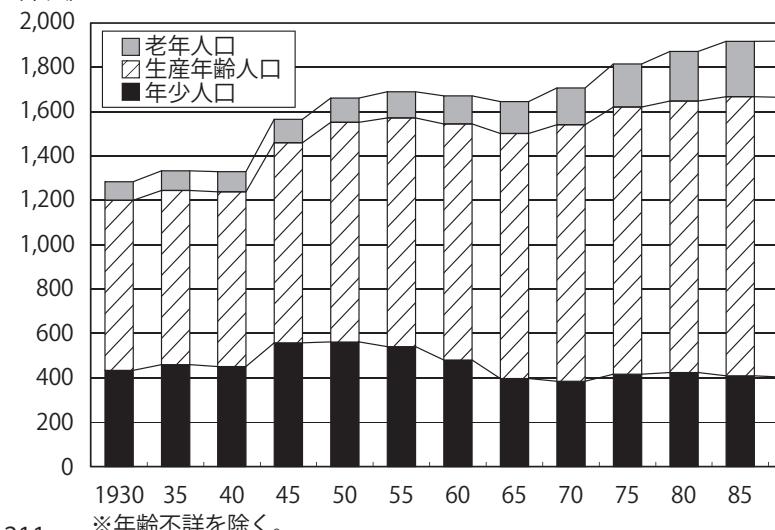
付1

付表-2 岡山県の人口の推移

(単位：人)

年次	総数	男	女
1930	1,283,962	637,965	645,997
1935	1,332,647	658,773	673,874
1940	1,329,358	651,197	678,161
1945	1,564,626	728,314	836,312
1950	1,661,099	804,357	856,742
1955	1,689,800	815,837	873,963
1960	1,670,454	797,748	872,706
1965	1,645,135	781,418	863,717
1970	1,707,026	819,359	887,667
1975	1,814,305	878,132	936,173
1980	1,871,023	905,477	965,546
1985	1,916,906	926,238	990,668
1990	1,925,877	926,721	999,156
1995	1,950,750	938,439	1,012,311
2000	1,950,828	936,044	1,014,784
2005	1,957,264	938,600	1,018,664
2010	1,945,276	933,168	1,012,108
2015	1,921,525	922,226	999,299
2020	1,888,432	908,045	980,387
2025	1,832,201	880,985	951,216
2030	1,774,408	853,092	921,316
2035	1,712,847	823,318	889,529
2040	1,646,360	791,714	854,646
2045	1,577,853	760,055	817,798
2050	1,510,460	728,766	781,694

(千人)

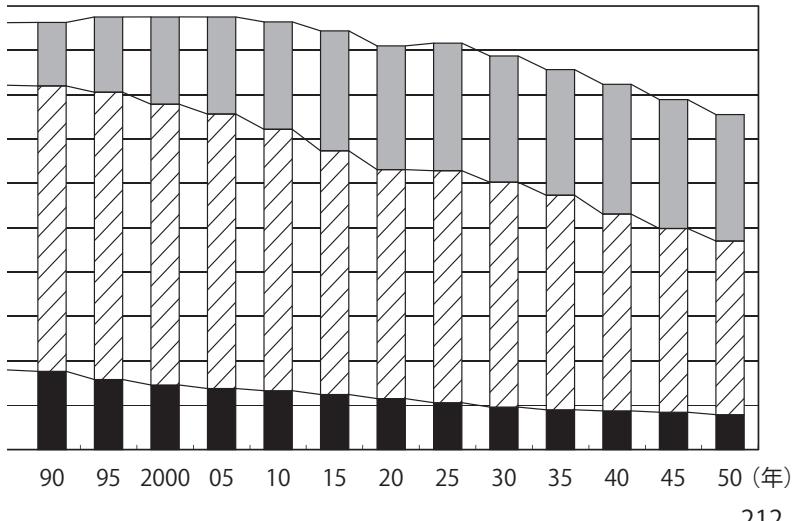


年次	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老人人口 (65歳以上)
1930	434,079	765,956	83,927
1935	459,346	785,664	87,637
1940	451,300	786,723	90,969
1945	557,435	902,219	104,972
1950	562,044	989,764	109,226
1955	540,405	1,031,482	117,901
1960	480,141	1,064,304	126,009
1965	396,579	1,105,115	143,441
1970	384,967	1,155,806	166,253
1975	416,900	1,203,853	193,289
1980	424,254	1,223,235	223,306
1985	409,216	1,257,858	249,555
1990	353,191	1,286,221	285,764
1995	315,902	1,294,239	339,313
2000	291,346	1,265,122	393,658
2005	275,743	1,236,318	438,054
2010	264,853	1,178,493	484,718
2015	247,890	1,098,140	540,876
2020	229,352	1,032,394	557,991
2025	211,321	1,045,799	575,081
2030	191,679	1,014,077	568,652
2035	179,729	966,770	566,348
2040	174,651	886,741	584,968
2045	167,792	828,239	581,822
2050	157,536	782,539	570,385

付2

資料出所：総務省「国勢調査」(1930年～2020年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2025年～2050年)

※1930-2020年（国勢調査）の総数には、年齢不詳を含む。



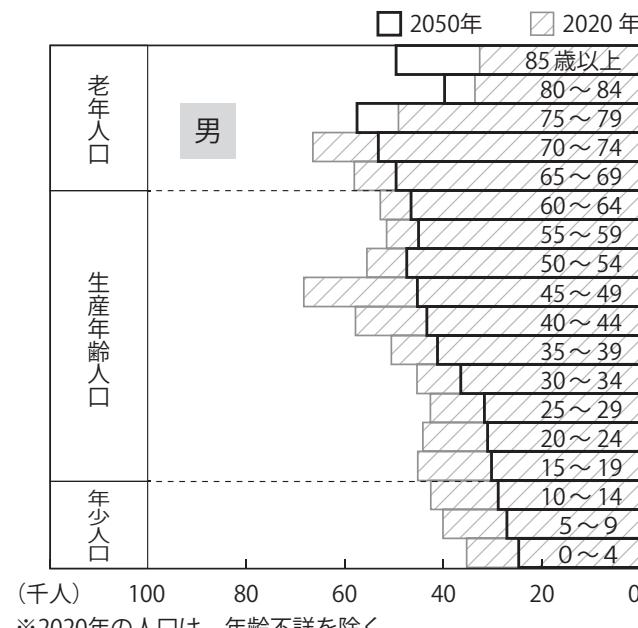
付表-3 岡山県の年齢別人口

<男>

	2020年	2050年
総数	908,045	728,766
0～4歳	35,280	24,712
5～9歳	40,117	27,095
10～14歳	42,527	28,928
15～19歳	45,167	30,210
20～24歳	44,168	31,024
25～29歳	42,628	31,696
30～34歳	45,373	36,515
35～39歳	50,602	41,231
40～44歳	57,847	43,381
45～49歳	68,339	45,286
50～54歳	55,488	47,414
55～59歳	51,515	45,008
60～64歳	52,780	46,542
65～69歳	58,063	49,637
70～74歳	66,474	53,208
75～79歳	49,163	57,559
80～84歳	33,582	39,733
85歳以上	32,632	49,587

資料出所：総務省「国勢調査（2020年）」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2050年）」

*2020年（国勢調査）の総数には、年齢不詳を含む。

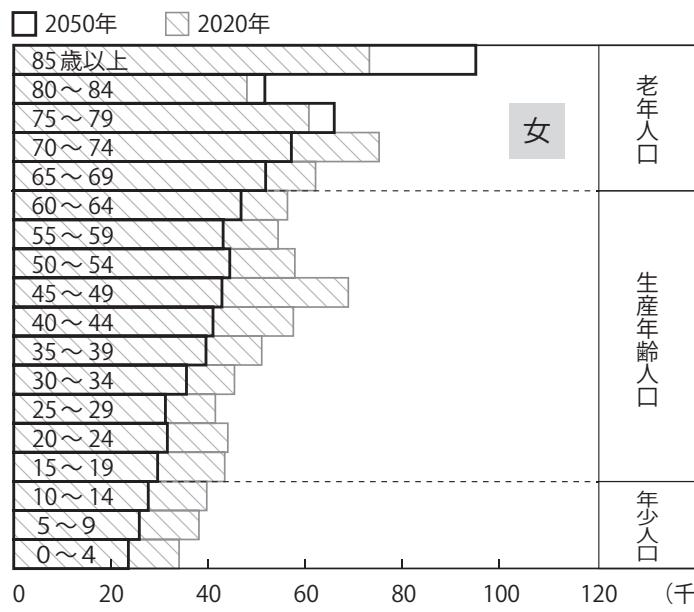


*2020年の人口は、年齢不詳を除く。

<女>

(単位：人)

	2020年	2050年
総数	980,387	781,694
0～4歳	33,936	23,510
5～9歳	37,941	25,746
10～14歳	39,551	27,545
15～19歳	43,264	29,473
20～24歳	43,892	31,486
25～29歳	41,335	31,083
30～34歳	45,220	35,384
35～39歳	50,858	39,444
40～44歳	57,320	40,825
45～49歳	68,628	42,668
50～54歳	57,664	44,307
55～59歳	54,195	42,912
60～64歳	56,111	46,650
65～69歳	61,874	51,671
70～74歳	74,921	56,921
75～79歳	60,538	65,763
80～84歳	47,839	51,531
85歳以上	72,905	94,775



岡山県総合政策局統計分析課HP



岡山県の最新の統計・情報はこちらからご覧ください



岡山県 統計分析課

検索



©岡山県「ももっち」

e-Stat

政府統計の総合窓口

公的統計はこちらから検索できます



e-stat 検索